

廃棄物処理センター環境影響評価
及び

廃棄物処理センター（最終処分場）増設事業
に係る環境影響評価
事後調査報告書

（令和 6 年度）

令和 7 年 3 月

一般財団法人三重県環境保全事業団

はじめに

本報告書は、一般財団法人三重県環境保全事業団廃棄物処理センター事業（最終処分場事業）の実施にあたり、「廃棄物処理センター建設計画に係る環境影響評価書（平成 12 年 8 月）」及び「廃棄物処理センター建設計画に係る環境影響評価書検討報告書（平成 20 年 7 月）」（以下、「既設事業評価書」及び「検討書」という。）並びに「廃棄物処理センター（最終処分場）増設事業に係る環境影響評価書（令和 3 年 4 月）」（以下、「増設事業評価書」という。）に示した環境保全対策を図るために実施することとした事後調査のうち、令和 6 年度に実施した調査結果をとりまとめたものです。

目 次

第1章 事業の概要	1
第1節 事業主体、住所及び代表者	1
第2節 指定事業の名称、種類、規模及び実施場所	1
第2章 事業の進捗状況と事後調査の実施状況	2
第3章 最終処分場既設事業供用後に係る調査	7
第1節 大気質	7
第1項 調査概要	7
第2項 調査結果	9
第2節 悪 臭	10
第1項 調査概要	10
第2項 調査結果	13
第3節 環境騒音	15
第1項 調査概要	15
第2項 調査結果	17
第4節 環境振動	19
第1項 調査概要	19
第2項 調査結果	19
第5節 河川水の水質	21
第1項 調査概要	21
第2項 調査結果	24
第6節 地下水の水質	32
第1項 地下水（モニター井戸）	32
第2項 地下水（処分場地下水集排水）	47
第7節 浸出水処理水	51
第1項 調査概要	51
第2項 調査結果	54
第4章 既設事業に係る動物・植物の調査	57
第1節 水生生物	57
第1項 淡水魚類	57

第2節 植物相	62
第1項 調査概要	62
第2項 調査結果	65
第5章 増設事業工事中に係る調査	69
第1節 地下水位	69
第1項 調査概要	69
第2項 調査結果	72
第6章 増設事業に係る動物・植物の調査	74
第1節 重要な陸生動物	74
第1項 哺乳類（ユビナガコウモリ、コウモリ類休息・越冬地）	74
第2項 鳥類（キビタキ）	79
第3項 昆虫類（トゲアリ）	85
第4項 クモ類（コガネグモ）	91
第5項 土壌動物（ゴホントゲザトウムシ）	94
第2節 鳥類相	100
第1項 調査概要	100
第2項 調査結果	102
第3節 重要な陸生植物	104
第1項 キンラン	104
第2項 カラタチバナ、タシロラン	114
第3項 ツツイトモ	121
第4節 葉状地衣類（大気汚染指標種）	127
第1項 調査概要	127
第2項 調査結果	130
第5節 生態系	132
第1項 上位性注目種：フクロウ	132
第2項 特殊性注目種：ムカシヤンマ（幼虫）	149
第6節 動物相、植物相及び植生（残置森林の順応的管理）	155
第1項 本項の位置付け	155
第2項 順応的管理	158

第1章 事業の概要

第1節 事業主体、住所及び代表者

事業主体：一般財団法人三重県環境保全事業団

住 所：三重県津市河芸町上野 3258 番地

代 表 者：理事長 森 靖 洋

第2節 指定事業の名称、種類、規模及び実施場所

【既設事業】

事業の名称：廃棄物処理センター事業

事業の種類：廃棄物処理施設（産業廃棄物最終処分場（管理型））の設置の事業

事業の規模：最終処分場 285,200 m² 埋立総容量 1,672,000 m³

実 施 場 所：四日市市小山町地内

【増設事業】

事業の名称：廃棄物処理センター（最終処分場）増設事業

事業の種類：廃棄物処理施設（産業廃棄物最終処分場（管理型））の変更の事業

事業の規模：最終処分場 327,700 m²※ 埋立総容量 3,657,800 m³※

実 施 場 所：四日市市小山町地内

※既設事業を含む増設後全体の規模を示しています。

第2章 事業の進捗状況と事後調査の実施状況

最終処分場事業のうち、既設事業は、平成22年8月より建設工事に着手し、平成24年12月より供用を開始しました。

また、増設事業は、令和4年4月より建設工事に着手し、令和7年1月より供用を開始しました。

既設事業及び増設事業の事後調査の実施状況は表2-1に、事業範囲は図2-1に示したとおりです。

なお、既設事業における事後調査は、過年度と同様に供用による影響の把握を目的として行いました。但し、粉じん（SPM）および地下水質については、増設事業の供用を受けて、一部調査内容を変更しました。

また、増設事業における事後調査は、増設事業評価書において影響が予測された、工事による地下水位への影響の把握、および重要な動植物種に対する継続的なモニタリングを目的として行いました。

表 2-1 (1) 事後調査の実施状況（既設事業）

項 目		年度 月	令和 6 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
事業		最終処分場（既設事業）	供用中											
環境影響評価事後調査	最終処分場事業供用後に係る調査	① 粉じん（SPM）	●			●			●			●		
		② 悪 臭	●			●			●			●		
		③ 環境騒音・振動	●			●			●				●	
		④ 河川水の水質	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		⑤ 地下水（モニター井戸）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		⑥ 地下水（処分場地下水集排水）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		⑦ 浸出水処理水	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	動物・植物の調査	⑧ 水生生物（淡水魚類）		●			●			●			●	
		⑨ 植物相						●						

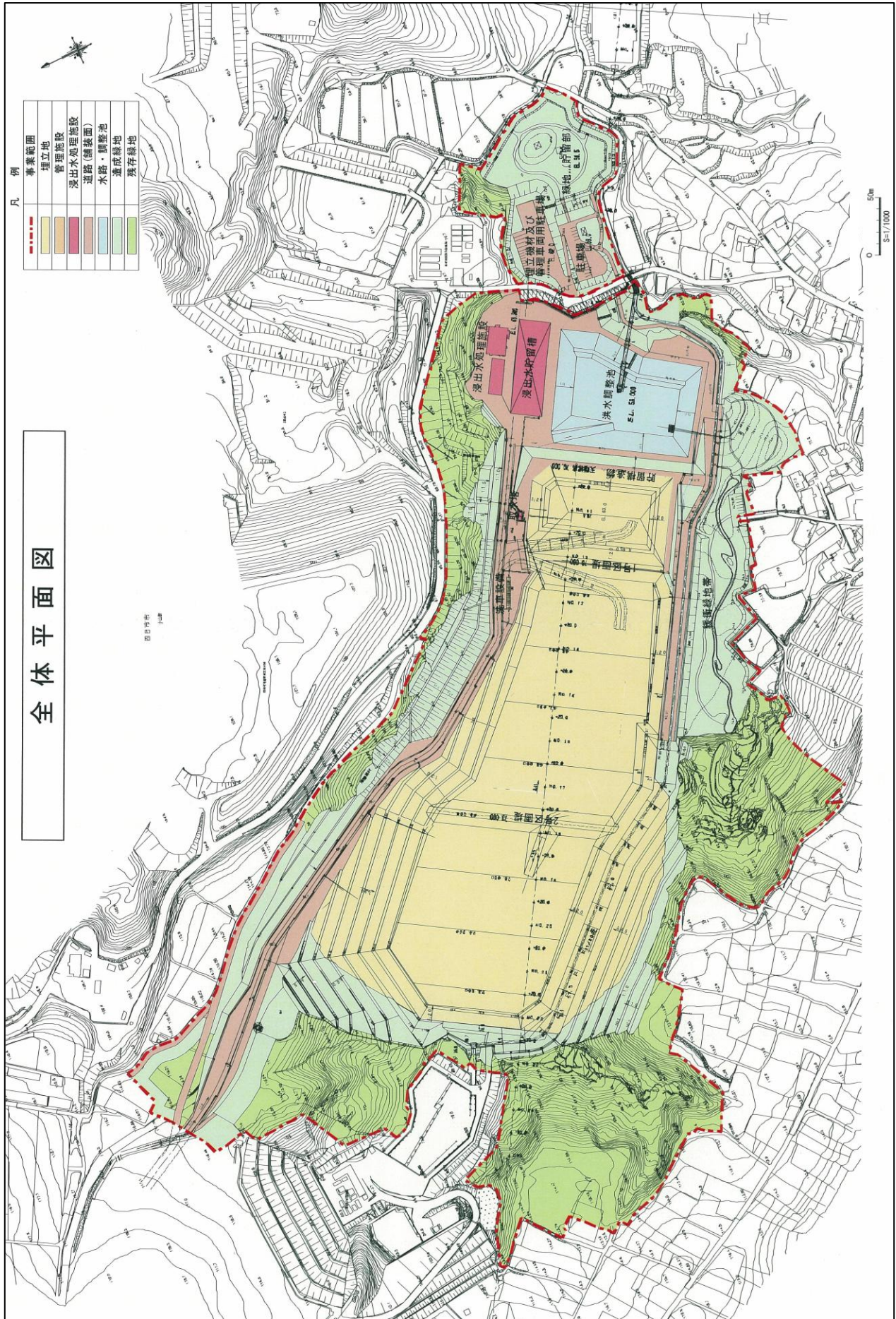
注：表中「●」は今回報告する調査内容を表す。

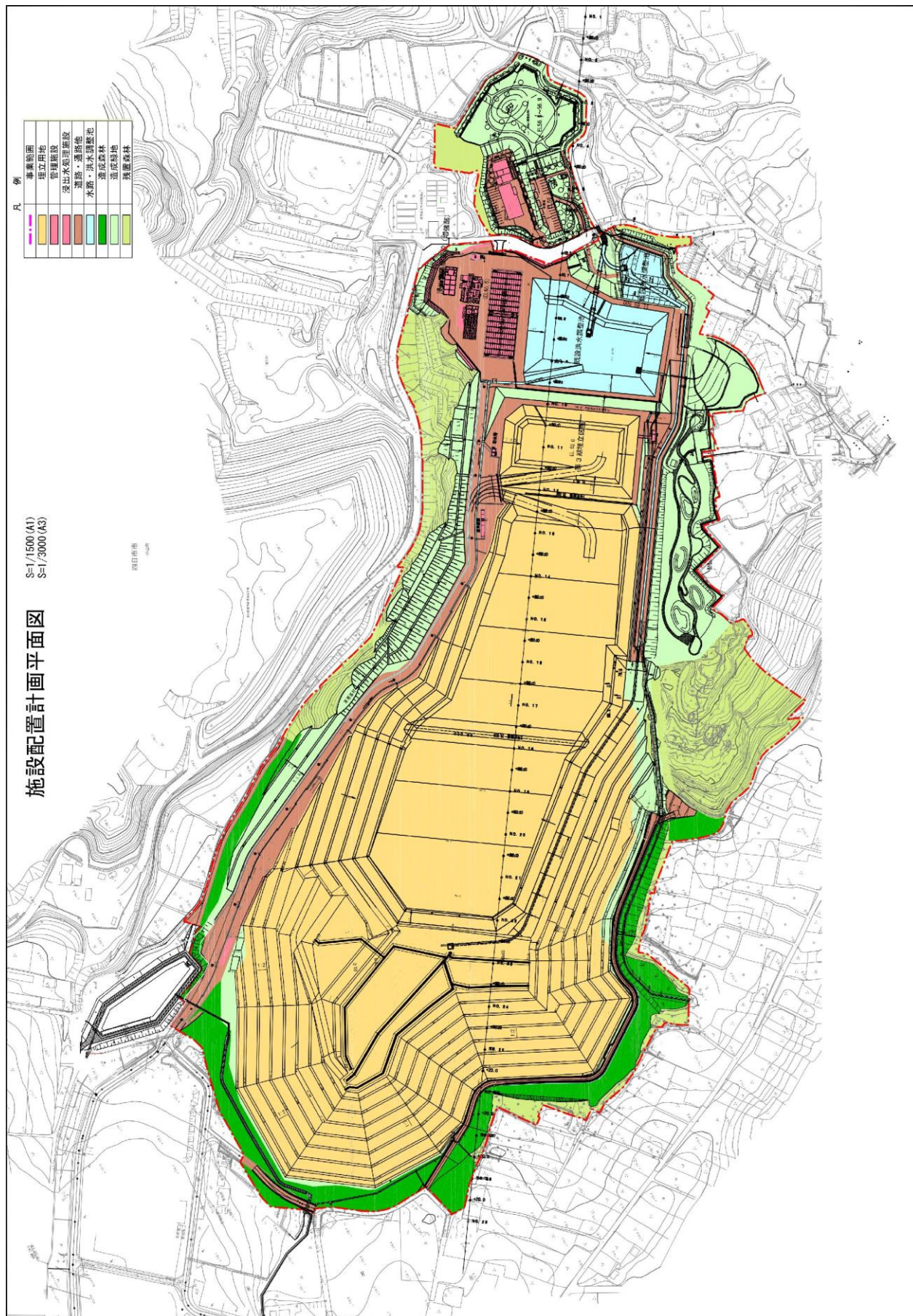
表 2-1 (2) 事後調査の実施状況（増設事業）

項 目		年度 月	令和 6 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
事業		最終処分場（増設事業）	工事中									供用中		
環境影響評価事後調査	※	⑩ 地下水位	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	増設事業に係る動物・植物の調査	⑪ 哺乳類の重要種 （ユビナガコウモリ、コウモリ類）			●					●				
		⑫ 鳥類の重要種 （キビタキ）			●									
		⑬ 昆虫類の重要種 （トゲアリ）			●									
		⑭ クモ類の重要種 （コガネグモ）			●									
		⑮ 土壌動物の重要種 （ゴホントゲザトウムシ）		●						●				
		⑯ 鳥類相			●								●	
		⑰ 維管束植物の重要種 （キンラン）	●	●					●					
		⑱ 維管束植物の重要種 （カラタチバナ、タシロラン）			●									
		⑲ 維管束植物の重要種 （ツツイトモ）						●						
		⑳ 葉状地衣類									●			
		㉑ 生態系上位性注目種 （フクロウ）	●	●	●	●				●		●	●	●
		㉒ 生態系特殊性注目種 （ムカシヤンマ）	●											
		㉓ 維持管理作業							●	●				

※：増設事業工事中に係る調査

注：表中「●」は今回報告する調査内容を表す。





施設配置計画平面図

図 2-1 (2) 最終処分場（既設及び増設事業）事業実施区域

第3章 最終処分場供用後に係る調査結果

第1節 大気質

第1項 調査概要

最終処分場事業の供用に伴う施設内の粉じんの飛散状況を把握するため、調査を実施しました。

1-1 調査地点

調査地点は、図 3-1-1 に示したとおり事業実施区域内の2地点としました。

1-2 調査項目及び調査時期

調査は浮遊粒子状物質（S P M）を対象項目とし、調査時期は表 3-1-1 に示したとおり、春季・夏季・秋季は1日間（24時間）実施しました。

なお、増設区域の供用に伴い、増設事業評価書の事後調査計画に基づき、同一の2地点で冬季から1季あたり7日間連続測定を実施しました。

表 3-1-1 調査項目及び調査期間

調査項目	調査年月日
浮遊粒子状物質（S P M）	令和6年 4月 23日（0:00～24:00）（春季）
	令和6年 7月 11日（0:00～24:00）（夏季）
	令和6年 10月 10日（0:00～24:00）（秋季）
	令和7年 1月 21日～1月 27日（冬季）

1-3 調査方法

分析方法は表 3-1-2 に示したとおりです。

表 3-1-2 調査項目及び分析方法

測定項目	分析方法
浮遊粒子状物質（S P M）	昭和48年環境庁告示第25号 別表に示すβ線吸収法

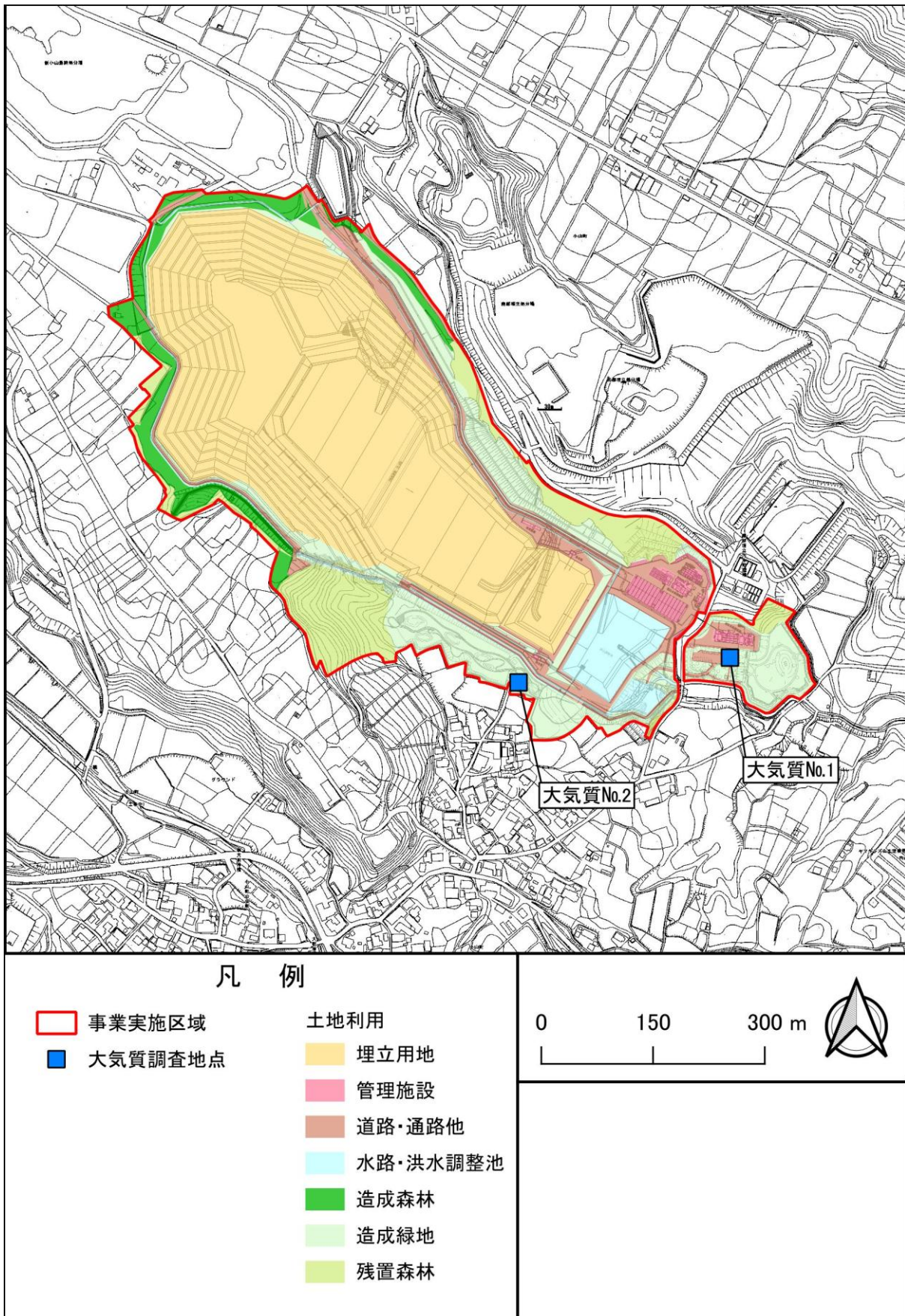


図 3-1-1 大気質（浮遊粒子状物質：SPM）調査地点

第2項 調査結果

調査結果は表 3-1-3 に示したとおりです。また、測定時の風配図は資料編に記載しました。

春季・夏季・秋季において、No.1 の日平均値は 0.011～0.021mg/m³、1 時間値の最大値は 0.025～0.041mg/m³、No.2 の日平均値は 0.012～0.021mg/m³、1 時間値の最大値は 0.029～0.039mg/m³ であり、いずれも環境基準を満足していました。

冬季の 7 日間連続測定において、測定期間中の No.1 の日平均値は 0.003～0.030mg/m³、1 時間値の最大値は 0.007～0.193mg/m³、測定期間中の No.2 の日平均値は 0.003～0.029mg/m³、1 時間値の最大値は 0.010～0.132mg/m³ であり、いずれも環境基準を満足していました。

なお、冬季の 4 日目にあたる令和 7 年 1 月 24 日 8 時台の No.1、No.2 の両地点においてやや高い値が確認されました。しかし、上記の時間帯は操業時間外であることや、他の日と比較して風速も高くないことから、他の要因によるものと考えられました。

表 3-1-3(1) 浮遊粒子状物質調査結果

項 目		S P M (mg/m ³)	
環境基準※	1 時間値の 1 日平均値	0.10 以下	
	1 時間値	0.20 以下	
調査年月日	地 点	No.1	No.2
令和 6 年 4 月 23 日	日平均値	0.021	0.021
	1 時間値の最大値	0.030	0.037
令和 6 年 7 月 11 日	日平均値	0.014	0.012
	1 時間値の最大値	0.041	0.039
令和 6 年 10 月 10 日	日平均値	0.011	0.012
	1 時間値の最大値	0.025	0.029

※「環境基準」：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年環告 25）

表 3-1-3(2) 最終処分場供用時浮遊粒子状物質調査結果（増設区域供用後）

項目	S P M (mg/m ³)			
調査期間	冬季			
調査地点	No.1		No.2	
	日平均値	1 時間値 の最大値	日平均値	1 時間値 の最大値
1 日目	0.008	0.026	0.015	0.070
2 日目	0.012	0.043	0.010	0.029
3 日目	0.030	0.062	0.028	0.058
4 日目	0.030	0.193	0.029	0.132
5 日目	0.003	0.007	0.005	0.016
6 日目	0.003	0.016	0.003	0.010
7 日目	0.008	0.030	0.007	0.022

第2節 悪 臭

第1項 調査概要

最終処分場事業の供用に伴い、同施設からの悪臭が周辺環境に与える影響を把握するため、調査を実施しました。

1-1 調査時期

調査は表 3-2-1 に示したとおり、各季 1 回実施しました。

表 3-2-1 調査時期

時 期	調査年月日
春 季	令和 6 年 4 月 22 日
夏 季	令和 6 年 7 月 30 日
秋 季	令和 6 年 10 月 29 日
冬 季	令和 7 年 1 月 14 日

1-2 調査地点

調査地点は図 3-2-1 に示した事業実施区域の敷地境界に予め設定した 3 地点で調査を実施しました。

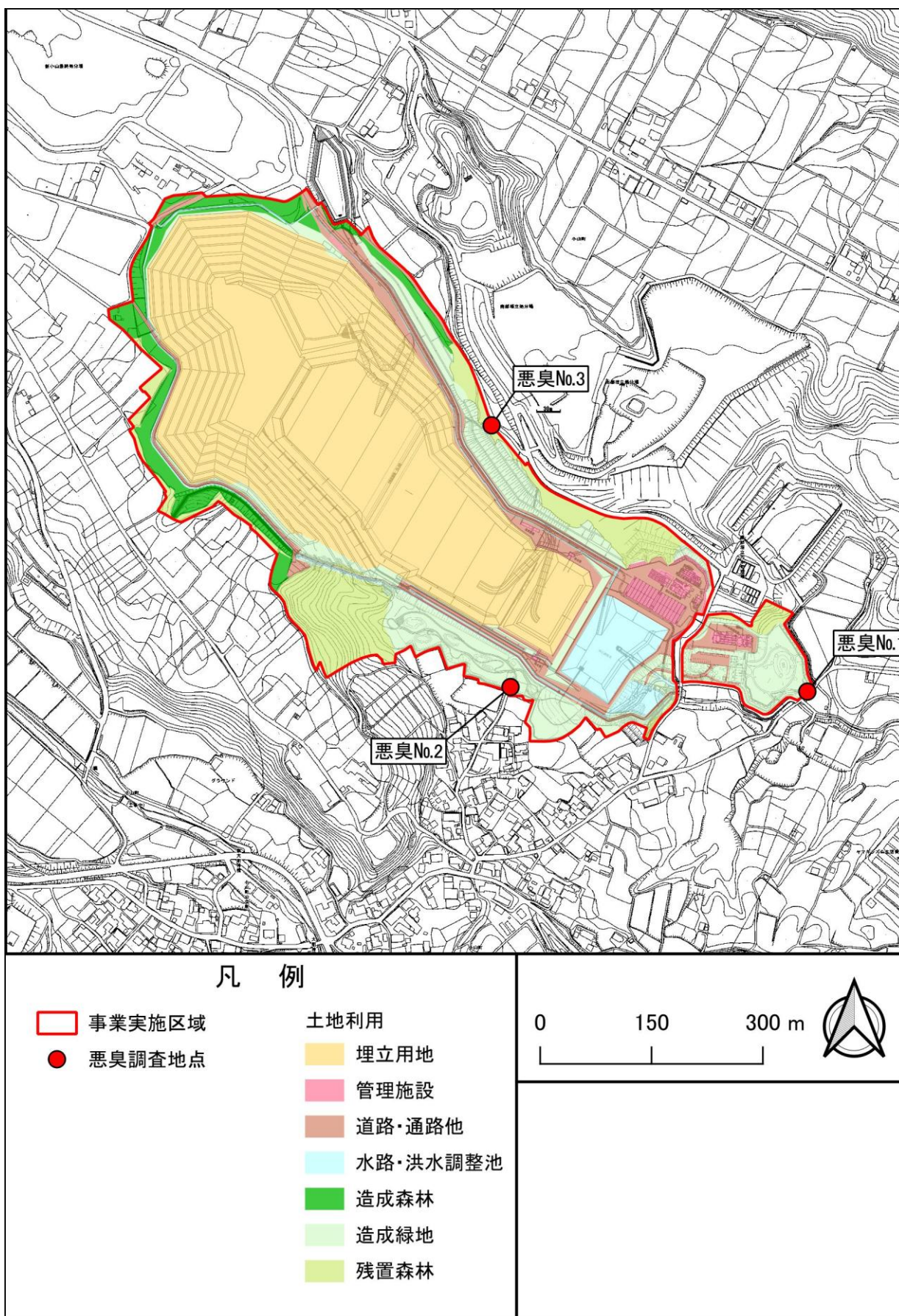


図 3-2-1 悪臭調査地点

1-3 調査項目及び分析方法

調査項目は悪臭防止法に定める特定悪臭物質（22 物質）、臭気指数及び気象とし、分析方法は表 3-2-2 に示したとおりです。

表 3-2-2 調査項目及び分析方法

項 目		分析方法
アンモニア		昭和47年環境庁告示第9号別表第1
メチルメルカプタン 硫化水素 硫化メチル 二硫化メチル		昭和47年環境庁告示第9号別表第2
トリメチルアミン		昭和47年環境庁告示第9号別表第3
アセトアルデヒド プロピオンアルデヒド ノルマルブチルアルデヒド イソブチルアルデヒド ノルマルバレルアルデヒド イソバレルアルデヒド		昭和47年環境庁告示第9号別表第4の3
イソブタノール 酢酸エチル メチルイソブチルケトン トルエン		昭和47年環境庁告示第9号別表第9
スチレン		昭和47年環境庁告示第9号別表第7の2
キシレン		昭和47年環境庁告示第9号別表第9
プロピオン酸 ノルマル酪酸 ノルマル吉草酸 イソ吉草酸		昭和47年環境庁告示第9号別表第8
臭気指数		平成7年環境庁告示第63号
気 象	風 向	ビラム型風向風速計
	風 速	
	気 温	アスマン通風乾湿計
	湿 度	

第2項 調査結果

調査結果は表 3-2-3 に示したとおりです。いずれの季節、いずれの地点も特定悪臭物質は検出されませんでした。また、人の嗅覚により試験を行う臭気指数も、春季、夏季、秋季、冬季のいずれの地点も 10 未満でした。

表 3-2-3(1) 悪臭調査結果（春季・夏季）

（単位：ppm、臭気指数は単位なし）

項 目	春季			夏季			排出 規制基準※
	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	
アンモニア	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
メチルメルカプタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
硫化水素	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
硫化メチル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
二硫化メチル	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009以下
トリメチルアミン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
アセトアルデヒド	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
プロピオンアルデヒド	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソブチルアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ノルマルバレールアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソバレールアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.003以下
イソブタノール	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	0.9以下
酢酸エチル	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3以下
メチルイソブチルケトン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
トルエン	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10以下
スチレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4以下
キシレン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
プロピオン酸	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
ノルマル酪酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
ノルマル吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009以下
イソ吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
臭気指数	<10	<10	<10	<10	<10	<10	—
気 象	天候	曇	曇	曇	曇	晴	—
	気温(℃)	20.8	23.5	21.9	32.3	34.1	36.0
	湿度(%)	68	60	60	59	55	48
	風向	SW	S	WSW	NNW	N	NW
	風速(m/s)	0.5	1.2	1.5	2.2	1.8	0.9

※：「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準（平成 10 年 7 月 10 日三重県告示第 323 号）

表 3-2-3(2) 悪臭調査結果 (秋季・冬季)

(単位: ppm、臭気指数は単位なし)

項 目		秋季			冬季			排出 規制基準※
		No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	
アンモニア		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
メチルメルカプタン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
硫化水素		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
二硫化メチル		<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009以下
トリメチルアミン		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
アセトアルデヒド		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
プロピオンアルデヒド		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソブチルアルデヒド		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ノルマルバレールアルデヒド		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソバレールアルデヒド		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.003以下
イソブタノール		<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	0.9以下
酢酸エチル		<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3以下
メチルイソブチルケトン		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
トルエン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	10以下
スチレン		<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4以下
キシレン		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
プロピオン酸		<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
ノルマル酪酸		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
ノルマル吉草酸		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009以下
イソ吉草酸		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
臭気指数		<10	<10	<10	<10	<10	<10	—
気 象	天候	曇	曇	曇	晴	晴	晴	—
	気温(℃)	19.1	18.7	19.5	10.8	11.9	14.2	—
	湿度(%)	72	73	74	33	31	26	—
	風向	NE	ESE	NE	NW	N	NW	—
	風速(m/s)	<0.5	0.5	0.6	1.2	0.9	0.5	—

※:「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準(平成10年7月10日三重県告示第323号)

第3節 環境騒音

第1項 調査概要

最終処分場事業の供用に伴う騒音の影響を把握するため、最終処分場周辺で環境騒音の調査を実施しました。

1-1 調査時期

調査は表 3-3-1 に示したとおり、春季から冬季にかけて4回実施しました。
また、測定時間は24時間測定としました。

表 3-3-1 調査時期

時 期	調査年月日
春 季	令和6年 4月 15日～ 16日
夏 季	令和6年 7月 17日～ 18日
秋 季	令和6年 10月 28日～ 29日
冬 季	令和7年 1月 29日～ 30日

1-2 調査地点

調査地点は図 3-3-1 に示した事業実施区域周辺の2地点としました。

1-3 調査項目及び調査方法

調査項目は環境騒音とし、調査方法は「騒音に係る環境基準について」（平成10年 環境庁告示第64号）に準じて実施しました。

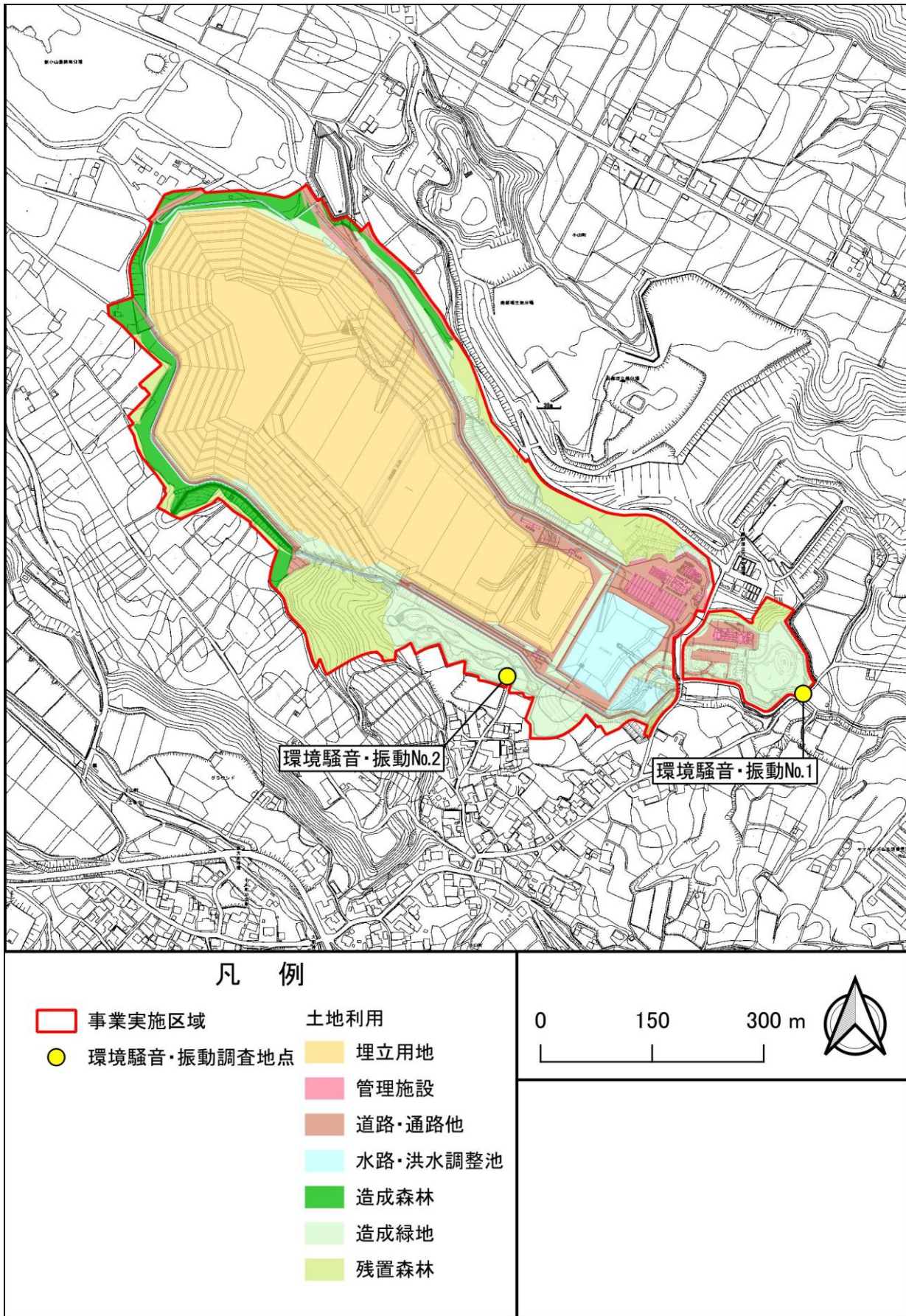


図 3-3-1 環境騒音・環境振動調査地点

第2項 調査結果

調査結果は表 3-3-2 に示したとおりであり、No.1 の 6 時から 22 時までの昼間の基準時間帯における等価騒音レベルは 43～66dB、22 時から 6 時までの夜間の基準時間帯における等価騒音レベルは 42～64dB、同じく No.2 の昼間の等価騒音レベルは 38～60dB、夜間の等価騒音レベルは 33～57dB でした。

春季及び夏季はいずれの地点・時間帯においても高い値がみられましたが、春季はカエルの鳴き声によるものが、夏季はセミやカエルの鳴き声によるものが含まれていたためです。

表 3-3-2(1) 環境騒音調査結果（春季・夏季）

単位：dB(A)

測定時間	春季				夏季			
	No.1		No.2		No.1		No.2	
	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$
12:00 ～	50	44	48	44	56	55	39	38
13:00 ～	53	46	46	44	56	55	44	40
14:00 ～	49	45	46	45	57	56	43	40
15:00 ～	47	44	45	44	57	56	41	40
16:00 ～	51	47	46	44	57	56	46	40
17:00 ～	50	45	44	41	53	53	46	42
18:00 ～	61	55	51	43	56	55	48	48
19:00 ～	66	67	60	58	54	54	47	47
20:00 ～	65	64	58	58	53	53	49	47
21:00 ～	62	61	58	58	52	52	51	49
22:00 ～	64	64	55	55	52	52	52	50
23:00 ～	59	57	54	53	52	51	54	54
0:00 ～	62	61	54	51	52	51	56	56
1:00 ～	62	62	52	50	52	52	57	57
2:00 ～	57	54	50	48	52	52	56	56
3:00 ～	53	51	48	46	51	50	52	51
4:00 ～	49	47	48	46	56	54	50	49
5:00 ～	49	47	46	44	53	53	48	48
6:00 ～	46	44	44	40	57	56	46	46
7:00 ～	47	44	44	41	59	59	44	43
8:00 ～	53	47	48	46	58	58	42	42
9:00 ～	49	46	47	43	59	58	43	42
10:00 ～	49	46	45	44	56	54	40	39
11:00 ～	51	46	47	45	55	53	40	38
昼間平均	59	49	52	46	56	55	46	43
夜間平均	60	55	52	49	53	52	54	53

※：現在、環境基準は L_{Aeq} で評価するため、 L_{50} は参考値として示した。

表 3-3-2(2) 環境騒音調査結果（秋季・冬季）

単位：dB(A)

測定時間	秋季				冬季			
	No.1		No.2		No.1		No.2	
	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$	L_{Aeq-1h}	$L_{50}^{※}$
12:00 ～	48	48	43	40	49	46	44	41
13:00 ～	48	48	47	45	47	45	44	42
14:00 ～	48	47	46	44	48	45	44	42
15:00 ～	48	47	46	45	47	44	44	41
16:00 ～	47	46	46	44	48	45	44	42
17:00 ～	48	47	43	42	48	43	42	38
18:00 ～	47	46	42	41	44	42	40	36
19:00 ～	47	46	41	40	44	43	40	37
20:00 ～	46	46	43	41	44	42	39	36
21:00 ～	46	46	39	39	43	42	39	37
22:00 ～	46	45	38	38	44	43	37	35
23:00 ～	45	45	36	36	45	42	37	35
0:00 ～	45	45	37	37	42	41	33	33
1:00 ～	45	45	36	36	42	42	35	34
2:00 ～	45	45	37	37	43	42	35	34
3:00 ～	45	45	37	37	42	42	35	34
4:00 ～	45	45	36	36	44	43	38	36
5:00 ～	45	45	39	36	44	43	37	37
6:00 ～	46	45	39	36	45	44	39	38
7:00 ～	48	45	40	37	47	44	42	40
8:00 ～	47	45	40	37	49	46	44	41
9:00 ～	47	45	39	38	49	45	43	41
10:00 ～	45	45	38	36	47	45	44	43
11:00 ～	48	45	42	38	49	46	46	44
昼間平均	47	46	43	40	47	44	43	40
夜間平均	45	45	37	36	43	42	36	35

※：現在、環境基準は L_{Aeq} で評価するため、 L_{50} は参考値として示した。

第4節 環境振動

第1項 調査概要

最終処分場事業の供用に伴う振動の影響を把握するため、最終処分場周辺で環境振動の調査を実施しました。

1-1 調査時期

調査は表 3-4-1 に示したとおり、春季から冬季にかけて 4 回実施しました。
また、測定時間は 24 時間測定としました。

表 3-4-1 調査時期

時 期	調査年月日
春 季	令和 6 年 4 月 15 日～ 16 日
夏 季	令和 6 年 7 月 17 日～ 18 日
秋 季	令和 6 年 10 月 28 日～ 29 日
冬 季	令和 7 年 1 月 29 日～ 30 日

1-2 調査地点

調査地点は前掲の図 3-3-1 に示したとおり、事業実施区域周辺の 2 地点としました。

1-3 調査項目及び調査方法

調査項目は環境振動とし、調査方法は「JIS Z 8735-1981」により実施しました。

第2項 調査結果

振動レベルの調査結果は表 3-4-2 に示したとおり、すべての調査時期、調査地点及び調査時間帯で測定機器の保証最低値（30dB）未満でした。

表 3-4-2 環境振動調査結果

単位：dB(Z)

時 季	地点	No.1	No.2	時 季	地点	No.1	No.2
	測定時間	L_{10}			測定時間	L_{10}	
春 季	12:00 ～	30未満	30未満	秋 季	12:00 ～	30未満	30未満
	13:00 ～	30未満	30未満		13:00 ～	30未満	30未満
	14:00 ～	30未満	30未満		14:00 ～	30未満	30未満
	15:00 ～	30未満	30未満		15:00 ～	30未満	30未満
	16:00 ～	30未満	30未満		16:00 ～	30未満	30未満
	17:00 ～	30未満	30未満		17:00 ～	30未満	30未満
	18:00 ～	30未満	30未満		18:00 ～	30未満	30未満
	19:00 ～	30未満	30未満		19:00 ～	30未満	30未満
	20:00 ～	30未満	30未満		20:00 ～	30未満	30未満
	21:00 ～	30未満	30未満		21:00 ～	30未満	30未満
	22:00 ～	30未満	30未満		22:00 ～	30未満	30未満
	23:00 ～	30未満	30未満		23:00 ～	30未満	30未満
	0:00 ～	30未満	30未満		0:00 ～	30未満	30未満
	1:00 ～	30未満	30未満		1:00 ～	30未満	30未満
	2:00 ～	30未満	30未満		2:00 ～	30未満	30未満
	3:00 ～	30未満	30未満		3:00 ～	30未満	30未満
	4:00 ～	30未満	30未満		4:00 ～	30未満	30未満
	5:00 ～	30未満	30未満		5:00 ～	30未満	30未満
	6:00 ～	30未満	30未満		6:00 ～	30未満	30未満
	7:00 ～	30未満	30未満		7:00 ～	30未満	30未満
	8:00 ～	30未満	30未満		8:00 ～	30未満	30未満
	9:00 ～	30未満	30未満		9:00 ～	30未満	30未満
	10:00 ～	30未満	30未満		10:00 ～	30未満	30未満
	11:00 ～	30未満	30未満		11:00 ～	30未満	30未満
夏 季	12:00 ～	30未満	30未満	冬 季	12:00 ～	30未満	30未満
	13:00 ～	30未満	30未満		13:00 ～	30未満	30未満
	14:00 ～	30未満	30未満		14:00 ～	30未満	30未満
	15:00 ～	30未満	30未満		15:00 ～	30未満	30未満
	16:00 ～	30未満	30未満		16:00 ～	30未満	30未満
	17:00 ～	30未満	30未満		17:00 ～	30未満	30未満
	18:00 ～	30未満	30未満		18:00 ～	30未満	30未満
	19:00 ～	30未満	30未満		19:00 ～	30未満	30未満
	20:00 ～	30未満	30未満		20:00 ～	30未満	30未満
	21:00 ～	30未満	30未満		21:00 ～	30未満	30未満
	22:00 ～	30未満	30未満		22:00 ～	30未満	30未満
	23:00 ～	30未満	30未満		23:00 ～	30未満	30未満
	0:00 ～	30未満	30未満		0:00 ～	30未満	30未満
	1:00 ～	30未満	30未満		1:00 ～	30未満	30未満
	2:00 ～	30未満	30未満		2:00 ～	30未満	30未満
	3:00 ～	30未満	30未満		3:00 ～	30未満	30未満
	4:00 ～	30未満	30未満		4:00 ～	30未満	30未満
	5:00 ～	30未満	30未満		5:00 ～	30未満	30未満
	6:00 ～	30未満	30未満		6:00 ～	30未満	30未満
	7:00 ～	30未満	30未満		7:00 ～	30未満	30未満
	8:00 ～	30未満	30未満		8:00 ～	30未満	30未満
	9:00 ～	30未満	30未満		9:00 ～	30未満	30未満
	10:00 ～	30未満	30未満		10:00 ～	30未満	30未満
	11:00 ～	30未満	30未満		11:00 ～	30未満	30未満

注：調査地点は前掲の図 3-3-1 参照

第5節 河川水の水質

第1項 調査概要

浸出処理水の放流先河川である天白川の水質の状況を把握するため、調査を実施しました。

1-1 調査地点

調査地点は図 3-5-1 に示したとおり、最終処分場処理水の放流河川である天白川において4地点（No.1～4）を設定しました。

1-2 調査時期

調査のうち、生活環境項目等についてはNo.1、2、4で4月から3月まで毎月1回の計12回、No.3で各季1回の計4回実施しました。健康項目等についてはNo.1、2、4で各季1回の計4回実施しました。

また、環境ホルモンのうち、ダイオキシン類についてはNo.1、2、3、4で夏季・冬季に各1回、その他の項目はNo.1、2、4で冬季に1回実施しました。

調査年月日・調査項目及び調査地点は表 3-5-1 に示したとおりです。

表 3-5-1 調査年月日・調査項目及び調査地点

調査年月日		調査項目			
		生活環境項目等	健康項目等	環境ホルモン	
				ダイオキシン類	その他の項目
令和5年	4月 11日	No.1、2、4	No.1、2、4	—	—
	5月 17日	No.1、2、3、4	—	—	—
	6月 5日	No.1、2、4	—	—	—
	7月 5日	No.1、2、4	No.1、2、4	No.1、2、3、4	—
	8月 9日	No.1、2、3、4	—	—	—
	9月 18日	No.1、2、4	—	—	—
	10月 1日	No.1、2、4	No.1、2、4	—	—
	11月 6日	No.1、2、3、4	—	—	—
	12月 4日	No.1、2、4	—	—	—
令和6年	1月 17日	No.1、2、4	No.1、2、4	No.1、2、3、4	No.1、2、4
	2月 14日	No.1、2、3、4	—	—	—
	3月 14日	No.1、2、4	—	—	—



図 3-5-1 河川水調査地点

1-3 調査項目及び分析方法

調査項目は外観、気温、水温、流量の他、水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）等の生活環境項目等6項目、カドミウム、鉛等の健康項目等15項目及びダイオキシン類を含む環境ホルモン8項目について調査を行いました。

調査項目及び分析方法は表3-5-2に示したとおりです。

表 3-5-2 調査項目及び分析方法

項 目		分析方法
外 観		JIS K 0102 8
気 温		JIS K 0102 7.1
水 温		JIS K 0102 7.2
流 量		JIS K 0094 8
生活環境項目等	水素イオン濃度（pH）	JIS K 0102 12.1
	生物化学的酸素要求量（BOD）	JIS K 0102 21 及び 32.3
	化学的酸素要求量（COD）	JIS K 0102 17
	浮遊物質（SS）	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 9
	全窒素（T-N）	JIS K 0102 45.6
	全 磷（T-P）	JIS K 0102 46.3.4
健康項目等	カドミウム	JIS K 0102 55.4
	鉛	JIS K 0102 54.4
	砒 素	JIS K 0102 61.4
	フェノール類	JIS K 0102 28.1
	銅	JIS K 0102 52.5
	亜 鉛	JIS K 0102 53.4
	溶解性鉄	JIS K 0102 57.4
	溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4
	クロム含有量	JIS K 0102 65.1.5
	ふっ素	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 7
	n-ヘキサン抽出物質	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 14
	大腸菌数(CFU)	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 10
	1,4-ジオキサン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 8
	硫酸イオン	JIS K 0102 41.3
	硬度	JIS K 0101 15.1.3
環境ホルモン	ダイオキシン類	JIS K 0312 (2020)
	ビスフェノールA	「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」（平成 10 年 10 月）に準拠
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
	フタル酸ジ-n-ブチル	
	フタル酸ブチルベンジル	
	フタル酸ジシクロヘキシル	
	フタル酸ジエチル	
	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	

第2項 調査結果

2-1 生活環境項目等、健康項目等

調査結果のうち、主な項目について表 3-5-3 に示しました。調査結果の詳細は表 3-5-4 に示したとおりです。

天白川には、河川の環境基準の類型指定はありませんが、農業用水として利水されていることから、図 3-5-2～4 に示したとおり主な項目について農業用水基準と比較しました。

その結果、pH は、No.1、No.2 では 12 回のうち 5 回が、No.3 では 4 回のうち 3 回が、No.4 では 12 回のうち 10 回の調査日で基準値を上回る状況でした。T-N は、4 地点とも全ての調査月において基準値を上回る状況でした。その他の項目については、全て同基準を下回っていました。

表 3-5-3 主な項目の調査結果

	単位	No.1	No.2	No.3(内山町地内)	No.4(八王子町地内)
pH	—	7.5(7.4～7.7)	7.5(7.4～7.8)	7.7(7.5～7.8)	7.6(7.5～7.7)
BOD	mg/L	0.6(<0.5～0.8)	0.6(<0.5～1.0)	0.7(<0.5～1.1)	0.7(<0.5～0.8)
COD	mg/L	1.9(1.5～2.6)	2.0(1.5～2.6)	2.8(2.5～3.3)	2.9(2.3～3.7)
SS	mg/L	1.5(<1.0～4.6)	1.4(<1.0～3.8)	2.3(<1.0～4.2)	1.4(<1.0～2.4)
T-N	mg/L	7.6(6.2～9.8)	7.3(5.8～9.4)	7.9(6.1～12)	5.3(4.1～7.8)
T-P	mg/L	0.028 (0.017～0.045)	0.026 (0.015～0.043)	0.034 (0.023～0.047)	0.037 (0.026～0.047)

注1：表中の数字は「平均値（最小値～最大値）」を示す。

注2：No.3 は春季（5 月）・夏季（8 月）・秋季（11 月）・冬季（2 月）の結果。

表 3-5-4(1) 水質調査結果 (No.1)

項目名		単位	4月11日	5月17日	6月5日	7月5日	8月9日	9月18日	10月1日	11月6日	12月4日	1月17日	2月14日	3月14日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	淡黄色	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	15.0	21.2	23.1	32.5	34.2	31.0	27.6	18.9	13.5	7.3	8.5	14.2	
水温		℃	15.8	17.9	18.3	20.0	22.0	20.0	19.8	18.0	15.2	11.3	7.2	13.0	
流量		m ³ /分	1.3	1.8	3.0	2.3	2.6	2.2	2.5	2.8	1.5	2.3	1.1	1.4	
生活環境項目等	p H		7.7	7.6	7.5	7.4	7.4	7.4	7.6	7.6	7.6	7.5	7.5	7.5	6.0～7.5
	B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	0.8	0.7	0.7	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	
	C O D	mg/L	1.8	2.1	1.6	1.8	1.7	2.0	2.0	2.6	1.6	2.1	1.5	2.4	6mg/L以下
	S S	mg/L	1.7	<1.0	<1.0	2.3	4.6	<1.0	1.6	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	100mg/L以下
	T-N	mg/L	6.8	7.7	9.8	7.5	8.0	7.7	6.3	6.2	7.3	7.9	8.7	7.4	1mg/L以下
	T-P	mg/L	0.022	0.038	0.034	0.029	0.045	0.026	0.028	0.019	0.018	0.028	0.017	0.029	
健康項目等	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	
	鉛	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	砒素	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	0.05mg/L以下
	フェノール類	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	
	銅	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
	亜鉛	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.5mg/L以下
	溶解性鉄	mg/L	0.07	—	—	0.03	—	—	0.16	—	—	0.08	—	—	
	溶解性マンガン	mg/L	0.14	—	—	0.12	—	—	0.11	—	—	0.09	—	—	
	クロム含有量	mg/L	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	
	ふっ素	mg/L	0.51	—	—	0.24	—	—	0.79	—	—	0.85	—	—	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	
	大腸菌数(CFU)	CFU/100mL	30	—	—	43	—	—	6	—	—	29	—	—	
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	硫酸イオン	mg/L	420	—	—	150	—	—	450	—	—	560	—	—	
	硬度	mg/L	330	—	—	180	—	—	340	—	—	400	—	—	

注：表中の「—」は調査を実施していないことを示す。

表 3-5-4(2) 水質調査結果 (No.2)

項目名		単位	4月11日	5月17日	6月5日	7月5日	8月9日	9月18日	10月1日	11月6日	12月4日	1月17日	2月14日	3月14日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	14.9	19.8	23.1	32.5	34.2	31.0	27.6	18.9	13.5	6.1	8.5	12.4	
水温		℃	15.5	19.2	18.5	22.0	22.5	20.0	20.2	17.9	15.0	10.7	6.5	12.1	
流量		m ³ /分	1.7	2.6	3.0	3.9	3.1	2.7	3.8	3.2	2.8	2.4	1.7	1.5	
生活環境項目等	p H		7.6	7.8	7.5	7.4	7.5	7.4	7.6	7.5	7.6	7.5	7.4	7.6	6.0～7.5
	B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5	1.0	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	
	C O D	mg/L	1.9	2.3	1.5	2.4	1.8	1.8	2.1	2.5	1.7	2.6	1.6	2.0	6mg/L以下
	S S	mg/L	1.9	<1.0	<1.0	1.9	3.8	<1.0	1.3	<1.0	<1.0	<1.0	1.1	<1.0	100mg/L以下
	T－N	mg/L	6.4	7.1	9.4	6.5	8.0	7.2	5.8	6.1	6.9	8.6	8.3	7.4	1mg/L以下
	T－P	mg/L	0.015	0.043	0.032	0.030	0.043	0.027	0.028	0.017	0.018	0.021	0.019	0.021	
健康項目等	カドミウム	mg/L	<0.0003	－	－	<0.0003	－	－	<0.0003	－	－	<0.0003	－	－	
	鉛	mg/L	<0.005	－	－	<0.005	－	－	<0.005	－	－	<0.005	－	－	
	砒素	mg/L	<0.005	－	－	<0.005	－	－	<0.005	－	－	<0.005	－	－	0.05mg/L以下
	フェノール類	mg/L	<0.01	－	－	<0.01	－	－	<0.01	－	－	<0.01	－	－	
	銅	mg/L	<0.01	－	－	<0.01	－	－	<0.01	－	－	<0.01	－	－	0.02mg/L以下
	亜鉛	mg/L	<0.01	－	－	<0.01	－	－	<0.01	－	－	<0.01	－	－	0.5mg/L以下
	溶解性鉄	mg/L	0.10	－	－	0.05	－	－	0.16	－	－	0.09	－	－	
	溶解性マンガン	mg/L	0.13	－	－	0.11	－	－	0.10	－	－	0.08	－	－	
	クロム含有量	mg/L	<0.02	－	－	<0.02	－	－	<0.02	－	－	<0.02	－	－	
	ふっ素	mg/L	0.44	－	－	0.39	－	－	0.77	－	－	0.78	－	－	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	－	－	検出せず (<0.5)	－	－	検出せず (<0.5)	－	－	検出せず (<0.5)	－	－	
	大腸菌数(CFU)	CFU/100mL	41	－	－	43	－	－	61	－	－	39	－	－	
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	－	－	<0.005	－	－	<0.005	－	－	<0.005	－	－	
	硫酸イオン	mg/L	270	－	－	230	－	－	500	－	－	410	－	－	
	硬度	mg/L	240	－	－	210	－	－	370	－	－	330	－	－	

注：表中の「－」は調査を実施していないことを示す。

表 3-5-4 (3) 水質調査結果 (No.3)

項目名		単位	5月17日	8月9日	11月6日	2月14日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	22.3	32.3	18.3	10.0	
水温		℃	18.3	24.6	18.0	8.3	
流量		m ³ /分	2.4	3.8	4.0	1.9	
生活環境項目等	p H		7.8	7.7	7.7	7.5	6.0~7.5
	B O D	mg/L	<0.5	0.7	<0.5	1.1	
	C O D	mg/L	2.8	2.6	3.3	2.5	6mg/L以下
	S S	mg/L	<1.0	3.0	<1.0	4.2	100mg/L以下
	T - N	mg/L	6.1	7.0	6.6	12.0	1mg/L以下
	T - P	mg/L	0.037	0.047	0.023	0.029	

表 3-5-4(4) 水質調査結果 (No.4)

項目名		単位	4月11日	5月17日	6月5日	7月5日	8月9日	9月18日	10月1日	11月6日	12月4日	1月17日	2月14日	3月14日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	17.2	21.2	23.6	32.9	32.3	33.0	29.1	18.3	14.0	8.5	10.0	15.4	
水温		℃	14.0	16.6	19.0	22.2	24.2	24.2	21.9	17.0	12.6	8.5	8.1	11.2	
流量		m ³ /分	3.0	1.9	2.1	8.9	5.3	6.4	6.1	7.0	5.8	4.4	5.2	3.3	
生活環境項目等	p H		7.7	7.7	7.5	7.6	7.7	7.6	7.7	7.7	7.7	7.7	7.5	7.6	6.0～7.5
	B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.8	0.6	<0.5	<0.5	0.8	<0.5	0.7	<0.5	
	C O D	mg/L	2.9	3.2	2.8	3.1	3.7	3.1	2.9	3.2	2.5	2.6	2.3	2.4	6mg/L以下
	S S	mg/L	1.5	<1.0	<1.0	1.9	2.4	1.7	2.2	1.2	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	100mg/L以下
	T-N	mg/L	4.1	4.4	5.6	4.2	4.8	4.8	4.9	4.8	5.7	6.9	7.8	6.1	1mg/L以下
	T-P	mg/L	0.038	0.041	0.037	0.038	0.047	0.039	0.041	0.033	0.034	0.026	0.032	0.032	
健康項目等	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	
	鉛	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	砒素	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	0.05mg/L以下
	フェノール類	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	
	銅	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
	亜鉛	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.5mg/L以下
	溶解性鉄	mg/L	0.13	—	—	0.12	—	—	0.11	—	—	0.08	—	—	
	溶解性マンガン	mg/L	0.13	—	—	0.13	—	—	0.08	—	—	0.13	—	—	
	クロム含有量	mg/L	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	
	ふっ素	mg/L	0.16	—	—	0.17	—	—	0.29	—	—	0.28	—	—	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	
	大腸菌数(CFU)	CFU/100mL	5300	—	—	230	—	—	60	—	—	76	—	—	
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	硫酸イオン	mg/L	100	—	—	89	—	—	180	—	—	190	—	—	
	硬度	mg/L	120	—	—	110	—	—	170	—	—	180	—	—	

注：表中の「—」は調査を実施していないことを示す。

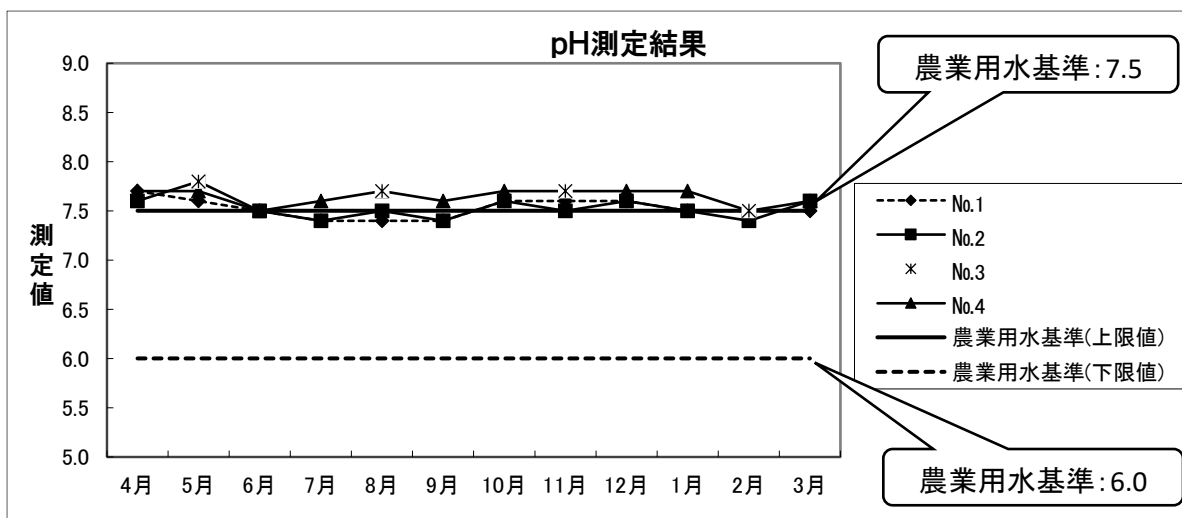


図 3-5-2 水質調査結果 (pH)

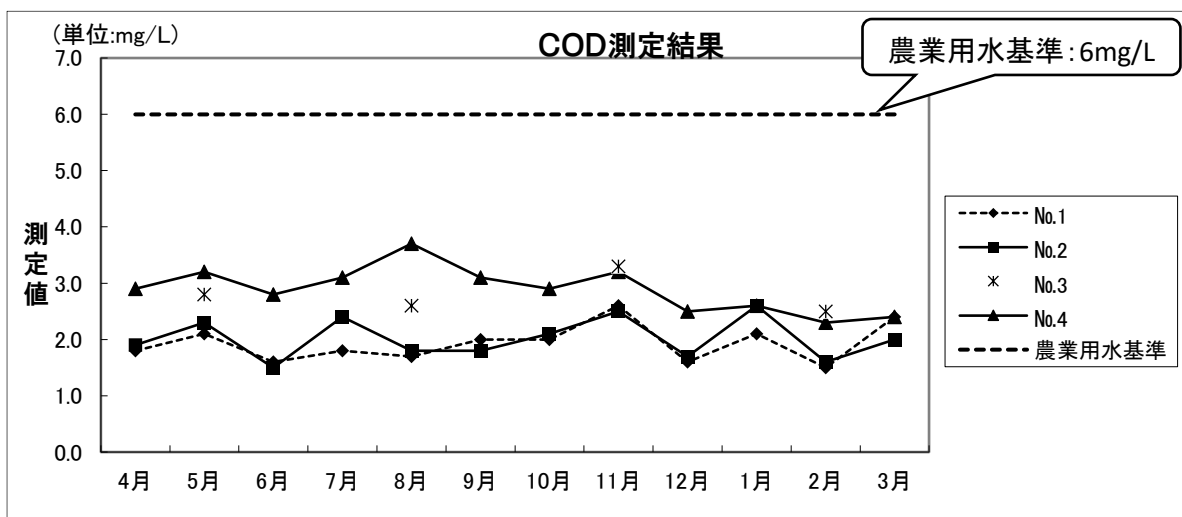


図 3-5-3 水質調査結果 (COD)

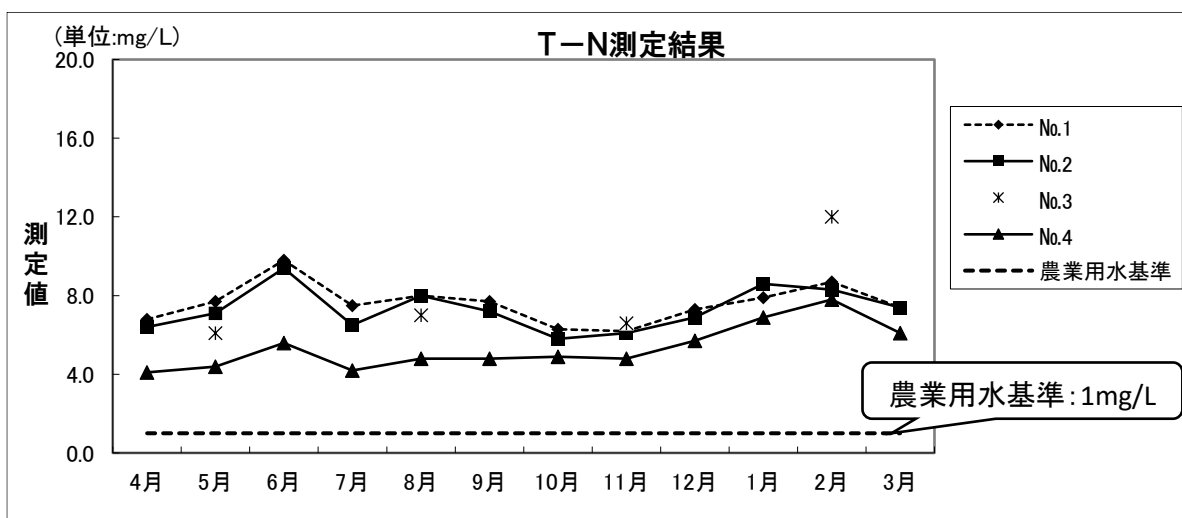


図 3-5-4 水質調査結果 (T-N)

2-2 環境ホルモン

環境ホルモンの調査結果は表 3-5-5 に示したとおりです。

環境ホルモンのうち、ダイオキシン類は 0.058～0.13pg-TEQ/L の範囲でした。2 季の調査結果の平均値（年平均値）は、No.1 では 0.077pg-TEQ/L、No.2 では 0.085pg-TEQ/L、No.3 では 0.095pg-TEQ/L、No.4 では 0.084pg-TEQ/L であり、平成 12 年 1 月から施行されたダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚染に係る環境基準（1pg-TEQ/L 以下：年間平均値）を満足していました。

ダイオキシン類以外の環境ホルモンでは、ビスフェノール A が No.4 で $0.01 \mu\text{g/L}$ と検出されましたが、その他の項目は全て定量下限値未満でした。

表 3-5-5 環境ホルモン調査結果

（ダイオキシン類単位：pg-TEQ/L、その他項目単位： $\mu\text{g/L}$ ）

地点・調査時期 測定項目	No.1		No.2		No.3		No.4	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季
ダイオキシン類	0.083	0.071	0.10	0.069	0.13	0.060	0.11	0.058
（年平均値）	0.077		0.085		0.095		0.084	
ビスフェノール A	—	<0.01	—	<0.01	—	—	—	0.01
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	—	<0.5	—	<0.5	—	—	—	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	—	<0.5	—	<0.5	—	—	—	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	—	<0.2	—	<0.2	—	—	—	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	—	<0.2	—	<0.2	—	—	—	<0.2
フタル酸ジエチル	—	<0.2	—	<0.2	—	—	—	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	—	<0.01	—	<0.01	—	—	—	<0.01

注：ダイオキシン類の毒性等量（TEQ）は、「ダイオキシン類対策特別措置法」H11.7.12（環境庁）に基づき算出した。（検出下限値以上の値はそのまま用い、検出下限値未満の値はその 1/2 を用いて算出した。）

河川中の環境ホルモンについて、今回の調査結果と昨年度（令和 5 年度）の調査結果との比較を表 3-5-6 に示しました。

その結果、全ての項目で昨年度と同程度の値又は定量下限値未満でした。

また、今回の調査結果を三重県が実施している調査結果と比較すると、表 3-5-7 に示したとおり、いずれの項目も三重県の調査結果の範囲内又は定量下限値未満でした。

表 3-5-6 昨年度（令和 5 年度）調査結果との比較

物質名	単 位	令和 6 年度の 事後調査結果	令和 5 年度の 事後調査結果
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.077～0.095	0.067～0.10
ビスフェノール A	μ g/L	<0.01～0.01	<0.01～0.02
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μ g/L	<0.5	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	μ g/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μ g/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μ g/L	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.01	<0.01

注：各地点の出現範囲。ダイオキシン類は各地点 2 季の算術平均の出現範囲。

表 3-5-7 三重県が実施した調査結果との比較

物質名	単 位	今年度の 事後調査結果※ ¹	三重県が実施した 調査結果の範囲
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.077～0.095	0.049～2.4※ ² (n=52)
ビスフェノール A	μ g/L	<0.01～0.01	<0.01～0.04※ ³ (n=9)
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.5	<0.5～0.9※ ³ (n=9)
フタル酸ジ-n-ブチル	μ g/L	<0.5	<0.5～0.6※ ³ (n=9)
フタル酸ブチルベンジル	μ g/L	<0.2	—
フタル酸ジシクロヘキシル	μ g/L	<0.2	—
フタル酸ジエチル	μ g/L	<0.2	—
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.01	—

※¹：各地点の出現範囲。ダイオキシン類は各地点 2 季の算術平均の出現範囲。

※²：「令和 4 年度のダイオキシン類環境調査等結果」（三重県環境生活部大気・水環境課、令和 5 年 12 月 21 日）

※³：「平成 17 年版環境白書（三重県）」（以降最新データなし）

第 6 節 地下水の水質

第 1 項 地下水（モニター井戸）

1-1 調査概要

最終処分場既設事業の供用を受け、同施設周辺の地下水の状況を把握するため、既設事業範囲内のモニター井戸 3 地点（No.A、No.B、No.C）において調査を実施しました。また、最終処分場増設事業の供用を受け、同施設周辺の地下水の状況を把握するため、増設事業範囲内のモニター井戸 2 地点（No.D、No.E）において調査を実施しました。

1-1-1 調査時期

既設事業範囲内のモニター井戸 3 地点の調査は表 3-6-1 に示したとおり毎月実施しました。増設事業範囲内のモニター井戸 2 地点の調査は、表 3-6-1 に示した調査日のうち、施設供用後の令和 7 年 1 月以降、毎月実施しました。

また、環境基準項目と環境ホルモン（ダイオキシン類を含む）については、冬季（1 月）に 1 回実施しました。

表 3-6-1 調査時期

調査年月日
令和 6 年 4 月 25 日
令和 6 年 5 月 14 日
令和 6 年 6 月 12 日
令和 6 年 7 月 18 日
令和 6 年 8 月 7 日
令和 6 年 9 月 11 日
令和 6 年 10 月 8 日
令和 6 年 11 月 13 日
令和 6 年 12 月 10 日
令和 7 年 1 月 8 日
令和 7 年 2 月 5 日
令和 7 年 3 月 12 日

1-1-2 調査地点

調査地点は、図 3-6-1 に示したモニター井戸No.A、No.B、No.C、No.D、No.E の 5 地点としました。

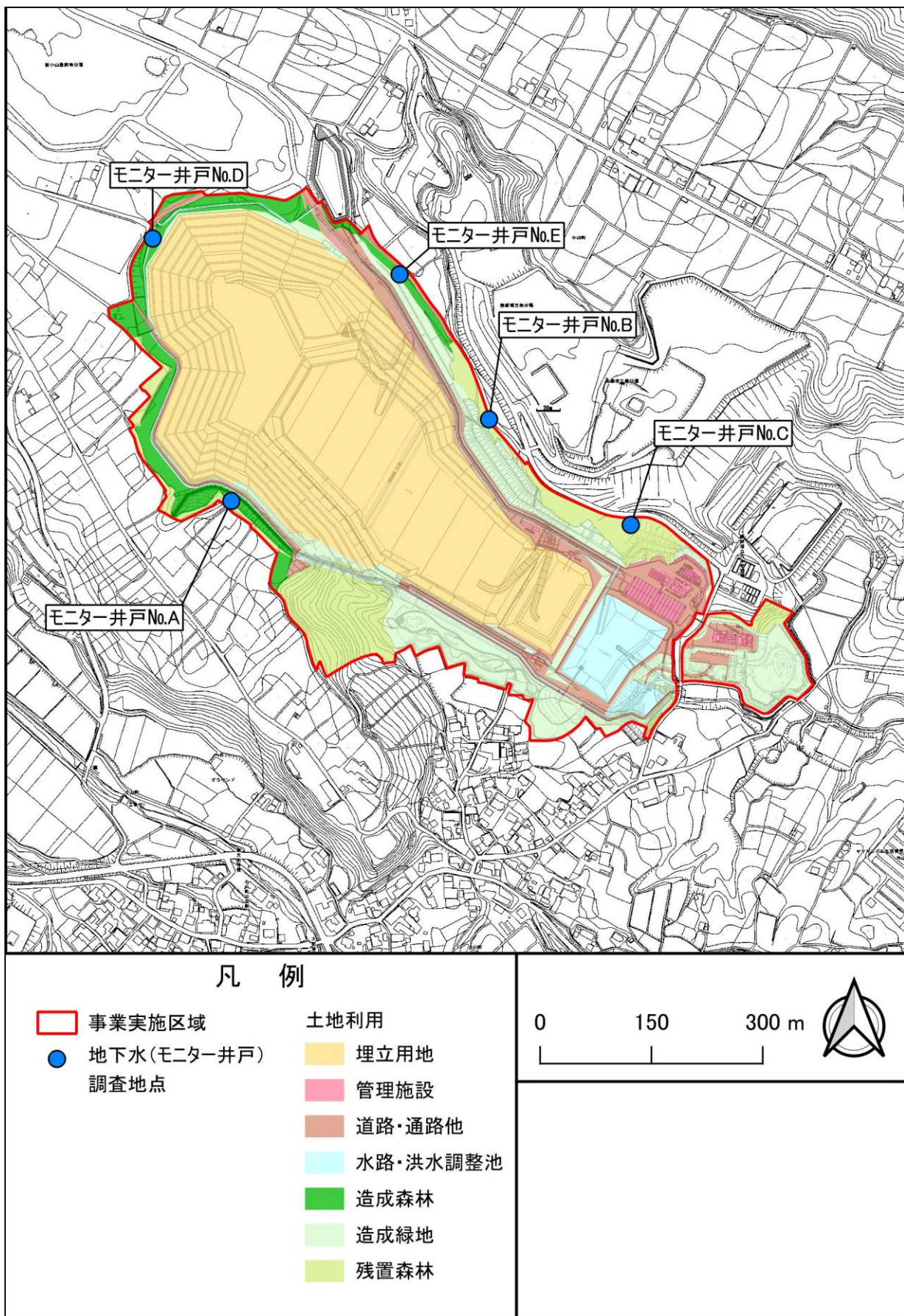


図 3-6-1 地下水（モニター井戸）調査地点

1-1-3 調査項目及び分析方法

調査項目は外観、水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）等の生活環境項目等 19 項目、カドミウム、全シアン等の環境基準項目 28 項目及びダイオキシン類を含む環境ホルモン 8 項目について調査を行いました。

調査項目及び分析方法は表 3-6-2 に示したとおりです。

表 3-6-2(1) 調査項目及び分析方法

	項 目	分析方法
生活環境項目等	外 観	JIS K 0102 8
	水素イオン濃度（pH）	JIS K 0102 12.1
	生物化学的酸素要求量（BOD）	JIS K 0102 21 及び 32.3
	化学的酸素要求量（COD）	JIS K 0102 17
	浮遊物質（SS）	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 9
	n-ヘキサン抽出物質	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 14
	大腸菌数(CFU)	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 10
	全窒素（T-N）	JIS K 0102 45.6
	全 磷（T-P）	JIS K 0102 46.3.4
	電気伝導率	JIS K 0102 13
	硫酸イオン	JIS K 0102 41.3
	硬 度	JIS K 0101 15.1.3
	フェノール類	JIS K 0102 28.1
	銅	JIS K 0102 52.5
	亜 鉛	JIS K 0102 53.4
	溶解性鉄	JIS K 0102 57.4
	溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4
	クロム含有量	JIS K 0102 65.1.5
	塩化物イオン	JIS K 0102 35.1

表 3-6-2(2) 調査項目及び分析方法

	項 目	分析方法
環境基準項目	カドミウム	JIS K 0102 55.4
	全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.5
	鉛	JIS K 0102 54.4
	六価クロム	JIS K 0102 65.2.5
	砒 素	JIS K 0102 61.4
	総水銀	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 2
	アルキル水銀	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 3
	P C B	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 4
	ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
	四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
	クロロエチレン	平成 9 年環境庁告示第 10 号付表
	1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
	チウラム	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 5
	シマジン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6 第 1
	チオベンカルブ	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6 第 1
	ベンゼン	JIS K 0125 5.2
	セレン	JIS K 0102 67.4
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	JIS K 0102 43
	ほう素	JIS K 0102 47.4
	1,4-ジオキサン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 8
	ふっ素	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 7
環境ホルモン	ダイオキシン類	JIS K 0312 (2020)
	ビスフェノール A	「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」(平成 10 年 10 月)に準拠
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
	フタル酸ジ-n-ブチル	
	フタル酸ブチルベンジル	
	フタル酸ジシクロヘキシル	
	フタル酸ジエチル	
	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	

1-2 調査結果

1-2-1 生活環境項目等、環境基準項目

調査結果のうち、主な項目については表 3-6-3 に示しました。調査結果の詳細は表 3-6-4～8 に示したとおりです。

その結果、既設事業範囲内のモニター井戸 3 地点について表 3-6-3(1)に示したとおり、例年から大きな変化はなく推移しています。

また、増設事業範囲内のモニター井戸 2 地点について表 3-6-3(2)に示したとおり、既設のモニター井戸の数値と同程度の値を示しています。

環境基準項目については、いずれも基準値を下回る値又は定量下限値未満の値でした。

表 3-6-3(1) 主な項目の調査結果（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

項 目	単 位	No.A	No.B	No.C
外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明
気 温	℃	19.9 (3.6～32.0)	19.7 (4.4～31.7)	20.6 (4.4～32.0)
水 温	℃	16.4 (14.9～18.0)	18.7 (17.1～19.5)	17.9 (15.5～19.0)
p H	—	5.9 (5.8～6.1)	5.9 (5.7～6.1)	6.0 (5.9～6.1)
B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5
C O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5
S S	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0
T－N	mg/L	4.6 (4.1～5.4)	5.0 (4.6～5.9)	5.5 (5.1～6.3)
T－P	mg/L	0.007 (0.005～0.009)	0.004 (<0.003～0.006)	0.004 (<0.003～0.006)
電気伝導率	mS/m	12 (10～14)	26 (19～34)	35 (29～39)
塩化物イオン	mg/L	9.3 (7.8～11)	31 (18～47)	37 (26～45)

注：値は「平均値（最小値～最大値）」

表 3-6-3(2) 主な項目の調査結果（令和 7 年 1 月～令和 7 年 3 月）

項 目	単 位	No.D	No.E
外 観	—	殆ど透明	殆ど透明
気 温	℃	7.7 (3.6～12.0)	8.0 (4.4～12.1)
水 温	℃	15.3 (15.2～15.4)	16.2 (16.0～16.5)
p H	—	6.3 (6.2～6.3)	6.1 (6.0～6.1)
B O D	mg/L	<0.5	<0.5
C O D	mg/L	<0.5	<0.5
S S	mg/L	<1.0	<1.0
T－N	mg/L	6.2 (5.9～6.3)	5.2 (5.1～5.3)
T－P	mg/L	0.005 (0.004～0.006)	0.009 (0.008～0.010)
電気伝導率	mS/m	7.9 (6.4～9.7)	15 (15～15)
塩化物イオン	mg/L	6.4 (5.6～7.2)	6.4 (5.6～7.2)

注：値は「平均値（最小値～最大値）」

1-2-2 環境ホルモン

環境ホルモンのうち、ダイオキシン類については表 3-6-9 に、その他の項目については表 3-6-10 に示したとおりです。

ダイオキシン類は 0.050～0.055pg-TEQ/L であり、平成 12 年 1 月から施行されたダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚染に係る環境基準（1pg-TEQ/L 以下：年間平均値）を満足していました。

その他の環境ホルモンでは、全ての項目が定量下限値未満でした。

なお、ダイオキシン類について、今回の調査結果と昨年度（令和 5 年度）の調査結果を比較すると、表 3-6-11 に示したとおり、各地点とも昨年度と同程度の値でした。

また、三重県が実施した調査結果との比較では、表 3-6-12 に示したとおり、三重県の調査結果の範囲内でした。

表 3-6-4(1) 地下水調査結果 (No.A)

項 目		単 位	4月25日	5月14日	6月12日	7月18日	8月7日	9月11日	10月8日	11月13日	12月10日	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
生活環境項目等	天 候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	19.7	21.5	26.5	32.0	32.0	29.5	24.5	20.1	10.2	7.5	3.6	12.0	—
	水 温	℃	17.0	17.3	18.0	16.9	15.1	15.8	14.9	17.0	16.8	16.1	16.0	16.4	—
	p H	—	5.9	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.0	5.8	5.9	5.8	5.8	5.9	—
	B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	C O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	S S	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	—
	n－ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
	T－N	mg/L	4.8	4.6	4.7	4.7	4.6	5.4	4.4	4.3	4.7	4.6	4.4	4.1	—
	T－P	mg/L	0.006	0.009	0.008	0.009	0.006	0.007	0.008	0.005	0.007	0.007	0.005	0.006	—
	硬 度	mg/L	38	38	34	64	34	34	34	36	37	35	35	36	—
	電気伝導率	mS/m	11	11	13	11	11	10	11	13	14	11	11	11	—
	硫酸イオン	mg/L	12	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	—
	大腸菌数 (CFU)	CFU/100mL	<1	<1	<1	<1	<1	1	3	9	<1	<1	<1	—	—
	塩化物イオン	mg/L	9.6	9.2	9.5	10	7.8	8.3	11	9.3	9.7	8.1	8.6	10	—

表 3-6-4(2) 地下水調査結果 (No.A)

項 目		単 位	4月25日	5月14日	6月12日	7月18日	8月7日	9月11日	10月8日	11月13日	12月10日	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	—	—	10mg/L以下
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	1mg/L以下
	カドミウム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	全シアン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	六価クロム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
	砒 素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	総水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005mg/L以下
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	クロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004mg/L以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.1mg/L以下
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	0.04mg/L以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	1mg/L以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01mg/L以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.01mg/L以下
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.05mg/L以下

注 1：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成 9 年 3 月 13 日、環境庁告示第 10 号）

表 3-6-5(1) 地下水調査結果 (No.B)

項 目		単 位	4月25日	5月14日	6月12日	7月18日	8月7日	9月11日	10月8日	11月13日	12月10日	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
生活環境項目等	天 候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	19.1	19.0	25.7	30.8	31.7	29.5	23.8	20.1	11.0	8.8	4.4	12.1	—
	水 温	℃	19.5	19.5	19.4	18.6	17.1	18.0	17.1	19.4	19.0	18.6	18.9	19.5	—
	p H	—	5.9	5.8	5.9	5.9	6.0	6.1	6.0	5.8	5.8	5.7	5.7	5.9	—
	B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	C O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	S S	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	—
	n－ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
	T－N	mg/L	5.1	4.9	4.9	5.0	4.9	5.9	4.8	4.6	4.9	4.8	4.9	4.7	—
	T－P	mg/L	<0.003	0.006	0.004	0.004	<0.003	<0.003	0.004	<0.003	0.004	0.003	<0.003	0.003	—
	硬 度	mg/L	42	40	37	32	31	30	36	45	53	55	58	63	—
	電気伝導率	mS/m	24	24	23	19	19	19	23	30	33	31	33	34	—
	硫酸イオン	mg/L	44	43	41	37	37	33	33	40	46	51	56	59	—
	大腸菌数 (CFU)	CFU/100mL	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—
	塩化物イオン	mg/L	30	25	23	19	18	22	30	35	40	42	45	47	—

表 3-6-5(2) 地下水調査結果 (No.B)

項 目		単 位	4月25日	5月14日	6月12日	7月18日	8月7日	9月11日	10月8日	11月13日	12月10日	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	—	—	10mg/L以下
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	—	—	1mg/L以下
	カドミウム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	全シアン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	六価クロム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
	砒 素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	総水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005mg/L以下
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	クロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004mg/L以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.1mg/L以下
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	0.04mg/L以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	1mg/L以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01mg/L以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.01mg/L以下
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.05mg/L以下

注 1：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成 9 年 3 月 13 日、環境庁告示第 10 号）

表 3-6-6(1) 地下水調査結果 (No.C)

項 目		単 位	4月25日	5月14日	6月12日	7月18日	8月7日	9月11日	10月8日	11月13日	12月10日	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
生活環境項目等	天 候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	20.3	21.5	26.5	32.0	32.0	30.4	24.5	21.4	12.8	8.8	4.4	12.1	—
	水 温	℃	19.0	18.9	19.0	18.2	16.8	17.6	15.5	18.0	17.9	17.6	17.4	18.3	—
	p H	—	6.0	6.0	6.0	6.0	6.1	6.1	6.1	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	—
	B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	C O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	S S	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	—
	n－ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
	T－N	mg/L	5.7	5.4	5.6	5.5	5.7	6.3	5.5	5.1	5.3	5.2	5.4	5.3	—
	T－P	mg/L	<0.003	0.006	0.004	0.004	0.004	0.003	0.004	0.005	0.004	0.004	<0.003	0.004	—
	硬 度	mg/L	71	71	80	110	100	92	98	99	95	90	78	84	—
	電気伝導率	mS/m	29	30	33	38	38	36	37	39	39	33	33	32	—
	硫酸イオン	mg/L	57	58	65	86	82	79	70	64	64	68	62	62	—
	大腸菌数 (CFU)	CFU/100mL	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—
	塩化物イオン	mg/L	27	26	29	38	39	43	44	45	43	39	34	35	—

表 3-6-6(2) 地下水調査結果 (No.C)

項 目		単 位	4月25日	5月14日	6月12日	7月18日	8月7日	9月11日	10月8日	11月13日	12月10日	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	10mg/L以下
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.03	—	—	1mg/L以下
	カドミウム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	全シアン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	六価クロム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
	砒 素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	総水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005mg/L以下
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	クロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004mg/L以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.1mg/L以下
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	0.04mg/L以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	1mg/L以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01mg/L以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.01mg/L以下
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.05mg/L以下

注 1：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成 9 年 3 月 13 日、環境庁告示第 10 号）

表 3-6-7 地下水調査結果 (No.D)

項 目		単 位	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
生活環境項目等	天 候	—	晴	晴	曇	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	7.5	3.6	12.0	—
	水 温	℃	15.2	15.2	15.4	—
	p H	—	6.2	6.3	6.3	—
	B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	—
	C O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	—
	S S	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	—
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	—
	T-N	mg/L	6.3	6.3	5.9	—
	T-P	mg/L	0.006	0.004	0.006	—
	硬 度	mg/L	47	43	45	—
	電気伝導率	mS/m	13	14	14	—
	硫酸イオン	mg/L	14	14	14	—
	大腸菌数 (CFU)	CFU/100mL	<1	<1	<1	—
	塩化物イオン	mg/L	6	8	10	—
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	6.1	—	—	10mg/L以下
	ほう素	mg/L	<0.02	—	—	1mg/L以下
	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	全シアン	mg/L	検出せず ^a (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	六価クロム	mg/L	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
	砒 素	mg/L	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	総水銀	mg/L	<0.0005	—	—	0.0005mg/L以下
	アルキル水銀	mg/L	検出せず ^a (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	検出せず ^a (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	クロロエチレン	mg/L	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	—	—	0.004mg/L以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	—	—	0.1mg/L以下
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	—	—	0.04mg/L以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	—	—	1mg/L以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	—	—	0.01mg/L以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	チウラム	mg/L	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	シマジン	mg/L	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	チオベンカルブ	mg/L	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	ベンゼン	mg/L	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	セレン	mg/L	<0.002	—	—	0.01mg/L以下
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	0.05mg/L以下

注 1：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成 9 年 3 月 13 日、環境庁告示第 10 号）

表 3-6-8 地下水調査結果 (No.E)

項 目		単 位	1月8日	2月5日	3月12日	基準値 ^{注1)}
生活環境項目等	天 候	—	晴	晴	曇	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	7.5	4.4	12.1	—
	水 温	℃	16.1	16.0	16.5	—
	p H	—	6.1	6.1	6.0	—
	B O D	mg/L	<0.5	0.9	<0.5	—
	C O D	mg/L	1.2	1.0	1.0	—
	S S	mg/L	<1.0	<1.0	1.3	—
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	—
	T-N	mg/L	5.3	5.3	5.1	—
	T-P	mg/L	0.010	0.008	0.009	—
	硬 度	mg/L	54	52	55	—
	電気伝導率	mS/m	15	15	15	—
	硫酸イオン	mg/L	17	17	17	—
	大腸菌数 (CFU)	CFU/100mL	<1	<1	<1	—
	塩化物イオン	mg/L	6	7	7	—
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	5.1	—	—	10mg/L以下
	ほう素	mg/L	<0.02	—	—	1mg/L以下
	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	全シアン	mg/L	検出せず ^a (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	六価クロム	mg/L	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
	砒 素	mg/L	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
	総水銀	mg/L	<0.0005	—	—	0.0005mg/L以下
	アルキル水銀	mg/L	検出せず ^a (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	検出せず ^a (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	クロロエチレン	mg/L	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	—	—	0.004mg/L以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	—	—	0.1mg/L以下
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	—	—	0.04mg/L以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	—	—	1mg/L以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	—	—	0.01mg/L以下
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
	チウラム	mg/L	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
	シマジン	mg/L	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
	チオベンカルブ	mg/L	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
	ベンゼン	mg/L	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
	セレン	mg/L	<0.002	—	—	0.01mg/L以下
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	0.05mg/L以下

注 1：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成 9 年 3 月 13 日、環境庁告示第 10 号)

表 3-6-9 ダイオキシン類調査結果

物質名	単 位	令和 6 年度事後調査					三重県の 調査結果 (県内 7 地点)
		No.A	No.B	No.C	No.D	No.E	
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.050	0.050	0.050	0.055	0.050	0.046 (0.038～0.055)

注：ダイオキシン類の毒性等量（TEQ）は、「ダイオキシン類対策特別措置法」H11.7.12(環境庁)に基づき算出した。（検出下限以上の値はそのまま用い、検出下限未満の値はその 1/2 を用いて算出した。）

表 3-6-10 その他の環境ホルモン調査結果

物質名	単位	No.A	No.B	No.C	No.D	No.E
ビスフェノールA	μ g/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μ g/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	μ g/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μ g/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μ g/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

表 3-6-11 昨年度（令和 5 年度）調査結果との比較

物質名	単位	今年度の 事後調査結果	令和 5 年度の 事後調査結果
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.050～0.055	0.050～0.055
ビスフェノールA	μ g/L	<0.01	<0.01
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μ g/L	<0.5	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	μ g/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μ g/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μ g/L	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.01	<0.01

表 3-6-12 三重県が実施した調査結果との比較

物質名	単位	事後調査結果	三重県が実施した 調査結果 (n=7)
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.050～0.055	0.038～0.055

注：三重県の調査結果は、「令和 4 年度のダイオキシン類環境調査等結果（環境生活部 大気・水環境課、令和 5 年 12 月 21 日）」で、値は 9 地点の「最小値～最大値」。

第 2 項 地下水（処分場地下水集排水）

2-1 調査概要

最終処分場事業の供用を受け、処分場内に設置した地下水集排水管で集められた湧水等の水質の状況を把握するため、調査を実施しました。

2-1-1 調査地点

調査地点は図 3-6-2 に示したとおり、処分場地下水集排水口の 1 地点としました。

2-1-2 調査時期

調査は表 3-6-13 に示したとおり毎月実施しました。

なお、調査項目のうち、電気伝導率、塩化物イオンは毎月実施し、カドミウム、全シアン、鉛等 25 項目は冬季（1 月）に 1 回実施しました。

表 3-6-13 調査時期

調査年月日
令和 6 年 4 月 25 日
令和 6 年 5 月 14 日
令和 6 年 6 月 12 日
令和 6 年 7 月 18 日
令和 6 年 8 月 7 日
令和 6 年 9 月 11 日
令和 6 年 10 月 8 日
令和 6 年 11 月 13 日
令和 6 年 12 月 10 日
令和 7 年 1 月 8 日
令和 7 年 2 月 5 日
令和 7 年 3 月 12 日

2-1-3 調査項目及び分析方法

調査項目及び分析方法は表 3-6-14 に示したとおりです。

表 3-6-14 調査項目及び分析方法

項 目	分析方法
電気伝導率	JIS K 0102 13
塩化物イオン	JIS K 0102 35.1
カドミウム	JIS K 0102 55.4
全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.5
鉛	JIS K 0102 54.4
六価クロム	JIS K 0102 65.2.5
砒 素	JIS K 0102 61.4
総水銀	昭和 46 環境庁告示 59 号付表 2
アルキル水銀	昭和 46 環境庁告示 59 号付表 3
P C B	昭和 46 環境庁告示 59 号付表 4
ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
クロロエチレン	平成 9 年環境庁告示 10 号付表
1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
チウラム	昭和 46 環境庁告示 59 号付表 5
シマジン	昭和 46 環境庁告示 59 号付表 6 第 1
チオベンカルブ	昭和 46 環境庁告示 59 号付表 6 第 1
ベンゼン	JIS K 0125 5.2
セレン	JIS K 0102 67.4
1,4-ジオキサン	昭和 46 環境庁告示 59 号付表 8

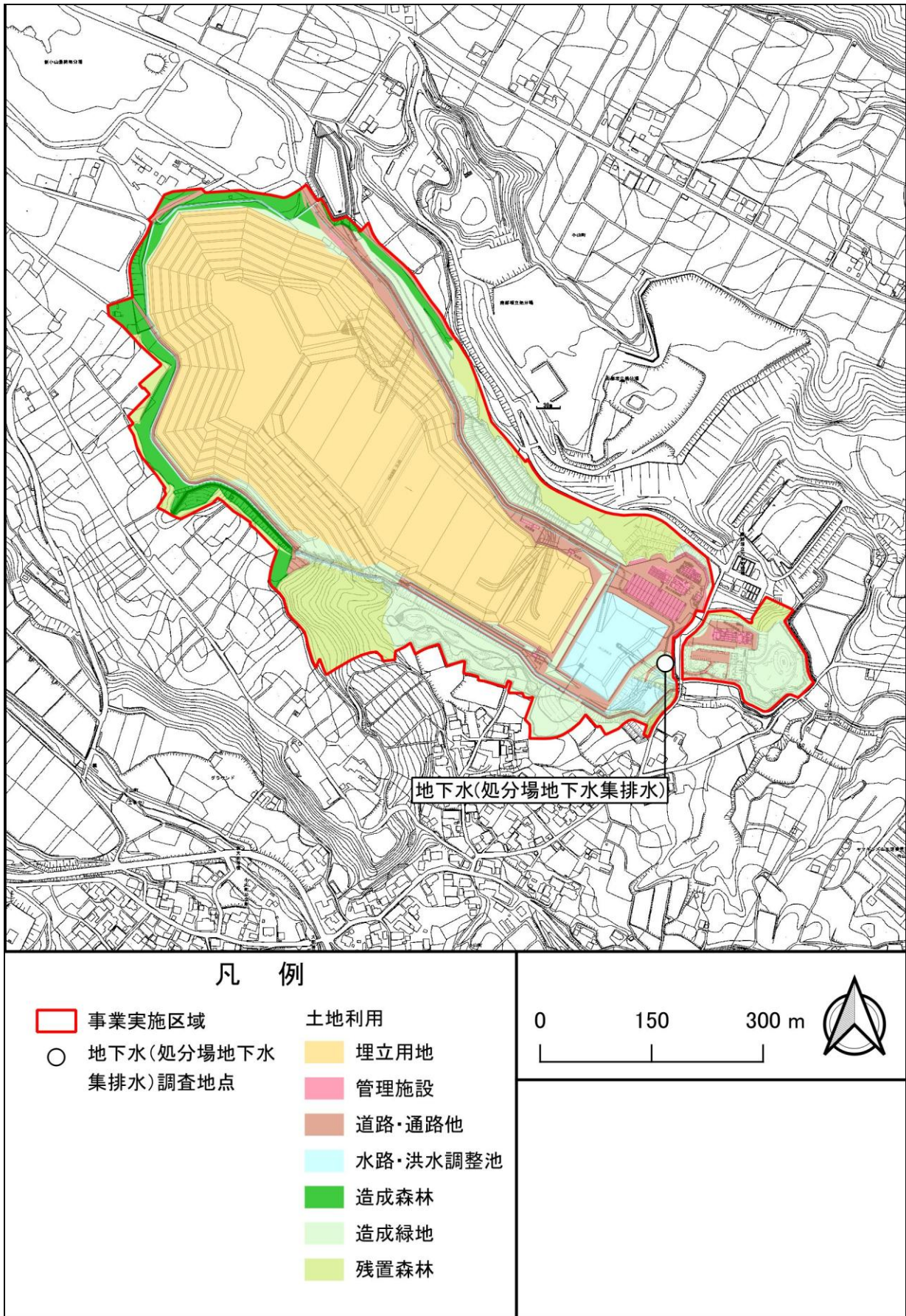


図 3-6-2 地下水（処分場地下水集排水）調査地点

2-2 調査結果

調査の結果は表 3-6-15 に示したとおり、毎月実施することとした項目の電気伝導率は 17～23mS/m、塩化物イオンは 9.8～15mg/L、1 月に実施したその他の項目はいずれも定量下限値未満の値でした。

表 3-6-15(1) 地下水（処分場地下水集排水）調査結果

項 目	単 位	4月25日	5月14日	6月12日	7月18日	8月7日	9月11日	環境基準値 ^{注1)}
電気伝導率	mS/m	23	21	20	22	19	19	—
塩化物イオン	mg/L	13	12	10	15	9.8	13	—

表 3-6-15(2) 地下水（処分場地下水集排水）調査結果

項 目	単 位	10月8日	11月13日	12月10日	1月8日	2月5日	3月12日	環境基準値 ^{注1)}
電気伝導率	mS/m	19	21	21	17	18	17	—
塩化物イオン	mg/L	13	12	10	10	10	10	—
カドミウム	mg/L	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
全シアン	mg/L	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
鉛	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
六価クロム	mg/L	—	—	—	<0.01	—	—	0.02mg/L以下
砒 素	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	0.01mg/L以下
総水銀	mg/L	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
P C B	mg/L	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
クロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.1mg/L以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.004	—	—	0.04mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0005	—	—	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002mg/L以下
チウラム	mg/L	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006mg/L以下
シマジン	mg/L	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.02mg/L以下
ベンゼン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	0.01mg/L以下
セレン	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.01mg/L以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	0.05mg/L以下

注1：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成9年3月13日、環境庁告示第10号）

第 7 節 浸出水処理水

第 1 項 調査概要

最終処分場事業の供用を受け、浸出水処理施設において浸出水が適切に処理されているかを確認するため、処理水の水質調査を実施しました。

1-1 調査地点

調査地点は図 3-7-1 に示したとおり、浸出水処理施設の処理水 1 地点としました。

1-2 調査時期

調査は表 3-7-1 に示したとおり毎月実施しました。

なお、調査項目のうち、pH、BOD、COD、アンモニア性窒素、硫酸イオン等 22 項目は毎月、ほう素、カドミウム、全シアン等 33 項目は冬季（1 月）に 1 回実施しました。

表 3-7-1 調査時期

調査年月日
令和 6 年 4 月 25 日
令和 6 年 5 月 14 日
令和 6 年 6 月 12 日
令和 6 年 7 月 18 日
令和 6 年 8 月 7 日
令和 6 年 9 月 11 日
令和 6 年 10 月 8 日
令和 6 年 11 月 13 日
令和 6 年 12 月 10 日
令和 7 年 1 月 8 日
令和 7 年 2 月 5 日
令和 7 年 3 月 12 日

1-3 調査項目及び分析方法

調査項目及び分析方法は表 3-7-2 に示したとおりです。

表 3-7-2 浸出処理水調査項目及び分析方法

項 目	分析方法	項 目	分析方法
p H	JIS K 0102 12.1	総水銀	昭和 46 環告 59 号 付表 2
B O D	JIS K 0102 21 及び 32.3	アルキル水銀	昭和 46 環告 59 号 付表 3
C O D	JIS K 0102 17	P C B	昭和 46 環告 59 号 付表 4
浮遊物質 (S S)	昭和 46 環告 59 号 付表 9	セレン	JIS K 0102 67.3
フェノール類	JIS K 0102 28.1	1,4-ジオキサン	昭和 46 環告 59 号 付表 8
n-ヘキサン 抽出物質	昭和 49 環告 64 号 付表 4	ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
銅	JIS K 0102 52.4	四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
亜鉛	JIS K 0102 53.3	1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
溶解性鉄	JIS K 0102 57.4	1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4	シス-1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
全クロム	JIS K 0102 65.1.4	1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
ふっ素	JIS K 0102 34.4	ベンゼン	JIS K 0125 5.2
大腸菌群数 (1cm ³)	昭和 37 厚生省・ 建設省令第 1 号	トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
全窒素 (T-N)	JIS K 0102 45.6	テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
全磷 (T-P)	JIS K 0102 46.3.4	1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
アンモニア性窒素	JIS K 0102 42.1 及び 42.3	1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
亜硝酸性窒素	JIS K 0102 43.1.3	チウラム	昭和 46 環告 59 号 付表 5
硝酸性窒素	JIS K 0102 43.2.6	シマジン	昭和 46 環告 59 号 付表 6 第 1
有機態窒素	JIS K 0102 44.1 及び 44.3	チオベンカルブ	昭和 46 環告 59 号 付表 6 第 1
硫酸イオン	JIS K 0102 41.3	ダイオキシン類	JIS K 0312 (2020)
硬度	JIS K 0101 15.1.3	ビスフェノール A	「外因性内分泌攪乱化 学物質調査暫定マニユ アル」 (平成 10 年 10 月) に準拠
電気伝導率	JIS K 0102 13	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
ほう素	JIS K 0102 47.3	フタル酸ジ-n-ブチル	
カドミウム	JIS K 0102 55.3	フタル酸ブチルベンジル	
全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.5	フタル酸ジシクロヘキシル	
鉛	JIS K 0102 54.3	フタル酸ジエチル	
六価クロム	JIS K 0102 65.2.4	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	
砒素	JIS K 0102 61.3		

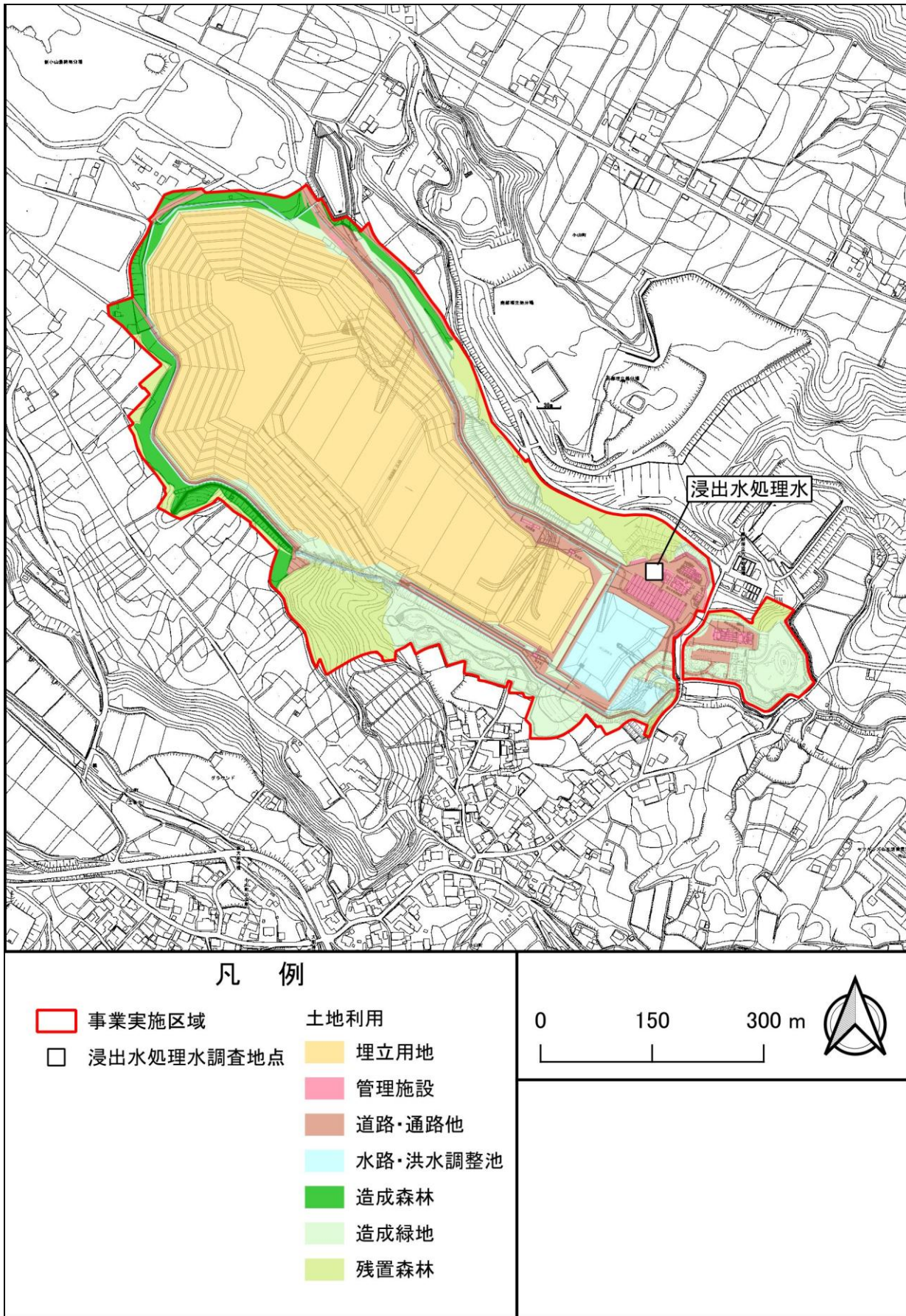


図 3-7-1 浸出水処理水調査地点

第2項 調査結果

調査結果のうち、毎月実施項目の結果概要は表 3-7-3 に、調査結果の詳細は表 3-7-4 に示したとおりです。

ダイオキシン類も含め基準値のある項目と管理基準値を設定している項目は、いずれも基準値および管理基準値を下回る値又は定量下限値未満の値でした。

表 3-7-3 浸出水処理水調査結果概要（毎月実施項目）

項 目	単位	調査結果	基準値※ ¹	管理基準値※ ²
外 観	—	殆ど透明	—	—
気 温	℃	20.5 (6.1～34.2)	—	—
水 温	℃	21.1 (10.5～29.0)	—	—
p H	—	7.5 (7.1～7.7)	5.8～8.6	6.0～8.5
B O D	mg/L	0.5 (<0.5～0.7)	60mg/L 以下	5mg/L 以下
C O D	mg/L	4.1 (1.2～7.9)	90mg/L 以下	10mg/L 以下
S S	mg/L	1.3 (<0.1～2.9)	60mg/L 以下	5mg/L 以下
フェノール類	mg/L	<0.1	5mg/L 以下	—
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	鉱油類 5mg/L 以下 動植物油脂類 30mg/L 以下	—
銅	mg/L	<0.1	3mg/L 以下	—
亜 鉛	mg/L	<0.1	2mg/L 以下	—
溶解性鉄	mg/L	0.6 (<0.5～1.0)	10mg/L 以下	—
溶解性マンガン	mg/L	0.5 (<0.5～0.7)	10mg/L 以下	—
全クロム	mg/L	<0.05	2mg/L 以下	—
ふっ素	mg/L	3.1 (2.5～3.6)	15mg/L 以下	—
大腸菌群数 (1cm ³)	個/cm ³	0	日間平均 3,000 個以下	—
T-N	mg/L	3.1 (<0.5～8.2)	120mg/L 以下 (日間平均 60mg/L 以下)	10mg/L 以下
T-P	mg/L	0.05 (0.02～0.14)	16mg/L 以下 (日間平均 8mg/L 以下)	0.2mg/L 以下
アンモニア性窒素	mg/L	<0.5	—	—
亜硝酸性窒素	mg/L	0.04 (<0.01～0.25)	—	—
硝酸性窒素	mg/L	1.7 (<0.01～4.9)	—	—
有機態窒素 (計算値)	mg/L	1.4 (<0.5～3.2)	—	—
硫酸イオン	mg/L	1367 (1000～2300)	—	—
硬 度	mg/L	933 (740～1100)	—	—
電気伝導率	mS/m	605 (420～800)	—	—

注：値は「平均値（最小値～最大値）」

※1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

※2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

表 3-7-4(1) 浸出水処理水調査結果（毎月実施項目）

項 目	単位	4月11日	5月17日	6月5日	7月5日	8月9日	9月18日	基準値 ^{注1)}	管理基準値 ^{注2)}
天 候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴	—	—
外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—	—
気 温	℃	17.7	19.8	23.6	32.5	34.2	31.0	—	—
水 温	℃	18.5	21.0	22.9	25.5	29.0	27.0	—	—
p H	—	7.4	7.5	7.6	7.3	7.5	7.7	5.8～8.6	6.0～8.5
B O D	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	60mg/L以下	5mg/L以下
C O D	mg/L	2.2	5.1	1.2	4.1	6.1	1.4	90mg/L以下	10mg/L以下
S S	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	60mg/L以下	5mg/L以下
フェノール類	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5mg/L以下	—
n－ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	鉱油類5mg/L以下 動植物油脂類30mg/L以下	—
銅	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3mg/L以下	—
亜 鉛	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2mg/L以下	—
溶解性鉄	mg/L	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10mg/L以下	—
溶解性マンガン	mg/L	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10mg/L以下	—
全クロム	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	2mg/L以下	—
ふっ素	mg/L	3.6	3.1	3.1	2.5	2.6	2.9	15mg/L以下	—
大腸菌群数（1cm ³ ）	個/cm ³	0	0	0	0	0	0	日間平均3,000個以下	—
T－N	mg/L	1.8	2.6	3.4	2.2	3.3	3.4	120mg/L以下 （日間平均60mg/L以下）	10mg/L以下
T－P	mg/L	0.02	0.03	0.04	0.03	0.09	0.10	16mg/L以下 （日間平均8mg/L以下）	0.2mg/L以下
アンモニア性窒素	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—	—
亜硝酸性窒素	mg/L	0.25	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	—	—
硝酸性窒素	mg/L	0.69	2.0	1.4	0.78	0.87	2.3	—	—
有機態窒素（計算値）	mg/L	0.9	0.6	2.0	1.4	2.4	1.1	—	—
硫酸イオン	mg/L	1200	1200	1300	1000	1300	2300	—	—
硬 度	mg/L	950	880	920	740	910	990	—	—
電気伝導率	mg/L	540	420	640	520	500	710	—	—

注1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

注2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

表 3-7-4(2) 浸出水処理水調査結果（毎月実施項目）

項 目	単位	10月1日	11月6日	12月4日	1月17日	2月14日	3月14日	基準値 ^{注1)}	管理基準値 ^{注2)}
天 候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴	—	—
外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—	—
気 温	℃	25.5	18.9	13.5	6.1	7.3	16.0	—	—
水 温	℃	29.0	24.4	19.8	12.1	10.5	13.5	—	—
p H	—	7.7	7.5	7.5	7.4	7.4	7.1	5.8～8.6	6.0～8.5
B O D	mg/L	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	0.7	60mg/L以下	5mg/L以下
C O D	mg/L	3.1	7.9	2.9	6.3	2.7	5.6	90mg/L以下	10mg/L以下
S S	mg/L	1.8	<1.0	<1.0	<1.0	1.4	2.9	60mg/L以下	5mg/L以下
フェノール類	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5mg/L以下	—
n－ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	鉱油類5mg/L以下 動植物油脂類30mg/L以下	—
銅	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3mg/L以下	—
亜 鉛	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2mg/L以下	—
溶解性鉄	mg/L	0.9	<0.5	<0.5	0.7	<0.5	1.0	10mg/L以下	—
溶解性マンガン	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10mg/L以下	—
全クロム	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	2mg/L以下	—
ふっ素	mg/L	3.5	3.0	3.1	3.6	3.5	2.8	15mg/L以下	—
大腸菌群数（1cm ³ ）	個/cm ³	0	0	0	0	0	0	日間平均3,000個以下	—
T－N	mg/L	<0.5	2.0	0.6	5.9	8.2	3.0	120mg/L以下 （日間平均60mg/L以下）	10mg/L以下
T－P	mg/L	0.04	0.03	0.02	0.03	0.02	0.14	16mg/L以下 （日間平均8mg/L以下）	0.2mg/L以下
アンモニア性窒素	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—	—
亜硝酸性窒素	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.08	0.06	0.05	—	—
硝酸性窒素	mg/L	<0.01	0.53	0.63	3.9	4.9	2.90	—	—
有機態窒素（計算値）	mg/L	<0.5	1.5	<0.5	1.9	3.2	<0.5	—	—
硫酸イオン	mg/L	1200	1300	1300	1500	1500	1300	—	—
硬 度	mg/L	830	880	940	1100	1100	950	—	—
電気伝導率	mg/L	580	610	670	740	800	530	—	—

注1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

注2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

表 3-7-4(3) 浸出水処理水調査結果（年 1 回実施項目）

項 目	単位	1月17日	基準値 ^{注1)}	管理基準値 ^{注2)}
ほう素	mg/L	4.4	50mg/L以下	—
カドミウム	mg/L	<0.003	0.03mg/L以下	—
全シアン	mg/L	<0.1	1mg/L以下	—
鉛	mg/L	<0.01	0.1mg/L以下	—
六価クロム	mg/L	<0.05	0.5mg/L以下	—
砒素	mg/L	<0.01	0.1mg/L以下	—
総水銀	mg/L	<0.0005	0.005mg/L以下	—
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	検出されないこと (<0.005mg/L)	—
P C B	mg/L	<0.0005	0.003mg/L以下	—
セレン	mg/L	<0.01	0.1mg/L以下	—
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	0.5mg/L以下	—
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	0.2mg/L以下	—
四塩化炭素	mg/L	<0.002	0.02mg/L以下	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	0.04mg/L以下	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.02	1mg/L以下	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	0.4mg/L以下	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	0.06mg/L以下	—
ベンゼン	mg/L	<0.01	0.1mg/L以下	—
トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	0.1mg/L以下	—
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	0.1mg/L以下	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.3	3mg/L以下	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	0.02mg/L以下	—
チウラム	mg/L	<0.006	0.06mg/L以下	—
シマジン	mg/L	<0.003	0.03mg/L以下	—
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	0.2mg/L以下	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0	10pg-TEQ/L以下 ^{注3)}	—
ビスフェノールA	μg/L	<0.01	—	—
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/L	<0.5	—	—
フタル酸ジ-n-ブチル	μg/L	<0.5	—	—
フタル酸ブチルベンジル	μg/L	<0.2	—	—
フタル酸ジシクロヘキシル	μg/L	<0.2	—	—
フタル酸ジエチル	μg/L	<0.2	—	—
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/L	<0.01	—	—

注1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

注2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

注3：ダイオキシン類の基準値は「ダイオキシン類対策特別措置法に基づく廃棄物の最終処分場の維持管理の基準を定める省令」（最終改正：平成12年8月14日総厚令第3号）に定める維持管理基準を表示。

第4章 既設事業に係る動物・植物の調査

第1節 水生生物

第1項 淡水魚類

1-1 調査時期及び調査内容

調査時期及び調査内容は表 4-1-1 に示したとおりです。

表 4-1-1 調査時期及び調査内容

調査時期	調査年月日	調査内容
春 季	令和6年 5月 9日	捕獲調査、 任意調査、 目視観察調査
夏 季	令和6年 8月 2日	
秋 季	令和6年 11月 6日	
冬 季	令和7年 2月 5日	

1-2 調査地点

調査は図 4-1-1 に示した3地点（P.1、P.2、P.3）で実施しました。

1-3 調査方法

1-3-1 捕獲調査

調査地点にカゴ網、セルビン各2個を設置して採集し、生息種の捕獲・確認を行いました。

カゴ網、セルビンは1時間設置し、餌として市販の練餌及びサナギ粉を用いました。

1-3-2 任意調査

上記の調査方法に加え、調査地点周辺においてタモ網を用いて任意に採集し、生息種の確認をする任意調査も実施しました。

1-3-3 目視観察調査

岸辺や橋上から目視での観察により、上記調査を補完しました。



図 4-1-1 淡水魚類調査地点

1-4 調査結果

1-4-1 捕獲調査・任意調査結果

カゴ網、セルビンによる捕獲調査及びタモ網による任意調査により、表 4-1-2 に示したとおりカワムツ、オイカワ、モツゴ、カワヨシノボリの 4 種の淡水魚類を確認しました。

カゴ網による調査では、春季は P.2 でカワヨシノボリ 1 種、P.3 でカワムツ 1 種を、夏季は P.2 でカワムツ、オイカワの 2 種、P.3 でオイカワ 1 種を、秋季は P.2 でカワムツ、オイカワの 2 種、P.3 でカワムツ、オイカワ、モツゴの 3 種を捕獲しました。なお、冬季はいずれの地点でも捕獲はありませんでした。

セルビンによる調査では、春季は P.2 でオイカワ 1 種、P.3 でカワムツ、カワヨシノボリの 2 種を、夏季は P.2 でカワムツ 1 種、P.3 でカワムツ、オイカワの 2 種を、秋季は P.1、2 でカワムツ、オイカワの 2 種を、P.3 でカワムツ、オイカワ、モツゴの 3 種を捕獲しました。なお、冬季はいずれの地点でも捕獲はありませんでした。

タモ網による任意調査では、春季に 1～3 種、夏季に 3～4 種、秋季に 2～4 種、冬季に 2～3 種を確認しました。

表 4-1-2(1) 魚類捕獲調査結果

調査方法	種 名	春季(R6. 5. 9)			夏季(R6. 8. 2)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	カワムツ	捕獲なし		1	捕獲なし	2	
	オイカワ					14	3
	カワヨシノボリ		1				
	種 数		1	1		2	1
	個体数		1	1		16	3
セルビン	カワムツ	捕獲なし		1	捕獲なし	8	1
	オイカワ		2				11
	カワヨシノボリ			1			
	種 数		1	2		1	2
	個体数		2	2		8	12
タモ網	カワムツ		○	○		○	○
	オイカワ		○	○		○	○
	モツゴ						○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	1	3	3	1	3	4

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 4-1-2 (2) 魚類捕獲調査結果

調査方法	種 名	秋季(R6. 11. 6)			冬季(R7. 2. 5)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	カワムツ	捕獲なし	13	9	捕獲なし		
	オイカワ		1	18			
	モツゴ			1			
	カワヨシノボリ						
	種 数		2	3			
	個体数		14	28			
セルビン	カワムツ	19	19	7			
	オイカワ	1	2	10			
	モツゴ			6			
	種 数	2	2	3			
	個体数	20	21	23			
タモ網	カワムツ	○	○	○	○	○	○
	オイカワ		○	○		○	○
	モツゴ			○			
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	2	3	4	2	3	3

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

1-4-2 目視観察調査結果

各季に実施した調査では、上記確認種以外に魚影を確認することはできませんでした。

1-5 まとめ

今回の調査では、表 4-1-3 に示したとおり、2 目 2 科 4 種の淡水魚類を確認しました。

季節別では、春季、冬季は 3 種、夏季、秋季は 4 種、地点別では、P. 1、2 が 3 種、P. 3 が 4 種でした。

表 4-1-3 魚類捕獲調査結果（確認種）

目 名	科 名	種 名	調査時季				調査地点		
			春季	夏季	秋季	冬季	P. 1	P. 2	P. 3
コイ	コイ	オイカワ	○	○	○	○	○	○	○
		カワムツ	○	○	○	○	○	○	○
		モツゴ		○	○				○
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○
2 目 2 科 4 種		種数	3	4	4	3	3	3	4

また、今回の調査結果を、表 4-1-4 に示した昨年度（令和 5 年度）の調査結果と比べてみると、今年度は昨年度確認されたタモロコが確認されず、昨年度の確認種数より少なくなりました。

季節別では、今年度の確認種数は夏季で昨年度より少なくなったものの、春季、秋季、冬季では同等の結果となりました。

なお、今年度の調査では、確認された個体数及び種構成は大きく変わりませんでした。

よって、全体としては、当該水域に生息する魚類相に大きな変化はみられないものと考えられます。

表 4-1-4 魚類捕獲調査結果（確認種：令和 5 年度の調査）

目 名	科 名	種 名	調査時季				調査地点		
			春季	夏季	秋季	冬季	P. 1	P. 2	P. 3
コイ	コイ	オイカワ	○	○	○	○	○	○	○
		カワムツ	○	○	○	○	○	○	○
		モツゴ		○	○				○
		タモロコ		○					○
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○
2 目 2 科 5 種		種数	3	5	4	3	3	3	5

第 2 節 植物相

第 1 項 調査概要

既設事業区域内の残存緑地について、事業の実施による影響の有無を把握するため調査を実施しました。また、回復緑地の緑化状況についても調査を実施しました。

1-1 調査時期及び調査内容

調査時期及び調査内容は表 4-2-1 に示したとおりです。

表 4-2-1 調査時期及び調査内容

調査対象種	調査年月日	調査内容
残存緑地 回復緑地	令和 6 年 9 月 10 日	生育状況調査

1-2 調査場所

調査地点は図 4-2-1 に示したとおりです。

1-3 調査方法

残存緑地の調査は、定点を設定して、その地点から写真撮影を行い、その状況を記録しました。
回復緑地については、植栽樹の中から任意の個体（図 4-2-2 参照）を選定し、その個体について表 4-2-2 に示した活力度の判定基準に基づき、簡易的に樹木活力度を把握しました。

表 4-2-2 樹木活力度の判定基準

項 目	＜判定基準＞			
	← 良好な状態		不良な状態 →	
活力度	1 正常な開花や良好な枝葉、樹勢等、旺盛な生育状況を示し、被害がまったくみられない	2 開花状況や枝葉、樹勢等にわずかに異常がみられ、幾分被害の影響を受けているがあまり目立たない	3 開花状況や枝葉、樹勢等に異常が明らかに認められる	4 生育の状況が劣悪で回復の見込みがない

参考：「地上調査に基づく樹木活力指標」（昭和 47 年、科学技術庁資源調査会）

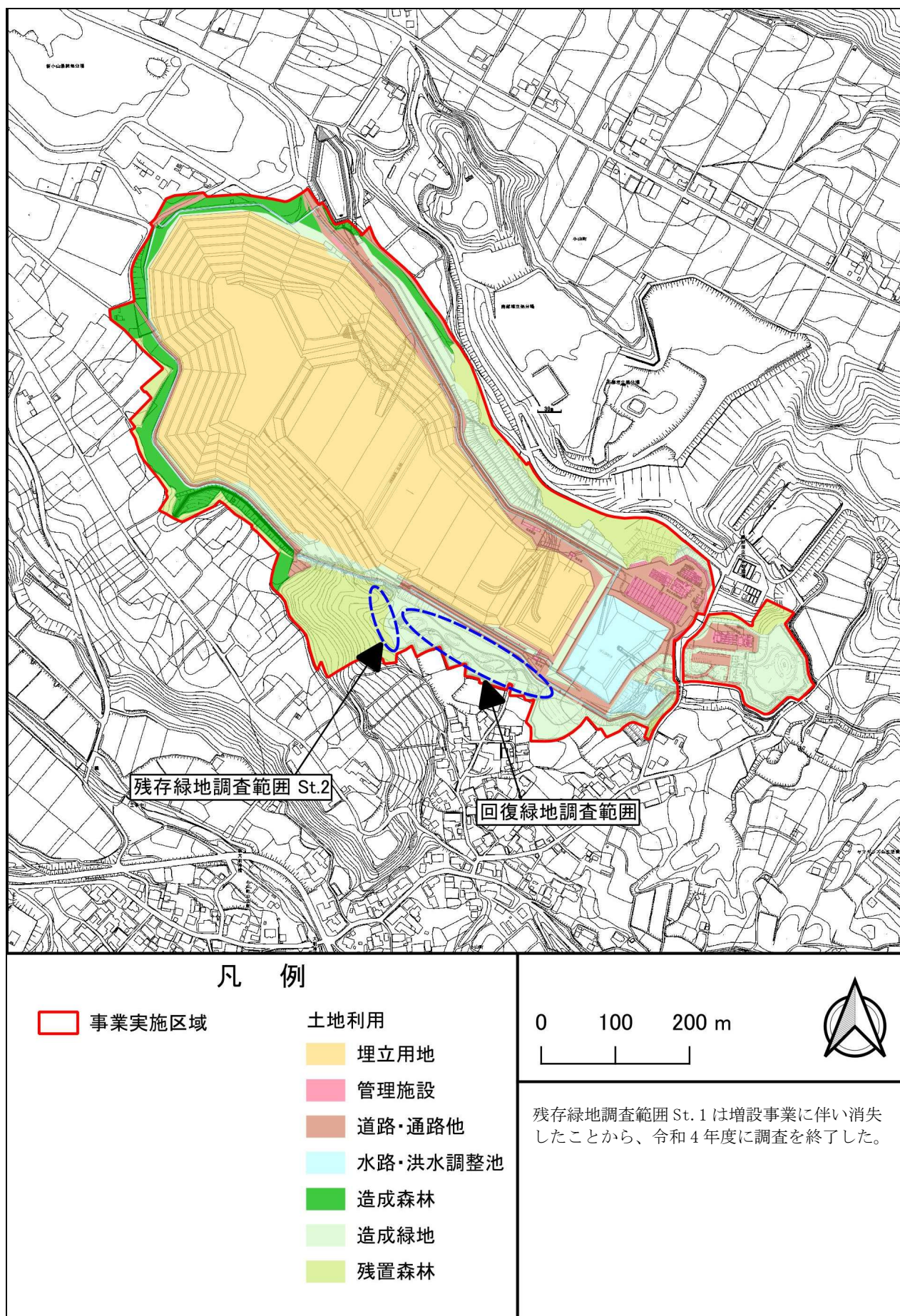


図 4-2-1 残存緑地・回復緑地調査場所

第 2 項 調査結果

2-1 残存緑地

設定した 1 か所の残存緑地について調査 12 年目の状況を写真 4-2-1 に示しました。参考として昨年度（調査 11 年目）の写真も併せて掲載しました。

St.2 では、令和 5 年度と同様、高木層にタブノキ、カクレミノ、マダケ、シロダモ、アラカシ、スギが、亜高木層や低木層にハゼノキ、ヤブツバキ、シロダモ、タブノキ、アラカシ、ヒサカキ、ナンテン、アオキ、ネズミモチ、クロガネモチ等の生育が見られました。

林縁部はマダケ、アラカシなどの亜高木・低木類やアオツヅラフジ、ヤブマメなどのツル植物が生育して樹林内環境を安定させています。また、回復緑地に植栽されたクヌギ、コナラの生長によって林縁部に陽光が入りにくくなり林内環境の安定化に寄与しつつあります。

谷部の林縁では、マダケの侵出、クサギ、タラノキ、ヒメコウゾ、ハゼノキ、アオキなどの低木類やクズ、ネザサ、フユイチゴ、ドクダミ、ヒナタイノコヅチ、ゼンマイ、シケシダ、フモトシダなどのツル植物、草本類、シダ植物など多様な種が旺盛に生育しています。

なお、カシノナガキクイムシの被害に起因すると見られる進行中のナラ枯れは認められず、林内構成種も健全でありアラカシ、タブノキ、カクレミノ、シロダモなどの幼木の生長を含めて樹林は良好な状態です。

今後も St.2 については樹林の状況を継続的に監視していきます。



写真 4-2-1 (1) 残存緑地の状況 (St. 2)



写真 4-2-1 (2) 残存緑地の状況 (St. 2 : 令和 5 年度参考)

2-2 回復緑地

回復緑地での調査の結果を表 4-2-3 に示しました。

現地調査では、生育状況の悪い個体がやや多くみられましたが、一部では順調に生育する個体もみられました。その結果、全体としては昨年度と同程度の生育状態を保っていました。

表 4-2-3 植栽樹種の生育状況

植栽位置	No.	調査年月日	H26. 8. 14	H27. 5. 15	H28. 6. 2	H29. 9. 8	H30. 8. 14	R1. 9. 18	R2. 9. 14	R3. 9. 9	R4. 9. 22	R5. 9. 4	R6. 9. 10
		種名	活力度										
遊歩道南側	1	シラカシ	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	2	イロハモミジ	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3
	3	ウメ (図ではヤマザクラ)	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	4	エノキ (図ではヤマボウシ)	1	2	3	3	3	3	3	-	-	-	-
	5	エノキ	1	-	2	3	3	3	3	3	2	2	1
	6	コナラ	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2
	7	イヌシデ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	クヌギ	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
	9	ヤマボウシ	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-
	10	イロハモミジ	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3
	11	イロハモミジ	2	2	2	2	2	3	3	3	2	3	3
	12	クヌギ	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1
	13	コナラ	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	14	クヌギ	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1
遊歩道北側	A	クヌギ	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1
	B	スダジイ	1	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2
	C	シラカシ	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3
	D	スダジイ	2	2	2	1	2	2	2	3	2	1	1
	E	アラカシ	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
	F	シラカシ	1	2	1	1	2	2	3	3	3	3	2
	G	ケヤキ	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
	H	スダジイ	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2
	I	アラカシ	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	J	アラカシ	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	K	ケヤキ	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	L	イロハモミジ	1	2	2	3	3	3	3	4	4	-	-
	M	ケヤキ	1	2	2	3	3	3	3	3	3	4	-
	N	マテバシイ	1	1	4	4	4	4	-	-	-	-	-
	O	シラカシ	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2
平均活力度			1.4	1.7	1.9	2.1	2.2	2.4	2.3	2.3	2.1	2.1	2.0

第 5 章 増設事業工事中に係る調査

第 1 節 地下水位

第 1 項 調査概要

増設事業評価書における予測結果において、事業実施区域周辺の帯水層や周辺の既設井戸への影響の程度は小さいと予測されたものの、本事業の事業特性に鑑み、工事期間中及び施設供用後 1 年間の継続的なモニタリングを実施することで、影響の程度を把握するとともに予測結果を検証する計画としています。

事後調査のフローは図 5-1-1 に示したとおりです。

今年度は工事期間中及び施設供用後における地下水位の把握を目的とした調査を実施しました。



図 5-1-1 事後調査フロー

1-1 調査方法

事業実施区域内のモニター井戸に自記水位計を設置し、毎正時 1 回の頻度で水位データを記録しました。

設置機器の仕様は表 5-1-1 に示したとおりです。

表 5-1-1 自記水位計の仕様

調査地点		メーカー及び型式	分解能
既設事業範囲内のモニター井戸	モニター井戸No.A	メーカー：OSASI 型式：NetLG-001	1 cm又は 1 mm
	モニター井戸No.B		
	モニター井戸No.C		
増設事業範囲内のモニター井戸	モニター井戸No.D (旧名：Env-7)	メーカー：In-Situ Inc. 型式：Rugged TROL	0.01%FS 以上
	モニター井戸No.E (旧名：Env-6)		

1-2 調査地点

調査地点は図 5-1-2 に示したとおり、既設事業範囲内のモニター井戸 3 地点（No.A、No.B、No.C）及び増設事業範囲内のモニター井戸 2 地点（No.D、No.E）の計 5 地点でした。

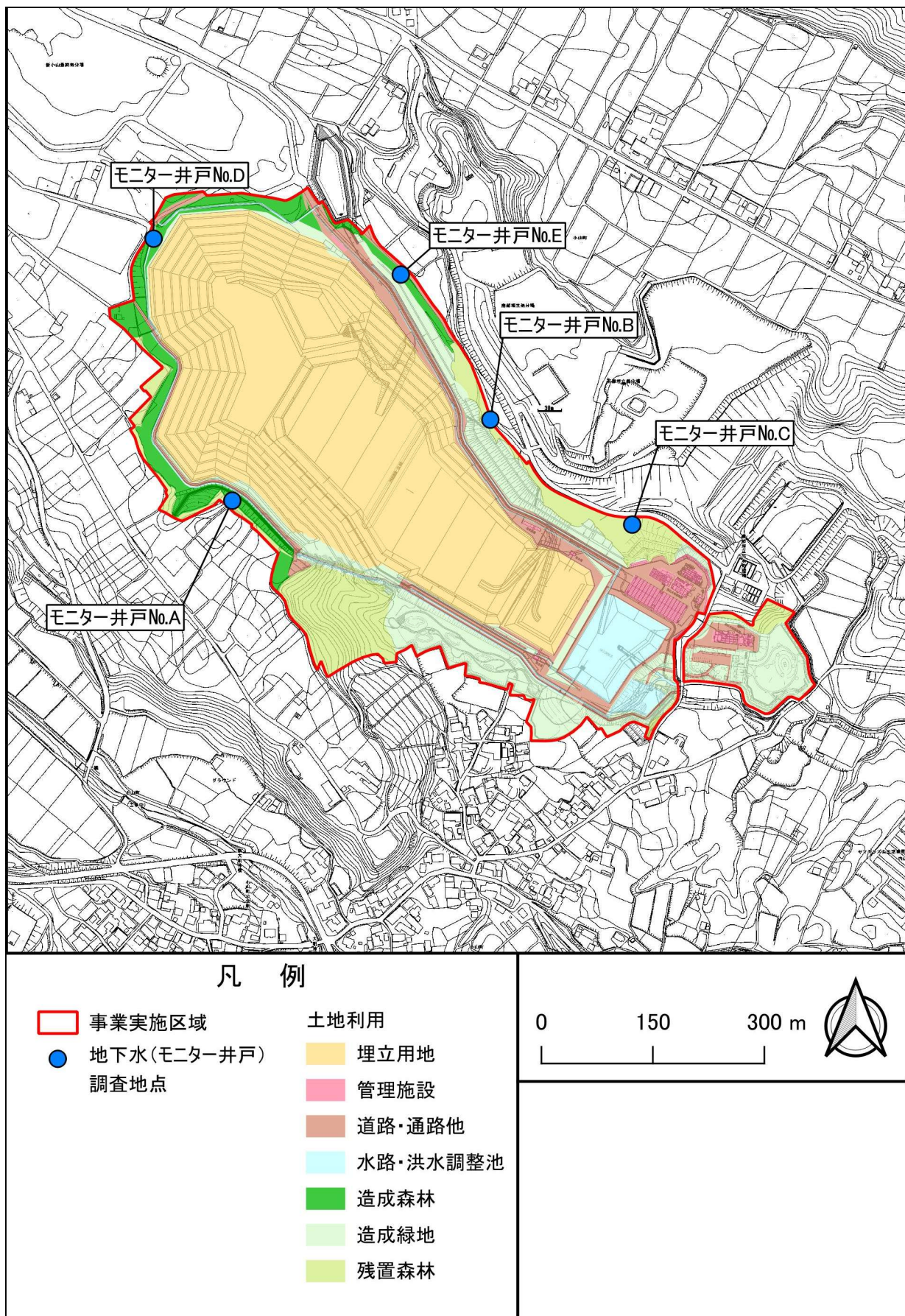


図 5-1-2 地下水位調査地点

1-3 調査時期

調査時期は表 5-1-2 に示したとおりです。

既設事業及び増設事業の各モニター井戸については、それぞれの環境影響評価における現況調査時から令和 7 年 3 月末現在まで継続して計測を実施しています。

表 5-1-2 調査時期

調査地点		調査年月日
既設事業範囲の モニター井戸	モニター井戸No.A	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
	モニター井戸No.B	
	モニター井戸No.C	
増設事業範囲の モニター井戸	モニター井戸No.D	
	モニター井戸No.E	

第 2 項 調査結果

評価書においてモニタリングを計画した地下水について、工事期間中及び施設供用後の地下水位の変化を調査しました。自記水位計により記録した地下水位と、事業実施区域の最寄りの気象観測所である四日市特別地域気象観測所の降水量の関係をグラフにして、図 5-1-3 に示しました。

今年度の調査結果と過年度の結果を比較すると、いずれの調査地点でも大きな水位の変化はみられませんでした。

いずれのモニター井戸も、本事業の埋立地の底面を北東流する同一の被圧帯水層を対象としていることから、降雨による変動はほとんど受けず、概ね一定の水位を保っています。

なお、No.D では、6 月に大きな水位減少が見られましたが、その後は平常時の水位に回復しています。この水位減少は近傍で鑿井工事を行っていたことに起因するものと考えられました。

また、No.D 及び No.E では、水位計の故障により 9 月中旬から 10 月中旬まで欠測の期間がありました。

以上のことから、調査期間を通じて、工事の実施に伴う同帯水層への影響はみられませんでした。

なお、評価書の事後調査計画に記載したとおり、本調査は工事後 1 年間継続した調査を実施し、予測結果の検証を実施します。

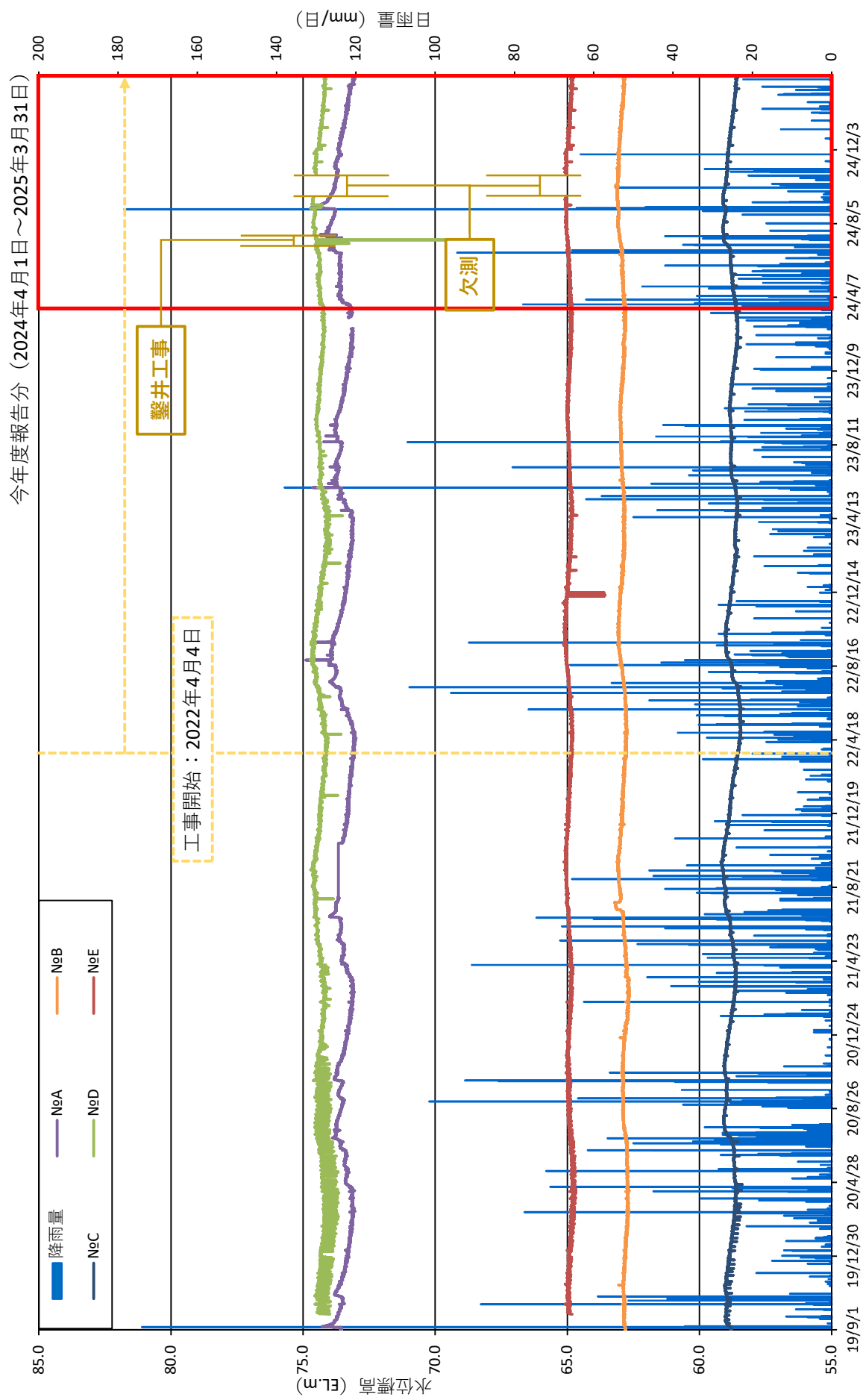


図 5-1-3 地下水位と降水量の状況

第 6 章 増設事業に係る動物・植物の調査

第 1 節 重要な陸生動物

第 1 項 哺乳類（ユビナガコウモリ、コウモリ類休息・越冬地）

1-1 調査概要

増設事業評価書における現況調査の際に、既設の暗渠排水路内において、重要な哺乳類であるユビナガコウモリの越冬個体やコウモリ類の休息個体群が確認されました。本事業の実施に伴い、これらの生息環境の消失が予測されたことから、代替となる生息環境を整備することで、事業による影響を代償する計画としています。また、代替生息地の整備については、学識経験者の意見に基づき実施し、令和 4 年 5 月 30 日に完了しました。

調査対象種の概要は表 6-1-1-1 に、事後調査のフローは図 6-1-1-1 に示したとおりです。

今年度は、代替生息地の利用状況の確認を目的とした調査を実施しました。

表 6-1-1-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}
			三重県 RDB
1	哺乳類	ユビナガコウモリ	NT
2		コウモリ類 ^{※2}	

※ 1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種

NT＝準絶滅危惧

※ 2：コウモリ類が生息する既設暗渠排水路を「注目すべき生息地」として選定したことから、生息するコウモリ類全種を重要種に準じて扱うこととした。

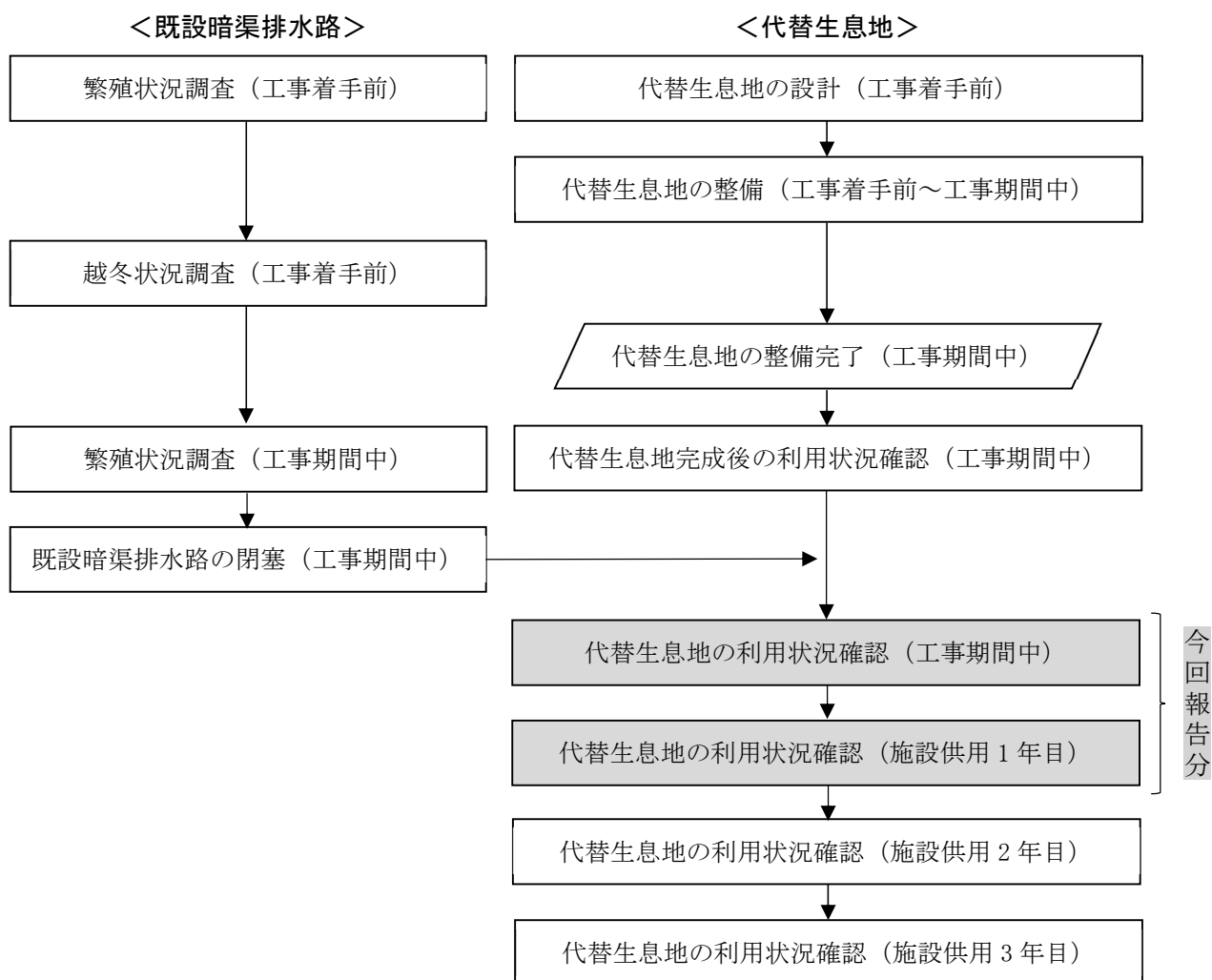


図 6-1-1-1 事後調査フロー

1-2 調査方法

①代替生息地の利用状況確認

代替生息地におけるユビナガコウモリ及びコウモリ類の利用状況（繁殖状況、越冬状況）を、日中の任意踏査により把握しました。なお、繁殖または越冬中の個体が確認できた場合は、種の同定及び個体数の概数の把握を行うとともに、写真撮影による記録を行いました。

1-3 調査範囲

調査はユビナガコウモリ及びコウモリ類の生息地の代償環境として整備された代替生息地において実施しました。調査範囲は図 6-1-1-2 に示したとおりです。

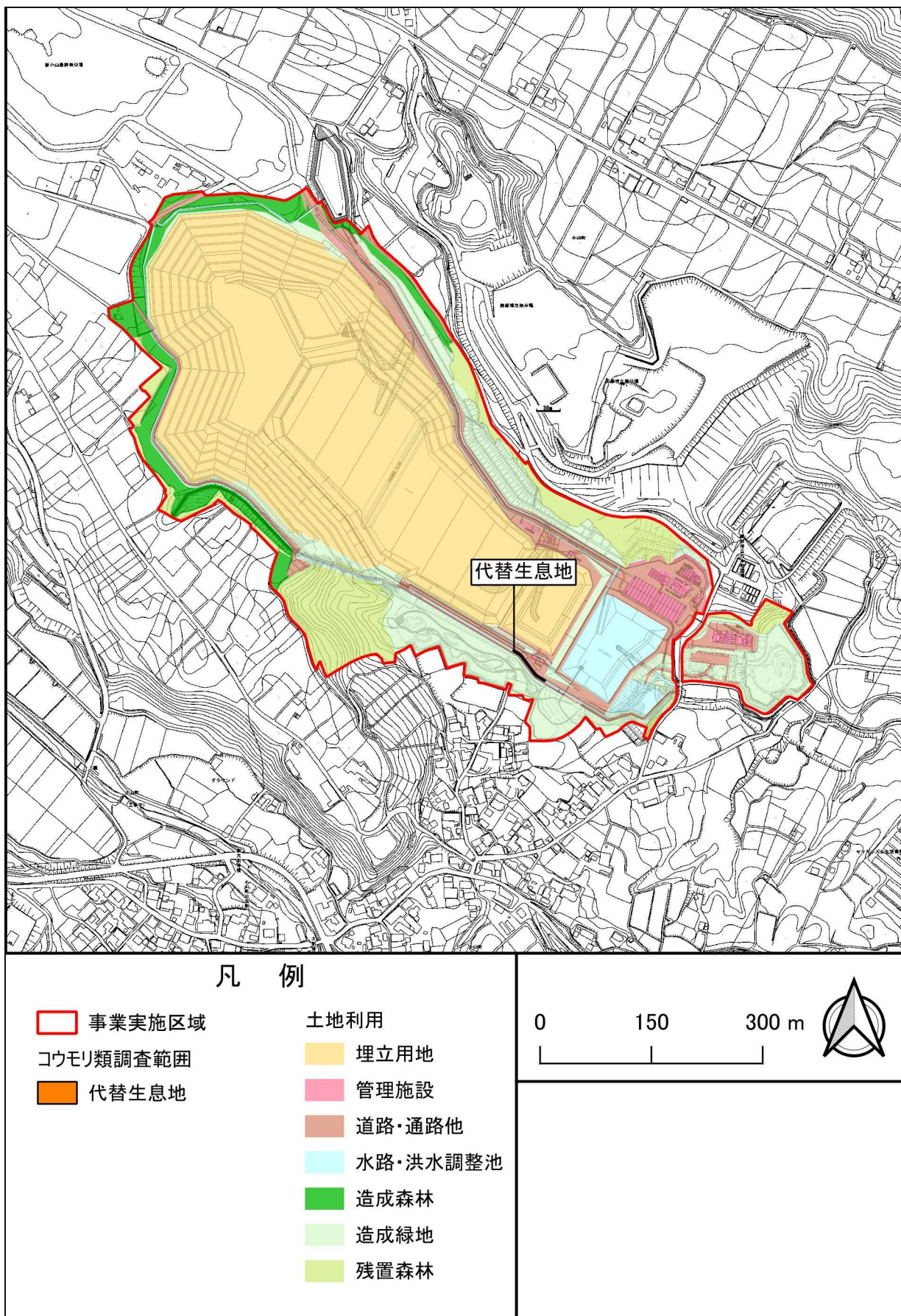


図 6-1-1-2 哺乳類（ユビナガコウモリ、コウモリ類）調査範囲

1-4 調査時期

調査時期は表 6-1-1-2 に示したとおりです。

代替生息地完成後の利用状況確認は、コウモリ類の一般的な出産・哺育期にあたる 6 月及び越冬期にあたる 1 月に実施しました。

表 6-1-1-2 調査時期

対象種		調査項目		調査年月日
哺乳類	・ユビナガコウモリ ・コウモリ類 (モモジロコウモリ)	代替生息地の利用状況確認	出産・ 哺育期	令和6年 6月 10日
			越冬期	令和7年 1月 20日

1-5 調査結果

①工事中の利用状況確認

代替生息地の利用状況を確認した結果、6 月の繁殖期におけるコウモリ類の代替生息地の利用は確認されませんでした。利用状況調査の結果は表 6-1-1-4 に示したとおりです。

②施設供用 1 年目の利用状況確認

代替生息地の利用状況を確認した結果、1 月の越冬期におけるコウモリ類の代替生息地の利用は確認されませんでした。利用状況調査の結果は表 6-1-1-4 に示したとおりです。

表 6-1-1-3 代替生息地の利用確認状況

	
<p>繁殖期調査の状況</p>	<p>繁殖期に実施した代替生息地のコウモリ類利用状況調査では、コウモリ類の利用は確認できなかった。(令和6年6月10日)</p>
	
<p>越冬期調査の状況</p>	<p>越冬期に実施した代替生息地のコウモリ類利用状況調査では、コウモリ類の利用は確認できなかった。(令和7年1月20日)</p>

1-6 まとめ

今年度も過年度に引き続きは代替生息地の利用状況の確認を目的とした調査を繁殖期の6月と越冬期の1月に実施しました。

代替生息地のコウモリ類の利用は、繁殖期、越冬期ともに確認されませんでした。

次年度以降も代替生息地におけるコウモリ類の利用状況について引き続きモニタリング調査を実施します。また、学識経験者からの代替生息地に対する意見もふまえ、必要に応じて追加の保全措置を検討していくこととします。

第2項 鳥類（キビタキ）

2-1 調査概要

既設事業における事後調査の対象種としたキビタキは、平成21年の調査開始以降、散発的に確認されており、特に平成29年以降は継続して生息が確認されています。また、増設事業評価書における現況調査では、改変区域内で生息が確認されており、事業の実施により、生息環境の消失及び生息個体数の減少が予測されました。

これに対する環境保全措置として、残置森林内への巣箱の架設を行うことで本種の生息環境を代償するとともに、架設以降の巣箱の利用状況のモニタリングを実施する計画としています。

調査対象種の概要は表6-1-2-1に、事後調査のフローは図6-1-2-1に示したとおりです。

今年度は工事期間中における巣箱の利用状況確認調査を実施しました。

表 6-1-2-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}
			三重県 RDB
1	鳥類	キビタキ	NT

※1：重要種の категория は以下のとおり。

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成27年）掲載種

NT＝準絶滅危惧

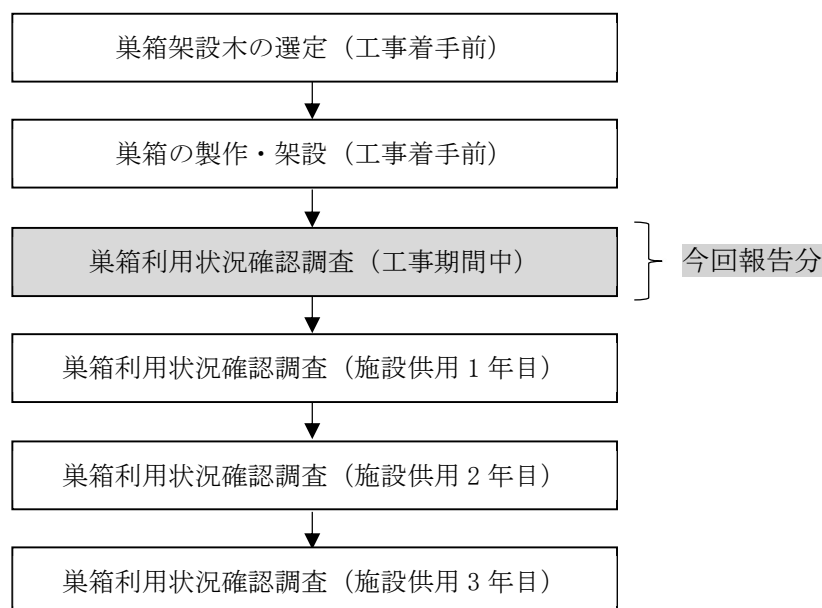


図 6-1-2-1 事後調査フロー

2-2 調査方法

令和3年度調査時に架設した巣箱を目視による利用状況の把握を行うとともに、写真撮影による記録を行いました。その際、繁殖中であれば繁殖段階等を、既に巣外育雛期に入り、巣材のみが残されている状況であれば、巣材の確認等を実施することとしました。

2-3 調査範囲及び調査地点

調査地点は図 6-1-2-2 に示したとおり、過年度調査時に巣箱を架設した地点及びその周辺の残置森林を対象としました。

2-4 調査時期

調査時期は表 6-1-2-2 に示したとおり、本種繁殖期の後期にあたる時期に1回実施しました。

表 6-1-2-2 調査時期

対象種		調査項目	調査年月日
鳥類	キビタキ	巣箱利用状況確認調査	令和6年 6月 10日

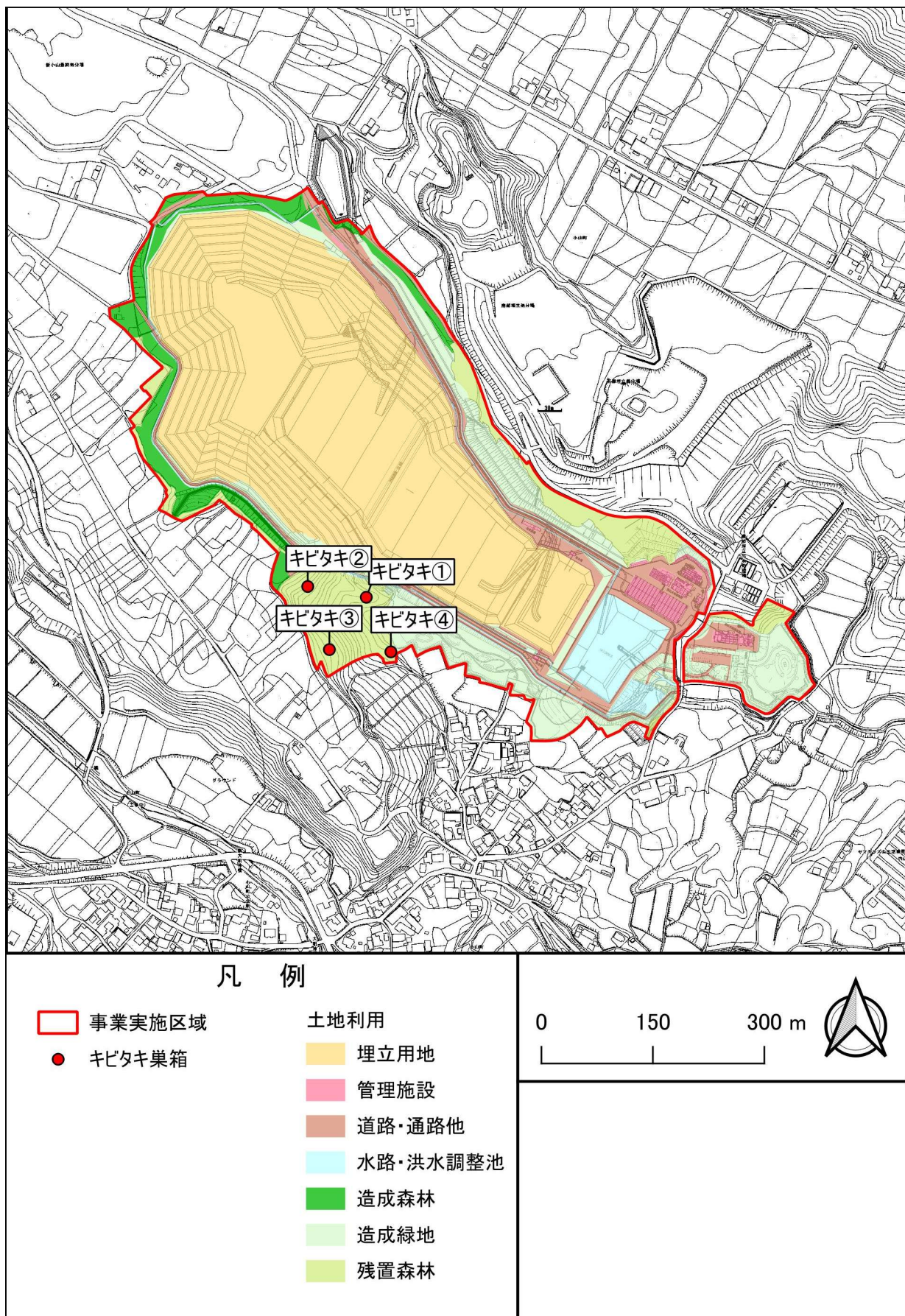


図 6-1-2-2(1) キビタキ調査範囲・地点（広域図）

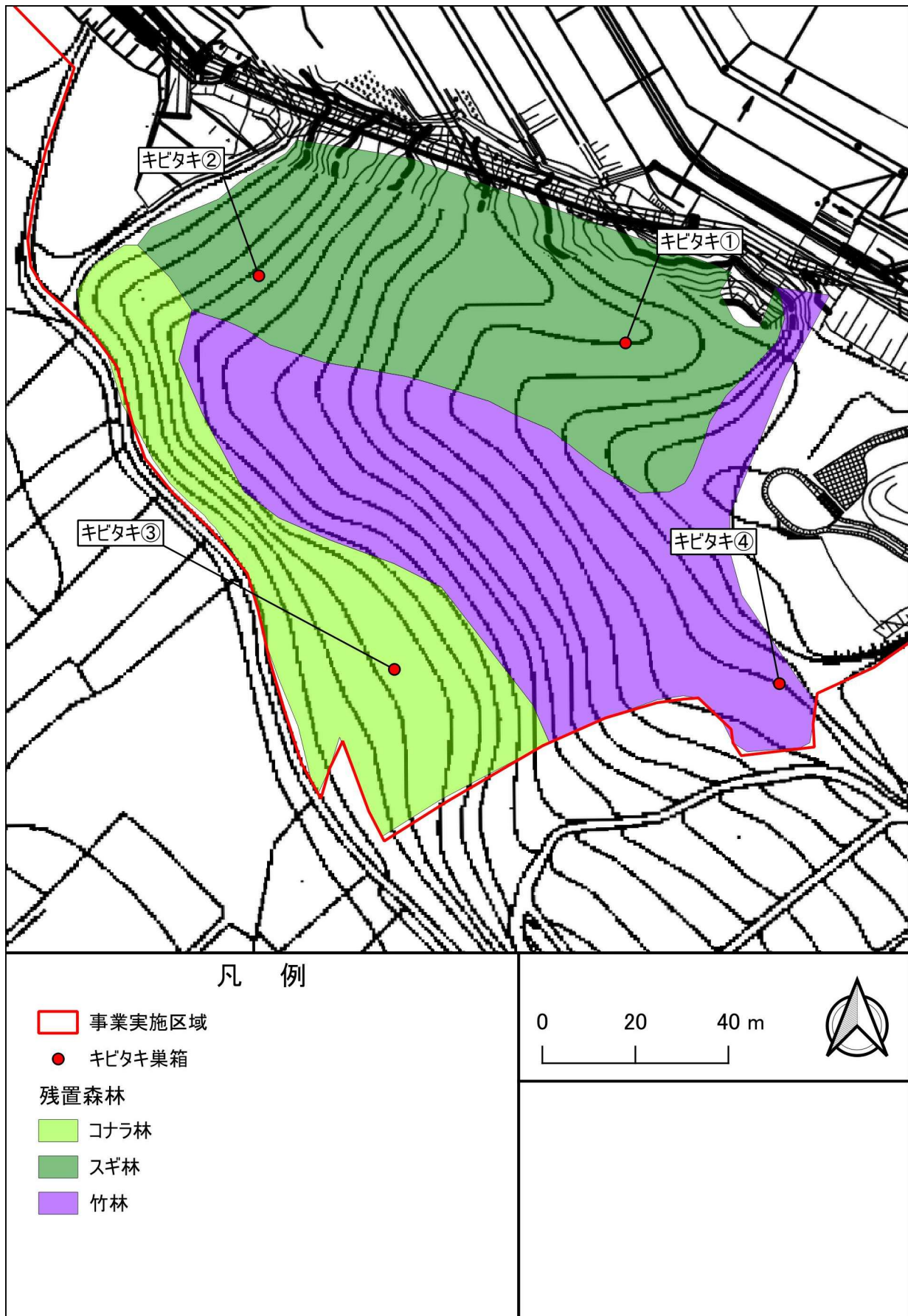


図 6-1-2-2(2) キビタキ調査範囲・地点（詳細図）

2-5 調査結果

巣箱架設木及び巣箱内部の状況は、表 6-1-2-4 に示したとおりです。

架設した巣箱は、いずれも繁殖に利用した形跡は確認されませんでした。

なお、6 月 10 日の本種巣箱調査の際に、残置森林内でキビタキ雄を目撃し、同時にさえずりを確認した（表 6-1-2-3）ことから、林内において繁殖している可能性があります。

表 6-1-2-3 キビタキ確認状況

	
確認個体の状況	残置森林内のキビタキ巣箱②付近の樹林内において、キビタキの雄個体を目撃し、さえずりも確認した。（令和 6 年 6 月 10 日）









2-6 まとめ

今年度は、令和 3 年度に架設した巣箱の利用状況の確認調査を行いました。

架設した巣箱は、いずれも繁殖に利用した形跡は確認されなかったものの、残置森林内ではキビタキ雄のさえずりが確認されており、今後、巣箱が利用される可能が考えられます。

次年度以降も巣箱の利用状況について引き続きモニタリング調査を実施し、必要に応じて追加の保全措置を検討していきます。

表 6-1-2-4 巣箱架設木及び巣箱内部の状況

	巣箱架設木の状況	巣箱内部の状況
キビタキ①		
キビタキ②		
キビタキ③		
キビタキ④		

第3項 昆虫類（トゲアリ）

3-1 調査概要

増設事業評価書における予測結果において、生息環境や生息個体の消失が予測されたトゲアリについて、事業による影響の代償として営巣木ごと代替の生息環境に移設し、モニタリングを行う計画としています。

調査対象種の概要は表 6-1-3-1 に、事後調査のフローは図 6-1-3-1 に示したとおりです。

今年度は移設 2 年後の定着状況の確認を実施しました。

表 6-1-3-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}
			環境省 RL
1	昆虫類	トゲアリ	VU

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。
環境省 RL：「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年）掲載種
VU＝絶滅危惧Ⅱ類

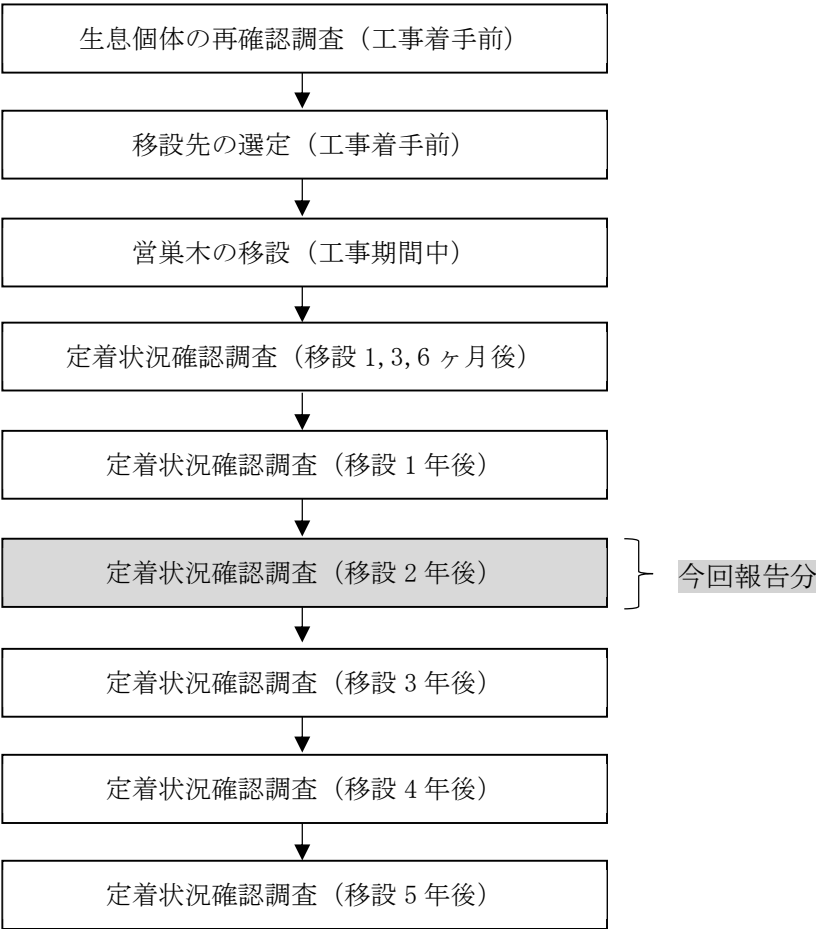


図 6-1-3-1 事後調査フロー

3-2 調査方法

移設 2 年後に相当する時期に、移設を行った営巣木における本種の定着状況を目視により確認し、ワーカー（働きアリ）の概数と活動の状況を把握するとともに、写真撮影による記録を行いました。

3-3 調査地点

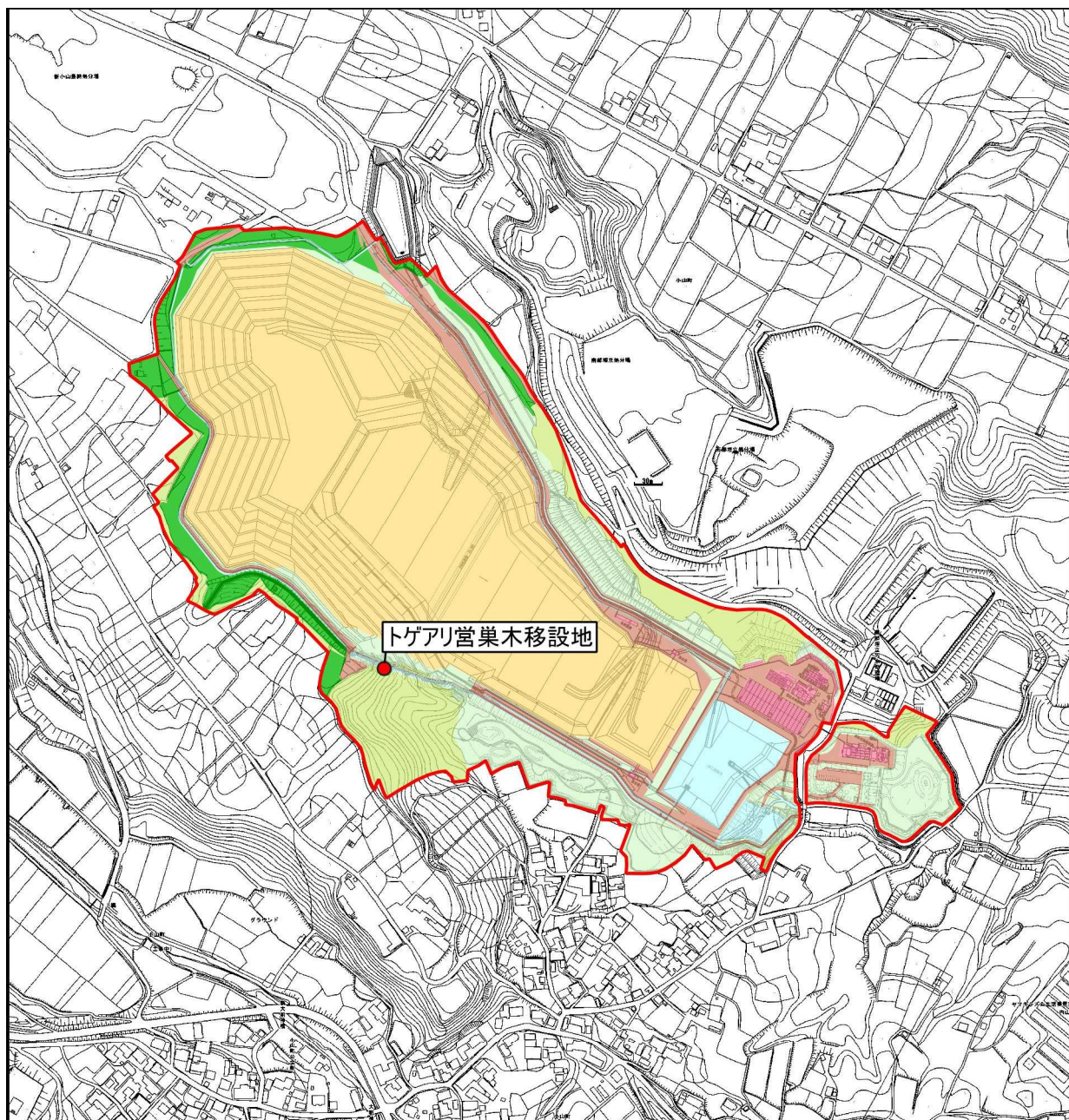
調査地点は図 6-1-3-2 に示したとおり、定着状況の確認は移設地点及びその周辺の残置森林内としました。

3-4 調査時期

調査時期は表 6-1-3-2 に示したとおりです。

表 6-1-3-2 調査時期

対象種		調査項目		調査年月日
昆虫類	トゲアリ	定着状況確認調査	移設 2 年後	令和 6 年 6 月 10 日



凡 例

- | | |
|--|--|
| 事業実施区域 | 土地利用 |
| ● トゲアリ営巣木移設地点 | 埋立用地 |
| | 管理施設 |
| | 道路・通路他 |
| | 水路・洪水調整池 |
| | 造成森林 |
| | 造成緑地 |
| | 残置森林 |

0 150 300 m



図 6-1-3-2(1) トゲアリ調査地点（広域）

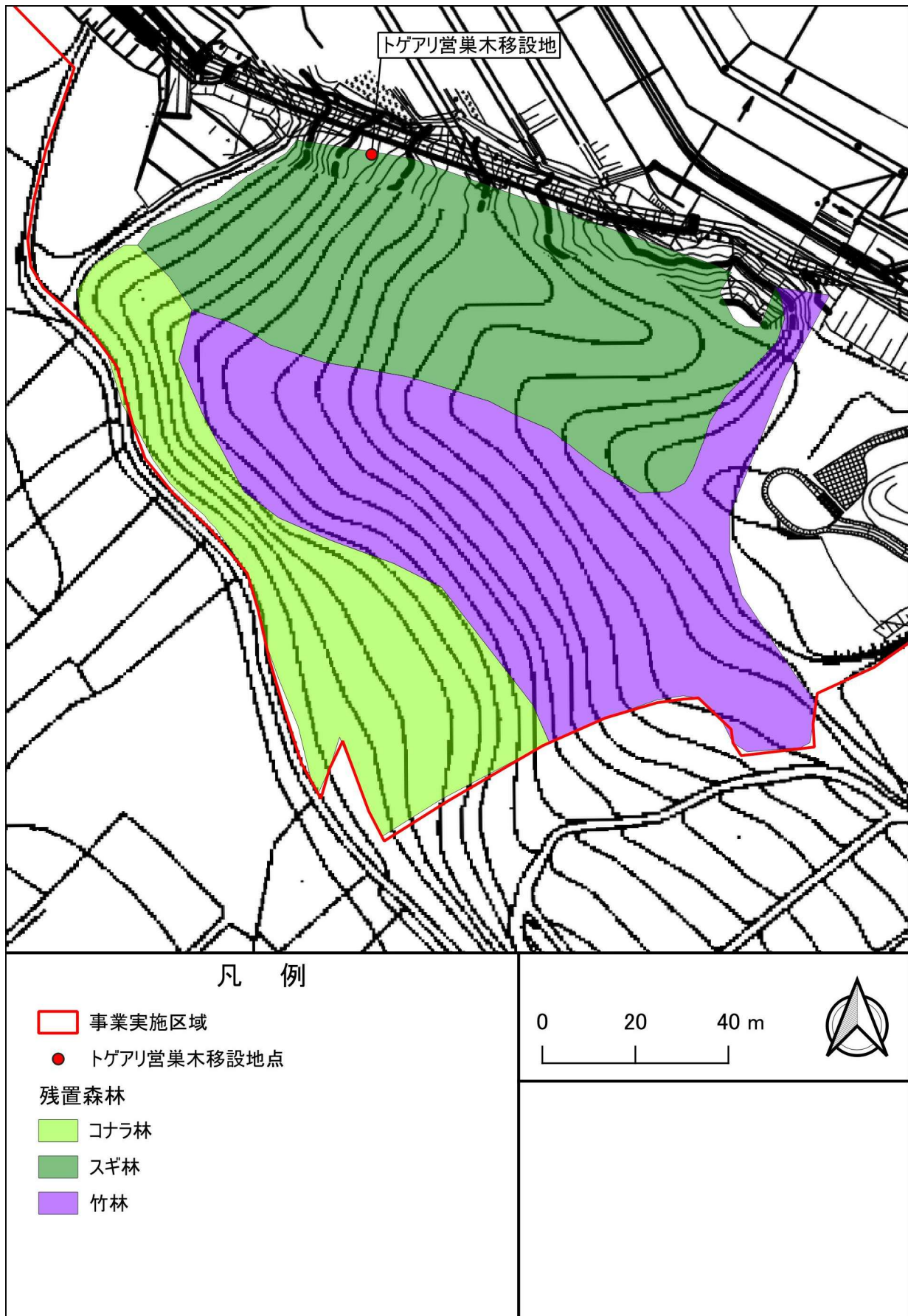


図 6-1-3-2 (2) トゲアリ調査地点 (詳細)

3-5 調査結果

営巣木の移設 2 年後の調査結果は表 6-1-3-3 に、確認状況は表 6-1-3-4 に示したとおりです。

移設 2 年後は、移設した営巣木ではトゲアリの生息は認められず、この移設営巣木から約 10m 程度林内に入った斜面に生育しているヒノキの根元に新たなトゲアリコロニーが認められ、移設したトゲアリのコロニーがそのまま巣の場所を移動したものと考えられました。

表 6-1-3-3 移設後のトゲアリ調査結果

日付	確認状況
令和 6 年 6 月 10 日 (移設 2 年後)	<ul style="list-style-type: none">・ 移設営巣木（元巣）から約 10m 林内に入った斜面に生育しているヒノキの根元にトゲアリの新たな巣が形成されており、根元付近では多くのワーカーが観察された。・ トゲアリワーカーは巣となっているヒノキの幹を登っていた。近隣から倒れかかり、その幹に接触している樹木を移動経路として利用していた。・ ワーカーの確認数（概数）は 150 個体以上。

表 6-1-3-4 トゲアリの確認状況

	
<p>移設 営巣木 の状況</p>	<p>前年に多くのワーカーが見られた移設営巣木では、トゲアリは確認されなかった。(令和6年6月10日)</p>
	
<p>新しい巣 の状況</p>	<p>移設営巣木（元巣）から約 10m 林内に入った斜面に生育しているヒノキの根元にトゲアリの新しい巣ができており、根元付近では多くのワーカーが観察された。(令和6年6月10日)</p>
<p>新しい巣 の状況</p>	<p>トゲアリワーカーは巣となっているヒノキの幹に登っていた。近隣から倒れかかり、その幹に接触している樹木を移動経路として利用していた。(令和6年6月10日)</p>

3-6 まとめ

移設2年後の定着状況は、移設した営巣木ではトゲアリは見られなくなり、10m程度林内に入った斜面に生育しているヒノキの根元に新たな本種コロニーが認められ、移設した本種コロニーがそのまま営巣場所を移動したものと考えられました。

次年度は、移設した営巣木および新たな営巣木を中心に、移設3年後の定着状況について引き続きモニタリング調査を実施することとします。

第4項 クモ類（コガネグモ）

4-1 調査概要

増設事業評価書における予測結果において、生息環境や生息個体の一部の消失が予測されたコガネグモについて、生息環境である草地を継続的に維持管理することとしており、生息状況を把握する目的として、本種の継続的なモニタリングを実施することとしています。

調査対象種の概要は表 6-1-4-1 に、事後調査のフローは図 6-1-4-1 に示したとおりです。

今年度は工事期間中における生息状況の確認を目的とした調査を実施しました。

表 6-1-4-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}
			三重県 RDB
1	クモ類	コガネグモ	NT

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種

NT＝準絶滅危惧

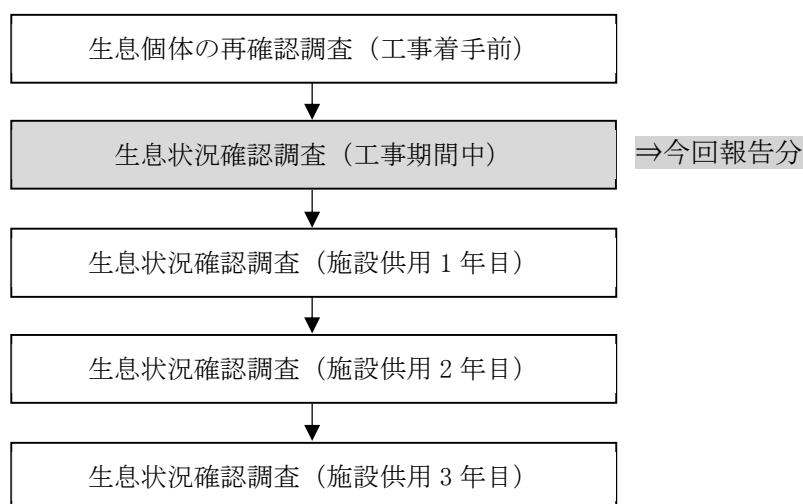


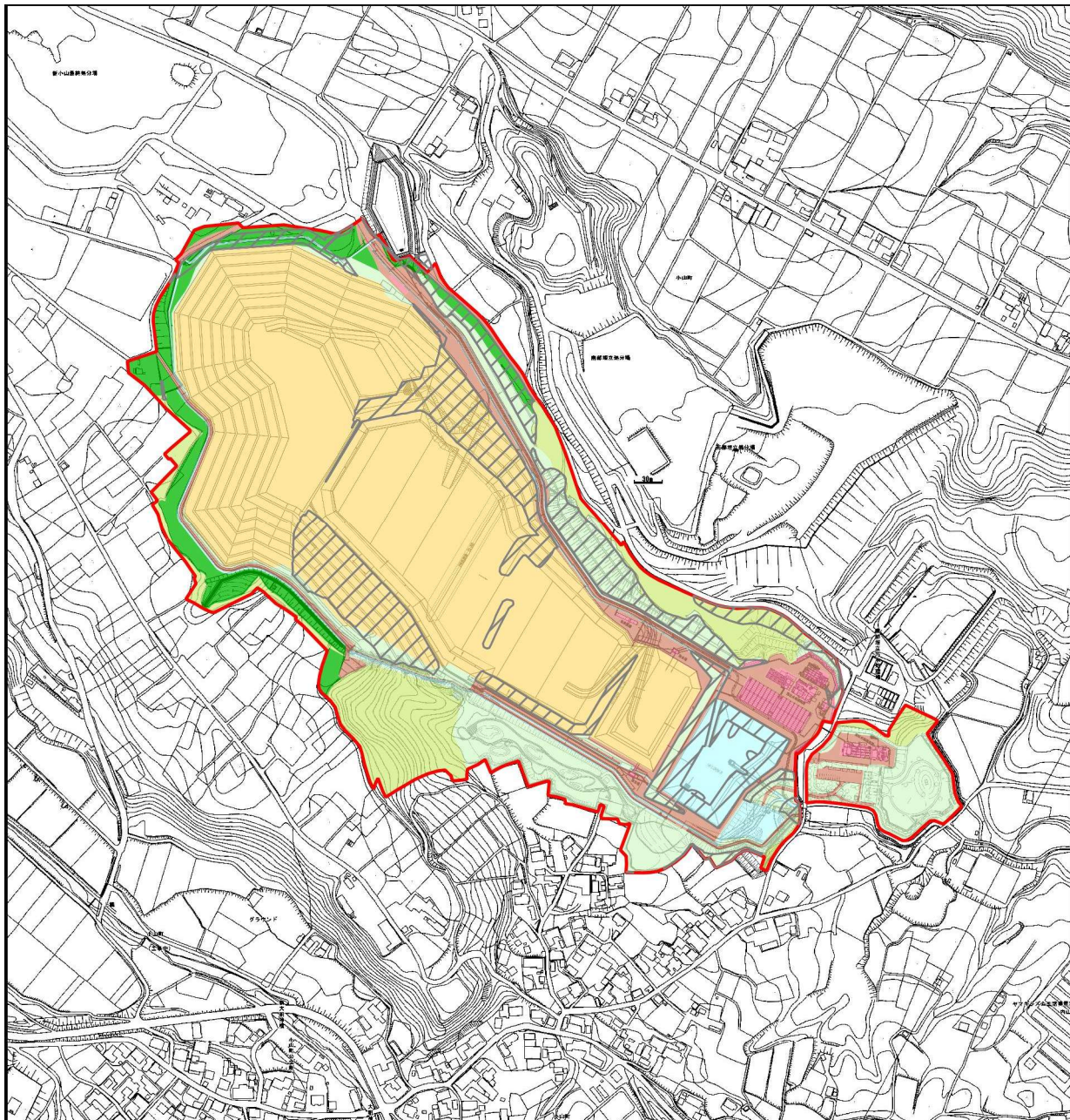
図 6-1-4-1 事後調査フロー

4-2 調査方法

本種の一般的な生息環境である事業実施区域内の草地環境を任意に踏査し、目視により確認に努めました。また、並行して事業実施区域内の人工構造物も適宜確認を行いました。

4-3 調査範囲

調査範囲は埋立部法面や調整池法面等に形成されている草地環境としました。調査範囲は図 6-1-4-2 に示したとおりです。



凡 例

- | | |
|------------|----------|
| 事業実施区域 | 土地利用 |
| 草地範囲(調査範囲) | 埋立用地 |
| | 管理施設 |
| | 道路・通路他 |
| | 水路・洪水調整池 |
| | 造成森林 |
| | 造成緑地 |
| | 残置森林 |

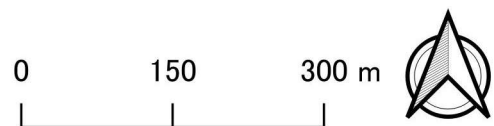


図 6-1-4-2 コガネグモ調査範囲

4-4 調査時期

調査時期は表 6-1-4-2 に示したとおり、本種成体が確認しやすい初夏季に実施しました。

表 6-1-5-2 調査時期

対象種		調査項目	調査年月日
クモ類	コガネグモ	生息状況確認調査	令和 6 年 6 月 10 日

4-5 調査結果

調査の結果、コガネグモの一般的な生息環境である事業実施区域内の草地環境および人工構造物において、本種の生息は確認できませんでした。

今回、生息個体の確認はありませんでしたが、周囲の草地環境は良好に保たれていることから、秋に孵化した本種幼体がバルーニングによって分散し、事業実施区域内の草地環境に再度定着する可能性が考えられます。

4-6 まとめ

工事期間中における草地環境及び人工構造物を対象に調査した結果、コガネグモの生息は確認できませんでした。事業実施区域内には本種が好む良好な草地環境が保たれていることから、再度定着する可能性が考えられます。

次年度以降も引き続き草地環境の維持管理に努めるとともに、草地環境や人工構造物等を対象に本種の生息状況確認調査を実施していくこととします。

第 5 項 土壌動物（ゴホントゲザトウムシ）

5-1 調査概要

増設事業評価書における予測結果において、生息環境や生息個体の一部の消失が予測されたゴホントゲザトウムシについて、生息状況を継続的に確認し、必要に応じて生息環境の再生や創出等の対策を講じる計画としています。

調査対象種の概要は表 6-1-5-1 に、事後調査のフローは図 6-1-5-1 に示したとおりです。

今年度は工事期間中における生息状況の確認を目的とした調査を実施しました。

表 6-1-5-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}
			三重県 RDB
1	土壌動物	ゴホントゲザトウムシ	NT

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。
三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種
NT＝準絶滅危惧

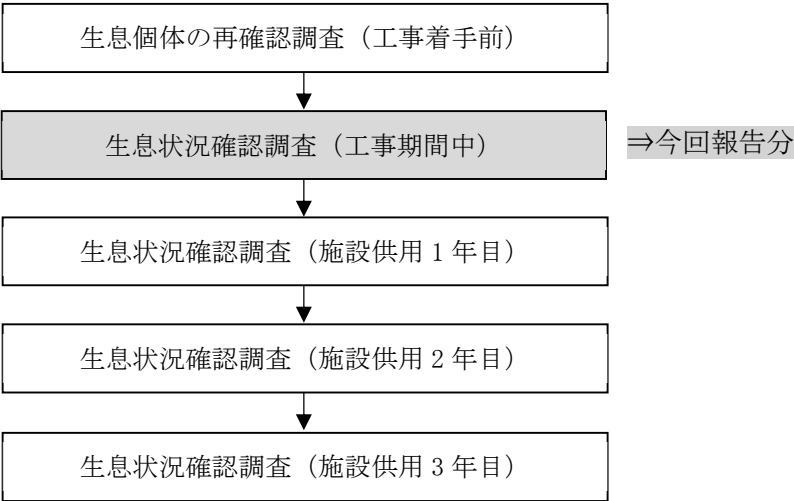


図 6-1-5-1 事後調査フロー

5-2 調査方法

① ベイトトラップ調査

ゴホントゲザトウムシの成虫を対象として、残置森林内のスギーヒノキ植林、モウソウチケ－ハチク群落、及びコナラ群落内にベイトトラップを各 20 個設置し、捕獲調査を実施しました。また、これと並行して残置森林内を任意に踏査し、本種の確認に努めました。

② 任意確認調査

残置森林内全域を対象に任意に踏査し、林床に生息する本種の発見に努めました。

5-3 調査範囲

調査範囲は、増設事業評価書における現地調査において本種を確認した残置森林としました。確認調査を実施した残置森林及びトラップの設置地点は図 6-1-5-2 に示したとおりです。ベイトトラップは、令和 5 年度事後調査報告書の「第 4 節 動物相、植物相及び植生（残置森林の順応的管理）」において示した各植生コドラート内に設置して調査を実施しました。

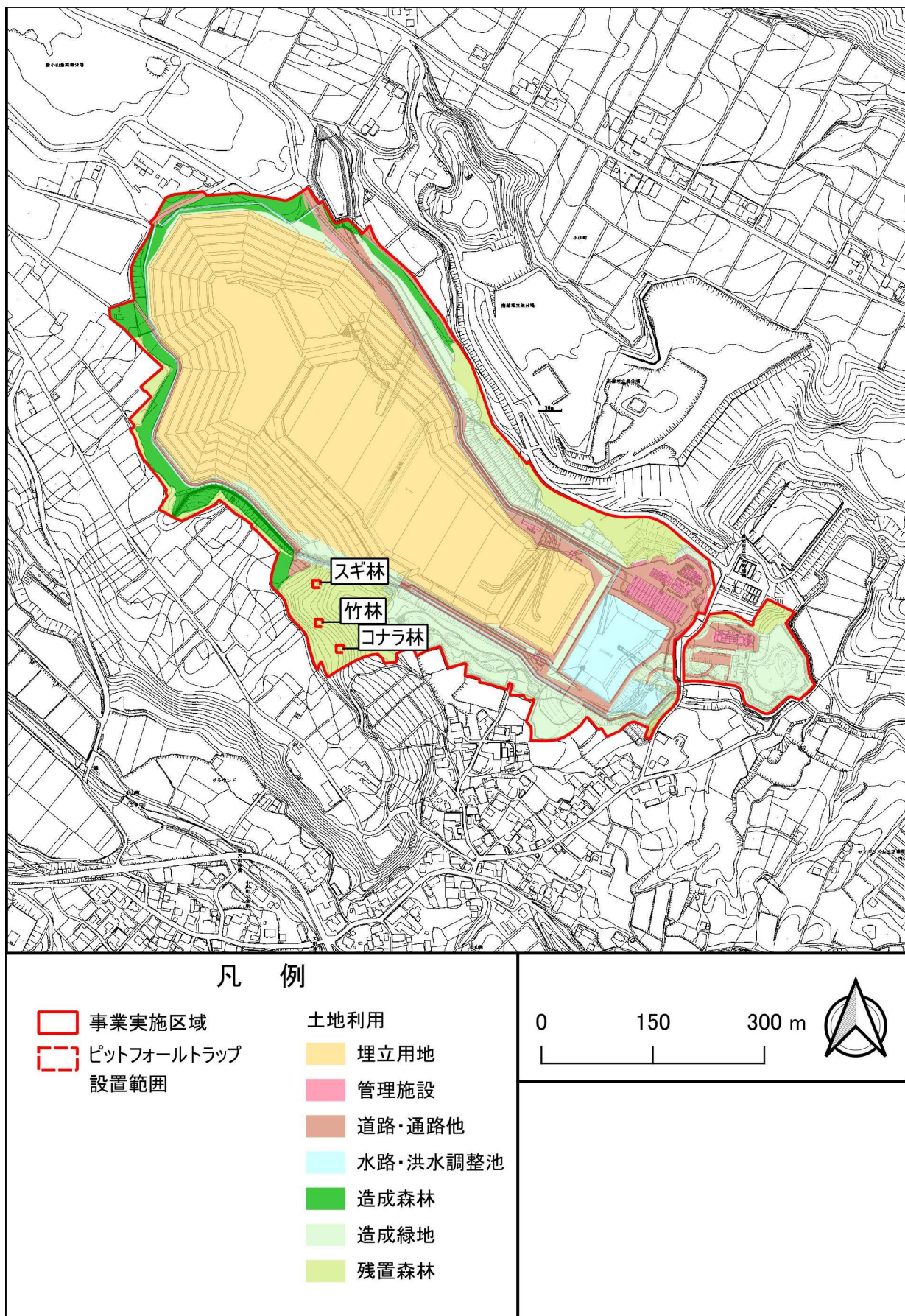


図 6-1-5-2(1) ゴホントゲザトウムシ調査範囲（広域図）

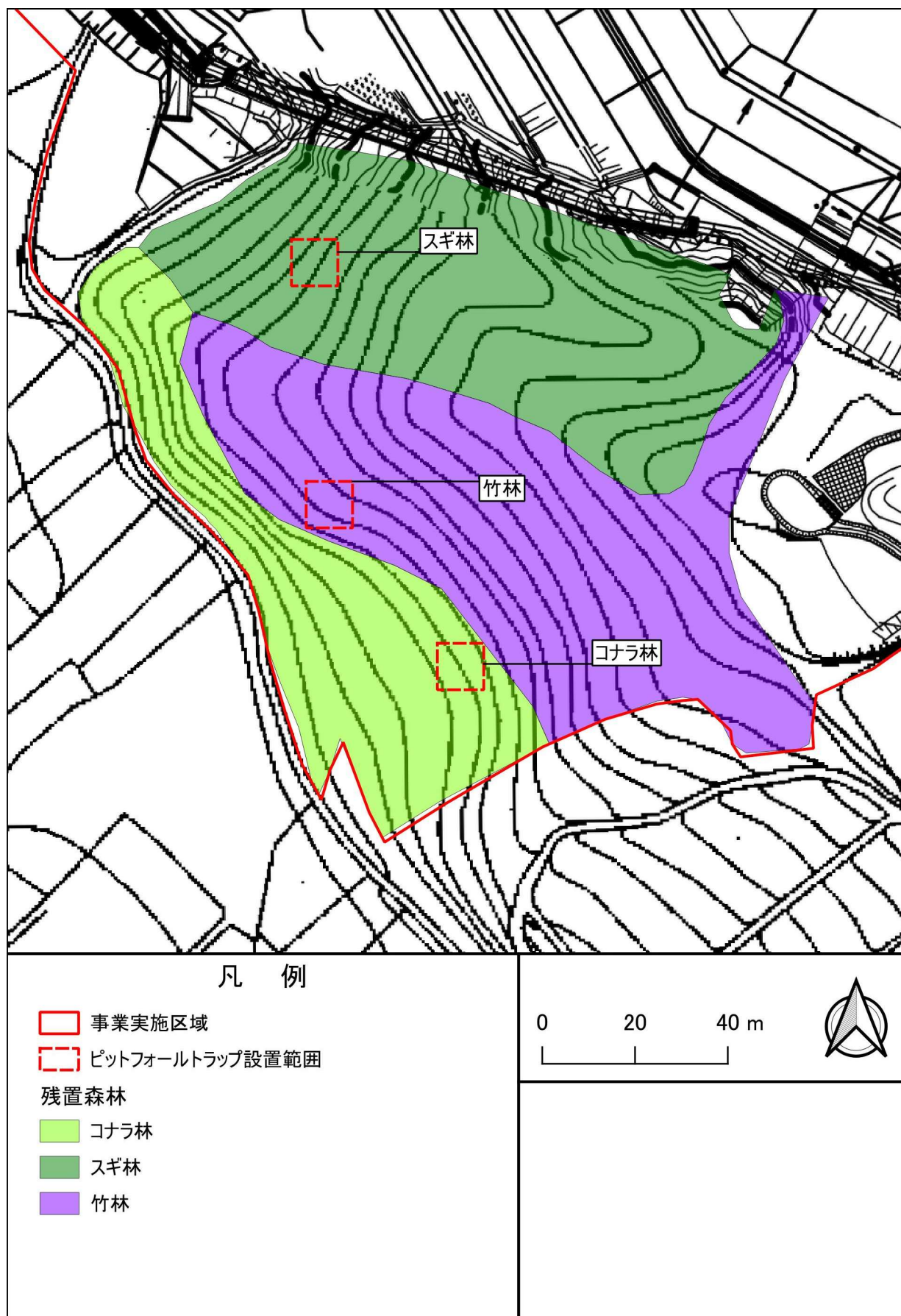


図 6-1-5-2(2) ゴホントゲザトウムシ調査範囲（詳細図）

5-4 調査時期

調査時期は表 6-1-5-2 に示したとおり、ベイトトラップ調査及び任意調査は本種成体の出現時期にあたる 5 月に 1 回実施しました。

表 6-1-5-2 調査時期

対象種		調査項目	調査年月日
土壌動物	ゴホントゲザトウムシ	ベイトトラップ調査	令和 6 年 5 月 1 日～2 日
		任意確認調査	

5-5 調査結果

ゴホントゲザトウムシを対象としたベイトトラップ調査と任意確認調査では、本種成体の出現時期に合わせて実施しましたが、本種を確認することはできませんでした。

なお、本種の調査対象エリアは増設事業による改変区域を外れていることから、人為的な攪乱による大きな影響は受けていないものと考えられます。

5-6 まとめ

今年度は、過年度に引き続き工事期間中における残置森林内での生息状況の確認を実施しましたが、本種を確認することはできませんでした。

次年度は、施設供用 1 年目の生育状況確認調査を実施しますが、調査時期の設定を現況調査時に本種が確認された時期と同一とするとともに、ベイトトラップに入れる誘因餌を変更するなど、より確実に捕獲できる方法を検討することにより、本種の確認に努めることとします。

表 6-1-5-3 バイトトラップ調査の結果

	
<p>コナラ林 の状況</p>	<p>スギ林 の状況</p>
	
<p>竹林の 状況</p>	<p>バイト トラップ 設置 状況</p>
	
<p>バイトト ラップの 状況</p>	<p>任意確 認調査 状況</p>

第2節 鳥類相

第1項 調査概要

既設事業の事後調査において、周辺動物相への影響を把握するため、環境の変化を数値として把握できる鳥類を対象に、調査が実施されています。

本増設事業においても、事業実施区域内の改変はあるものの周辺環境への影響は小さいと予測していますが、周辺動物相への影響を把握するため、既設事業と同様に事業実施区域周辺の動物相への影響を把握する目的で、鳥類相の調査を実施する計画としています。

事後調査のフロー図は図6-2-1-1に示したとおり、今年度は施設供用1年目における鳥類相調査を実施しました。

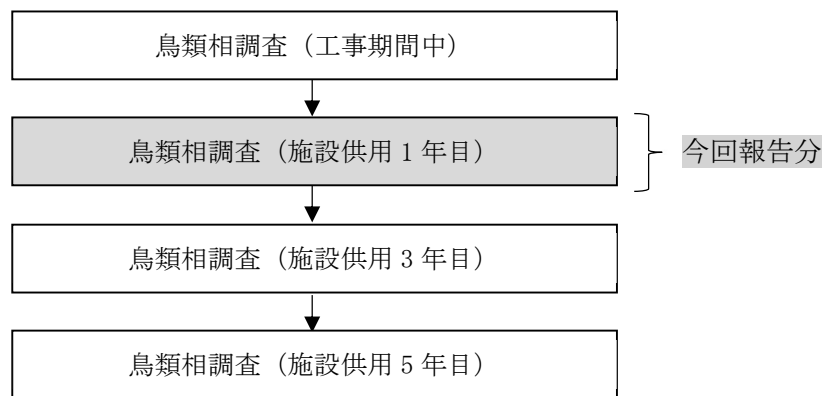


図6-2-1-1 事後調査フロー

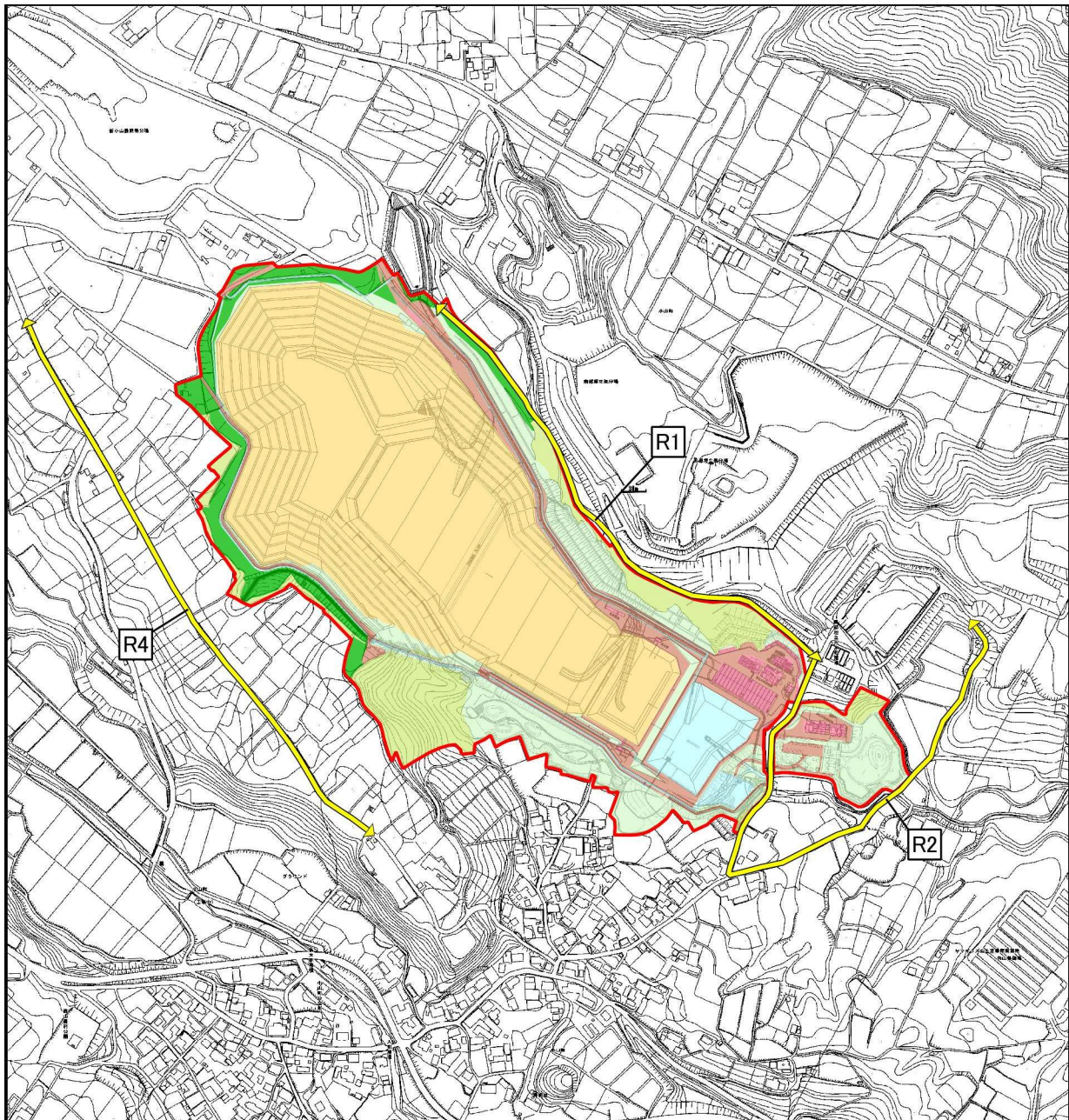
1-1 調査方法

調査は予め設定した踏査ルートを、時速2km程度の速さで踏査し、片側25m（両側で50m）の範囲に出現する種及び個体数を記録しました。

なお、調査には8～10倍程度の双眼鏡を用いました。

1-2 調査地点

調査ルートは図6-2-1-2に示したとおり、現況調査時に鳥類相調査を実施した4ルートのうち、事業実施区域の外周に設定したR1、R2、R4の3ルートで実施しました。



凡 例

 事業実施区域

↔ 鳥類相踏査ルート

土地利用

埋立用地

管理施設

道路・通路他

水路・洪水調整池

造成森林

造成緑地

残置森林

0 150 300 m



図 6-2-1-2 鳥類相調査ルート図

1-3 調査時期

調査時期は表 6-2-1-1 に示したとおり、鳥類の越冬期に当たる冬季に 1 回実施しました。

なお、繁殖期に当たる春季調査については、次年度に実施することとします。

表 6-2-1-1 調査時期

対象種	調査項目	調査年月日
鳥類相	ラインセンサス法	令和 7 年 1 月 10 日 (冬季)

第 2 項 調査結果

調査結果は表 6-2-2-1 に示したとおり、R1 では 10 種 39 個体、R2 では 14 種 36 個体、R4 では 15 種 32 個体が確認されました。調査地の状況は表 6-2-2-2 のとおりです。

確認種は、約 7 割をヒヨドリ、ウグイス、メジロ、スズメ、ホオジロなどのスズメ目が占めており、全体として樹林、草地、農地、水域等を好む多様な種が記録されました。

表 6-2-2-1 鳥類相確認種一覧（施設供用 1 年目：冬季）

No.	目名	科名	種名	冬季			
				R1	R2	R4	
1	ハト	ハト	カワラバト（ドバト）		2		
2			キジバト	2	2	1	
3	カツオドリ	ウ	カワウ	1	1		
4	ペリカン	サギ	コサギ		1		
5	タカ	タカ	トビ	1	1	1	
6	キツツキ	キツツキ	コゲラ	1			
7	スズメ	モズ	モズ			1	
8		カラス	ハシボソガラス			3	
9			ハシブトガラス	2	3	3	
10		シジュウカラ	シジュウカラ			1	
11		ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	10	5	
12		ウグイス	ウグイス			1	
13		エナガ	エナガ			2	
14		メジロ	メジロ	3	5	3	
15		ヒタキ	シロハラ	1	1		
16			ツグミ		2		
17			ジョウビタキ		1	1	
18		スズメ	スズメ	20			
19		セキレイ	セグロセキレイ			2	
20		ホオジロ	ホオジロ	4	2	4	
21			カシラダカ		2	2	
22			アオジ		3	2	
種 数				10	14	15	
個体数				39	36	32	

表 6-2-2-2 鳥類ラインセンサスの状況

	
<p>ラインセンサスの実施状況</p>	<p>R1、R2、R4 の 3 ルートを時速 2km 程度の速さで踏査し、片側 25m (両側で 50m) の範囲に出現する種および個体数を記録した。(令和 7 年 1 月 10 日)</p>
	
<p>R2 の景観</p>	<p>R1 の景観</p>
<p>処分場の南西側に隣接するルート。ルート沿いには比較的農地 (水田・畑) が多い。(令和 7 年 1 月 10 日)</p>	<p>処分場の北西側に沿って隣接するルート。ルート沿いには樹林が比較的多く存在する。(令和 7 年 1 月 10 日)</p>
<p>R4 の景観</p>	<p>処分場から東側に 100~200m 離れたルート。ルート沿いには茶畑が多い。(令和 7 年 1 月 10 日)</p>

2-1 まとめ

施設供用 1 年目における冬季調査を実施した結果、R1 で 10 種 39 個体、R2 で 14 種 36 個体、R4 で 15 種 32 個体が確認されました。

なお、現況調査結果を含む過年度調査結果と今年度調査結果との比較については、令和 7 年度に実施する春季調査の結果も踏まえ、次年度実施することとします。

次回以降は、施設供用時における調査を実施し、引き続き周辺環境への影響についてモニタリングを実施することとします。

第3節 重要な陸生植物

第1項 キンラン

1-1 調査概要

増設事業評価書における予測結果において、生育個体の消失が予測されたキンランについて、事業による影響の代償として、消失が予測される個体を代替の生育環境に移植する計画としています。また、これと並行して、人工授粉の実施による種子採取を実施し、播種による個体の増殖も計画しています。

調査対象種の概要は表 6-3-1-1 に、事後調査のフローは図 6-3-1-1 に示したとおりです。

今年度は、昨年度移植した個体の移植 2 年後の活着状況の確認を実施しました。また、今年度も移植個体に開花が見られたことから、昨年度に引き続き、人工授粉の実施による種子採取を実施しました。

表 6-3-1-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}		
			環境省 RL	三重県 RDB	改訂・近畿
1	維管束植物	キンラン	VU	VU	C

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。

環境省 RL：「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年）掲載種

VU＝絶滅危惧Ⅱ類

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種

VU＝絶滅危惧Ⅱ類

改訂・近畿：「改訂・近畿地方の保護上重要な植物-レッドデータブック近畿 2001」（レッドデータブック近畿研究会、平成 13 年）掲載種

C＝絶滅危惧種 C

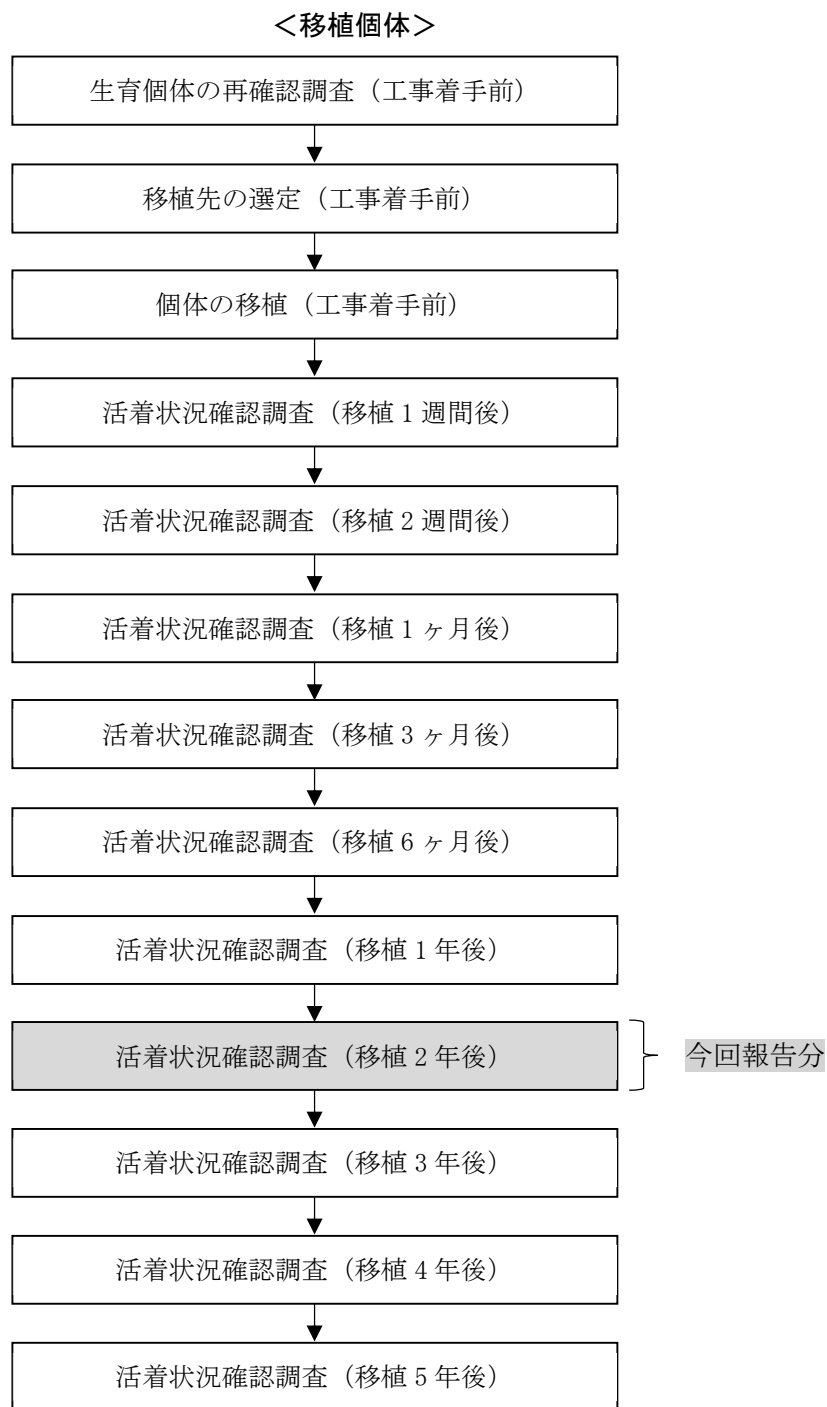


図 6-3-1-1(1) 事後調査フロー

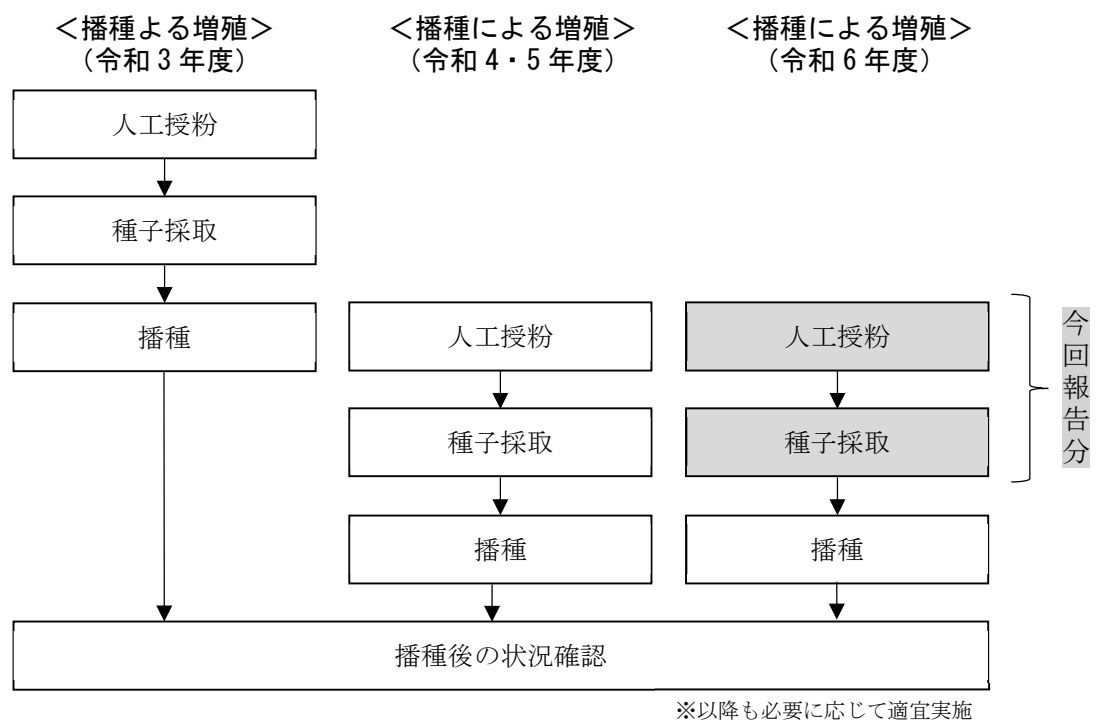


図 6-3-1-1 (2) 事後調査フロー

1-2 調査方法

①活着状況確認調査

移植 1 年後に相当する時期に、個体の生育状況を目視により確認し、草丈や葉数等を測定するとともに、写真撮影による記録を行いました。

②令和 6 年度人工授粉・果実採取

人工授粉は、昨年度と同様に開花個体を対象に行いました。

人工授粉作業では、袋掛けを一時的に取り除いたうえで、各花の花被片を切除し、蕊柱を露出させ、ピンセット及び粘着テープを用いて取り出した花粉塊を他個体の柱頭に付着させました。人工授粉後の個体については、速やかに再び袋掛けを行い、その後は随時、生育状況の確認を行いました。

果実採取は、秋季に果実の成熟が確認できたものから順次行い、1 週間程度風乾させたのち、果実を割って内部の種子を採取しました。採取した種子は、ジップ付き袋に入れ、播種作業まで冷蔵庫にて保存することとしました。

1-3 調査範囲及び調査地点

生育個体の採取地点及び残置森林内の移植地は図 6-3-1-2 に、移設地の詳細は図 6-3-1-3 に示したとおりです。また、本種の人工授粉・種子採取・播種作業についても、残置森林内の移植地内において実施しました。

なお、本種移植地は、令和 5 年度事後調査報告書「第 4 節 動物相、植物相及び植生（残置森林の順応的管理）」において示した A ゾーン（コナラ林）コドラート設置地点に当たります。

1-4 調査時期

調査時期は表 6-3-1-3 に示したとおり、活着状況確認調査は本種の開花期後に、人工授粉は本種の開花期にあたる春季に、種子採取は本種種子の成熟期にあたる秋季に実施しました。

表 6-3-1-3 調査時期

対象種	調査項目		調査年月日
	①活着状況確認調査	移植 2 年後	令和 6 年 4 月 13 日
キンラン	②令和 6 年度 人工授粉・種子採取	人工授粉	令和 6 年 4 月 20 日、21 日、26 日
		果実・種子採取	成熟期に適宜実施

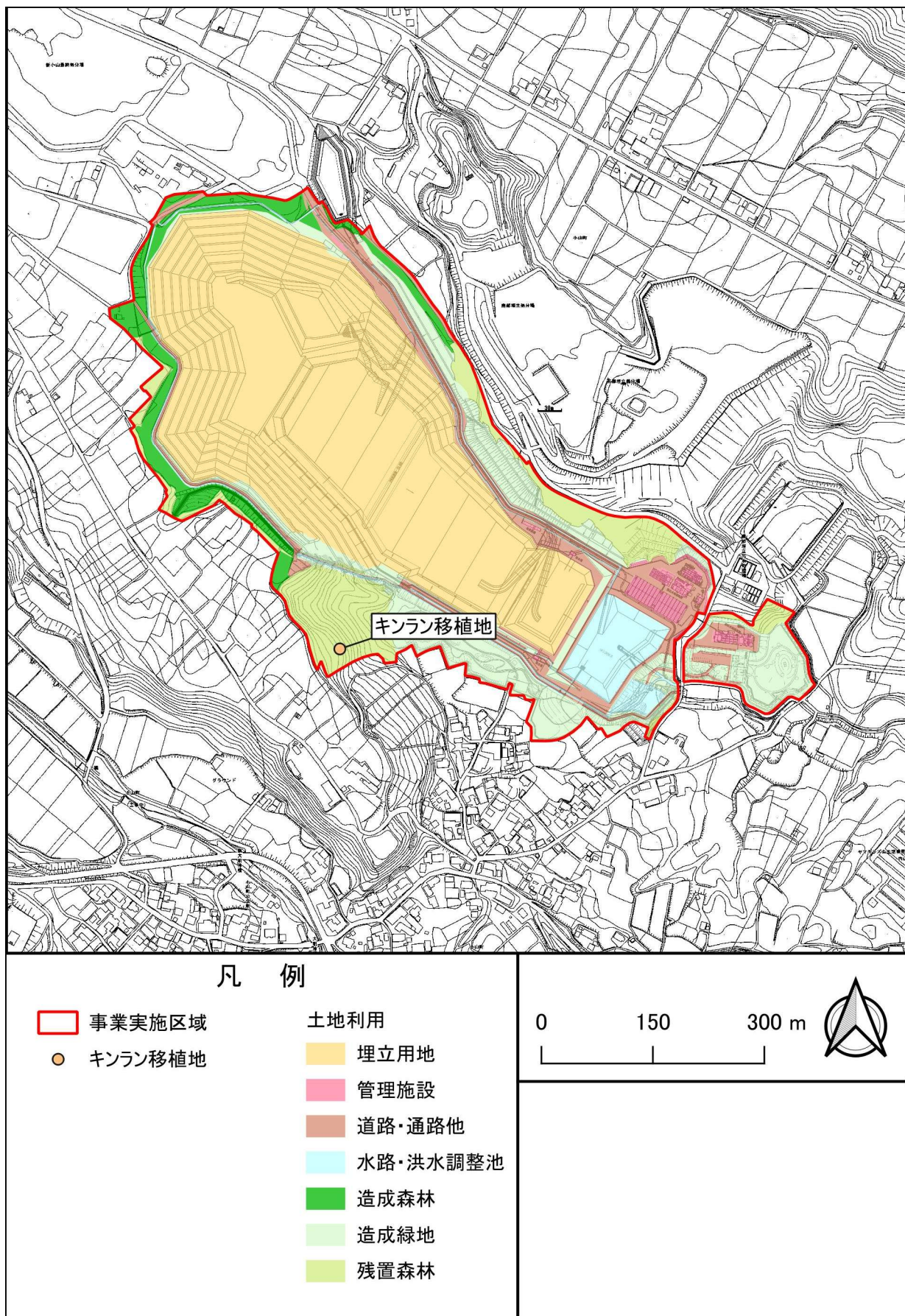


図 6-3-1-2 キンラン生育確認地点及び移植地

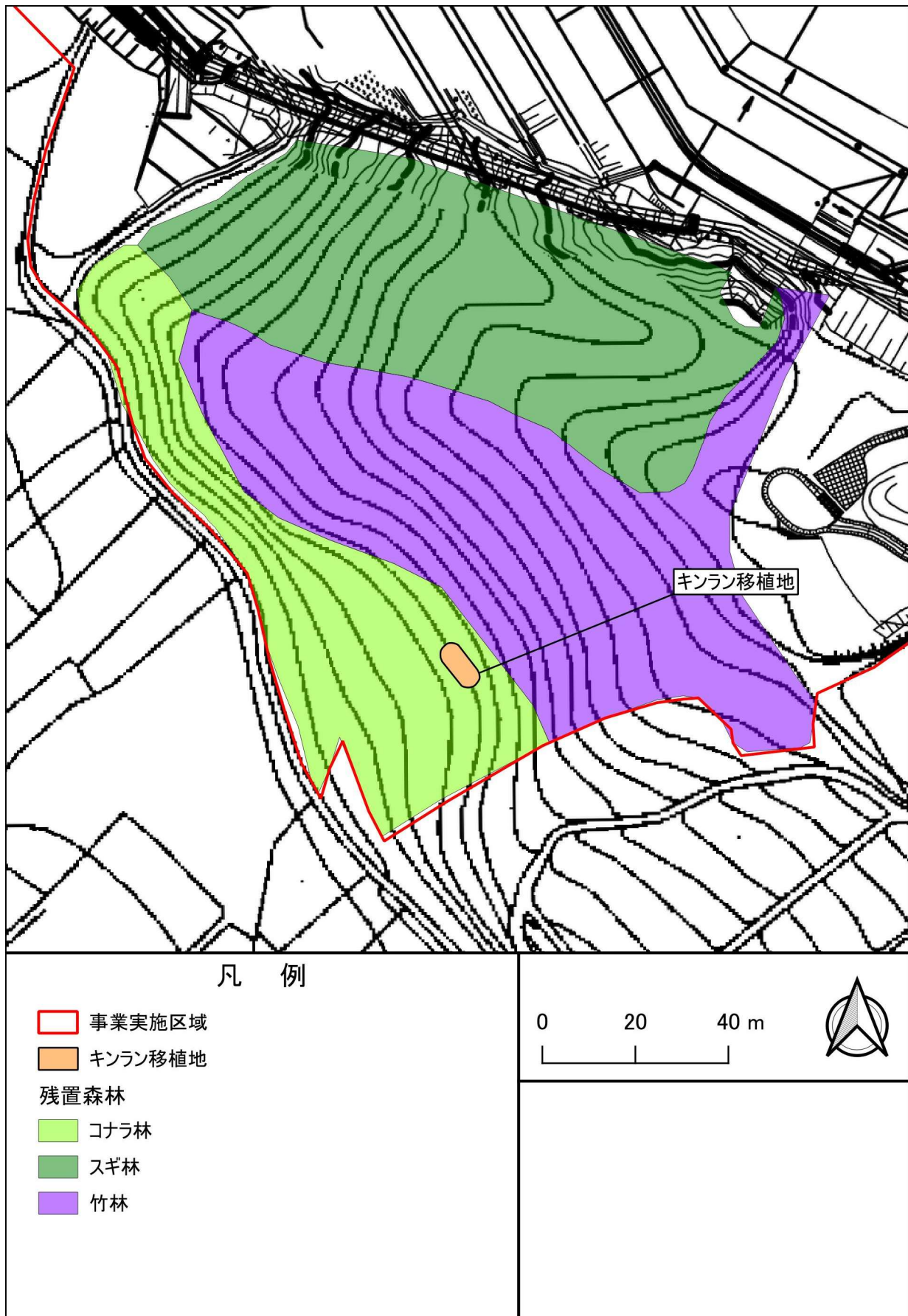


図 6-3-1-3 キンラン移植地（詳細）

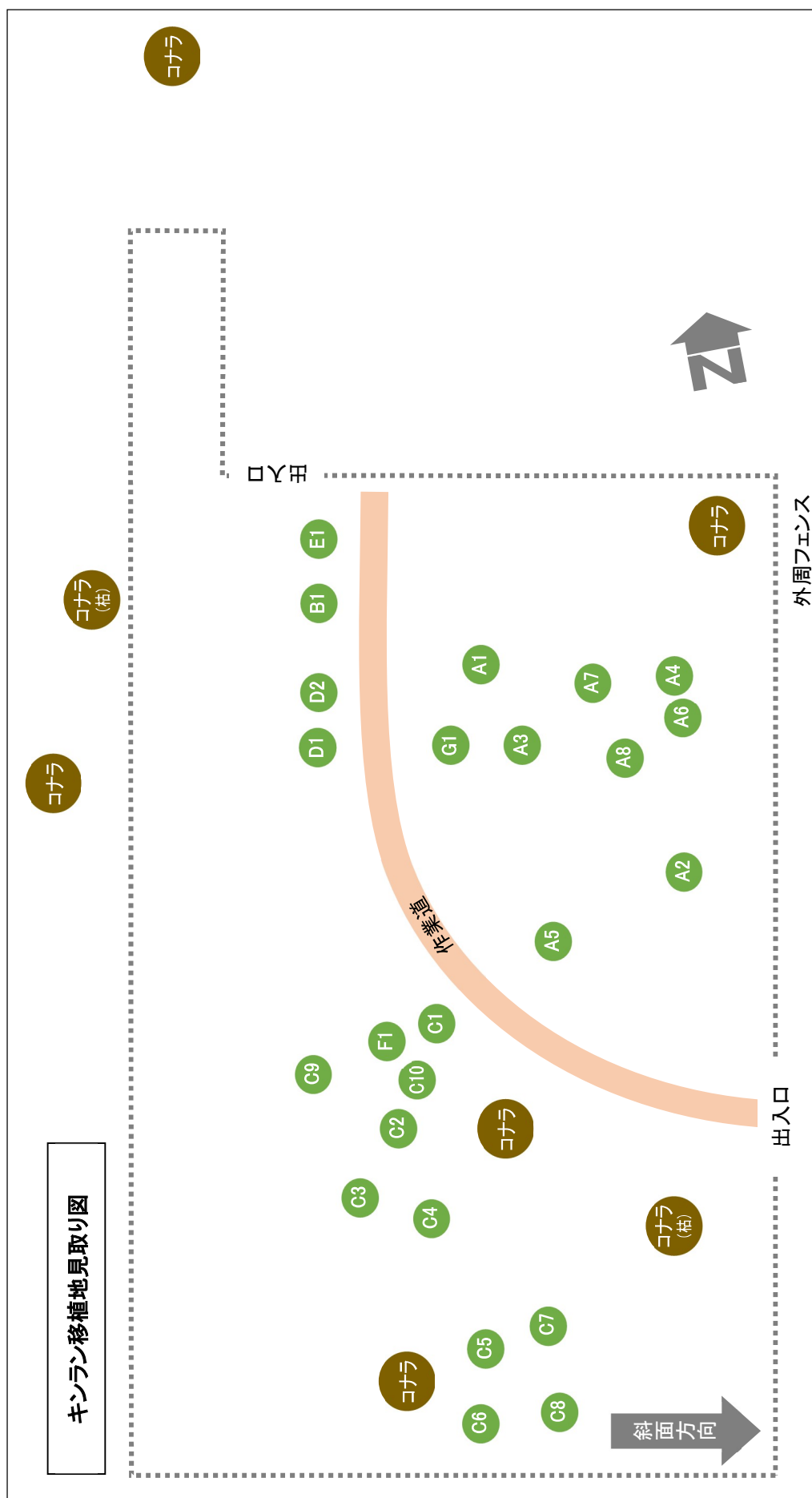


図 6-3-1-4 キンラン移植地の見取り図

1-5 調査結果

① 活着状況確認調査

移植 1 年後における調査結果の概要は表 6-3-1-4 に、個体No別の調査結果は表 6-3-1-5 に示したとおりです。なお、写真等の詳細については資料編に記載しました。

調査の結果、移植した 26 個体のうち、16 個体は生育が良好でした。このうち 14 個体で開花が見られ、移植 1 年後の前年調査時よりも開花個体数の増加が認められました。

今年度の調査では、前年同時期に地上部の認められなかった 6 個体のうち、3 個体（A-6、A-7、A-8）でやや生育が遅れているものの地上部の伸長が認められました。

表 6-3-1-4 キンラン調査結果（概要）

生育状況	令和 4 年					令和 5 年	令和 6 年
	4 月 13 日 (1 週間後)	4 月 22 日 (2 週間後)	5 月 17 日 (1 ヶ月後)	7 月 14 日 (3 ヶ月後)	10 月 3 日 (6 ヶ月後)	5 月 1 日 (1 年後)	5 月 1 日 (2 年後)
良好	20	21	23	19	16	13	16
やや不良	3	1	0	0	0	6	6
不良	0	1	0	2	0	1	0
枯れ	0	0	1	3	8	0	1
地上部なし	3	3	2	2	2	6	3

注：表中の数字は個体数

表 6-2-1-5 キンラン調査結果（個体No.別）

個体No.	令和4年度						令和5年度		令和6年度	
	4月13日 (1週間後)	4月22日 (2週間後)	5月17日 (1ヶ月後)	7月14日 (3ヶ月後)	10月3日 (6ヶ月後)	開花 有無	5月1日 (1年後)	開花 有無	5月1日 (1年後)	開花 有無
A-1	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	●
A-2	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎		◎	●
A-3	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	●
A-4	◎	◎	◎	△	×	●	△		○	
A-5	◎	◎	◎	◎	◎		◎	●	◎	●
A-6	○	◎	◎	◎	◎		—		○	
A-7	◎	◎	◎	◎	×	●	—		○	
A-8	—	—	—	—	—		—		○	
B-1	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎		○	
C-1	—	—	—	—	—		—		—	
C-2	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	●
C-3-a	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	●
C-3-b	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	●
C-4	◎	◎	◎	◎	×	●	○		—	
C-5	◎	◎	◎	×	×	●	○		◎	●
C-6	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	×	
C-7	○	△	×	×	×		—		—	
C-8	◎	◎	◎	◎	◎	●	○		◎	●
C-9	◎	◎	◎	◎	◎		—		◎	●
C-10	◎	○	◎	×	×		○		◎	●
D-1	◎	◎	◎	◎	×	●	◎	●	○	
D-2	◎	◎	◎	△	×	●	○		◎	●
E-1	◎	◎	◎	◎	◎	●	○		◎	
F-1	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	
G-1-a	○	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	◎	●
G-1-b	—	—	◎	◎	◎		◎		◎	●

注：「◎」良好 「○」やや不良 「△」不良 「×」枯れ 「—」地上部なし 「●」開花あり

② 令和 6 年度人工授粉・種子採取・播種

昨年度移植した個体に再び開花が確認されたことから、昨年度と同様に人工授粉及び果実採取を行い、種子繁殖による増殖を試みました。

人工授粉作業については、本種の花期にあたる 4 月下旬に移植地点を踏査し、生育・開花を確認した個体から順次実施しました。また、その後は随時、生育状況の確認を行い、秋季に果実の成熟が確認できたものから採取しました。

人工授粉後の経過では、直後の落果や袋の内部に侵入したアブラムシの吸汁により萎縮し、枯死するなど、当初の授粉花数より果実数は減少しました。残存した果実は 1 本の花序で 2 個となり、10 月には果実の成熟が確認できたことから、これらを採取して持ち帰りました。

なお、採取した果実は風乾して種子を保存し、次年度のものに合わせて播種を行うこととしました。

1-6 まとめ

移植 1 年後の活着状況の確認し、開花がみられた個体については、再び人工授粉の実施による種子採取を行いました。

移植した 26 個体のうち、今年度は C-1、C-4、C-7 の 3 個体について地上部が確認されませんでした。残った 23 個体では発芽がみられ、そのうち半数を超える 14 個体で開花が確認されました。このように、移植個体の中には一部地上部が消失した個体があるものの、全体として生育状況は概ね良好であり、本種の活着状況は順調であると考えられます。

次年度は、本種の移植 3 年後の活着状況についてモニタリング調査を実施し、必要に応じて追加の保全措置を検討していきます。また、開花が確認された個体については人工授粉の実施による種子採取を試み、引き続き播種による増殖を目的とした試みを継続することとします。

第2項 カラタチバナ、タシロラン

2-1 調査概要

増設事業評価書における予測結果において、生育個体の消失が予測されたカラタチバナについて、事業による影響の代償として、代替の生育環境に移植する計画としています。また、カラタチバナの再確認調査時に、新たに重要な維管束植物であるタシロランが改変区域内で確認されたことから、本種についてもカラタチバナと同様に、代替の生育環境に移植することとします。

調査対象種の概要は表 6-3-2-1 に、事後調査のフローは図 6-3-2-1 に示したとおりです。

今年度は、移植 2 年後の活着状況の確認を実施しました。

表 6-3-2-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}		
			環境省 RL	三重県 RDB	改訂・近畿
1	維管束植物	カラタチバナ		NT	
2		タシロラン	NT	VU	準

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。

環境省 RL：「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年）掲載種

NT＝準絶滅危惧

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種

VU＝絶滅危惧Ⅱ類、NT＝準絶滅危惧

改訂・近畿：「改訂・近畿地方の保護上重要な植物-レッドデータブック近畿 2001」（レッドデータブック近畿研究会、平成 13 年）掲載種

準＝準絶滅危惧

2-2 調査方法

移植 2 年後に相当する時期に、個体の生育状況を目視により確認し、草丈や葉数等を測定するとともに、写真撮影による記録を行いました。

2-3 調査範囲及び調査地点

残置森林内の移植地は図 6-3-2-2 に、移設地の詳細は図 6-3-2-3 に示したとおりです。

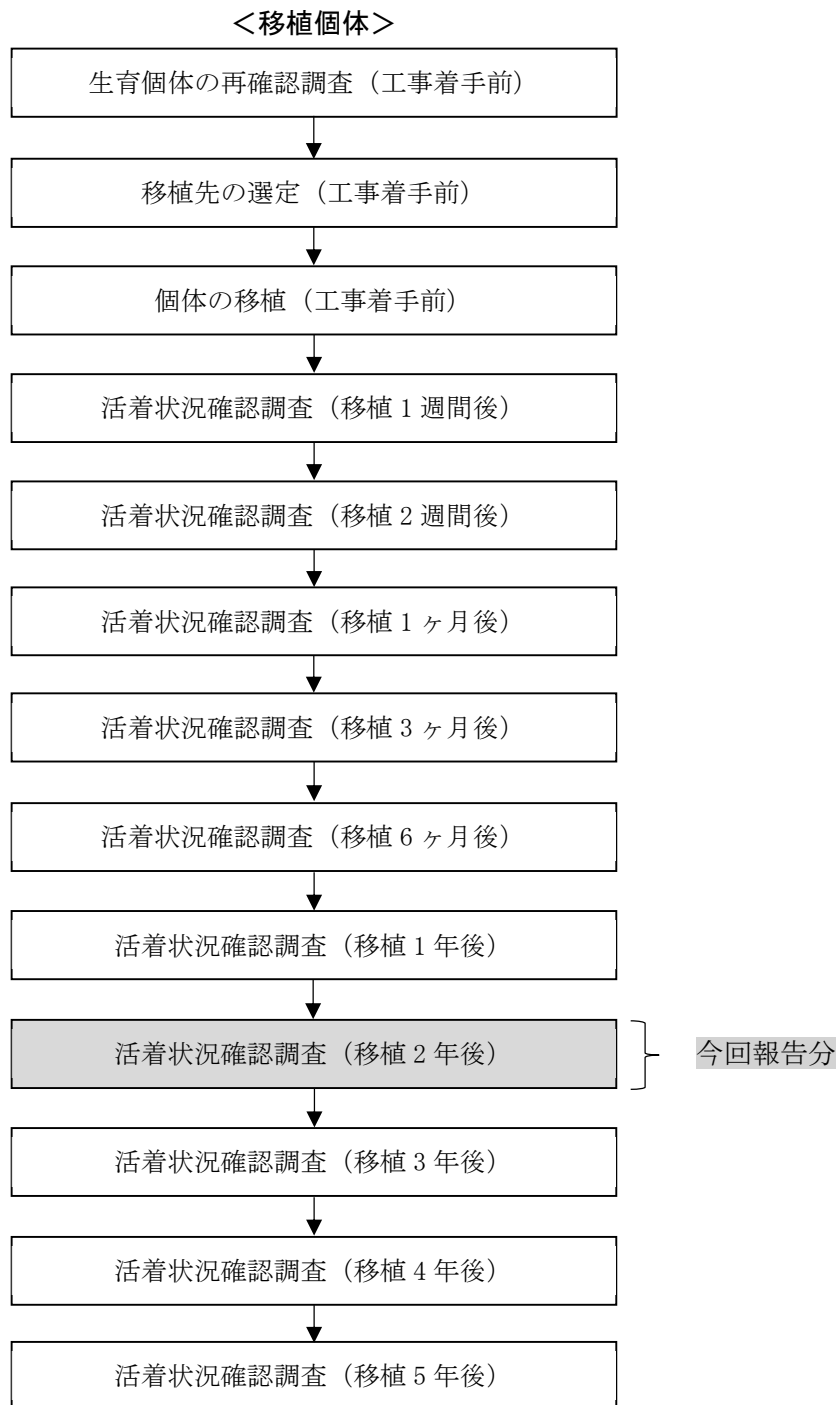


図 6-3-2-1 事後調査フロー

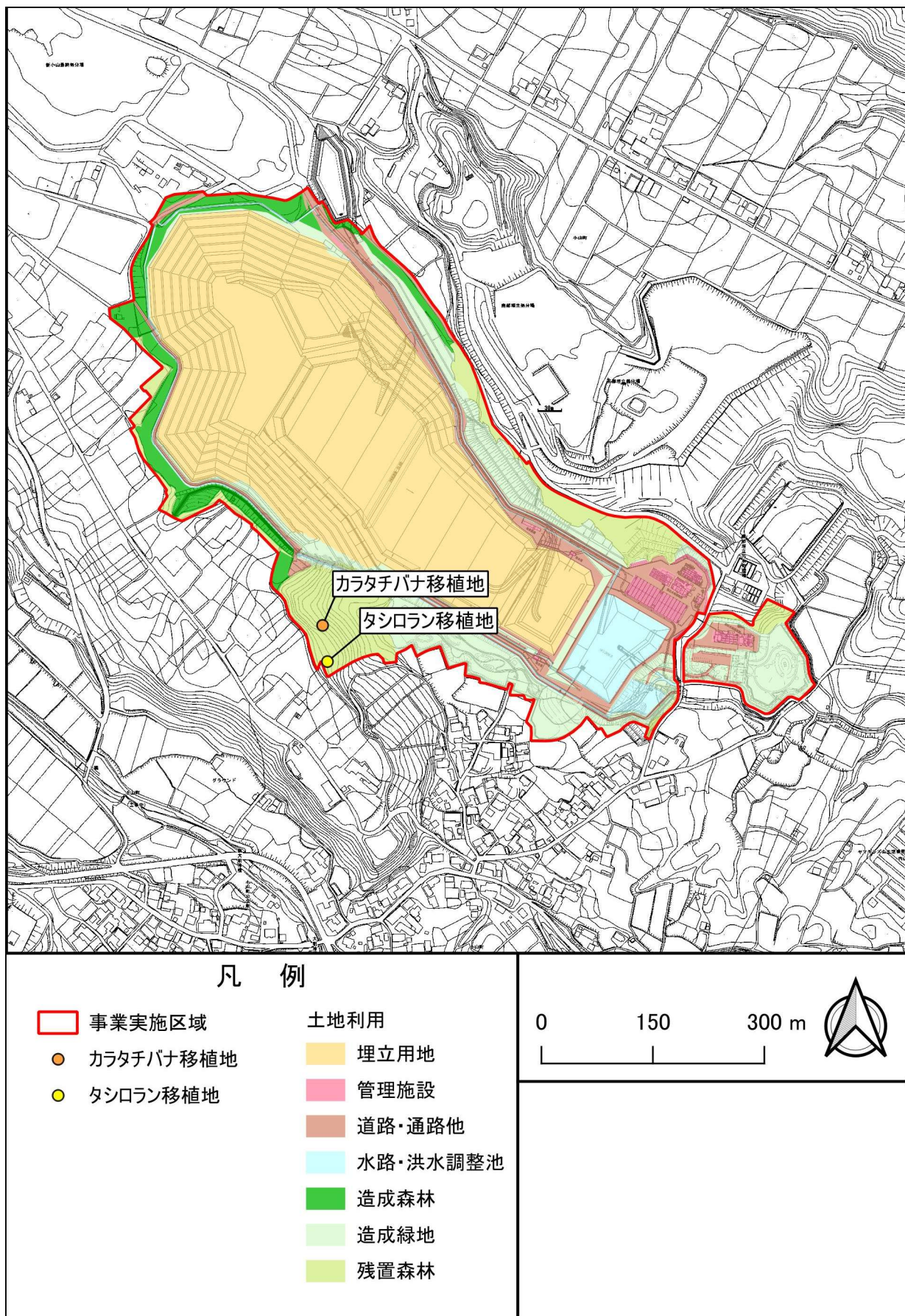


図 6-3-2-2 カラタチバナ・タシロラン生育確認地点及び移植地

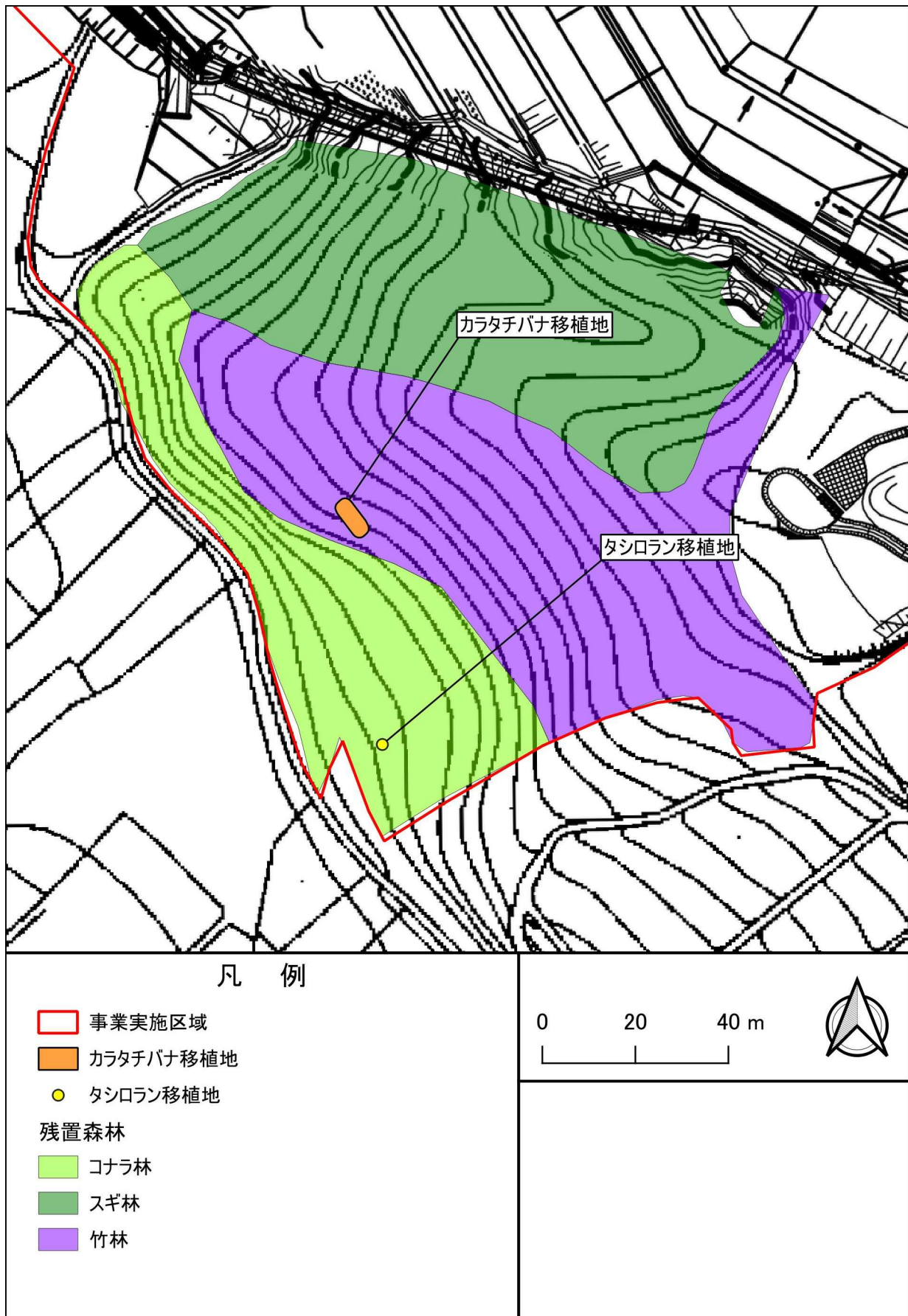


図 6-3-2-3 カラタチバナ・タシロラン移植地（詳細）

2-4 調査時期

調査時期は表 6-3-2-3 に示したとおり、活着状況の確認は調査対象のうち、タシロランの地上部が確認される時期に実施しました。

表 6-3-2-3 調査時期

対象種	調査項目		調査年月日
・カラタチバナ ・タシロラン	活着状況確認調査	移植 2 年後	令和 6 年 6 月 11 日

2-5 調査結果

移植 2 年後におけるカラタチバナの調査結果は表 6-3-2-4 に、タシロランの調査結果は表 6-3-2-5 に示したとおりです。なお、写真等の詳細については資料編に記載します。

今回の移植 2 年後調査では、生育が良好な個体は 6 個体（昨年 14 個体）、開花個体は 3 個体（昨年 8 個体）とそれぞれ減少し、生育がやや不良な個体が 3 個体（昨年 2 個体）、主幹が枯死し脇芽のみが残存しているなど衰弱した個体が 5 個体（昨年なし）、すべて枯死した個体が 3 個体（昨年 1 個体）に増加しました。

一方、タシロランの地上部は確認されませんでした。

表 6-3-2-4 カラタチバナ調査結果

個体 No.	生育状況	令和 4 年						令和 5 年		令和 6 年	
		4 月 13 日 (1 週間後)	4 月 22 日 (2 週間後)	5 月 17 日 (1 ヶ月後)	7 月 14 日 (3 ヶ月後)	10 月 3 日 (6 ヶ月後)	開 花	6 月 26 日 (1 年後)	開 花	6 月 11 日 (2 年後)	開 花
①	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好		良好	○
	草丈(cm)	20.5	20.5	20.5	22.0	23.0		28.0			
②	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好	○	良好	
	草丈(cm)	44.5	44.5	45.0	48.0	51.0		53.0			
③-a	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好		良好	○
	草丈(cm)	24.0	24.0	24.0	30.0	34.0		31.0			
③-b	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好	○	良好	○
	草丈(cm)	26.5	26.5	26.5	30.5	34.0		50.0			
④	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好	○	良好	
	草丈(cm)	37.0	37.0	40.5	42.0	43.5		32.0			
⑤	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好	○	衰弱	
	草丈(cm)	19.0	19.0	19.0	22.0	23.5		32.0			
⑥	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好	○	良好	○	衰弱	
	草丈(cm)	31.5	31.5	34.0	38.0	38.0		43.0			
⑦	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好		衰弱	
	草丈(cm)	13.5	13.5	14.5	15.0	14.0		9.5			
⑧	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好	○	やや不良		衰弱	
	草丈(cm)	39.0	39.0	42.5	46.0	47.0		39.5			
⑨	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好		やや不良	
	草丈(cm)	13.0	13.0	15.0	15.0	16.0		16.5			
⑩	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好		やや不良	
	草丈(cm)	18.0	18.0	18.0	18.0	19.5		19.0			
⑪	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好		良好	
	草丈(cm)	40.0	40.0	41.0	42.0	43.5		46.0			
⑫	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好	○	枯死		枯死	
	草丈(cm)	39.5	39.5	45.0	46.0	46.0		—			
⑬	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		やや不良	○	枯死	
	草丈(cm)	33.5	33.5	36.0	36.0	38.0		37.5			
⑭	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好		良好	○	やや不良	
	草丈(cm)	14.5	14.5	14.5	18.0	19.5		22.5			
⑮	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好	○	良好		衰弱	
	草丈(cm)	21.0	21.0	22.0	22.0	23.0		21.5			
⑯	生育状態	良好	良好	良好	良好	良好	○	良好	○	枯死	
	草丈(cm)	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5		22.5			

表 6-3-2-5 タシロラン調査結果

個体 No.	生育状況	令和 4 年					令和 5 年	令和 6 年
		4 月 13 日 (1 週間後)	4 月 22 日 (2 週間後)	5 月 17 日 (1 ヶ月後)	7 月 14 日 (3 ヶ月後)	10 月 3 日 (6 ヶ月後)	6 月 26 日 (1 年後)	6 月 11 日 (2 年後)
①	生 育 状 態	地上部なし	地上部なし	地上部なし	地上部なし	地上部なし	地上部なし	地上部なし
	草 丈 (cm)							
	花・結実数							

2-6 まとめ

令和4年度に移植を行ったカラタチバナとタシロランについて、移植2年後の活着状況の確認を行いました。

カラタチバナについては枯死個体や衰弱した個体が増加していることから、必要に応じて追加の保全措置を検討していきます。タシロランは移植2年後の時点では地上部は確認されませんでしたが、本種は従属栄養植物であり環境条件が整わないと花序を発生させない可能性があることから、次年度以降に再び発生する可能性があると考えられます。

第3項 ツツイトモ

3-1 調査概要

増設事業評価書における予測結果において、濁水の流入による生育個体への影響が予測されたツツイトモについて、必要に応じて早期の対策が講じられるよう本種の消長を継続的に確認する計画としています。

調査対象種の概要は表 6-3-3-1 に、事後調査のフローは図 6-3-3-1 に示したとおりです。

今年度は工事期間中における生育状況の確認を目的とした調査を実施しました。

表 6-3-3-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況 ^{※1}	
			環境省 RL	三重県 RDB
1	維管束植物	ツツイトモ	VU	VU

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。

環境省 RL：「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年）掲載種

VU＝絶滅危惧Ⅱ類

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種

VU＝絶滅危惧Ⅱ類

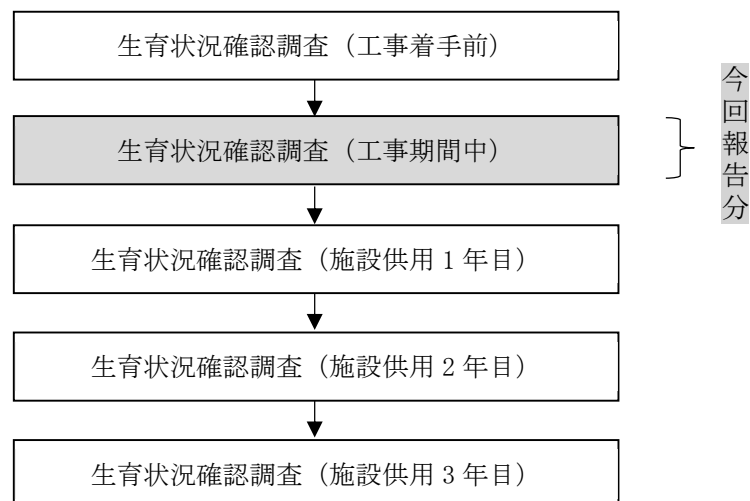


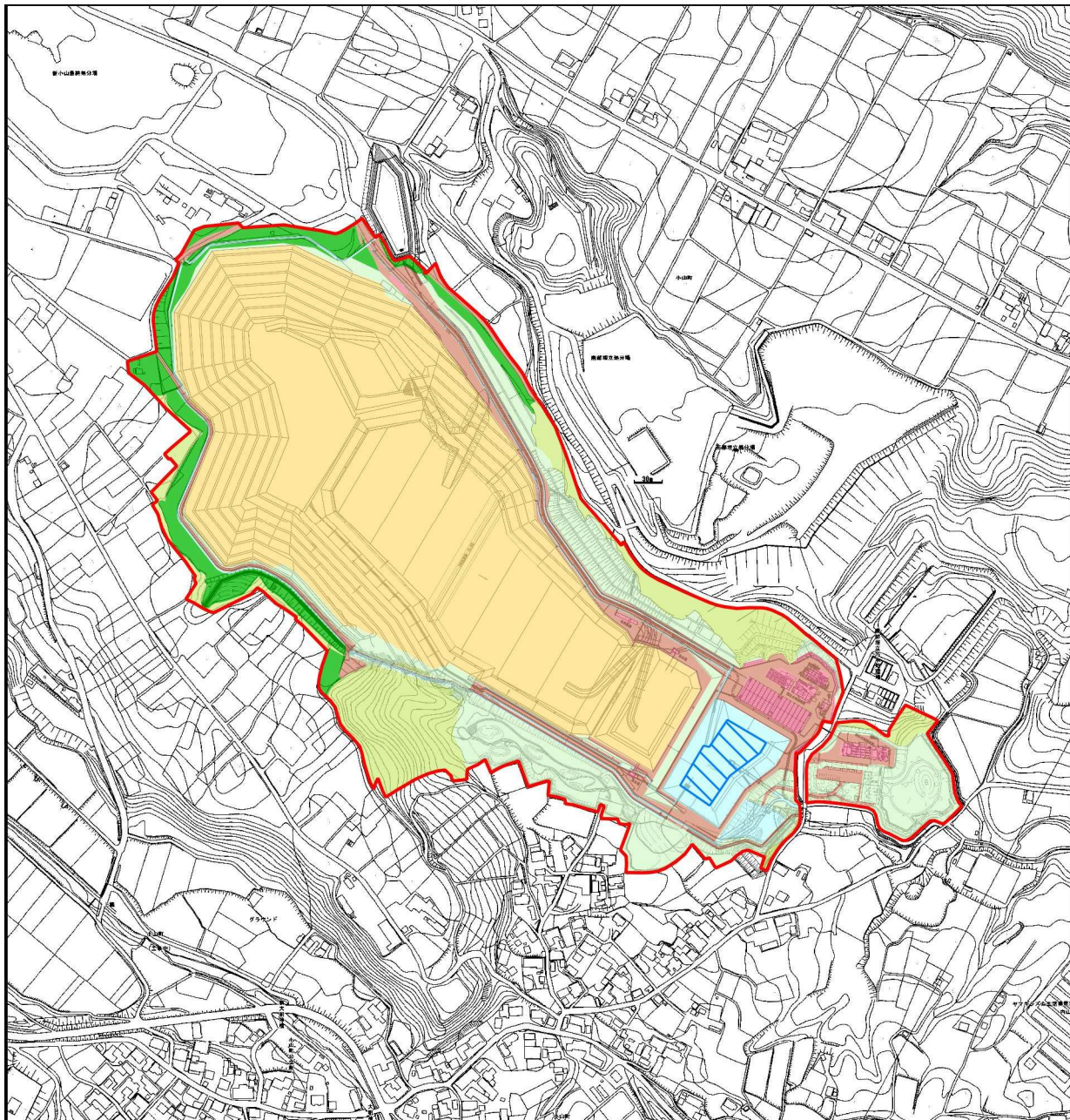
図 6-2-3-1 事後調査フロー

3-2 調査方法

生育個体の既知の確認地点を踏査し、個体の生育状況を目視により確認するとともに、写真撮影による記録を行いました。

3-3 調査範囲

調査範囲は図 6-2-3-2 に示したとおり、既知の生育確認地点である既設洪水調整池において実施しました。



凡 例

- | | |
|--|---|
| 事業実施区域 | 土地利用 |
| ツツイトモ調査範囲 | 埋立用地 |
| | 管理施設 |
| | 道路・通路他 |
| | 水路・洪水調整池 |
| | 造成森林 |
| | 造成緑地 |
| | 残置森林 |

0 150 300 m



図 6-2-3-2 (1) ツツイトモ調査範囲 (広域図)

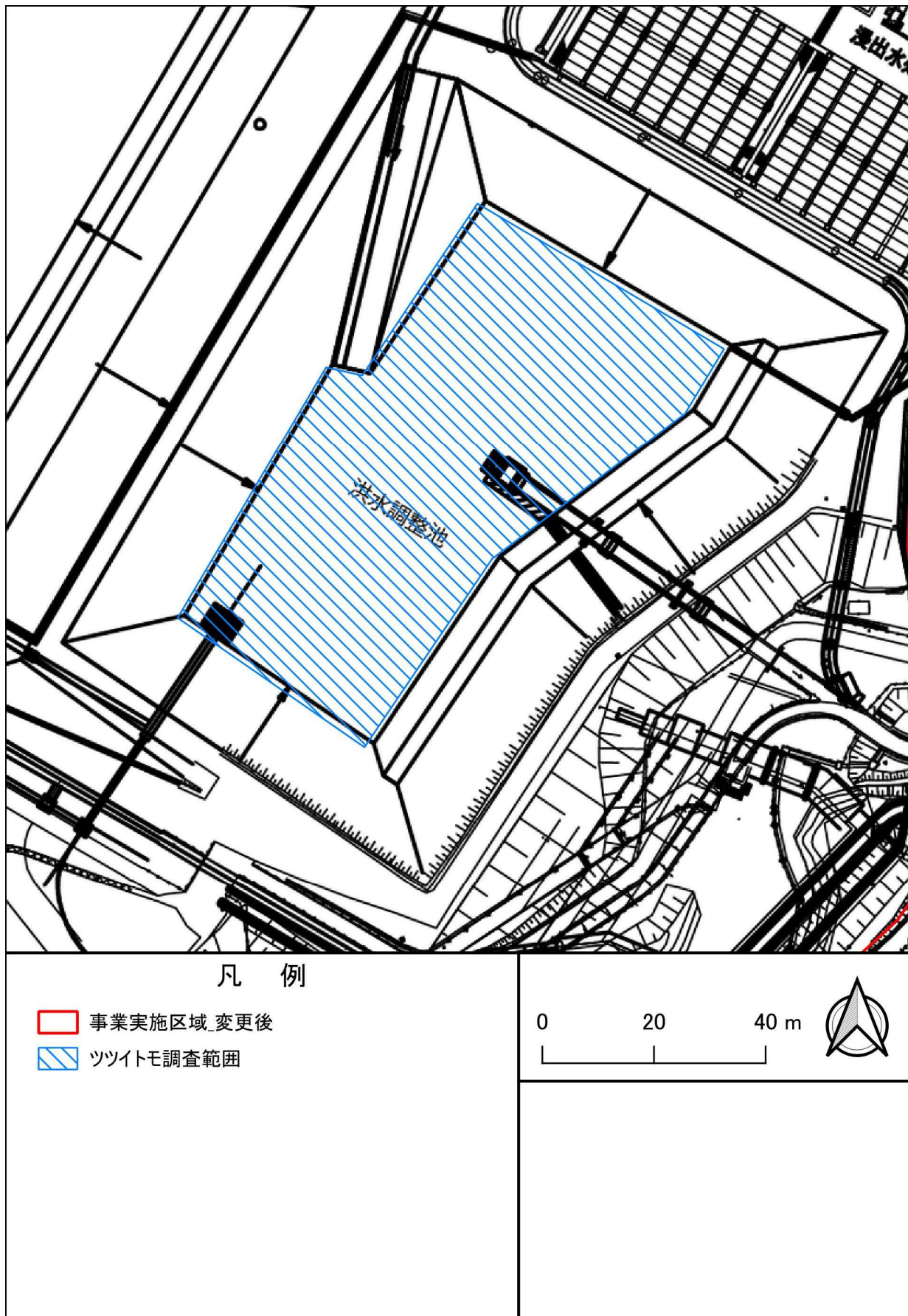


図 6-2-3-2 (2) ツツイトモ調査範囲 (詳細図)

3-4 調査時期

調査時期は表 6-2-3-2 に示したとおり、生育が最も活発になると考えられる夏季に実施しました。

表 6-2-3-2 調査時期

対象種	調査項目	調査年月日
ツツイトモ	生育状況確認調査	令和 6 年 7 月 16 日

3-5 調査結果

昨年度と同様に、調整池でツツイトモの生育が確認されました。本種の生育状況は表 6-2-3-3 に、生育確認範囲は図 6-2-3-3 に示したとおりです。

調整池の開放水面エリアにはヒシが広範囲に分布しており、ツツイトモの生育はヒシの分布範囲には見られず、岸際の一部の狭いエリアに限られていました。また、ツツイトモは通常底質に根を張り沈水状態で生育しますが、多くの個体が水中で切れ藻の状態（浮遊状態）にありました。なお、採取した個体は開花・結実も多く認められ、生育状態は良好でした。

このように、ツツイトモの生育状態は良好であるものの、生育範囲は狭くなっています。その要因として以下のような状況が考えられます。

- ・砂質から泥質への底質の変化

調整池の開放水面内の広い範囲でツツイトモの生育が確認された令和 4 年度調査時は、前年に実施された工事の影響で、池の底質は広い範囲が砂質であった。その後シルト質の流入、堆積が進み、今年度調査時は池の全域で、砂質底の上層に 20～25 cm 程度の軟泥の堆積が認められた。


ツツイトモの種子は他種と比較して重く、底泥に沈み込む傾向があり、泥の下に沈んだ種子は嫌氣的で光の当たらない環境のため発芽しにくい¹。

- ・ヒシの繁茂による生育阻害

調整池の開放水面内では、ヒシは令和 5 年以降、広範囲にわたり急激に繁茂したが、ヒシの浮葉による水中での日照条件の悪化、栄養塩類や溶存酸素量の競合などによる、ツツイトモへの生育阻害が生じている可能性が高い。

¹ 北畠他, 2008, 絶滅危惧水生植物ツツイトモ *Potamogeton panormitanus* の再生・保全の研究. 水利科学 52(1):16-25

表 6-2-3-3 ツツイトモ生育状況

	
<p>ヒシの 繁茂状況</p>	<p>ヒシの 繁茂状況</p>
	
<p>ツツイト モの 状況</p>	<p>ツツイト モの 状況</p>

3-6 まとめ

令和4年度には、ツツイトモはほぼ池全体に生育していましたが、令和5年度にはヒシの分布が拡大する一方、本種の生育面積の大幅な減少が見られました。今年度はさらに生育面積が縮小し、切れ藻の状態で浮遊している個体が多く見られました。

次年度も池の底質へのシルトの堆積がさらに進むと考えられることから、追加の保全措置の必要性を検討するとともに、引き続き本種の消長について調査を実施することとします。



第4節 葉状地衣類（大気汚染指標種）

第1項 調査概要

増設事業準備書に対して、有識者から大気汚染の指標となる葉状地衣類（ウメノキゴケ類）の生育状況を確認することが望ましいとの助言を受けたことから、葉状地衣類の生育状況を継続的に調査する計画としています。

事後調査のフローは図 6-4-1-1 に示したとおりです。

今年度は、過年度調査時に指標対象とした葉状地衣類③、④について、工事期間中における生育状況の確認を実施しました。

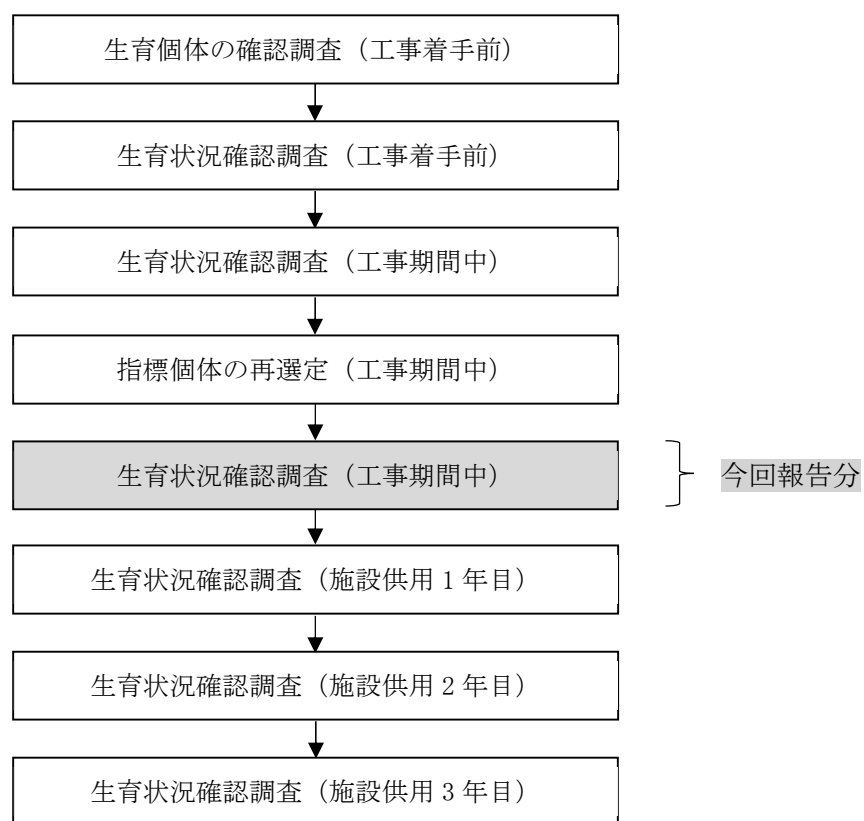


図 6-4-1-1 事後調査フロー

1-1 調査方法

令和3年度の事後調査時点では、現況調査で確認していた事業実施区域外に生育する葉状地衣類①、②を指標対象としていましたが、令和4年度調査時に事業実施区域内を再踏査し、生育を確認し、指標対象としてマーキングを行った、事業実施区域内の回復緑地における葉状地衣類再選定個体③、④について、写真撮影を行うとともに、その大きさや生育状況を記録しました。

1-2 調査範囲及び調査地点

葉状地衣類③、④の生育状況確認調査については図6-4-1-2に示したとおり、事業実施区域内の生育地点において調査を実施しました。

1-3 調査時期

調査時期は表6-4-1-1に示したとおり、葉状地衣類が確認しやすい冬季に実施しました。

表 6-4-1-1 調査時期

対象種	調査項目	調査年月日
葉状地衣類（ウメノキゴケ類）	生育状況確認調査	令和6年 11月 27日

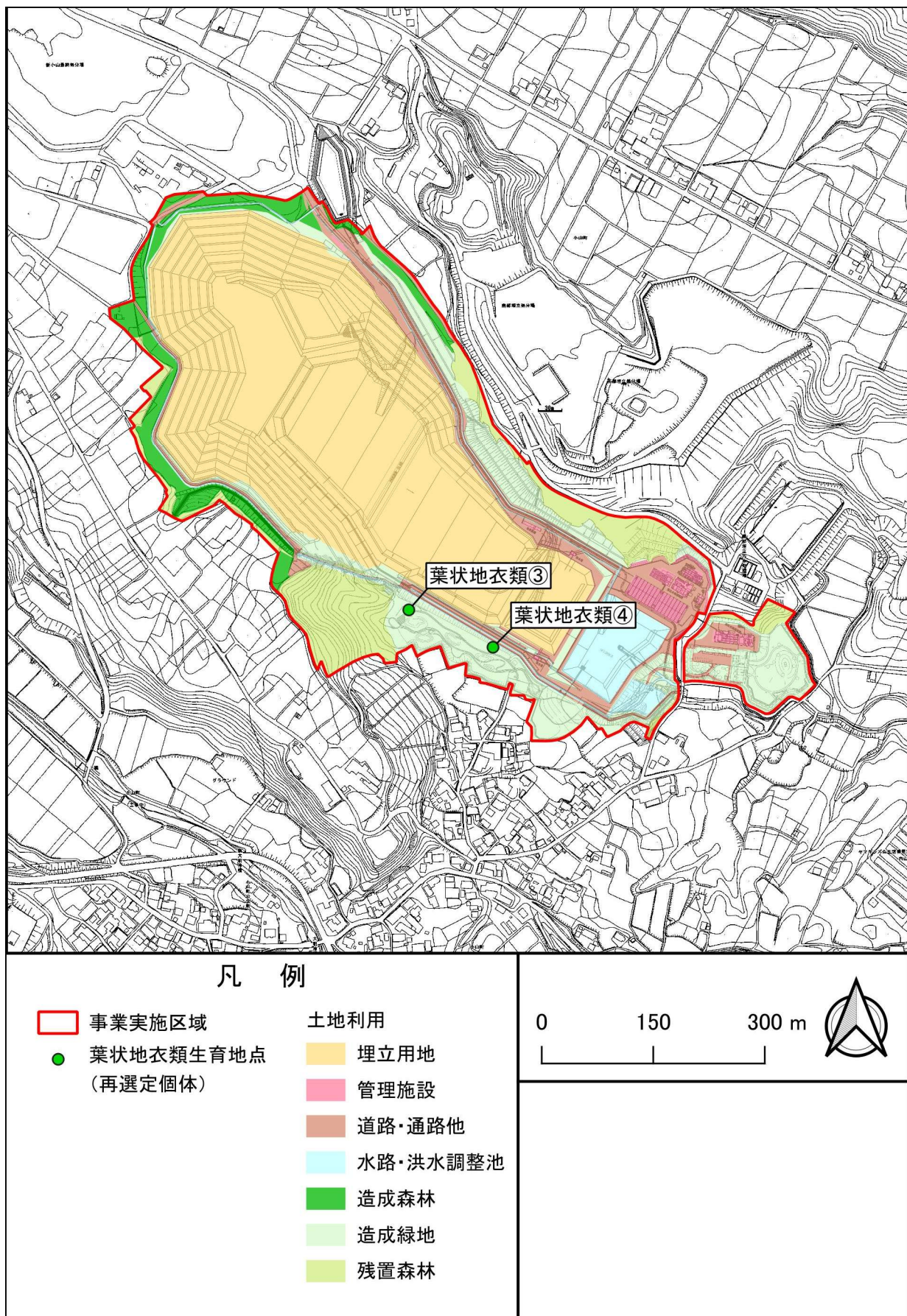








図 6-4-1-2 葉状地衣類調査範囲及び調査地点

第2項 調査結果

いずれの個体も昨年度と比較して生育範囲の拡大が認められました。葉状地衣類③、④の生育状況は、表 6-4-2-1 に示したとおりです。

各個体の生育状態は、変色等は認められず、良好な状態と判断されました。

表 6-4-2-1 葉状地衣類生育状況

	葉状地衣類③	葉状地衣類④
種名	ナミガタウメノキゴケ	ナミガタウメノキゴケ
着生基物	樹木（クヌギ）の樹皮	樹木（アラカシ）の樹皮
令和5年 2月20日		
	縦 98mm×横 91mm	縦 38mm×横 39mm
令和5年 11月27日		
	縦 115mm×横 121mm	縦 46mm×横 49mm
令和6年 11月25日		
	縦 146mm×横 127mm	縦 58mm×横 63mm

2-1 まとめ

昨年度は事業実施区域内の回復緑地において葉状地衣類の生育を確認したことから、今年度からは生育環境の維持に関してより確実性の高い事業実施区域内の葉状地衣類③、④を指標対象として調査を実施することとしました。

今年度の調査では、葉状地衣類③、④ともに生育範囲を拡大しており、色の変化も認められなかったことから、良好な生育状態と判断されました。

次年度も大気汚染の指標として、引き続き葉状地衣類の生育状況のモニタリング調査を実施することとします。

第5節 生態系

第1項 上位性注目種：フクロウ

1-1 調査概要

増設事業評価書における現況調査において、増設事業における改変区域で営巣・繁殖している状況が確認されました。そのため、本種を当該地域の生態系上位性注目種に選定し、本事業の実施に伴う影響を予測した結果、本種の営巣木の消失が予測されたことから、代替となる繁殖環境（巣箱）を整備することで、事業による影響を代償し、モニタリングを行う計画としています。

調査対象種の概要は表 6-5-1-1 に、事後調査のフロー図は 6-5-1-1 に示したとおりです。

今年度は、すでに架設している巣箱の利用状況及び残置森林とその周辺における繁殖状況の確認を目的とした調査を実施しました。

表 6-5-1-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況※1
			三重県 RDB
1	上位性注目種 (鳥類)	フクロウ	NT

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種

NT＝準絶滅危惧

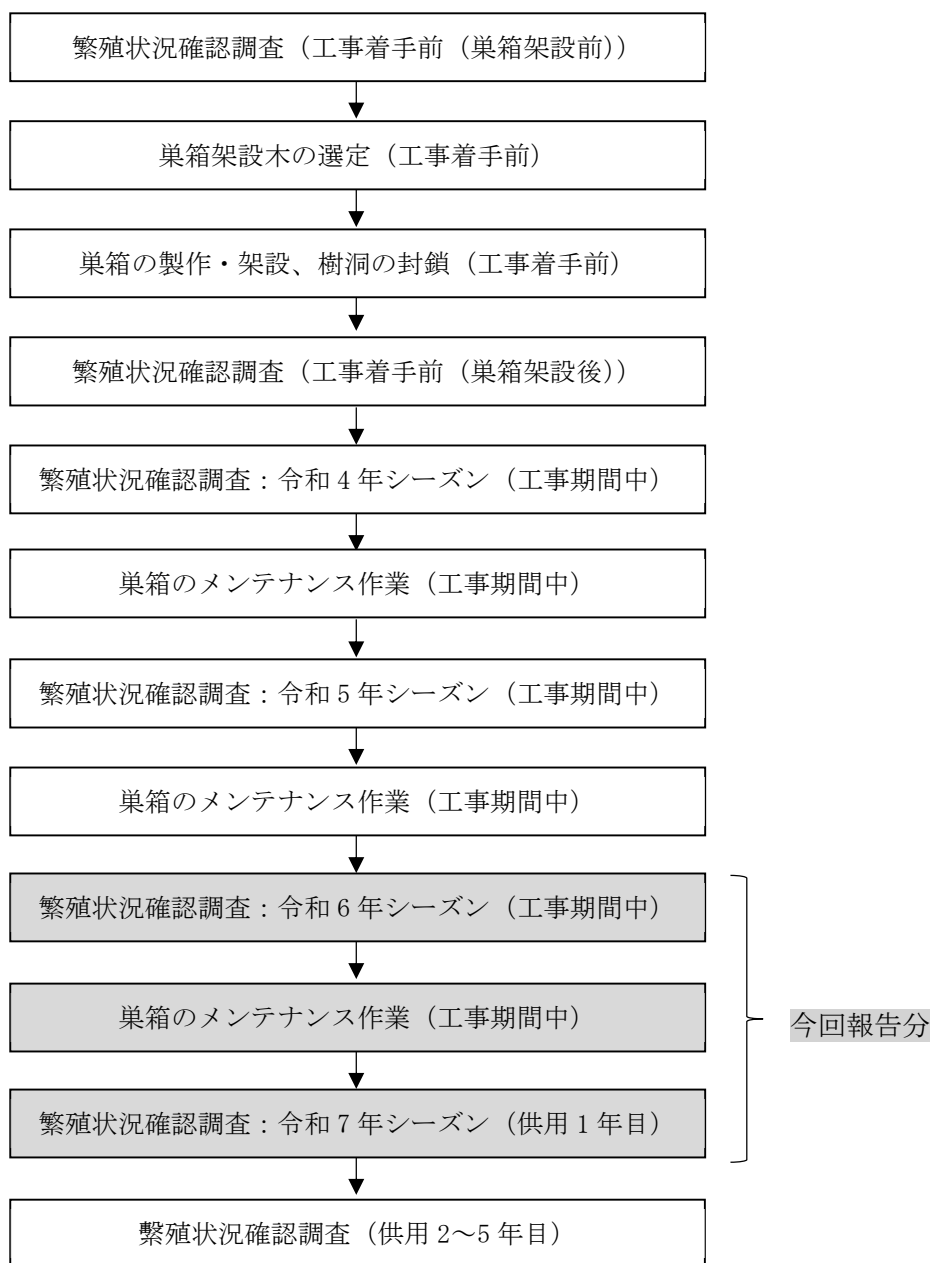


図 6-5-1-1 事後調査フロー

1-2 調査方法

① 令和 6 年シーズンの繁殖状況及び巣箱利用状況確認調査

令和 5 年度事後調査報告書のとおり、令和 6 年 3 月に、フクロウ巣箱①において本種の抱卵を確認しました。そのため、増設事業評価書の事後調査実施計画に基づき、令和 6 年シーズンの繁殖状況確認調査を 7 月の巣外育雛期まで継続して実施することとしました。

調査は基本的に夜間を実施することとし、任意観察による調査と併用して、声聞き調査や日中の直接観察調査を適宜実施しました。また、フクロウ巣箱①～③を対象に、自動撮影カメラ調査として令和 4 年 12 月に開始し、定期的に撮影画像を確認することで本種の行動を観察しました。

② 巣箱のメンテナンス作業

本種は 1 月頃から繁殖期に入ることから、繁殖期に入る前の令和 6 年 11 月に巣箱のメンテナンス作業を実施しました。

メンテナンス作業では、巣箱設置状況（巣箱の安定度等）の確認、巣箱内の清掃、内部底面に敷いたミズゴケの交換、餌の残渣の採取、自動撮影カメラの設置等を行いました。

③ 令和 7 年シーズンの繁殖状況及び巣箱利用状況確認調査

本種は 1 月頃から繁殖期に入ることから、「①令和 6 年シーズンの巣箱利用状況及び繁殖状況確認調査」と同様に調査を実施しました。

なお本シーズンは、代償措置として設置した巣箱において、3 回の繁殖・巣立ちを確認した翌年の 4 回目の繁殖期にあたり、引き続き 3 ヶ所の巣箱付近を中心に調査を実施しました。

また、各巣箱に自動撮影カメラを設置し、定期的に撮影画像を確認することで本種の行動を観察しました。

1-3 調査範囲及び調査地点

繁殖状況確認調査は事業実施区域内の樹林を対象とし、樹林からの鳴き声が聞き取れる位置に適宜移動して実施しました。また、巣箱の利用状況確認調査は図 6-5-1-2 に示した地点で行いました。

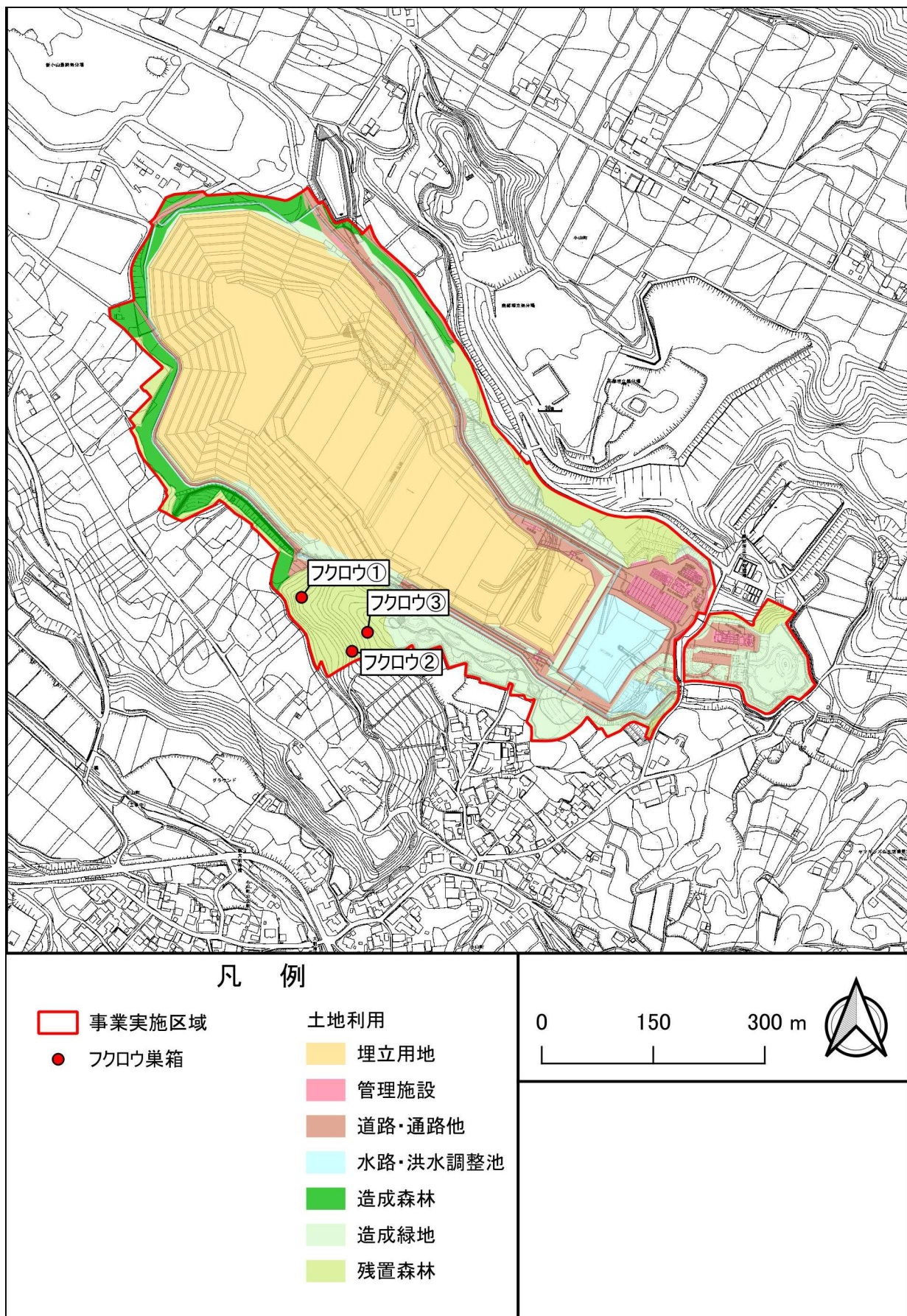


図 6-5-1-2(1) フクロウ調査範囲・地点（広域図）

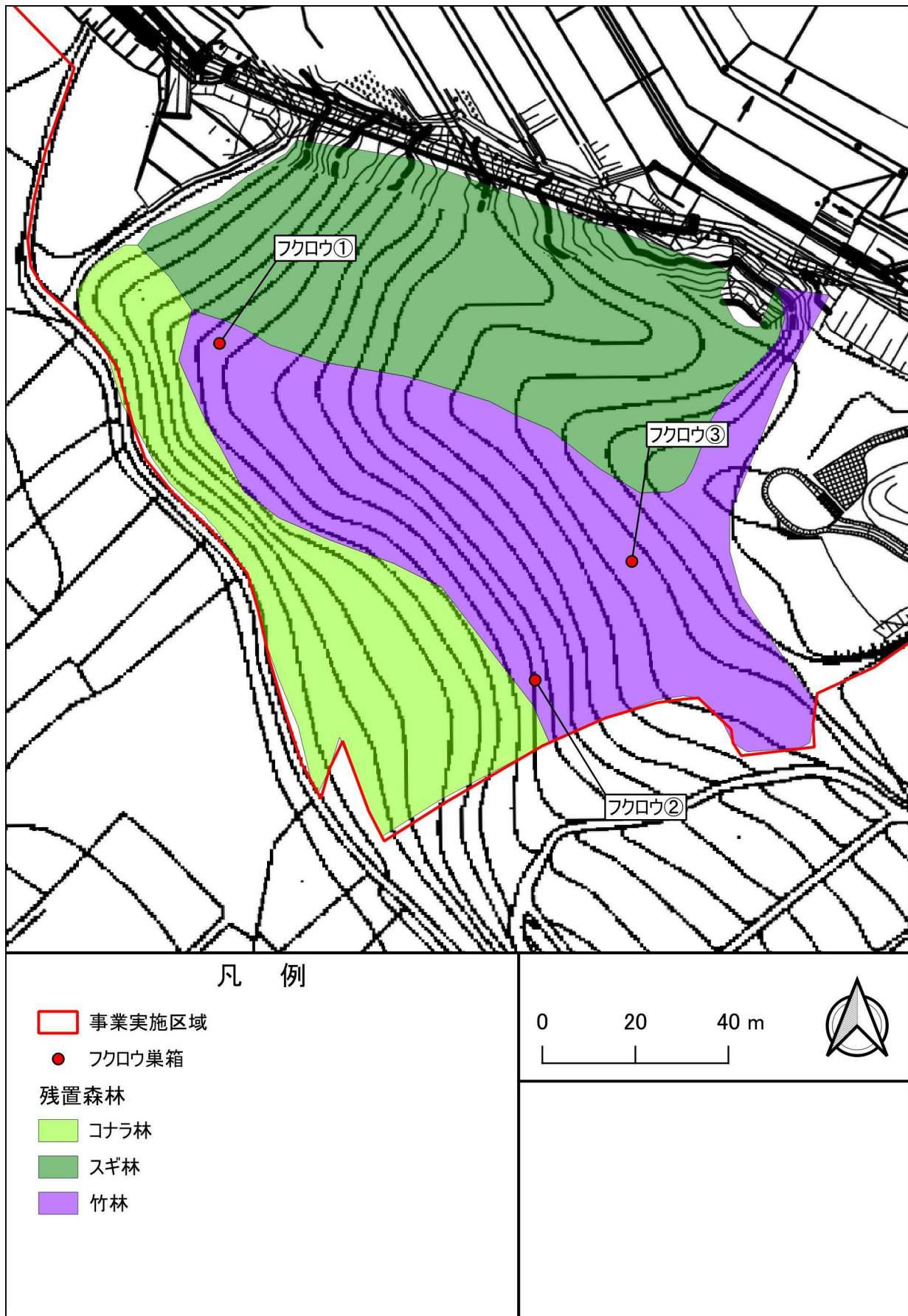


図 6-5-1-2(2) フクロウ調査範囲・地点（詳細図）

1-4 調査時期

調査時期は表 6-5-1-2 に示したとおり、令和 6 年シーズンは本種の幼鳥が確認される 7 月まで、巣箱のメンテナンス作業は令和 7 年シーズンの繁殖期前に、令和 7 年シーズンは本種の繁殖活動が始まる 1 月から実施しました。

表 6-5-1-2 調査時期

対象種		調査項目	調査年月日
【増設事業】 ・上位性注目種 (鳥類)	フクロウ	①令和 6 年シーズン繁殖状況及び巣箱利用状況確認調査	令和 6 年 4 月 10 日 令和 6 年 5 月 1 日 令和 6 年 6 月 11 日 令和 6 年 7 月 8 日
		②巣箱のメンテナンス作業	令和 6 年 11 月 25 日
		③令和 7 年シーズン繁殖状況及び巣箱利用状況確認調査	令和 7 年 1 月 20 日 令和 7 年 2 月 21 日 令和 7 年 3 月 19 日

1-5 調査結果

①令和 6 年シーズン繁殖状況及び巣箱利用状況確認調査

夜間調査による鳴き声の確認状況は図 6-5-1-3 に、自動撮影カメラ及び直接観察による確認状況は表 6-5-1-3 に示したとおりです。

1 月から 3 月（前半）の確認状況は令和 5 年度事後調査報告書に示したとおり、1 月は巣箱①に出入りする成鳥（性不明）を、2 月は巣箱①、巣箱②、巣箱③をそれぞれ出入りする成鳥（性不明）を、3 月は直接観察により、巣箱①の内部においてフクロウ雌の抱卵が確認されました。

4 月は、声聞きによって、巣箱①付近および事業地外の樹林からフクロウ雄の声を確認したほか、自動撮影カメラのデータでは巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認しました。巣箱内で抱卵している雌への給餌と思われました。

5 月は、直接観察によって、巣箱①内においてフクロウの雛 2 個体を確認しました。また、自動撮影カメラのデータでは、巣箱①の入り口にとまるフクロウ成鳥（性不明）やフクロウ幼鳥 2 羽が頻繁に確認されました。フクロウ幼鳥 2 羽は、5 月 3 日に確認されて以降は自動撮影カメラに記録されていないことから、この日に巣立ちしたものと考えられました。

6 月は、声聞きによって事業地外の樹林からフクロウ雄と幼鳥の声を確認され、巣外育雛中と考えられました。

7 月は、残置森林内の巣箱①付近からフクロウ幼鳥の声を確認されました。

以上の調査結果から、令和 6 年シーズンは巣箱①において繁殖に成功し、2 羽の幼鳥が巣立つたと判断しました。代替巣における繁殖の成功は令和 4 年シーズン、令和 5 年シーズンに引き続いて 3 年目となります。

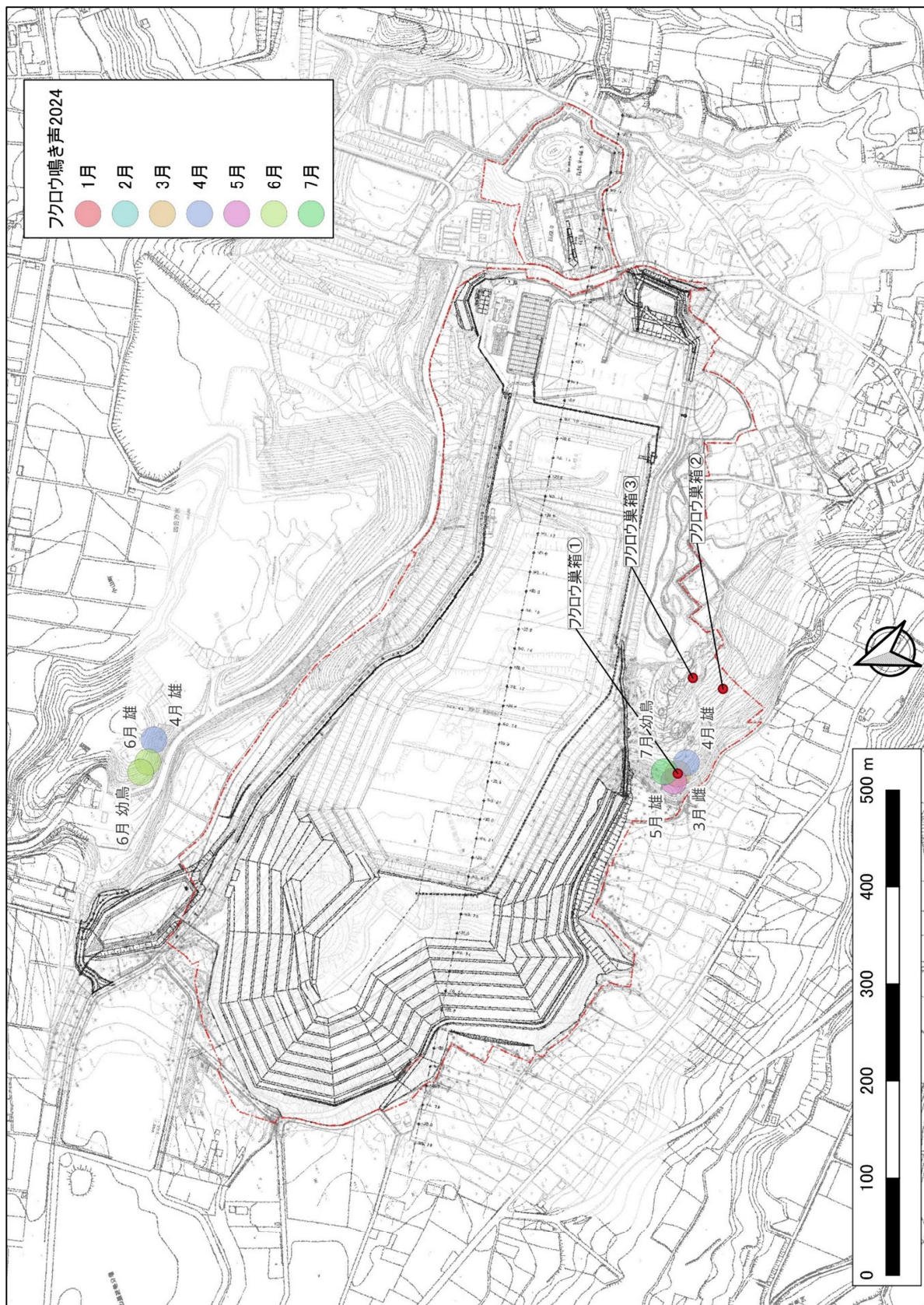


図 6-5-1-3 フクロウ鳴き声確認位置 (令和 6 年シーズン)

表 6-5-1-3(1) 自動撮影カメラ・直接観察による確認状況（令和5年シーズン）




日付	時間	確認方法	確認内容
令和6年3月18日	15:00	直接観察	巣箱①にてフクロウ雌の抱卵を確認 
令和6年3月18日	日没-19:30	声聞き	残置森林（巣箱①付近）からフクロウ雌の声を確認
令和6年3月22日	18:54	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月22日	19:41	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月22日	20:15	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認 
令和6年3月23日	21:15	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月24日	0:34	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月24日	19:08	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月24日	20:51	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月24日	20:56	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月24日	23:19	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月24日	23:27	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月25日	18:48	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月25日	19:39	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月26日	5:49	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月26日	20:03	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	0:54	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	2:06	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	5:53	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	5:56	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認 
令和6年3月27日	5:59	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	20:11	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	20:16	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	22:27	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月27日	2:15	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月28日	4:34	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年3月28日	19:51	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認

表 6-5-1-3 (2) 自動撮影カメラ・直接観察による確認状況（令和 5 年シーズン）




日付	時間	確認方法	確認内容
令和 6 年 3 月 28 日	23:12	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 29 日	1:54	無人撮影	巣箱①から出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認、小動物をくわえている
令和 6 年 3 月 29 日	1:57	無人撮影	巣箱①から出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認、ネズミ類をくわえていることから、雌への給餌と思われる 
令和 6 年 3 月 29 日	18:57	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 29 日	18:59	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 29 日	19:07	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 30 日	2:58	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 30 日	3:02	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 30 日	5:46	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 30 日	5:52	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	2:56	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	4:57	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	5:40	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	5:44	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	6:11	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	6:13	無人撮影	巣箱①から出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認、ヒミズをくわえていることから、雌への給餌と思われる 
令和 6 年 3 月 31 日	6:16	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	20:03	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	22:46	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	22:51	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 3 月 31 日	22:59	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 4 月 1 日	4:25	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和 6 年 4 月 10 日	日没-19:30	声聞き	残置森林（巣箱①付近）および事業実施区域外の樹林からフクロウ雄の声を確認
令和 6 年 4 月 10 日	21:59	無人撮影	巣箱①から出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認、雌への給餌と思われる
令和 6 年 4 月 25 日	17:11	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認 

表 6-5-1-3(3) 自動撮影カメラ・直接観察による確認状況（令和5年シーズン）

日付	時間	確認方法	確認内容
令和6年4月25日	19:49	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年5月1日	13:13	直接観察	巣箱①内にフクロウ雛が2个体いることを確認 
令和6年5月1日	日没-19:30	声聞き	残置森林（巣箱①付近）からフクロウ雄の声を確認
令和6年5月2日	14:52	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）と幼鳥を確認
令和6年5月2日	14:53	無人撮影	巣箱①の入り口にとまるフクロウ幼鳥を確認
令和6年5月2日	18:51	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年5月2日	18:51	無人撮影	巣箱①の入り口にとまるフクロウ幼鳥を確認、給餌をうけた様子
令和6年5月3日	5:23	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）と幼鳥2羽を確認 
令和6年5月3日	5:25	無人撮影	巣箱①の入り口にとまるフクロウ幼鳥2羽を確認
令和6年5月3日	5:29	無人撮影	巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認
令和6年5月3日	7:28	無人撮影	巣箱①の入り口にとまるフクロウ幼鳥2羽を確認。これ以降無人撮影記録は無いことから、巣立ったものと思われる 
令和6年6月11日	日没-20:30	声聞き	事業実施区域外の樹林からフクロウ雄と幼鳥の声を確認、巣外育雛中だと思われる
令和6年7月8日	日没-20:30	声聞き	残置森林（巣箱①付近）からフクロウ幼鳥の声を確認、巣外育雛中だと思われる

②巣箱のメンテナンス作業

メンテナンス作業の状況は表 6-5-1-4 に示したとおりです。

令和 6 年シーズンでの繁殖に利用された巣箱①のメンテナンス作業（巣箱固定状況の確認、巣箱内の清掃、内部底面に敷いたミズゴケの交換）を実施しました。

巣箱内の清掃によって、餌として利用されたネズミ類の頭骨や鳥類の羽などが確認されました。

表 6-5-1-4 巣箱のメンテナンス作業状況

	
清掃作業 の状況	清掃作業 の状況
	
巣箱内 の状況	巣箱内の 残渣状況
巣箱内部の様子。底面に敷いたミズゴケの交換を行った。(令和 6 年 11 月 25 日)	巣箱内の清掃によって、餌として利用されたネズミ類の頭骨や鳥類の羽などが確認された。(令和 6 年 11 月 25 日)

③令和7年シーズン繁殖状況及び巣箱利用状況確認調査

鳴き声の確認状況は図 6-5-1-4 に、自動撮影カメラ及び直接観察による確認状況は表 6-5-1-5 に示したとおりです。

令和7年1月は、夜間調査時に声聞き調査を実施しましたが、本種の鳴き声は確認されませんでした。

一方、自動撮影カメラのデータでは、令和6年12月14日に巣箱③を、令和7年1月19日に巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）が確認されました。また、令和6年12月4日、12月8日、12月28日にそれぞれ巣箱①、巣箱③、巣箱②の周辺で活動するイタチ属の一種が、令和6年12月1日に巣箱③周辺で活動するテンが確認されました。

令和7年2月は、2月21日に巣箱②付近の落葉樹に止まっているフクロウ成鳥（性不明）を目視確認しました。一方、同日の夜間に声聞き調査を実施しましたが、本種の鳴き声は確認されませんでした。

また、自動撮影カメラのデータでは、令和7年1月30日、2月7日にそれぞれ巣箱③周辺で活動するイタチ属の一種を、2月8日には巣箱③を出入りするフクロウ成鳥（性不明）2個体が確認されました。

令和7年3月は巣箱②において、3月19日に直接観察によりフクロウ雌の抱卵を確認しました。一方、夜間調査時に声聞き調査を実施しましたが、本種の鳴き声は確認されませんでした。

また、自動撮影カメラのデータでは、3月19日に巣箱③周辺で活動するカラス属の一種を確認しました。

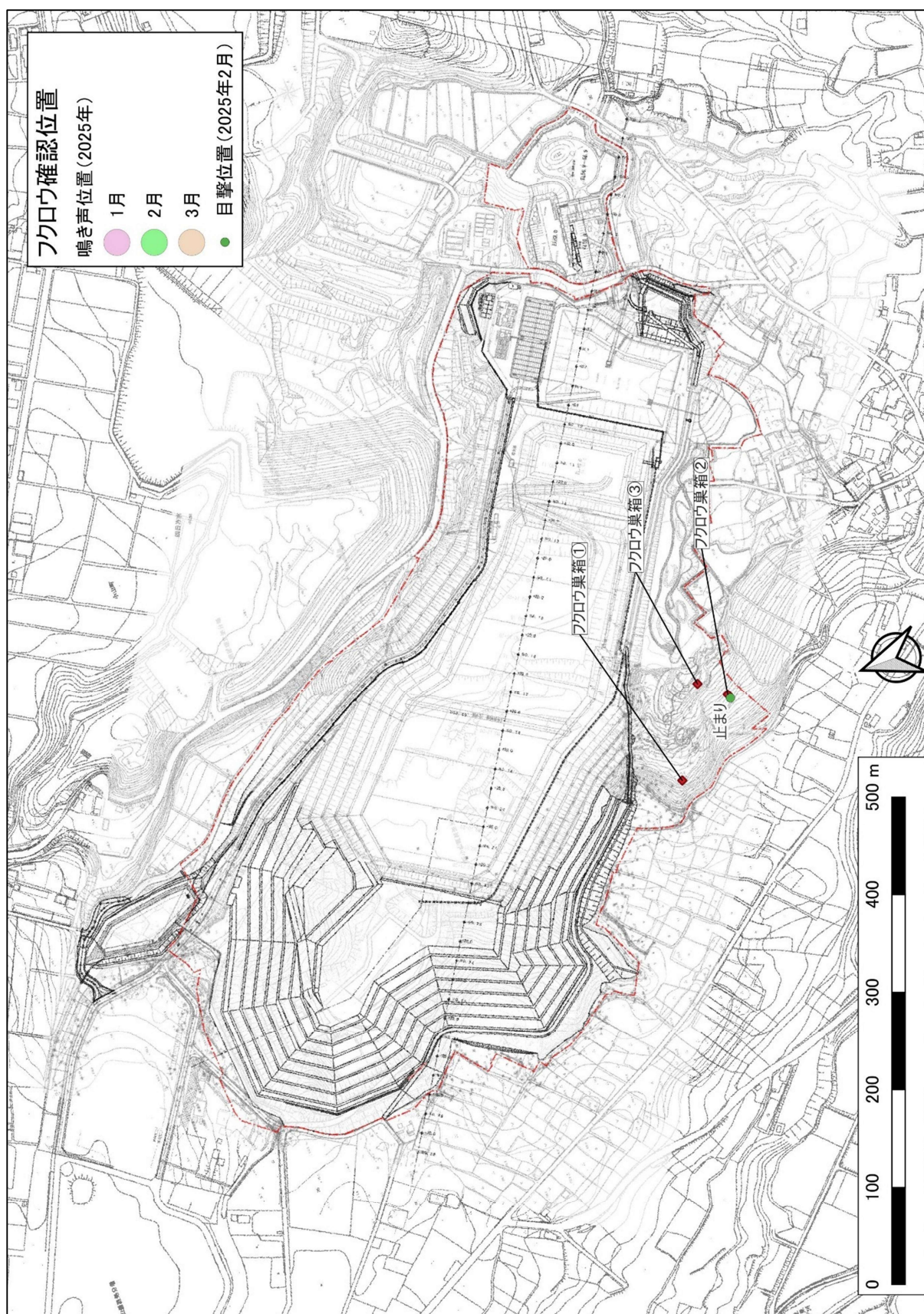


図 6-5-1-4 フクロウ鳴き声確認位置 (令和 7 年シーズン)

表 6-5-1-5(1) 自動撮影カメラ・直接観察による確認状況（令和6年シーズン）








調査日	時間	確認方法	確認状況
令和6年12月1日	2:08	無人撮影	<p>巣箱③周辺で活動するテンを確認</p> 
令和6年12月4日	12:19	無人撮影	<p>巣箱①周辺で活動するイタチ属の一種を確認</p> 
令和6年12月8日	4:41	無人撮影	<p>巣箱③周辺で活動するイタチ属の一種を確認</p>
令和6年12月14日	22:28	無人撮影	<p>巣箱③を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認</p> 
令和6年12月28日	3:29	無人撮影	<p>巣箱②周辺で活動するイタチ属の一種を確認</p>
令和7年1月19日	4:01	無人撮影	<p>巣箱①を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を確認</p> 
令和7年1月20日	日没～19:00	声聞き	<p>鳴き声の確認なし</p>
令和7年1月30日	14:27	無人撮影	<p>巣箱③周辺で活動するイタチ属の一種を確認</p>
令和7年2月7日	14:19	無人撮影	<p>巣箱③周辺で活動するイタチ属の一種を確認</p> 

表 6-5-1-5 (2) 自動撮影カメラ・直接観察による確認状況（令和 6 年シーズン）

調査日	時間	確認方法	確認状況
令和 7 年 2 月 8 日	21:28	無人撮影	<p>巣箱③を出入りするフクロウ成鳥（性不明）を 2 個体確認</p> 
令和 7 年 2 月 21 日	15:01	目視確認	<p>巣箱②付近の落葉樹に止まっているフクロウ成鳥（性不明）を確認</p>
令和 7 年 2 月 21 日	日没-19:30	声聞き	<p>鳴き声の確認なし</p>
令和 7 年 3 月 19 日	6:45	無人撮影	<p>巣箱③周辺で活動するカラス属の一種を確認</p> 
令和 7 年 3 月 19 日	15:09	直接観察	<p>巣箱②にてフクロウ雌の抱卵を確認</p> 
令和 7 年 3 月 19 日	日没-20:00	声聞き	<p>鳴き声の確認なし</p>

1-6 まとめ

今年度は令和3年度に架設した巣箱の継続的な利用状況の確認とともに、本種の繁殖状況の確認調査を実施しました。

令和6年シーズンは、前年度の調査を受けて継続して実施し、増設事業に対する代償措置として架設した巣箱3ヶ所のうち、巣箱①において令和5年シーズンに引き続き繁殖の成功と幼鳥2羽の巣立ちを確認しました。これによって、巣箱を仮設して以降、令和4年、5年、6年の3シーズンにわたって巣箱①において抱卵と幼鳥の巣立ちが継続して確認されたことになります。

また、非繁殖期には例年通り、巣箱のメンテナンス作業を実施しました。

令和7年シーズン（前半）は、令和6年度までとは異なり、巣箱②において巣箱内部で雌の抱卵が確認されました。

令和7年度は、引き続き令和7年シーズン（後半）の巣箱利用状況及び繁殖状況確認調査を継続して実施するとともに、令和8年シーズン（前半）の同調査を行います。また、適宜巣箱のメンテナンス作業を行い、本種の繁殖環境の維持に努めていきます。

第2項 特殊性注目種：ムカシヤンマ（幼虫）

2-1 調査概要

増設事業評価書における現況調査において、改変区域内で幼虫の生息が確認されており、予測結果において、生息環境及び生息個体の一部の消失が予測されました。

これに対する環境保全措置として、生息個体の移設、移設以降の生息状況のモニタリングを実施する計画としています。

調査対象種の概要は表 6-5-2-1 に、事後調査のフローは図 6-5-2-1 に示したとおりです。

今年度は移設 2 年後の定着状況の確認調査を実施しました。

表 6-5-2-1 調査対象種の概要

No.	分類	種名	重要種指定状況※1
			三重県 RDB
1	特殊性注目種 (昆虫類)	ムカシヤンマ	NT

※1：重要種のカテゴリーは以下のとおり。

三重県 RDB：「三重県レッドデータブック 2015」（三重県、平成 27 年）掲載種

NT＝準絶滅危惧

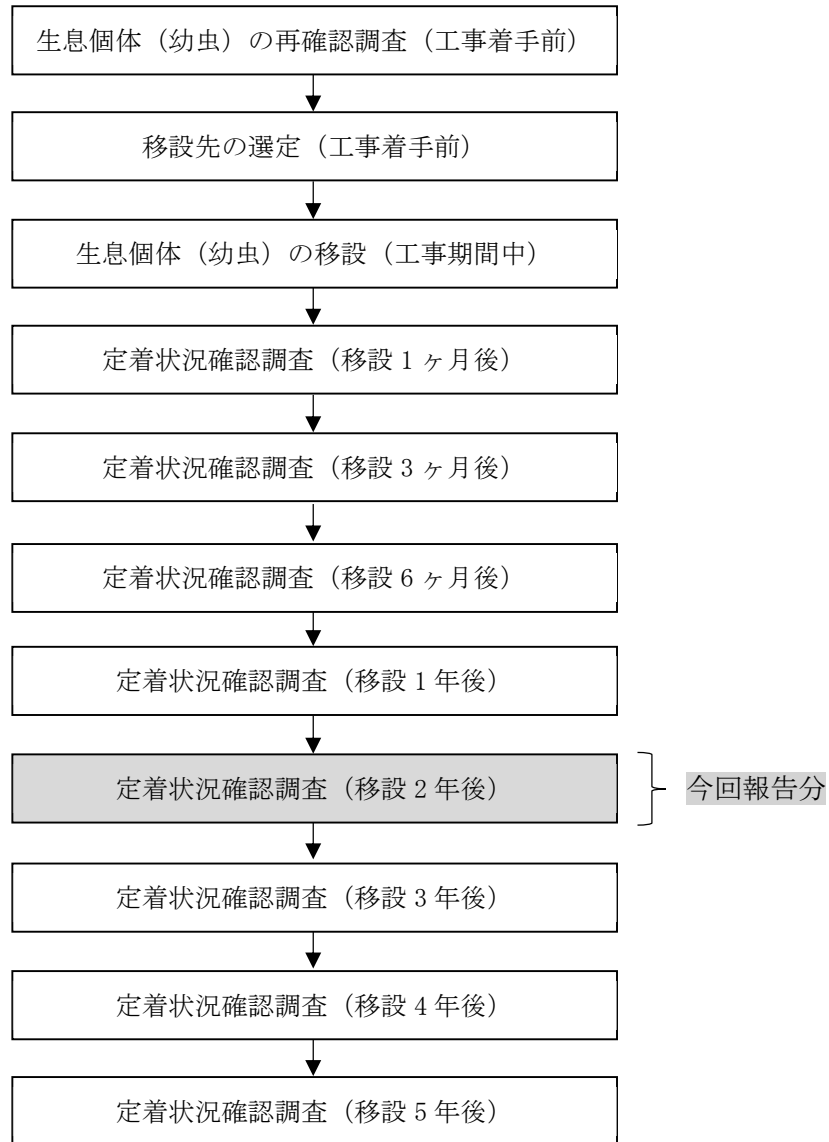


図 6-5-2-1 事後調査フロー

2-2 調査方法

本種の定着状況を確認するため、移設 2 年後に相当する時期に、羽化前の 4 月に移設先の湿性環境を踏査し、本種の確認に努めました。あわせて、残置森林内では移設前から本種の生息が確認されていることから、移設地周辺の湿生環境においても本種の生息状況を確認しました。

また残置森林周辺において、5 月に成虫の確認調査を実施しました。

2-3 調査範囲及び調査地点

本種生息個体（幼虫）の残置森林内の移設地は図 6-5-2-2 に、移設地の詳細は図 6-5-2-3 に示したとおりです。

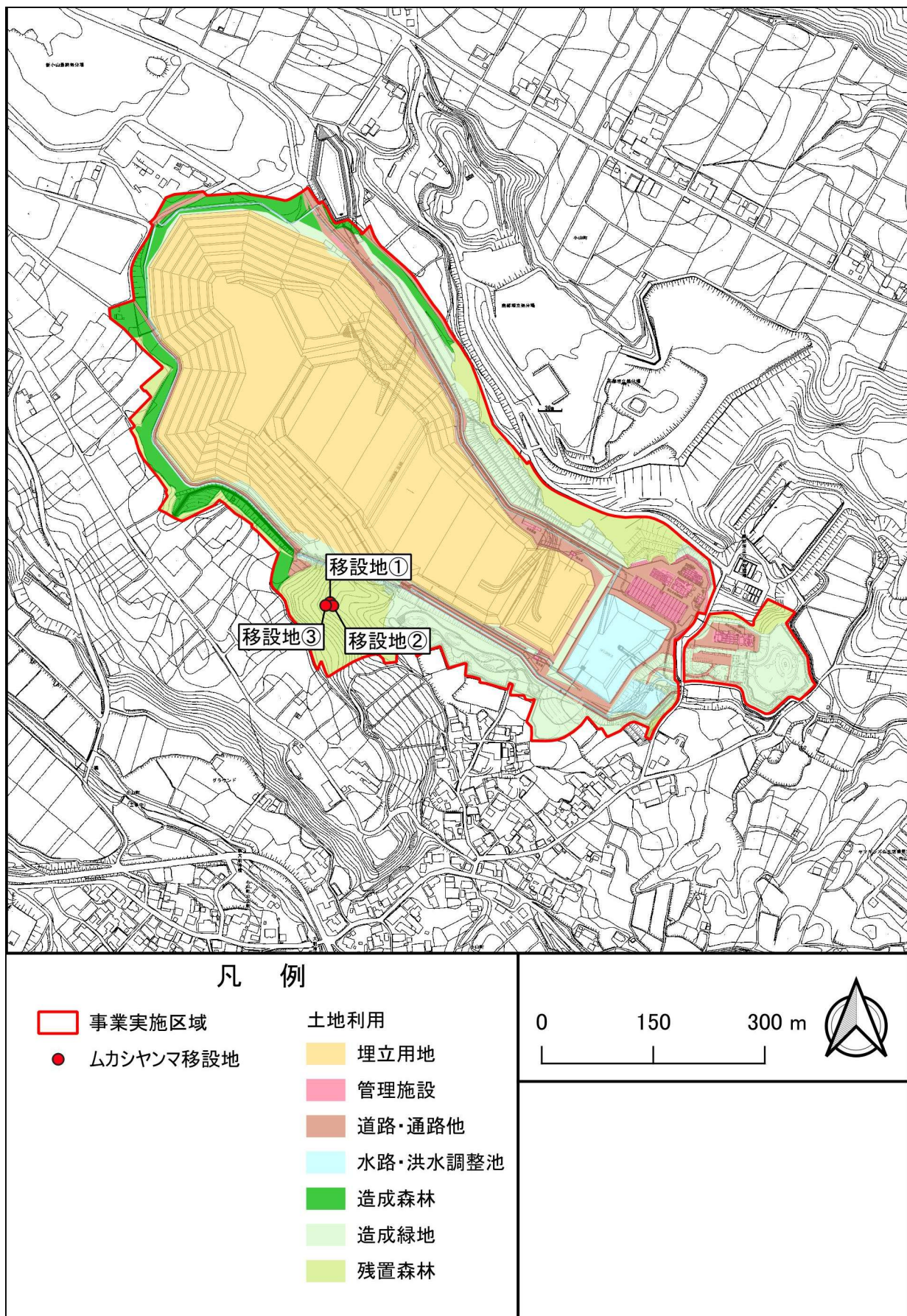


図 6-5-2-2 ムカシヤンマ（幼虫）捕獲地点及び移設地

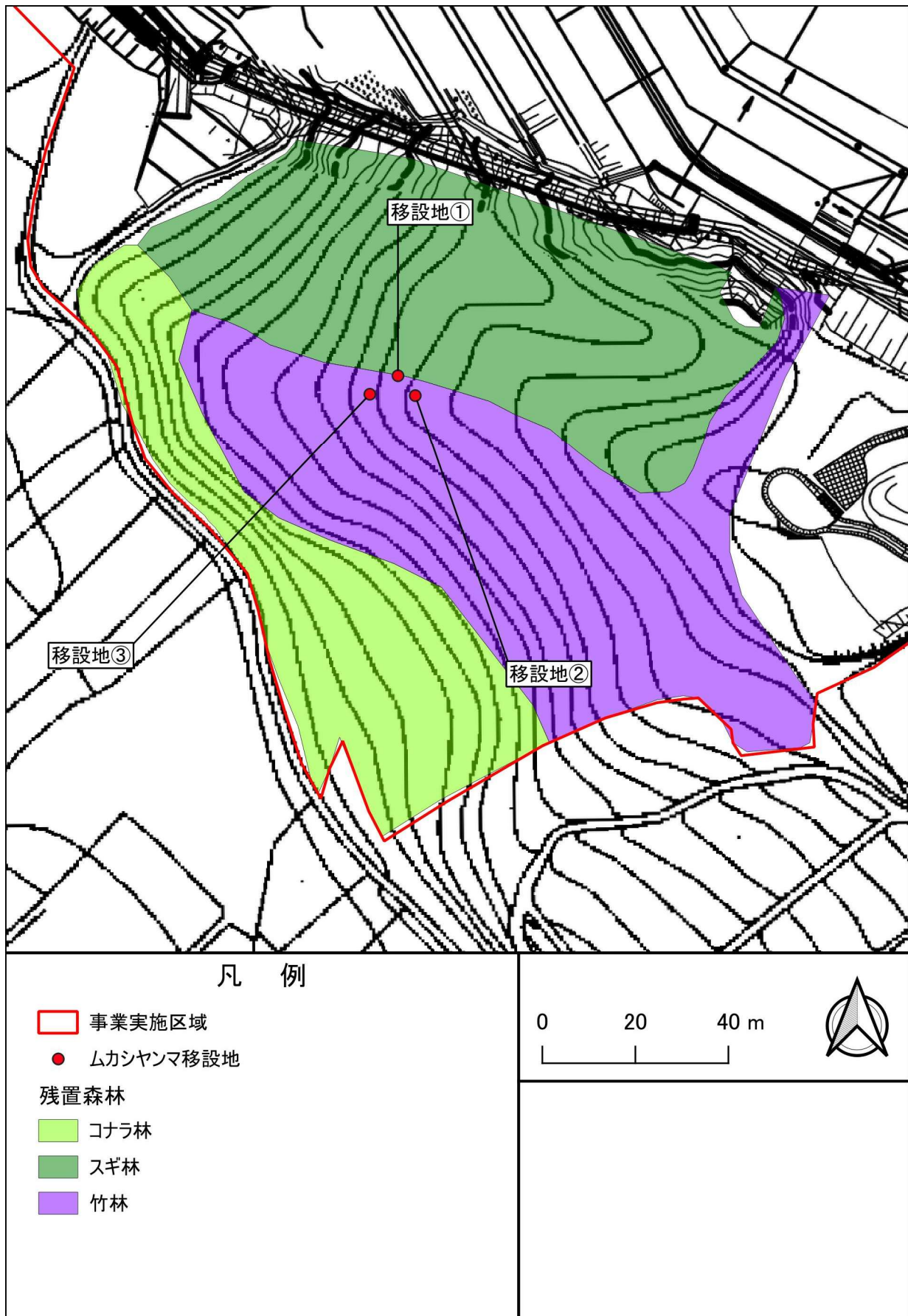


図 6-5-2-3 ムカシヤンマ（幼虫）移設地（詳細）

2-4 調査時期

調査時期は表 6-5-2-3 に示したとおり、本種幼虫の確認調査は羽化期前にあたる春季に実施しました。

表 6-5-2-3 調査時期

対象種		調査項目		調査年月日
特殊性注目種 (昆虫類)	ムカシヤンマ	定着状況の確認	移設 2 年後	令和 6 年 4 月 10 日

2-5 調査結果

移設 2 年後の移設地①～③における調査結果は表 6-5-2-4 に示したとおりです。

4 月 10 日に実施したムカシヤンマ幼虫の生息確認調査では、移設地①～③ではその近隣も含めてムカシヤンマ幼虫の生息を確認することはできませんでした。また移設地周辺の湿地を広い範囲で探索しましたが、同様にムカシヤンマの幼虫は確認できませんでした。

また、残置森林内および周辺を対象として 5 月 1 日に実施したムカシヤンマ成虫調査では、ムカシヤンマ成虫を確認することはできませんでした。

表 6-5-2-4 ムカシヤンマ（幼虫）確認状況

	
<p>移設地の 全景</p>	<p>移設地① の状況</p>
	
<p>移設地② の状況</p>	<p>移設地③ の状況</p>
<p>移設先の 3 カ所および周辺の広い範囲の同様な環境において幼虫の探索を実施した。(令和 6 年 4 月 10 日)</p>	<p>移設地①では、移設場所およびその周囲においてもムカシヤンマ幼虫は確認できなかった。(令和 6 年 4 月 10 日)</p>
<p>移設地②では、移設場所およびその周囲においてもムカシヤンマ幼虫は確認できなかった。(令和 6 年 4 月 10 日)</p>	<p>移設地③では、移設場所およびその周囲においてもムカシヤンマ幼虫は確認できなかった。(令和 6 年 4 月 10 日)</p>

2-6 まとめ

今年度は、移設を行った 3 カ所ではムカシヤンマ幼虫は確認できず、移設地周辺の広い範囲の湿地においても同様に、ムカシヤンマ幼虫は確認できませんでした。また、残置森林内及び周辺では、ムカシヤンマの成虫も確認できませんでした。

移設先である残置林内の湿地は、移設前から本種の生息が確認されていることから、今後も幼虫が定着する可能性があり、次年度も引き続き本種の生息状況確認を継続することとします。なお、調査時期は羽化時期を過ぎると大型個体がいなくなり、発見が困難なことから、羽化時期前の調査を基本とします。

第6節 動物相、植物相及び植生（残置森林の順応的管理）

第1項 本項の位置付け

陸生動物相及び陸生植物相並びにこれらの生息・生育環境について、増設事業の実施によって増設事業区域の森林面積が減少することから、樹林地に依存する動植物種の生息・生育環境及び生息・生育個体数の減少が生じると予測されました。そのため、これに対する保全措置として、残置森林等の順応的管理を実施し、動植物相の多様化を目標に、残置森林等の質の向上を図ることとしています。

また、残置森林等の順応的管理については、増設事業準備書に対する四日市市長からの意見として、「具体的な内容及び管理方法、それに伴うロードマップを示した上で、生物相の特性に応じた適切な措置を講じること」とされています。これに対しては、図6-6-1-1に示したとおり、現存植生調査の結果から対象とするエリアを「Aゾーン：コナラ林」、「Bゾーン：スギ林」、「Cゾーン：竹林」の3つのゾーンに分類したうえで、図6-6-1-2に示したとおり、各ゾーンについて具体的な管理方法及びロードマップを検討、作成しています。

今後は、上記のゾーニング及びロードマップに基づいて残置森林等の管理を実施するとともに、これと並行して残置森林内の動物相、植物相及び植生の状況を調査し、その結果に応じて、順応的な維持管理を実施していく計画です。

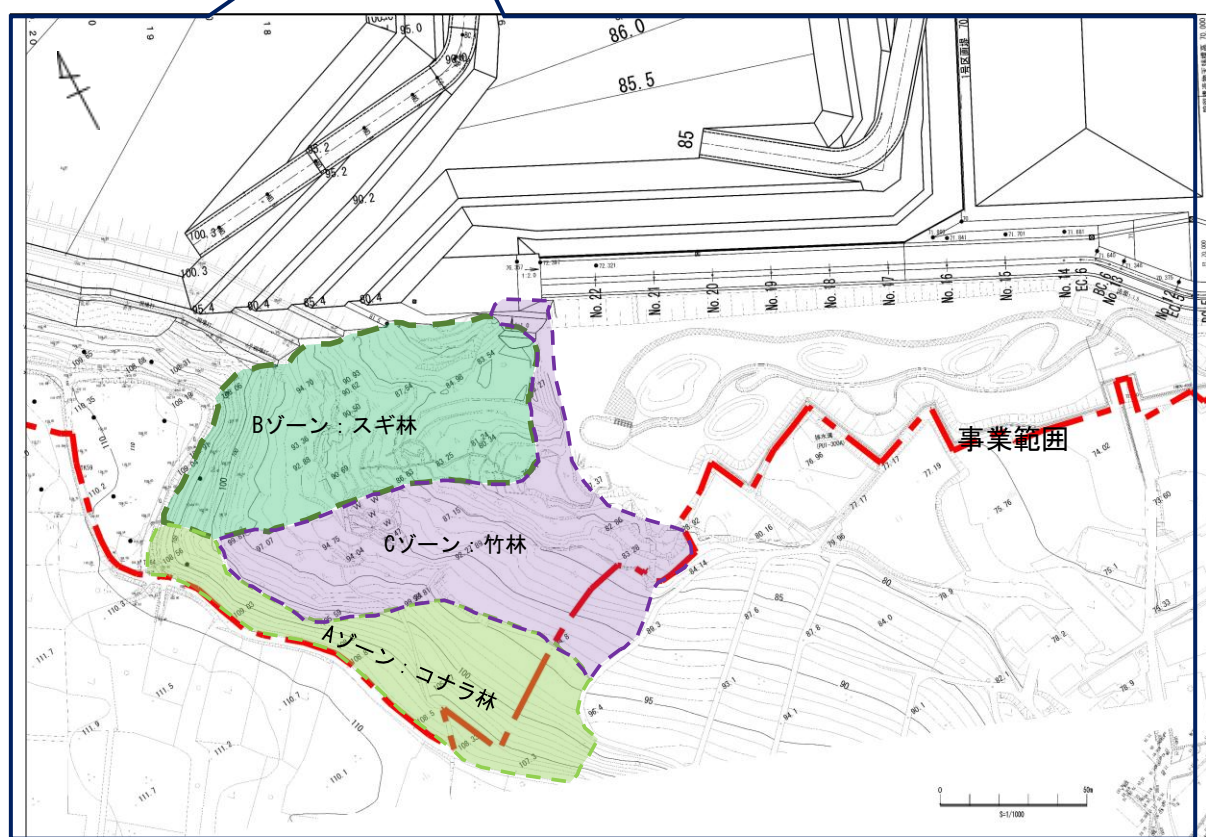
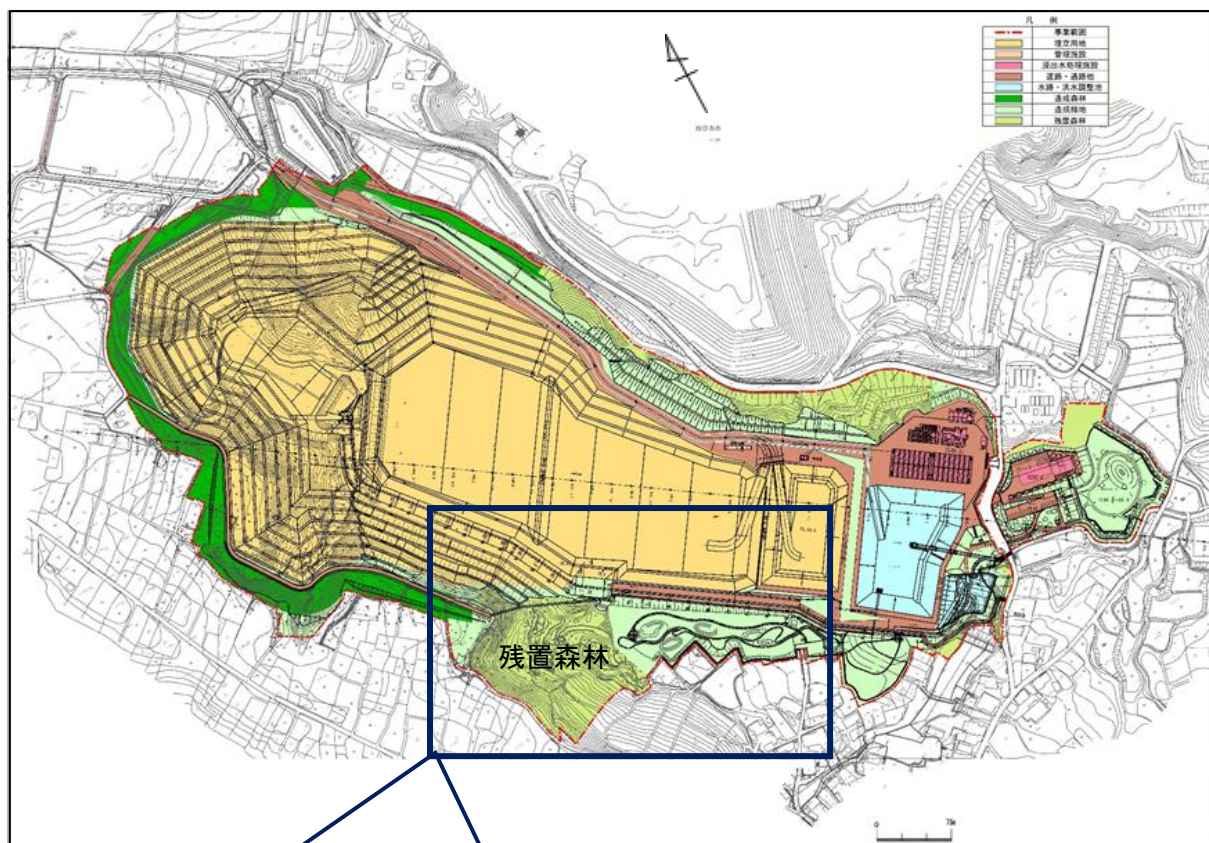


図 6-6-1-1 ゾーン分類










区 域		施工内容	期間別目標植生			
			～5年目	～10年目	～20年目	20年目以降
			<ul style="list-style-type: none"> ・ハッファエリアのタケ類駆除 ・コアエリアの環境再生 	<ul style="list-style-type: none"> ・Cゾーン森林化エリアの植栽 ・Aゾーンコアエリアの遷移停止 ・Bゾーンコアエリアの針広混交林化 	<ul style="list-style-type: none"> ・Cゾーン森林化エリアの管理 ・Aゾーンコアエリアの萌芽更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理の継続
Aゾーン：コナラ林	ハッファエリア	タケ類の伐採				
	コアエリア	下草刈り				
		常緑樹の伐採（大径木除く）				
		間伐による萌芽更新				
Bゾーン：スギ林	ハッファエリア	タケ類の伐採				
	コアエリア	生育不良・小径木の除伐				
Cゾーン：竹林	森林化エリア	タケ類の伐採				
		下草刈り				
	コアエリア	不良木・枯死木の除伐				

図 6-6-1-2 ロードマップ

第2項 順応的管理

2-1 ゾーニングの再検討

図 6-6-1-1 に示したゾーニングは準備書における現況調査で実施した植生図を基にしており、その植生区分に応じた質の向上を目的としてゾーニングを行いました。

また、令和5年度事後調査報告書「第4節 動物相、植物相及び植生（残置森林の順応的管理）」におけるコドラート調査の結果、タケ類や灌木の除伐によって下層植生における多様度の向上傾向が確認されており、同様の維持管理を全域に実施していくことで、段階的な森林の質の向上が示唆されたものと考えられました。

そこで、残置森林の質の向上を目的として、その管理手法を具体化するため、各ゾーニングの目指すべき姿（ゴール）を設定し、ゴールに向けた維持管理手法の検討を行いました。

なお、検討にあたっては現況調査の植生図（従来のゾーニング）に表れていなかった湿性環境を組み込むなどのゾーニングの見直しを行いました。

2-2 新ゾーニング

新しいゾーニングは図 6-6-2-1 に示したとおりです。

新たに湿性環境として「棚田ゾーン」を設定し、湿性環境の再生を目指すことしました。また、「竹林ゾーン（旧：Cゾーン）」については縮小し、「コナラ林ゾーン（旧：Aゾーン）」を拡大することとしました。

なお、竹林ゾーンについては、現在重要種を移植している箇所を中心に残置する他は、棚田ゾーンの斜面崩壊防止等を目的とした地形維持のために一部を残置することしました。

新ゾーニング案の設定根拠は表 6-6-2-1 に示したとおりです。

表 6-6-2-1 新ゾーニングの設定根拠

ゾーニング	設定根拠
棚田ゾーン	現況の湿地エリアからせせらぎ水路上池までの湿性環境の連続性を持たせるため、地形形状を参考に設定した。
竹林ゾーン	「棚田ゾーン」から 10m バッファを設けるとともに、アキザキヤツシロランの生育地点及びモニタリング中のコドラートを含むように設定した。また、「コナラ林ゾーン」との境界は“あか道”を参考にライン設定した。
コナラ林ゾーン	新たに設定した「竹林ゾーン」から除外された旧 C ゾーンを新たに追加した。
針広混交林ゾーン	

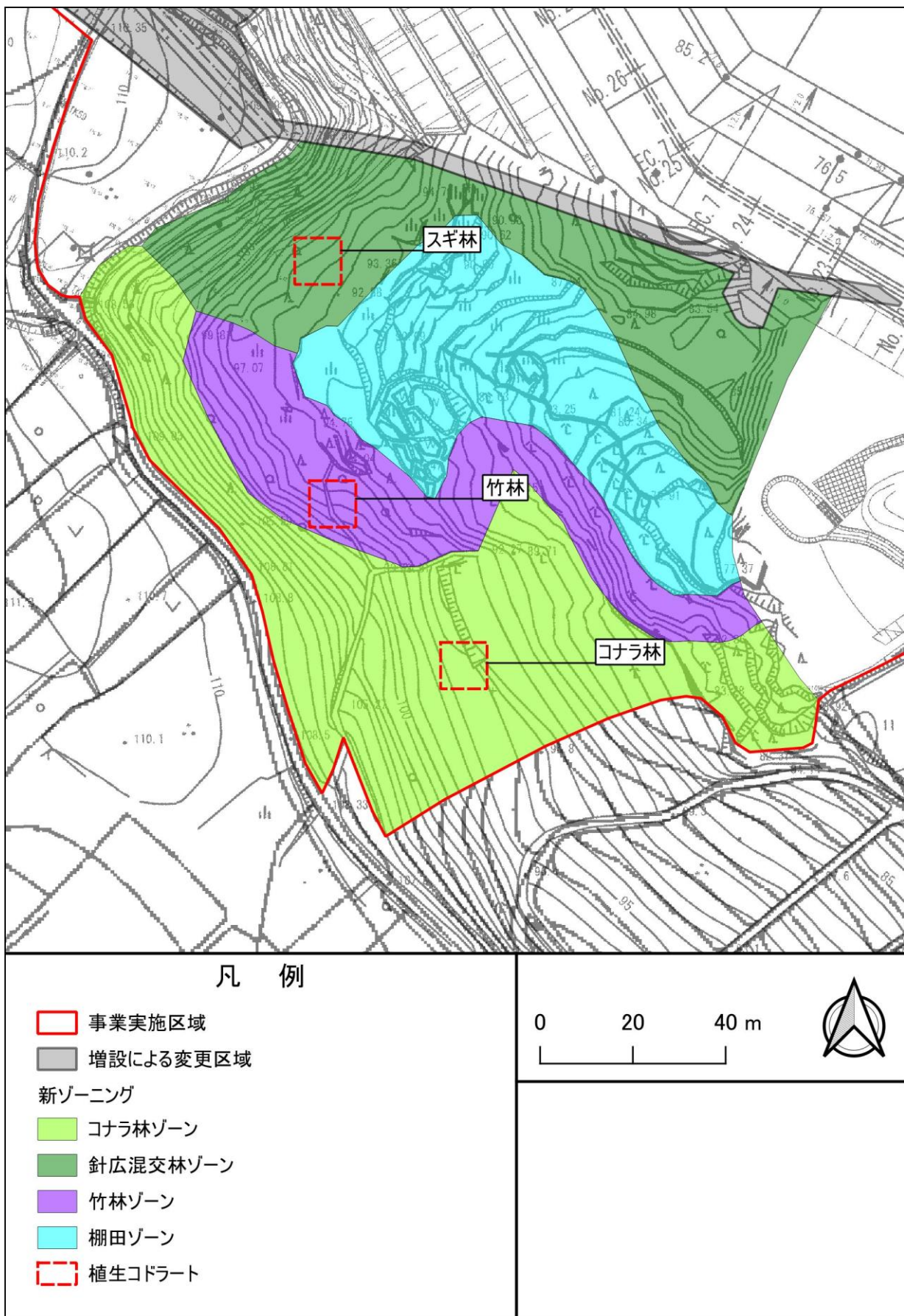


図 6-6-2-1 残置森林の新ゾーニング

2-3 新ゾーニングにおけるゴール

各ゾーニングのゴールについて指標生物を定めるとともに、目指す環境を設定しました。ゴールのイメージは表 6-6-2-2～5 に示したとおりです。

表 6-6-2-2 コナラ林ゾーンのゴール

テーマ	キンランの咲く里山環境の再生
指標生物	キンラン（維管束植物、環境省 RL：VU、三重県 RDB：VU）
準指標生物	コナラ
目指す姿	タケ類の侵入によって荒廃した“竹広混交林”様の状況にあるコナラ林から、薪炭林として過去に利用されていた里山のコナラ林への転換を目指す。指標生物として、コナラ及びその菌根菌と共生関係を結ぶキンランを選定する。 タケ類の除伐と並行して、残置森林で採取した種子によるコナラ幼木の育成を行い、植栽によるコナラ林への転換の促進を図る。

表 6-6-2-3 針広混交林ゾーンのゴール

テーマ	フクロウの息づく生態系の維持
指標生物	フクロウ（鳥類、三重県 RDB：NT）
準指標生物	ネズミ類（アカネズミ、ヒメネズミ等）（哺乳類）
目指す姿	これまで安定して繁殖を成功させているフクロウを指標生物とし、同種が継続して生息できるような環境の維持を目標とする。具体的には、同種の採餌行動を鑑み、自由な飛翔が可能となるよう低木・亜高木層を過密状態にならないよう管理を行う。 また、準指標生物とするネズミ類の個体数推定を実施し、良好な餌場環境の整備を目指す。

表 6-6-2-4 竹林ゾーンのゴール

テーマ	希少種保護と竹林の機能的活用
指標生物	アキザキヤツシロラン（維管束植物、三重県 RDB：VU） ムヨウラン属の一種（維管束植物、一部種は環境省 RL、三重県 RDB に該当） カラタチバナ（維管束植物、三重県 RDB：NT） ムカシヤンマ（昆虫類、三重県 RDB：NT）
目指す姿	本植生内ではオニノヤガラ属のアキザキヤツシロランや、ムヨウラン属の一種の生育が確認されている他、事業実施に伴う改変による消失可能性のあったカラタチバナの移植も行われている。そのため、これらの確認・移植地点を含め大幅な植生の転換は行わず、タケ類の過密化を起こさないよう定期的な植生管理を実施する。 また、同エリアに含まれる湧水箇所の崖地については、ムカシヤンマを指標生物とし、本事業の改変によって失われた同種幼虫の生息環境の再生を目標として実施する。 加えて、旧来より用いられているタケ・ササ類の斜面崩壊防止機能を活用し、新たに設定した「棚田ゾーン」の斜面崩壊を防止するために、同ゾーンに沿った部分を残置させることとする。

表 6-6-2-5 棚田ゾーンのゴール

テーマ	残置森林と緩衝緑地帯との連続性の構築
指標生物	アカハライモリ（両生類、環境省 RL：NT） モリアオガエル（両生類）
準指標生物	水生昆虫類
目指す姿	本ゾーンにおける湧水は、本事業の緩衝緑地帯内に形成されている“せせらぎ水路”の上池への水の供給源の一部であり、本ゾーンには棚田跡が形成されているが、現況はタケ類の侵入や豪雨による出水により畦畔が崩壊するなど荒廃した状況にある。 そこで、上池との連続性を持たせるよう畦畔の修復等を行い、エコトーン（移行帯）に生息する両生類、特に評価書現況調査で確認されているアカハライモリやモリアオガエルの生息できる環境の成立を目指す。 また、灌木や亜高木の伐採を行い、やや開けた谷津田様の環境を目標とし、飛翔能力のある水生昆虫類を準指標生物として、これらの導入を図ることとする。

2-4 ゴールに向けた管理方針

各ゾーニングのゴールに向けて、当面の管理方針を定めました。各ゾーニングの管理方針は、表 6-6-2-6 に示したとおりです。

表 6-6-2-6 各ゾーニングの管理方針

新ゾーニング	管理方針
コナラ林ゾーン	・タケ類の除伐 ・在来コナラ種子の採取及び稚樹の育成
針広混交林ゾーン	・タケ・ササ類の除伐 ・必要に応じた灌木の除伐
竹林ゾーン	・タケ類の除伐による管理竹林化 ・除伐（維持）ラインの明確化
棚田ゾーン	・棚田跡の畦畔の修復、補強 ・タケ類の除伐

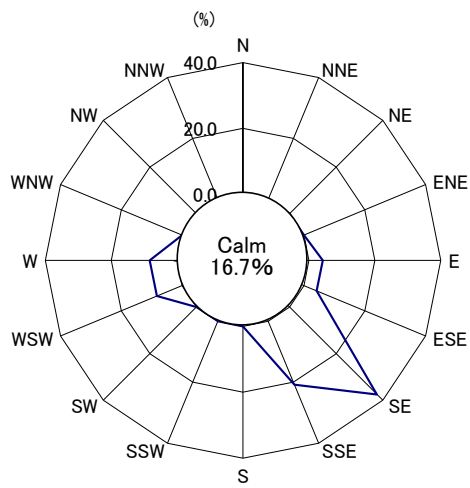
2-5 まとめ

今年度は、これまでの施業結果と調査結果とを基に新ゾーニングを設定し、そのゴールとゴールに向けた管理方針を定めました。次年度以降は、この管理方針に基づき管理作業を継続していくこととします。

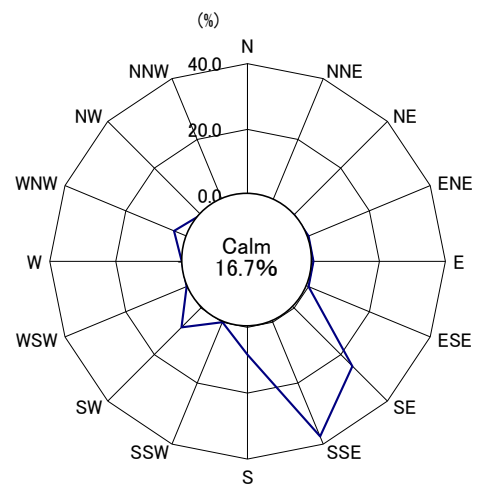
なお、この管理方針は隔年で実施する「動物相、植物相及び植生調査」の結果と管理結果とを照らしながら、適宜見直しを行っていくこととします。

資 料 編

- 1.大気質風配図（図 1-1）
- 2.ダイオキシン類調査結果（表 1-1～1-4）
- 3.陸生植物移植個体活着状況調査結果（表 2-1～2-44）

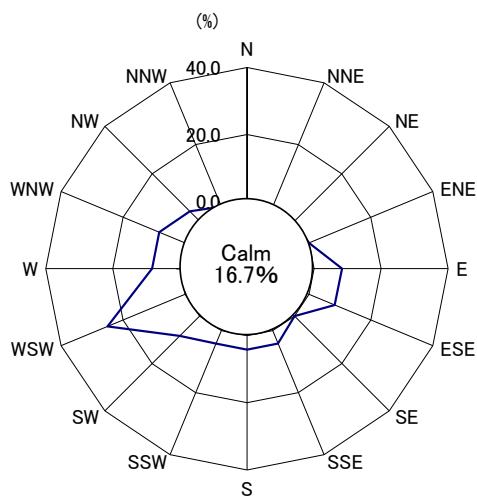


【No.1】

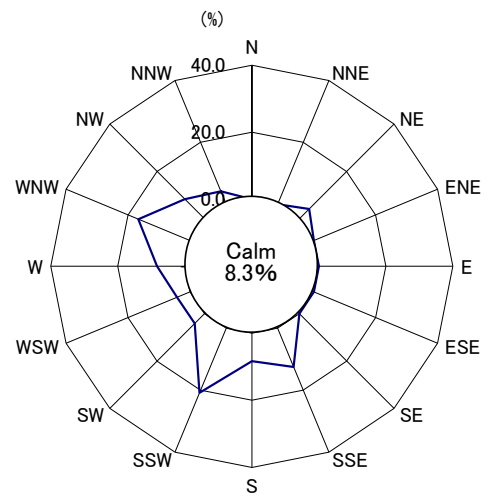


【No.2】

図 1-1 (1) 測定当日の風配図 (令和 6 年 4 月 23 日)

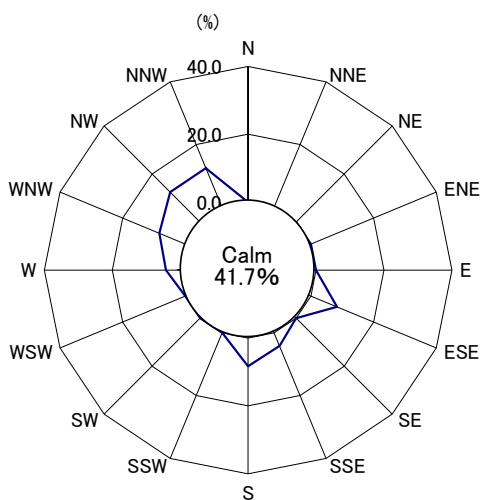


【No.1】

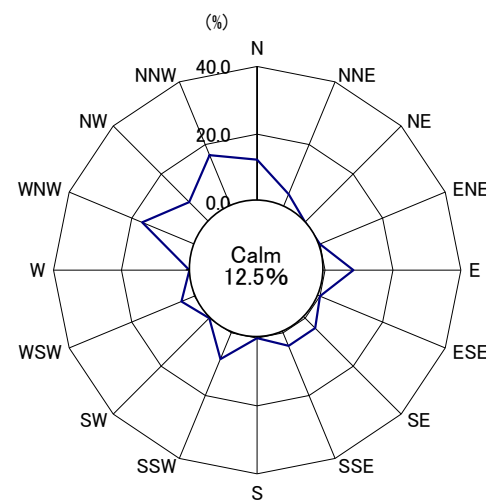


【No.2】

図 1-1 (2) 測定当日の風配図 (令和 6 年 7 月 11 日)

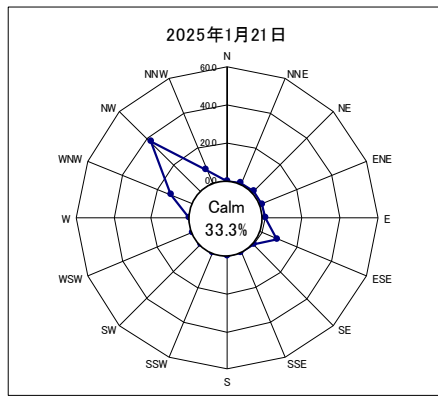


【No.1】

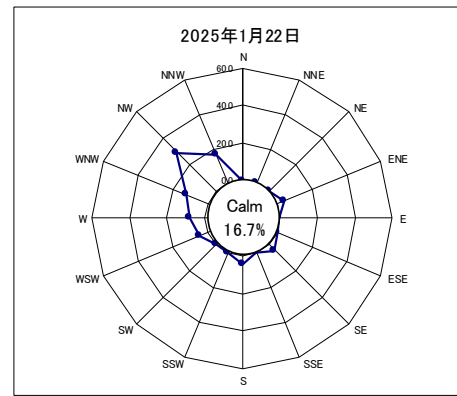


【No.2】

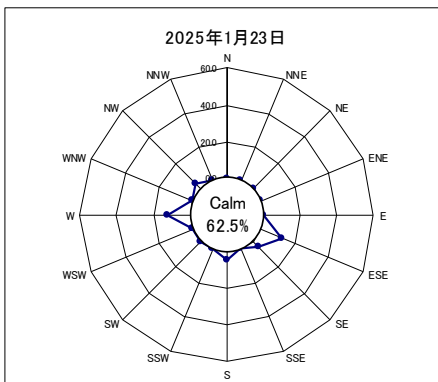
図 1-1 (3) 測定当日の風配図 (令和 6 年 10 月 10 日)



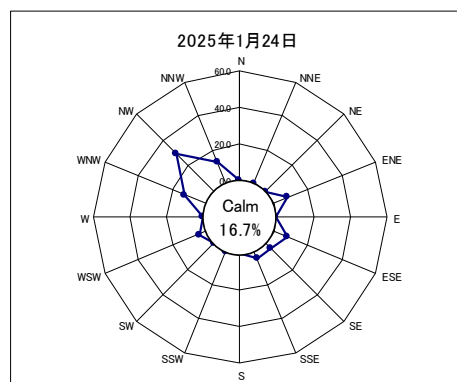
平均風速 1.7m/s



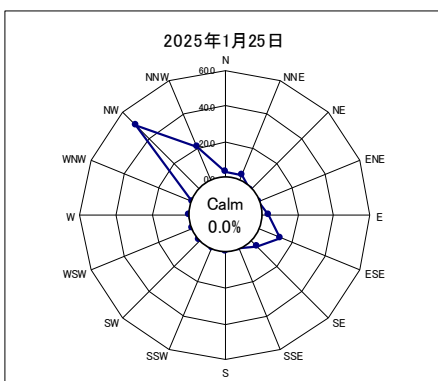
平均風速 1.1m/s



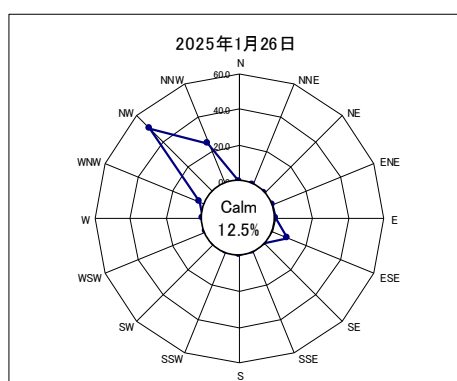
平均風速 0.5m/s



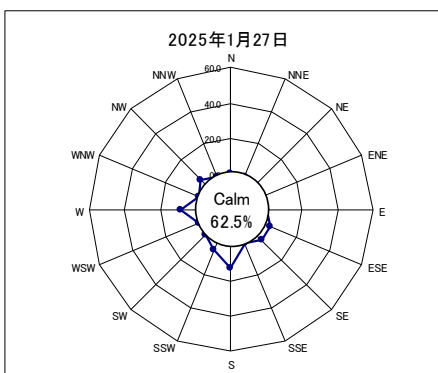
平均風速 1.4m/s



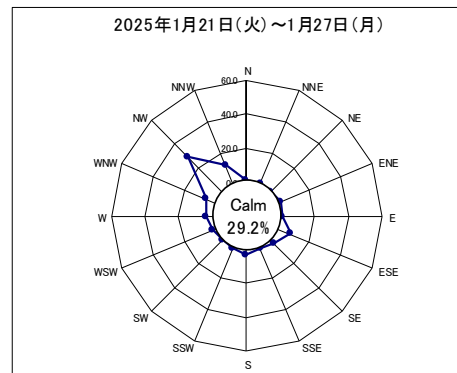
平均風速 2.6m/s



平均風速 2.5m/s

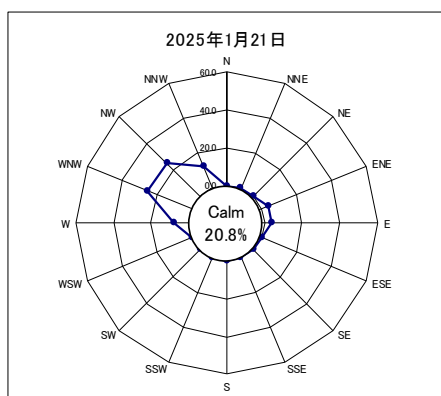


平均風速 0.4m/s

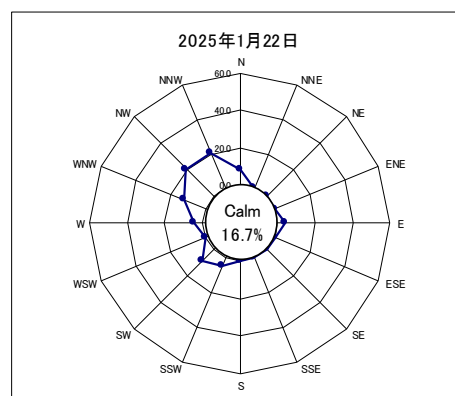


平均風速 1.5m/s

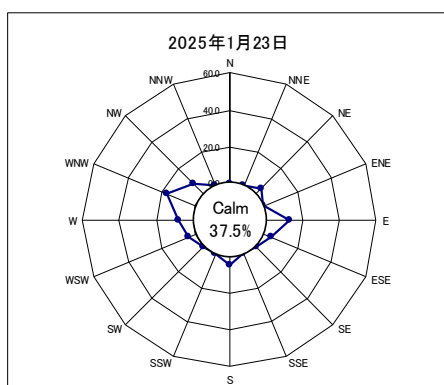
図 1-1(4) 測定当日の風配図 (No.1) (令和 7 年 1 月 21 日～27 日)



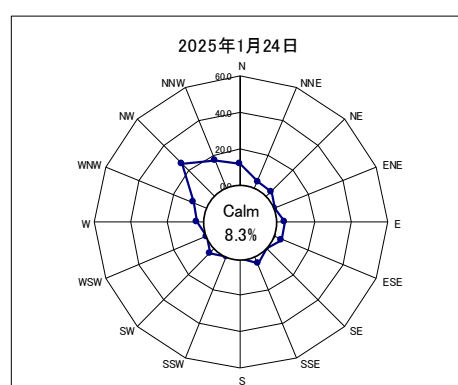
平均風速 2.1m/s



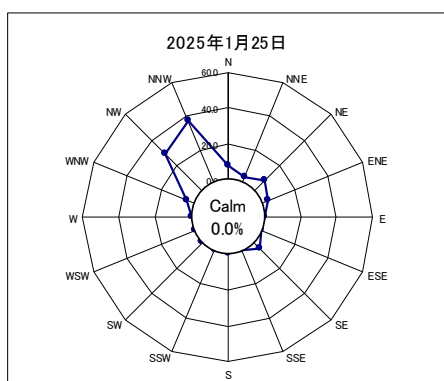
平均風速 1.8m/s



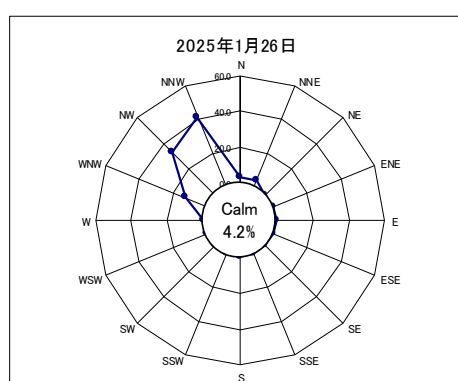
平均風速 0.8m/s



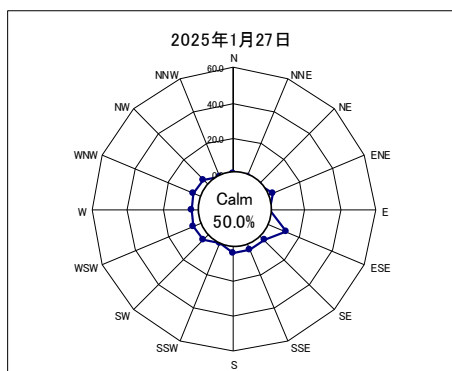
平均風速 2.1m/s



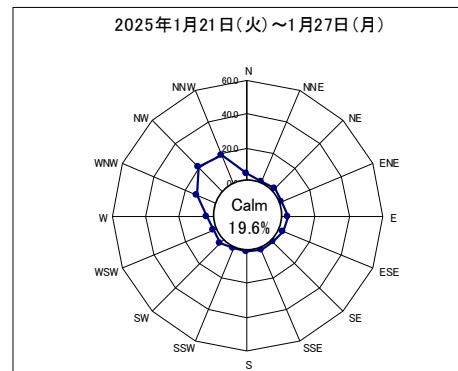
平均風速 3.9m/s



平均風速 3.7m/s



平均風速 0.5m/s



平均風速 2.1m/s

図 1-1 (5) 測定当日の風配図 (No.2) (令和 7 年 1 月 21 日～27 日)

表 1-1 (1) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (夏季: No.1)

計量結果詳細

No. D241025214-001 P3/3

受付番号		D241025214 001		試料名		環境水(河川水)	
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ 塩 化 バ ジ ン ジ オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	0.78	0.10	0.03	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	0.12	0.10	0.03	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.10	0.03	1	0	0.015
	TeCDDs	0.90	0.10	0.03	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.09	0.03	1	0	0.015
	PeCDDs	ND	0.09	0.03	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.16	0.05	0.1	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.12	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDDs	0.41	0.12	0.03	-	-	-
ポリ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	1.5	0.17	0.05	0.01	0.015	0.015
	HpCDDs	3.2	0.17	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	32	0.4	0.1	0.0003	0.0096	0.0096
	Total PCDDs	37	-	-	-	0.025	0.060
	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	0.1	0	0.001
	TeCDFs	0.09	0.08	0.02	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.15	0.04	0.03	0	0.0006
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.18	0.05	0.3	0	0.0075
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
D L P C B s	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	(0.05)	0.14	0.04	0.01	0	0.0005
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.13	0.04	0.01	0	0.0002
	HpCDFs	0.16	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	(0.2)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00006
	Total PCDFs	0.45	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		37	-	-	-	0.025	0.078
D L P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.09	0.03	0.0003	0	0.0000045
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.34	0.13	0.04	0.0001	0.000034	0.000034
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.19	0.06	0.1	0	0.003
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.19	0.06	0.03	0	0.0009
	Total ノンオルト体	0.34	-	-	-	0.000034	0.0039
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.22	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	2.1	0.20	0.06	0.00003	0.000063	0.000063
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	1.3	0.22	0.07	0.00003	0.000039	0.000039
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	(0.06)	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000018
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	(0.10)	0.15	0.05	0.00003	0	0.000003
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.15	0.05	0.02	0.00003	0.0000045	0.0000045
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000006
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.14	0.04	0.00003	0	0.0000006
	Total モノオルト体	3.7	-	-	-	0.00011	0.00011
Total DL-PCBs		4.1	-	-	-	0.00014	0.0041
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		41	-	-	-	0.025	0.083

- 備考 1. 実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2. 実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2005)のTEFを採用した。
 4. 毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質検出基準の評価にはこの値を用いる。
 5. 毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
 環境基準等(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-1 (2) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (夏季: No.2)

計量結果詳細

No. D241025215-001 P3/3

受付番号		D241025215 001		試料名 環境水(河川水)			
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ 塩 化 バジ ラ ベ ー ン ジ ゾ オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	1.0	0.10	0.03	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	0.30	0.10	0.03	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.10	0.03	1	0	0.015
	TeCDDs	1.3	0.10	0.03	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.09	0.03	1	0	0.015
	PeCDDs	0.12	0.09	0.03	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.16	0.05	0.1	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.12	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDDs	0.48	0.12	0.03	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	2.6	0.17	0.05	0.01	0.026	0.026
	HpCDDs	5.0	0.17	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	55	0.4	0.1	0.0003	0.0165	0.0165
Total PCDDs		62	-	-	-	0.043	0.078
ポリ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	0.1	0	0.001
	TeCDFs	(0.07)	0.08	0.02	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.15	0.04	0.03	0	0.0006
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.18	0.05	0.3	0	0.0075
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.16	0.05	0.1	0	0.0025
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	(0.12)	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	(0.13)	0.14	0.04	0.01	0	0.0013
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.13	0.04	0.01	0	0.0002
	HpCDFs	0.42	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	0.5	0.4	0.1	0.0003	0.00015	0.00015
Total PCDFs		1.1	-	-	-	0.00015	0.019
Total (PCDDs+PCDFs)		63	-	-	-	0.043	0.097
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.09	0.03	0.0003	0	0.0000045
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.28	0.13	0.04	0.0001	0.000028	0.000028
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.19	0.06	0.1	0	0.003
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.03	0	0.0009
	Total ノンオルト体	0.28	-	-	-	0.000028	0.0039
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	2.1	0.20	0.06	0.00003	0.000063	0.000063
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	1.0	0.22	0.07	0.00003	0.000030	0.000030
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	(0.08)	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000024
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	(0.10)	0.15	0.05	0.00003	0	0.000003
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.11	0.06	0.02	0.00003	0.0000033	0.0000033
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000006
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.14	0.04	0.00003	0	0.0000006
Total モノオルト体		3.4	-	-	-	0.000096	0.00010
Total DL-PCBs		3.7	-	-	-	0.00012	0.0040
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		67	-	-	-	0.043	0.10

備考 1. 実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の数値であることを示す。
 2. 実測濃度の欄中の「ND」は、検出下限未満であることを示す。
 3. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
 4. 毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質検出基準の評価にはこの値を用いる。
 5. 毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
 環境水土7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-1 (3) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (夏季: No.3)

計量結果詳細

No. D241025216-001 P3/3

受付番号		D241025216 001		試料名		環境水(河川水)	
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ 塩 化 バ ジ ラ ー ン ジ オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	1.4	0.10	0.03	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	0.45	0.10	0.03	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.10	0.03	1	0	0.015
	TeCDDs	1.9	0.10	0.03	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.09	0.03	1	0	0.015
	PeCDDs	0.34	0.09	0.03	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	(0.12)	0.16	0.05	0.1	0	0.012
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	(0.07)	0.12	0.04	0.1	0	0.007
	HxCDDs	1.0	0.11	0.03	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	3.7	0.17	0.05	0.01	0.037	0.037
	HpCDDs	7.6	0.17	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	71	0.4	0.1	0.0003	0.0213	0.0213
	Total PCDDs	82	-	-	-	0.058	0.11
ポリ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	0.1	0	0.001
	TeCDFs	0.12	0.08	0.02	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.15	0.04	0.03	0	0.0006
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.18	0.05	0.3	0	0.0075
	PeCDFs	(0.05)	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	0.27	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.18	0.14	0.04	0.01	0.0018	0.0018
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.13	0.04	0.01	0	0.0002
	HpCDFs	0.57	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	0.6	0.4	0.1	0.0003	0.00018	0.00018
	Total PCDFs	1.6	-	-	-	0.0020	0.020
Total (PCDDs+PCDFs)		83	-	-	-	0.060	0.13
D L P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.09	0.03	0.0003	0	0.0000045
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.31	0.13	0.04	0.0001	0.000031	0.000031
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.18	0.06	0.1	0	0.003
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#189)	ND	0.18	0.06	0.03	0	0.0009
	Total ノンオルト体	0.31	-	-	-	0.000031	0.0039
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	(0.08)	0.22	0.07	0.00003	0	0.0000024
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	2.5	0.20	0.06	0.00003	0.000075	0.000075
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	1.2	0.22	0.07	0.00003	0.000036	0.000036
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	(0.07)	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000021
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	(0.13)	0.15	0.05	0.00003	0	0.0000039
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.19	0.05	0.02	0.00003	0.0000057	0.0000057
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000006
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.14	0.04	0.00003	0	0.0000006
	Total モノオルト体	4.2	-	-	-	0.00012	0.00013
Total DL-PCBs		4.5	-	-	-	0.00015	0.0041
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		88	-	-	-	0.060	0.13

- 備考 1.実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2.実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3.毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
 4.毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質排出基準の評価にはこの値を用いる。
 5.毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
 環水士第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-1 (4) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (夏季: No.4)

計量結果詳細

No. D241025217-001 P3/3

受付番号		D241025217 001		試料名		環境水(河川水)	
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
バ ジ ラ ベ ー ン ジ ン オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	1.4	0.10	0.03	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	0.42	0.10	0.03	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.10	0.03	1	0	0.015
	TeCDDs	1.8	0.10	0.03	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.09	0.03	1	0	0.015
	PeCDDs	0.20	0.09	0.03	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.16	0.05	0.1	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.12	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDDs	0.59	0.11	0.03	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	3.3	0.17	0.05	0.01	0.033	0.033
	HpCDDs	6.8	0.17	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	62	0.4	0.1	0.0003	0.0186	0.0186
	Total PCDDs	71	-	-	-	0.052	0.067
ポ リ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.08	0.02	0.1	0	0.001
	TeCDFs	0.10	0.08	0.02	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.15	0.04	0.03	0	0.0006
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.18	0.05	0.3	0	0.0075
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.14	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	(0.13)	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.16	0.14	0.04	0.01	0.0016	0.0016
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.13	0.04	0.01	0	0.0002
	HpCDFs	0.43	0.14	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	0.6	0.4	0.1	0.0003	0.00018	0.00018
Total PCDFs		1.3	-	-	-	0.0018	0.020
Total (PCDDs+PCDFs)		73	-	-	-	0.053	0.11
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.09	0.03	0.0003	0	0.0000045
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.27	0.13	0.04	0.0001	0.000027	0.000027
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.18	0.06	0.1	0	0.003
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.18	0.06	0.03	0	0.0009
	Total ノンオルト体	0.27	-	-	-	0.000027	0.0039
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.22	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	1.9	0.20	0.06	0.00003	0.000057	0.000057
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.83	0.22	0.07	0.00003	0.0000249	0.0000249
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000006
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.15	0.05	0.00003	0	0.00000075
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.21	0.05	0.02	0.00003	0.0000063	0.0000063
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.13	0.04	0.00003	0	0.0000006
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.14	0.04	0.00003	0	0.0000006
	Total モノオルト体	2.9	-	-	-	0.000088	0.000092
Total DL-PCBs		3.2	-	-	-	0.00012	0.0040
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		76	-	-	-	0.053	0.11

備考 1.実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
2.実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
3.毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
4.毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質検出基準の評価にはこの値を用いる。
5.毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
環水土第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-2(1) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (冬季: No.1)

計量結果詳細

No. D241025237-001 P3/3

受付番号		D241025237 001		試料名		環境水(河川水)	
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ 塩 化 パ ジ ラ ベ ー ン ジ ョ ー キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	0.26	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	0.26	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	(0.21)	0.22	0.06	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	1.1	0.26	0.08	0.01	0.011	0.011
	HpCDDs	2.2	0.26	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	34	0.4	0.1	0.0003	0.0102	0.0102
Total PCDDs		37	-	-	-	0.021	0.046
ポリ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	(0.08)	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	(0.08)	0.23	0.07	0.01	0	0.0008
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	(0.16)	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	(0.2)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00006
Total PCDFs		0.44	-	-	-	0	0.019
Total (PCDDs+PCDFs)		37	-	-	-	0.021	0.064
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	(0.08)	0.17	0.05	0.0001	0	0.000008
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0.08	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.46	0.29	0.09	0.00003	0.0000138	0.0000138
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	(0.2)	0.4	0.1	0.00003	0	0.000006
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
Total モノオルト体		0.66	-	-	-	0.000014	0.000027
Total DL-PCBs		0.74	-	-	-	0.000014	0.0065
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		38	-	-	-	0.021	0.071

備考 1.実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
2.実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
3.毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
4.毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質抽出基準の評価にはこの値を用いる。
5.毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
環水土第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-2(2) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (冬季: No.2)

計量結果詳細

No. D241025238-001 P3/3

受付番号		D241025238 001		試料名 環境水(河川水)			
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ塩化ベンゾジオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.48	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	0.48	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	(0.20)	0.22	0.06	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.99	0.26	0.08	0.01	0.0099	0.0099
	HpCDDs	2.0	0.26	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	34	0.4	0.1	0.0003	0.0102	0.0102
	Total PCDDs	37	-	-	-	0.020	0.045
ポリ塩化ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.24	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	(0.18)	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	(0.3)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00009
Total PCDFs		0.48	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		37	-	-	-	0.020	0.063
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	ND	0.17	0.05	0.0001	0	0.0000025
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total モノオルト体	0	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.41	0.29	0.09	0.00003	0.0000123	0.0000123
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	Total モノオルト体	0.41	-	-	-	0.000012	0.000021
Total DL-PCBs		0.41	-	-	-	0.000012	0.0065
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		38	-	-	-	0.020	0.069

- 備考 1.実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
2.実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
3.毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
4.毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質排出基準の評価にはこの値を用いる。
5.毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
環境土第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-2(3) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (冬季: No.3)

計量結果詳細

No. D241025239-001 P3/3

受付番号		D241025239 001		試料名 環境水(河川水)			
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ 塩 化 パ ジ ラ ベ ー ン ジ ン オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	0.39	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	0.39	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	(0.16)	0.21	0.06	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.66	0.26	0.08	0.01	0.0066	0.0066
	HpCDDs	1.3	0.26	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	15	0.4	0.1	0.0003	0.0045	0.0045
Total PCDDs		17	-	-	-	0.011	0.036
ポリ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.12	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	(0.09)	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.23	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	(0.13)	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	(0.2)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00006
Total PCDFs		0.42	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		17	-	-	-	0.011	0.054
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	(0.10)	0.16	0.05	0.0001	0	0.000010
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0.10	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.66	0.29	0.09	0.00003	0.0000198	0.0000198
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	(0.3)	0.4	0.1	0.00003	0	0.000009
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	(0.07)	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000021
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.18	0.06	0.00003	0	0.0000009
Total モノオルト体		1.0	-	-	-	0.000020	0.000037
Total DL-PCBs		1.1	-	-	-	0.000020	0.0066
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		18	-	-	-	0.011	0.060

- 備考 1. 実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2. 実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3. 毒性等価係数は、WHO/IPC(2006)のTEFを用いた。
 4. 毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質抽出基準の評価にはこの値を用いる。
 5. 毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
 環境土壌7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-2(4) 河川水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (冬季: No.4)

計量結果詳細

No. D241025240-001 P3/3

受付番号		D241025240 001		試料名 環境水(河川水)			
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ塩化ベンゾジオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.38	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	0.38	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	(0.14)	0.22	0.06	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.53	0.26	0.08	0.01	0.0053	0.0053
	HpCDDs	1.1	0.26	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	11	0.4	0.1	0.0003	0.0033	0.0033
Total PCDDs		13	-	-	-	0.0086	0.033
ポリ塩化ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.23	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	(0.12)	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	(0.1)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00003
Total PCDFs		0.22	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		13	-	-	-	0.0086	0.051
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	(0.08)	0.17	0.05	0.0001	0	0.000008
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0.08	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.59	0.29	0.09	0.00003	0.0000177	0.0000177
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	(0.3)	0.4	0.1	0.00003	0	0.000009
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
Total モノオルト体		0.89	-	-	-	0.000018	0.000033
Total DL-PCBs		0.97	-	-	-	0.000018	0.0065
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		14	-	-	-	0.0086	0.058

備考 1. 実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

2. 実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。

3. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。

4. 毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質抽出基準の評価にはこの値を用いる。

5. 毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。

環水士第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-3(1) 地下水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (No.A)

計量結果詳細

No. D241025242-001 P3/3

受付番号		D241025242 001		試料名		環境水(地下水)	
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L		pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ボ リ 塩 化 バ ジ ラ ベ ー ン ジ ョ ー キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	ND	0.22	0.07	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	ND	0.27	0.08	0.01	0	0.0004
	HpCDDs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	(0.2)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00006
	Total PCDDs	0.2	-	-	-	0	0.025
ボ リ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.17	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.24	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	ND	0.4	0.1	0.0003	0	0.000015
Total PCDFs		0	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		0.2	-	-	-	0	0.043
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	ND	0.17	0.05	0.0001	0	0.0000025
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	ND	0.29	0.09	0.00003	0	0.00000135
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	Total モノオルト体	0	-	-	-	0	0.0000096
Total DL-PCBs		0	-	-	-	0	0.0065
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		0.2	-	-	-	0	0.050

- 備考 1.実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
2.実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
3.毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを採用した。
4.毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質浄化基準の評価にはこの値を用いる。
5.毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
環境水第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-3(2) 地下水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (No.B)

計量結果詳細

No. D241025243-001 P3/3

受付番号		D241025243 001		試料名		環境水(地下水)	
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ボ リ 塩 化 バ ジ ラ ベ ー ン ジ ソ オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	ND	0.22	0.06	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	ND	0.26	0.08	0.01	0	0.0004
	HpCDDs	ND	0.26	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	(0.3)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00009
	Total PCDDs	0.3	-	-	-	0	0.025
ボ リ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.08	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.24	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	ND	0.4	0.1	0.0003	0	0.000015
	Total PCDFs	0	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		0.3	-	-	-	0	0.043
D L i P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	ND	0.17	0.05	0.0001	0	0.0000025
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	(0.15)	0.29	0.09	0.00003	0	0.0000045
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#169)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	Total モノオルト体	0.15	-	-	-	0	0.000013
	Total DL-PCBs	0.15	-	-	-	0	0.0065
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		0.45	-	-	-	0	0.050

- 備考 1 実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2 実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
 4 毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質抽出基準の評価にはこの値を用いる。
 5 毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
 環境水第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-3(3) 地下水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (No.C)

計量結果詳細

No. D241025244-001 P3/3

受付番号		D241025244 001		試料名		環境水(地下水)	
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ塩化ベンゾジオキシン	1,3,6,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	ND	0.22	0.06	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	ND	0.26	0.08	0.01	0	0.0004
	HpCDDs	ND	0.26	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	(0.3)	0.4	0.1	0.0003	0	0.00009
Total PCDDs		0.3	-	-	-	0	0.025
ポリ塩化ベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.16	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.24	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	ND	0.4	0.1	0.0003	0	0.000015
Total PCDFs		0	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		0.3	-	-	-	0	0.043
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	ND	0.17	0.05	0.0001	0	0.0000025
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	ND	0.29	0.09	0.00003	0	0.00000135
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
Total モノオルト体		0	-	-	-	0	0.0000096
Total DL-PCBs		0	-	-	-	0	0.0065
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		0.3	-	-	-	0	0.050

- 備考 1. 実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2. 実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
 4. 毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質抽出基準の評価にはこの値を用いる。
 5. 毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
 環境土壌7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-3(3) 地下水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (No.D)

計量結果詳細

No. D241025245-001 P3/3

受付番号		D241025245 001		試料名		環境水(地下水)	
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ 塩 化 バ ジ ラ ー ン ジ ソ オ ー キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.02	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	TeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.08	0.1	0	0.004
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	ND	0.22	0.07	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	ND	0.27	0.08	0.01	0	0.0004
	HpCDDs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	ND	0.4	0.1	0.0003	0	0.000015
Total PCDDs		0	-	-	-	0	0.030
ポリ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.17	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.06	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.24	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	ND	0.4	0.1	0.0003	0	0.000015
Total PCDFs		0	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		0	-	-	-	0	0.049
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	ND	0.17	0.05	0.0001	0	0.0000025
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	(0.12)	0.29	0.09	0.00003	0	0.0000036
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.21	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
Total モノオルト体		0.12	-	-	-	0	0.000012
Total DL-PCBs		0.12	-	-	-	0	0.0085
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		0.12	-	-	-	0	0.055

- 備考 1.実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
2.実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
3.毒性等価係数は、WHO/SPCS(2006)のTEFを採用した。
4.毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質排出基準の評価にはこの値を用いる。
5.毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
環境水第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-3(3) 地下水質試料中のダイオキシン類分析結果詳細 (No.E)

計量結果詳細

No. D241025246-001 P3/3

受付番号		D241025246 001		試料名 環境水(地下水)			
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ポリ 塩 化 バ ジ ン ジ オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.05	0.01	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.05	0.01	1	0	0.005
	TeCDDs	ND	0.05	0.01	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.05	0.02	1	0	0.01
	PeCDDs	ND	0.05	0.02	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.22	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.18	0.05	0.1	0	0.0025
	HxCDDs	ND	0.22	0.07	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	ND	0.27	0.08	0.01	0	0.0004
	HpCDDs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	0.8	0.4	0.1	0.0003	0.00024	0.00024
Total PCDDs		0.8	-	-	-	0.00024	0.025
ポリ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.20	0.06	0.1	0	0.003
	TeCDFs	ND	0.20	0.06	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0	0.0009
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.13	0.04	0.3	0	0.006
	PeCDFs	ND	0.17	0.05	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.08	0.02	0.1	0	0.001
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.15	0.05	0.1	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.13	0.04	0.1	0	0.002
	HxCDFs	ND	0.12	0.04	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.24	0.07	0.01	0	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.31	0.09	0.01	0	0.00045
	HpCDFs	ND	0.27	0.08	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	ND	0.4	0.1	0.0003	0	0.000015
Total PCDFs		0	-	-	-	0	0.018
Total (PCDDs+PCDFs)		0.8	-	-	-	0.00024	0.043
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.12	0.04	0.0003	0	0.000006
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	(0.08)	0.17	0.05	0.0001	0	0.000008
	3,3',4,4',5'-PeCB(#128)	ND	0.4	0.1	0.1	0	0.005
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.4	0.1	0.03	0	0.0015
	Total ノンオルト体	0.08	-	-	-	0	0.0065
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.38	0.29	0.09	0.00003	0.0000114	0.0000114
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	(0.1)	0.4	0.1	0.00003	0	0.000003
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.23	0.07	0.00003	0	0.00000105
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.4	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.20	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.19	0.06	0.00003	0	0.0000009
Total モノオルト体		0.48	-	-	-	0.000011	0.000021
Total DL-PCBs		0.56	-	-	-	0.000011	0.0065
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		1.4	-	-	-	0.00025	0.050

備考 1 実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

2 実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。

3 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2004)のTEFを適用した。

4 毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。

5 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質排出基準の評価にはこの値を用いる。

6 毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。
環境水第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 1-4 浸出水処理水のダイオキシン類分析結果詳細

計量結果詳細

No. D241025213-001 P3/3

受付番号		D241025213-001		試料名 浸出水処理施設処理水			
		実測濃度	試料に おける 定量下限	試料に おける 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ その1	毒性等量 TEQ その2
	単位	pg/L	pg/L	pg/L	-	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ボ リ 塩 化 バ ジ ラ ー ン ジ ン オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	ND	0.4	0.1	-	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.4	0.1	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.4	0.1	1	0	0.05
	TeCDDs	ND	0.4	0.1	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.3	0.1	1	0	0.05
	PeCDDs	ND	0.3	0.1	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.25	0.07	0.1	0	0.0035
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.6	0.2	0.1	0	0.01
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.5	0.1	0.1	0	0.005
	HxCDDs	ND	0.5	0.1	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	ND	0.7	0.2	0.01	0	0.001
	HpCDDs	ND	0.7	0.2	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD	ND	1.5	0.5	0.0003	0	0.000075
	Total PCDDs	0	-	-	-	0	0.12
ボ リ 塩 化 ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.3	0.1	-	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.3	0.1	0.1	0	0.005
	TeCDFs	ND	0.3	0.1	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.6	0.2	0.03	0	0.003
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.7	0.2	0.3	0	0.03
	PeCDFs	ND	0.6	0.2	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.6	0.2	0.1	0	0.01
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.5	0.2	0.1	0	0.01
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.5	0.2	0.1	0	0.01
	2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.5	0.2	0.1	0	0.01
	HxCDFs	ND	0.6	0.2	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.5	0.2	0.01	0	0.001
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.5	0.2	0.01	0	0.001
	HpCDFs	ND	0.5	0.2	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF	ND	1.4	0.4	0.0003	0	0.00006
Total PCDFs		0	-	-	-	0	0.080
Total (PCDDs+PCDFs)		0	-	-	-	0	0.20
D L I P C B s	3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.4	0.1	0.0003	0	0.000015
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	ND	0.5	0.2	0.0001	0	0.00001
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.7	0.2	0.1	0	0.01
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.7	0.2	0.03	0	0.003
	Total ノンオルト体	0	-	-	-	0	0.013
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.9	0.3	0.00003	0	0.0000045
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	(0.3)	0.8	0.2	0.00003	0	0.000009
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	ND	0.9	0.3	0.00003	0	0.0000045
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	ND	0.5	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.6	0.2	0.00003	0	0.000003
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	ND	0.21	0.06	0.00003	0	0.0000009
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.5	0.1	0.00003	0	0.0000015
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.5	0.2	0.00003	0	0.000003
	Total モノオルト体	0.3	-	-	-	0	0.000028
Total DL-PCBs		0.3	-	-	-	0	0.013
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		0.3	-	-	-	0	0.21

備考 1.実測濃度の欄中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

2.実測濃度の欄中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。

3.毒性等価係数は、WHO/IPC&S(2006)のTEFを適用した。

4.毒性等量TEQその1は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(平成11年12月27日)により、水質評価基準の評価にはこの値を用いる。

5.毒性等量TEQその2は、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて各異性体の毒性等量を算出したものである。

環境水質第7号(平成12年1月12日)により、水質環境基準の評価にはこの値を用いる。

表 2-1(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-1)





種名：キンラン		No.：A-1											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日 (水)											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>17.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	17.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	17.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日 (金)											
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>33.0 cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>6個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	33.0 cm	葉数：	6枚	花数：	6個	結実：	0個	備考：	
草丈：	33.0 cm	葉数：	6枚										
花数：	6個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日 (火)											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>32.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>3個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	32.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	3個	備考：	
草丈：	32.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	3個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日 (木)											
		生育は良好、果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>36.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>3個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	36.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	3個	備考：	
草丈：	36.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	3個										
備考：													

表 2-1(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-1)

種名：キンラン		No.：A-1		
補足調査時写真		調査日： 令和 4 年 8 月 31 日 (水)		
		生育は良好、果実成熟過程。		
個体の状況	草丈：	- cm	葉数：	- 枚
	花数：	- 個	結実：	- 個
備考：				
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)		
		生育は良好、果実成熟過程。		
個体の状況	草丈：	36.5cm	葉数：	6枚
	花数：	個	結実：	3個
備考：				
移植 1 年後監視時写真		調査日： 令和 5 年 5 月 1 日 (月)		
		生育は良好。		
個体の状況	草丈：	31.0cm	葉数：	6枚
	花数：	1 個	結実：	0 個
備考：				
移植 2 年後監視時写真		調査日： 令和 6 年 5 月 1 日 (水)		
		生育は良好。		
個体の状況	草丈：	22.0cm	葉数：	7枚
	花数：	3個	結実：	0個
備考：	花は株元に落下していた			

表 2-2(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-2)





種名：キンラン		No.：A-2											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日 (水)											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>14.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	14.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	14.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日 (金)											
		順調に生育し、花をつけている。 なお、開花はまだしていない。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>25.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>3個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	25.0cm	葉数：	6枚	花数：	3個	結実：	0個	備考：	
草丈：	25.0cm	葉数：	6枚										
花数：	3個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日 (火)											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>27.5cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	27.5cm	葉数：	5枚	花数：	0個	結実：	2個	備考：	
草丈：	27.5cm	葉数：	5枚										
花数：	0個	結実：	2個										
備考：													
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日 (木)											
		生育は良好、果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>27.5cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	27.5cm	葉数：	5枚	花数：	0個	結実：	2個	備考：	
草丈：	27.5cm	葉数：	5枚										
花数：	0個	結実：	2個										
備考：													

表 2-2(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-2)

種名：キンラン		No.：A-2													
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）													
	生育は良好、果実成熟過程。														
移植 6 ヶ月後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：			
	草丈：	- cm	葉数：	- 枚											
花数：	- 個	結実：	- 個												
備考：															
調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）															
移植 1 年後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>27.5cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3">結実2個を採取</td></tr></table>	草丈：	27.5cm	葉数：	5枚	花数：	0個	結実：	2個	備考：	結実2個を採取		
	草丈：	27.5cm	葉数：	5枚											
花数：	0個	結実：	2個												
備考：	結実2個を採取														
調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）															
移植 2 年後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>15.5 cm</td><td>葉数：</td><td>6 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	15.5 cm	葉数：	6 枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：			
	草丈：	15.5 cm	葉数：	6 枚											
花数：	0 個	結実：	0 個												
備考：															
調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）															
移植 2 年後監視時写真		生育は良好。													
	個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>29.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>4個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3">花は株元に落下していた。</td></tr></table>		草丈：	29.0cm	葉数：	6枚	花数：	4個	結実：	0個	備考：	花は株元に落下していた。		
草丈：	29.0cm	葉数：	6枚												
花数：	4個	結実：	0個												
備考：	花は株元に落下していた。														

表 2-3(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-3)




種名：キンラン		No.：A-3		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		順調に生育し、花をつけ、一部は開花目の状況である。		
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		順調に生育し、果実を形成している。最下部の葉は、枯れ傾向。		
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		生育は良好、果実成熟過程。		
個体の状況	草丈：	18.0cm	葉数：	0枚
	花数：	0個	結実：	0個
	備考：			
個体の状況	草丈：	31.0cm	葉数：	6枚
	花数：	4個	結実：	0個
	備考：			
個体の状況	草丈：	31.5cm	葉数：	6枚
	花数：	0個	結実：	2個
	備考：			
個体の状況	草丈：	31.5cm	葉数：	5枚
	花数：	0個	結実：	2個
	備考：			

表 2-3(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-3)

種名：キンラン		No.：A-3											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)											
		生育は良好、果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好、果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>31.5cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	31.5cm	葉数：	5枚	花数：	- 個	結実：	2個	備考：	
草丈：	31.5cm	葉数：	5枚										
花数：	- 個	結実：	2個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)											
		生育は良好。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>29.0 cm</td><td>葉数：</td><td>6 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>4 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	29.0 cm	葉数：	6 枚	花数：	4 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	29.0 cm	葉数：	6 枚										
花数：	4 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)											
		生育は良好。 											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>29.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>3個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">花は株元に落下していた。</td></tr> </table>	草丈：	29.0cm	葉数：	6枚	花数：	3個	結実：	0個	備考：	花は株元に落下していた。
草丈：	29.0cm	葉数：	6枚										
花数：	3個	結実：	0個										
備考：	花は株元に落下していた。												

表 2-4(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-4)





種名：キンラン		No.：A-4		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（水）		
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。		
		個 体 の 状 況	草丈：19.0cm 花数：0個 備考：	葉数：0枚 結実：0個
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（金）		
		順調に生育し、花をつけ、一部は開花目の状況である。		
		個 体 の 状 況	草丈：36.0cm 花数：7個 備考：	葉数：6枚 結実：0個
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（火）		
		順調に生育し、果実を形成している。最下部の葉は、衰弱傾向。		
		個 体 の 状 況	草丈：38.5cm 花数：0個 備考：	葉数：6枚 結実：6個
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（木）		
		生育は不良。 果実は2個枯れ。葉5枚のうち4枚は萎凋。		
		個 体 の 状 況	草丈：38.0cm 花数：0個 備考：巻き付いたヤマノイモを除去。	葉数：5枚 結実：4個

表 2-4(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-4)

種名：キンラン		No.：A-4		
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）		
		枯れ		
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）		
		枯れ		
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）		
		生育が遅く、シュートの伸長が遅れている。		
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）		
		生育が遅く、シュートの伸長が遅れている。		
個体の状況	草丈：	-cm	葉数：	-枚
		花数：	-個	結実：
備考：				
	個体の状況	草丈：	0個	結実：
花数：			0個	結実：
備考：				
	個体の状況	草丈：	6.5 cm	葉数：
花数：			0 個	結実：
備考：				
	個体の状況	草丈：	12.0cm	葉数：
花数：			0個	結実：
備考：				

表 2-5(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-5)

種名：キンラン		No.：A-5			
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)			
		良好な生育状況の個体と比較すると、花芽の伸長がやや遅れているものの、地上部は出現している。			
個 体 の 状 況	草丈：	7.5cm	葉数：	0枚	
	花数：	0個	結実：	0個	
備考：					
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)			
		順調に生育しているが、シュートの伸長が遅れていたためか、まだ花をつけていない。			
個 体 の 状 況	草丈：	19.0cm	葉数：	6枚	
	花数：	0個	結実：	0個	
備考：					
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)			
		生育は良好であるが、開花・結実を確認していない。			
個 体 の 状 況	草丈：	17.0cm	葉数：	6枚	
	花数：	0個	結実：	0個	
備考：					
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)			
		生育は良好であるが、開花・結実を確認していない。			
個 体 の 状 況	草丈：	14.5cm	葉数：	5枚	
	花数：	0個	結実：	0個	
備考：					

表 2-5(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-5)





種名：キンラン		No.：A-5		
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）		
		生育は良好であるが、開花・結実は無し。		
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）		
		生育は良好であるが、開花・結実は無し。		
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）		
		生育は良好。		
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）		
		生育は良好。		
個体の状況	草丈：	- cm	葉数：	- 枚
	花数：	- 個	結実：	- 個
	備考：			
個体の状況	草丈：	14.5cm	葉数：	6枚
	花数：	0 個	結実：	0個
	備考：			
個体の状況	草丈：	27.5 cm	葉数：	6 枚
	花数：	2 個	結実：	0 個
	備考：			
個体の状況	草丈：	28.0cm	葉数：	5枚
	花数：	3個	結実：	0個
	備考：			

表 2-6(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-6)

種名：キンラン		No.：A-6											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		良好な生育状況の個体と比較すると、花芽の伸長がやや遅れているものの、地上部は出現している。 （なお、右側に写っている個体はA-4）											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>1.0cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	1.0cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	1.0cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		順調に生育しているが、シュートの伸長が遅れていたためか、まだ花をつけていない。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>9.5cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	9.5cm	葉数：	3枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	9.5cm	葉数：	3枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		生育は良好であるが、開花・結実を確認していない。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>10.0cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	10.0cm	葉数：	3枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	10.0cm	葉数：	3枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好であるが、開花・結実を確認していない。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>10.0cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	10.0cm	葉数：	4枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	10.0cm	葉数：	4枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													

表 2-6(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-6)

種名：キンラン		No.：A-6	
補足調査時写真	写真なし	調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)	
		(空欄)	
		個体の状況	草丈： - cm 葉数： - 枚 花数： - 個 結実： - 個 備考：目印消失により未確認
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		生育は良好であるが、開花・結実は無し。	
		個体の状況	草丈： 9.0cm 葉数： 4枚 花数： 0 個 結実： 0 個 備考：
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)	
		地上部なし。芽が出ていない。	
		個体の状況	草丈： - cm 葉数： - 枚 花数： - 個 結実： - 個 備考：
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)	
		生育が遅く、シュートの伸長が遅れている。	
		個体の状況	草丈： 12.0cm 葉数： 5枚 花数： 0個 結実： 0個 備考：

表 2-7(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-7)

種名：キンラン		No.：A-7	
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)	
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。	
		個 体 の 状 況	草丈：12.0cm 花数：0個 備考：
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)	
		順調に生育し、花をつけ、一部は開花目の状況である。	
		個 体 の 状 況	草丈：23.5cm 花数：5個 備考：
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)	
		順調に生育し、果実を形成している。	
		個 体 の 状 況	草丈：24.0cm 花数：0 個 備考：
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)	
		果実成熟過程。葉2枚が萎凋。	
		個 体 の 状 況	草丈：24.5cm 花数：0個 備考：

表 2-7(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-7)



種名：キンラン		No.：A-7	
補足調査時写真	写真なし	令和 4 年 8 月 31 日 (水)	
		(空欄)	
		個体の状況	草丈： - cm 葉数： - 枚 花数： - 個 結実： - 個 備考： 目印消失により未確認
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		枯れ	
		個体の状況	草丈： - cm 葉数： - 枚 花数： - 個 結実： - 個 備考：
移植 1 年後監視時写真		調査日： 令和 5 年 5 月 1 日 (月)	
		地上部なし。芽が出ていない。	
		個体の状況	草丈： - cm 葉数： - 枚 花数： - 個 結実： - 個 備考：
移植 2 年後監視時写真		調査日： 令和 6 年 5 月 1 日 (水)	
		生育が遅く、シュートの伸長が遅れている。	
		個体の状況	草丈： 8.0cm 葉数： 4枚 花数： 0個 結実： 0個 備考：

表 2-8(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-8)

種名：キンラン		No.：A-8	
移植 1 週間 後 調査 時 写真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）	
		地上部（花芽）は確認できなかった。	
		個体の状況	<div>草丈： - cm</div> <div>葉数： - 枚</div> <div>花数： - 個</div> <div>結実： - 個</div> <div>備考：</div>
移植 2 週間 後 調査 時 写真	写真なし	調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）	
		地上部は確認できなかった。	
		個体の状況	<div>草丈： - cm</div> <div>葉数： - 枚</div> <div>花数： - 個</div> <div>結実： - 個</div> <div>備考：</div>
移植 1 ヶ月 後 調査 時 写真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）	
		地上部は確認できなかった。	
		個体の状況	<div>草丈： - cm</div> <div>葉数： - 枚</div> <div>花数： - 個</div> <div>結実： - 個</div> <div>備考：</div>
移植 3 ヶ月 後 調査 時 写真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）	
		地上部は確認できなかった。	
		個体の状況	<div>草丈： - cm</div> <div>葉数： - 枚</div> <div>花数： - 個</div> <div>結実： - 個</div> <div>備考：</div>

表 2-8(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (A-8)




種名：キンラン		No.：A-8	
補足調査時写真	写真なし	調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)	
		(空欄)	
		個体の状況	<div>草丈：- cm</div> <div>葉数：- 枚</div> <div>花数：- 個</div> <div>結実：- 個</div> <div>備考：目印消失により未確認</div>
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		地上部は確認できなかった。	
		個体の状況	<div>草丈：- cm</div> <div>葉数：- 枚</div> <div>花数：- 個</div> <div>結実：- 個</div> <div>備考：</div>
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)	
		地上部なし。芽が出ていない。	
		個体の状況	<div>草丈：- cm</div> <div>葉数：- 枚</div> <div>花数：- 個</div> <div>結実：- 個</div> <div>備考：</div>
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)	
		生育が遅く、シュートの伸長が遅れている。	
		個体の状況	<div>草丈：9.0cm</div> <div>葉数：4枚</div> <div>花数：0個</div> <div>結実：0個</div> <div>備考：</div>

表 2-9(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (B-1)

種名：キンラン		No.：B-1											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日 (水)											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>17.0cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	17.0cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	17.0cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日 (金)											
		順調に生育し、花をつけ、一部は開花目の状況である。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>31.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>8個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	31.5cm	葉数：	6枚	花数：	8個	結実：	0個	備考：	
草丈：	31.5cm	葉数：	6枚										
花数：	8個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日 (火)											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>35.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>5個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	35.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	5個	備考：	
草丈：	35.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	5個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日 (木)											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>36.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>5個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	36.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	5個	備考：	
草丈：	36.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	5個										
備考：													

表 2-9(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (B-1)

種名：キンラン		No.：B-1													
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）													
		生育は良好。果実成熟過程。斜めに倒れている。													
移植 6 ヶ月後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：			
		草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個												
備考：															
調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）															
移植 1 年後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>39.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>5個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	39.0cm	葉数：	6枚	花数：	0 個	結実：	5個	備考：			
		草丈：	39.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0 個	結実：	5個												
備考：															
調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）															
移植 2 年後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>18.5 cm</td><td>葉数：</td><td>5 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	18.5 cm	葉数：	5 枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：			
		草丈：	18.5 cm	葉数：	5 枚										
花数：	0 個	結実：	0 個												
備考：															
調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）															
移植 2 年後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>11.0cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	11.0cm	葉数：	5枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：			
		草丈：	11.0cm	葉数：	5枚										
花数：	0個	結実：	0個												
備考：															
調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）															
移植 2 年後監視時写真		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>11.0cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	11.0cm	葉数：	5枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：			
		草丈：	11.0cm	葉数：	5枚										
花数：	0個	結実：	0個												
備考：															
調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）															

表 2-10(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-1)



種名：キンラン		No.：C-1		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		地上部（花芽）は確認できなかった。		
		個 体 の 状 況	草丈： - cm 花数： - 個 備考：	葉数： - 枚 結実： - 個
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真	<div>写真なし</div>	調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		地上部は確認できなかった。		
		個 体 の 状 況	草丈： - cm 花数： - 個 備考：	葉数： - 枚 結実： - 個
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		地上部は確認できなかった。		
		個 体 の 状 況	草丈： - cm 花数： - 個 備考：	葉数： - 枚 結実： - 個
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		地上部は確認できなかった。		
		個 体 の 状 況	草丈： - cm 花数： - 個 備考：	葉数： - 枚 結実： - 個

表 2-10(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-1)

種名：キンラン		No.：C-1											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）											
		地上部は確認できなかった。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）											
		地上部は確認できなかった。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）											
		地上部なし。芽が出ていない。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）											
		地上部なし。芽が出ていない。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-11(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-2)





種名：キンラン		No.：C-2		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）		
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。		
		個 体 の 状 況	草丈：15.5cm 花数：0個 備考：	葉数：0枚 結実：0個
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）		
		順調に生育し、花をつけ、一部は開花目の状況である。		
		個 体 の 状 況	草丈：33.5cm 花数：4個 備考：	葉数：6枚 結実：0個
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）		
		順調に生育し、果実を形成している。		
		個 体 の 状 況	草丈：33.5cm 花数：0個 備考：	葉数：6枚 結実：4個
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）		
		生育良好、果実成熟過程。		
		個 体 の 状 況	草丈：38.5cm 花数：0個 備考：	葉数：6枚 結実：3個

表 2-11(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-2)





種名：キンラン		No.：C-2											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)											
		生育良好、果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育良好、果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>38.5cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>3個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	38.5cm	葉数：	5枚	花数：	0 個	結実：	3個	備考：	
草丈：	38.5cm	葉数：	5枚										
花数：	0 個	結実：	3個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)											
		生育は良好。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>35.5 cm</td><td>葉数：</td><td>6 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>7 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	35.5 cm	葉数：	6 枚	花数：	7 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	35.5 cm	葉数：	6 枚										
花数：	7 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)											
		生育は良好。 											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>20.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>4個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">花は落下した痕跡。</td></tr> </table>	草丈：	20.0cm	葉数：	6枚	花数：	4個	結実：	0個	備考：	花は落下した痕跡。
草丈：	20.0cm	葉数：	6枚										
花数：	4個	結実：	0個										
備考：	花は落下した痕跡。												

表 2-12(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-3-a)





種名：キンラン		No.：C-3-a											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。 （斜面下方からC-3を見た時、左側に位置する個体がC-3-aである。）											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>25.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	25.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	25.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>41.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>7個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	41.0cm	葉数：	7枚	花数：	7個	結実：	0個	備考：	
草丈：	41.0cm	葉数：	7枚										
花数：	7個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>44.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>6個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	44.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	6個	備考：	
草丈：	44.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	6個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>45.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>6個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	45.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	6個	備考：	
草丈：	45.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	6個										
備考：													

表 2-12(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-3-a)






種名：キンラン		No.：C-3-a											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>45.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>6個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">結実6個をすべて採取</td></tr> </table>	草丈：	45.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	6個	備考：	結実6個をすべて採取
草丈：	45.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	6個										
備考：	結実6個をすべて採取												
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）											
		生育は良好（右の個体）。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>36.0 cm</td><td>葉数：</td><td>7 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>4 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	36.0 cm	葉数：	7 枚	花数：	4 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	36.0 cm	葉数：	7 枚										
花数：	4 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）											
		生育は良好。 											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>35.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>5個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">花序の元から折れて落下している。</td></tr> </table>	草丈：	35.0cm	葉数：	7枚	花数：	5個	結実：	0個	備考：	花序の元から折れて落下している。
草丈：	35.0cm	葉数：	7枚										
花数：	5個	結実：	0個										
備考：	花序の元から折れて落下している。												

表 2-13(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-3-b)





種名：キンラン		No.：C-3-b											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。 （斜面下方からC-3を見た時、右側に位置する個体がC-3-bである。）											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>24.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	24.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	24.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>41.5cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>12個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	41.5cm	葉数：	7枚	花数：	12個	結実：	0個	備考：	
草丈：	41.5cm	葉数：	7枚										
花数：	12個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>42.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>7個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	42.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	7個	備考：	
草丈：	42.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	7個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>42.5cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>7個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	42.5cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	7個	備考：	
草丈：	42.5cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	7個										
備考：													

表 2-13(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-3-b)

種名：キンラン		No.：C-3-b											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）											
		シュートと結実部が分離。葉の1枚は食害。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">結実2個を回収</td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	2個	備考：	結実2個を回収
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	2個										
備考：	結実2個を回収												
移植6ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）											
		葉の1枚は食害。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>36.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">果実回収済</td></tr> </table>	草丈：	36.0cm	葉数：	6枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：	果実回収済
草丈：	36.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0 個	結実：	0 個										
備考：	果実回収済												
移植1年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）											
		生育は良好（左の個体）。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>35.5 cm</td><td>葉数：</td><td>7 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>4 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	35.5 cm	葉数：	7 枚	花数：	4 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	35.5 cm	葉数：	7 枚										
花数：	4 個	結実：	0 個										
備考：													
移植2年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）											
		生育は良好。 											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>41.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>7個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">花は付け根から取れて落下</td></tr> </table>	草丈：	41.0cm	葉数：	6枚	花数：	7個	結実：	0個	備考：	花は付け根から取れて落下
草丈：	41.0cm	葉数：	6枚										
花数：	7個	結実：	0個										
備考：	花は付け根から取れて落下												

表 2-14(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-4)

種名：キンラン		No.：C-4			
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 （ 水 ）			
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。			
個 体 の 状 況		草丈：	35.0cm	葉数：	0枚
		花数：	0個	結実：	0個
備 考					
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 （ 金 ）			
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。			
個 体 の 状 況		草丈：	51.5cm	葉数：	6枚
		花数：	10個	結実：	0個
備 考					
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 （ 火 ）			
		順調に生育し、果実を形成している。			
個 体 の 状 況		草丈：	51.5cm	葉数：	6枚
		花数：	0個	結実：	10個
備 考					
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 （ 木 ）			
		生育は良好。果実成熟過程。			
個 体 の 状 況		草丈：	57.0cm	葉数：	6枚
		花数：	0個	結実：	10個
備 考		フユイチゴ、キヅタ除去。			

表 2-14(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-4)

種名：キンラン		No.：C-4											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)											
		シュートと結実部が分離。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td> <td>葉数：</td><td>- 枚</td> </tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td> <td>結実：</td><td>10個</td> </tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">結実10個を回収</td> </tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	10個	備考：	結実10個を回収
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	10個										
備考：	結実10個を回収												
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		枯れ											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>cm</td> <td>葉数：</td><td>枚</td> </tr> <tr> <td>花数：</td><td>個</td> <td>結実：</td><td>個</td> </tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">果実回収済</td> </tr> </table>	草丈：	cm	葉数：	枚	花数：	個	結実：	個	備考：	果実回収済
草丈：	cm	葉数：	枚										
花数：	個	結実：	個										
備考：	果実回収済												
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)											
		生育はやや不良。茎が折れ曲がっている。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>12.0 cm</td> <td>葉数：</td><td>5 枚</td> </tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td> <td>結実：</td><td>0 個</td> </tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td> </tr> </table>	草丈：	12.0 cm	葉数：	5 枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	12.0 cm	葉数：	5 枚										
花数：	0 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)											
		地上部なし											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td> <td>葉数：</td><td>- 枚</td> </tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td> <td>結実：</td><td>- 個</td> </tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td> </tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-15(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-5)





種名：キンラン		No.：C-5			
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（水）			
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。			
個 体 の 状 況	草丈：	21.5cm	葉数：	0枚	
	花数：	0個	結実：	0個	
備考：					
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（金）			
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。			
個 体 の 状 況	草丈：	37.5cm	葉数：	7枚	
	花数：	12個	結実：	0個	
備考：					
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（火）			
		順調に生育し、果実を形成している。			
個 体 の 状 況	草丈：	41.0cm	葉数：	7枚	
	花数：	0個	結実：	12個	
備考：					
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（木）			
		枯れ、カビが生えている。			
個 体 の 状 況	草丈：	40.0cm	葉数：	7枚	
	花数：	0個	結実：	12個	
備考：					

表 2-15(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-5)






種名：キンラン		No.：C-5											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)											
		枯れ											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>-cm</td><td>葉数：</td><td>-枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>-個</td><td>結実：</td><td>-個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	-cm	葉数：	-枚	花数：	-個	結実：	-個	備考：	
草丈：	-cm	葉数：	-枚										
花数：	-個	結実：	-個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		枯れ											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>-cm</td><td>葉数：</td><td>-枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>-個</td><td>結実：</td><td>-個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	-cm	葉数：	-枚	花数：	-個	結実：	-個	備考：	
草丈：	-cm	葉数：	-枚										
花数：	-個	結実：	-個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)											
		他個体と比較して生育がやや遅い。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>15.0 cm</td><td>葉数：</td><td>7 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	15.0 cm	葉数：	7 枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	15.0 cm	葉数：	7 枚										
花数：	0 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)											
		生育は良好。 											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>34.0cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>3個</td><td>結実：</td><td>3個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">実が少し大きくなっている。</td></tr> </table>	草丈：	34.0cm	葉数：	5枚	花数：	3個	結実：	3個	備考：	実が少し大きくなっている。
草丈：	34.0cm	葉数：	5枚										
花数：	3個	結実：	3個										
備考：	実が少し大きくなっている。												

表 2-16(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-6)





種名：キンラン		No.：C-6											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>25.0cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	25.0cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	25.0cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>40.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>6個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	40.0cm	葉数：	7枚	花数：	6個	結実：	0個	備考：	
草丈：	40.0cm	葉数：	7枚										
花数：	6個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>40.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>4個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	40.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	4個	備考：	
草丈：	40.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	4個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>40.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>4個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	40.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	4個	備考：	
草丈：	40.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	4個										
備考：													

表 2-16(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-6)





種名：キンラン		No.：C-6		
補足調査時写真		調査日： 令和 4 年 8 月 31 日 (水)		
		生育は良好。果実成熟過程。		
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)		
		生育は良好。果実成熟過程。		
移植 1 年後監視時写真		調査日： 令和 5 年 5 月 1 日 (月)		
		生育は良好。		
移植 2 年後監視時写真		調査日： 令和 6 年 5 月 1 日 (水)		
		生育不良、枯れ。 スギの枯れ枝が被さっており、 成長できなかったもの。		
個体の状況	草丈：	- cm	葉数：	- 枚
	花数：	- 個	結実：	- 個
備考：				

表 2-17(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-7)





種名：キンラン		No.：C-7	
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（水）	
		生育はやや不良。 良好な生育状況の個体と比較すると、花芽の伸長がやや遅れているものの、地上部は出現している。	
		個 体 の 状 況	草丈：1.0cm 花数：0個 備考：
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（金）	
		生育は不良。 前回確認時よりもやや伸長しているものの、他の個体と比較して伸長が遅れている。	
		個 体 の 状 況	草丈：2.0cm 花数：0個 備考：
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（火）	
		枯れ	
		個 体 の 状 況	草丈：- cm 花数：- 個 備考：
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（木）	
		枯れ	
		個 体 の 状 況	草丈：- cm 花数：- 個 備考：

表 2-17(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-7)

種名：キンラン		No.：C-7											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）											
		地上部消滅。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）											
		地上部消滅。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）											
		地上部なし。芽が出ていない。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）											
		地上部なし。芽が出ていない。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-18(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-8)





種名：キンラン		No.：C-8	
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 （ 水 ）	
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。	
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		個 体 の 状 況	草丈：15.5cm 葉数：0枚 花数：0個 結実：0個 備考：
		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 （ 金 ）	
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		順調に生育し、果実を形成している。茎は湾曲。最上部の葉は、上半分欠損。	
		個 体 の 状 況	草丈：28.0cm 葉数：6枚 花数：0個 結実：2個 備考：隣接するヤマグワ除去。
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 （ 木 ）	
		茎は湾曲している。果実1個は細く未成熟の状態。	
		個 体 の 状 況	草丈：28.0cm 葉数：6枚 花数：0個 結実：2個 備考：隣接するスミレ除去。

表 2-18(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-8)

種名：キンラン		No.：C-8											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）											
		茎は湾曲している。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）											
		茎は湾曲している。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>29.5cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	29.5cm	葉数：	5枚	花数：	0 個	結実：	2個	備考：	
草丈：	29.5cm	葉数：	5枚										
花数：	0 個	結実：	2個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）											
		他個体と比較して生育がやや遅い。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>19.5 cm</td><td>葉数：</td><td>7 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	19.5 cm	葉数：	7 枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	19.5 cm	葉数：	7 枚										
花数：	0 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）											
		生育は良好。 											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>34.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>3個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">花は落下している。</td></tr> </table>	草丈：	34.0cm	葉数：	7枚	花数：	3個	結実：	0個	備考：	花は落下している。
草丈：	34.0cm	葉数：	7枚										
花数：	3個	結実：	0個										
備考：	花は落下している。												

表 2-19(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-9)

種名：キンラン		No.：C-9	
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）	
		良好な生育状況の個体と比較すると、花芽の伸長がやや遅れているものの、地上部は出現している。	
		個体の状況	草丈：5.0cm 花数：0個 備考：
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）	
		順調に生育しているが、シュートの伸長が遅れていたためか、まだ花をつけていない。	
		個体の状況	草丈：19.5cm 花数：0個 備考：
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）	
		生育は良好であるが、開花・結実を確認していない。	
		個体の状況	草丈：22.5cm 花数：0個 備考：
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）	
		生育は良好であるが、開花・結実を確認していない。	
		個体の状況	草丈：21.0cm 花数：0個 備考：

表 2-19(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-9)

種名：キンラン		No.：C-9											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）											
		生育は良好であるが、開花・結実は無し。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）											
		生育は良好であるが、開花・結実は無し。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>21.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	21.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	21.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	0 個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）											
		地上部なし。芽が出ていない。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）											
		生育は良好。 開花直前。 											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>26.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>2個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	26.0cm	葉数：	6枚	花数：	2個	結実：	0個	備考：	
草丈：	26.0cm	葉数：	6枚										
花数：	2個	結実：	0個										
備考：													

表 2-20(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-10)




種名：キンラン		No.：C-10		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（ 水 ）		
		良好な生育状況の個体と比較すると、花芽の伸長がやや遅れているものの、地上部は出現している。		
個 体 の 状 況	草丈：	5.5cm	葉数：	0枚
	花数：	0個	結実：	0個
備考：				
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（ 金 ）		
		生育はやや不良。 順調に生育しているが、シュートの伸長が遅れていたためか、展葉に至っていない。		
個 体 の 状 況	草丈：	11.0cm	葉数：	0枚
	花数：	0個	結実：	0個
備考：				
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（ 火 ）		
		生育は良好であるが、開花・結実を確認していない。		
個 体 の 状 況	草丈：	13.5cm	葉数：	5枚
	花数：	0個	結実：	0個
備考：				
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（ 木 ）		
		枯れ		
個 体 の 状 況	草丈：	- cm	葉数：	- 枚
	花数：	- 個	結実：	- 個
備考：				

表 2-20 (2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (C-10)


種名：キンラン		No.：C-10											
補足調査写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)											
		地上部は消滅。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		地上部は消滅。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)											
		倒伏している。頂部に損傷あり。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>16.0 cm</td><td>葉数：</td><td>6 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	16.0 cm	葉数：	6 枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	16.0 cm	葉数：	6 枚										
花数：	0 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)											
		生育は良好。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>20.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>1個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">花は枯れている</td></tr> </table>	草丈：	20.0cm	葉数：	6枚	花数：	1個	結実：	0個	備考：	花は枯れている
草丈：	20.0cm	葉数：	6枚										
花数：	1個	結実：	0個										
備考：	花は枯れている												

表 2-21(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (D-1)

種名：キンラン		No.：D-1											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>19.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	19.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	19.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>35.5cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>6個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	35.5cm	葉数：	7枚	花数：	6個	結実：	0個	備考：	
草丈：	35.5cm	葉数：	7枚										
花数：	6個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>49.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>6個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	49.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	6個	備考：	
草丈：	49.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	6個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好。果実が6個から2個に減少。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>36.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	36.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	2個	備考：	
草丈：	36.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	2個										
備考：													

表 2-21 (2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (D-1)





種名：キンラン		No.：D-1											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日（水）											
		シュートと地下部が分離。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>2個</td></tr><tr><td colspan="4">備考：結実2個を回収</td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	2個	備考：結実2個を回収	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	2個										
備考：結実2個を回収													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日（月）											
		枯れ											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>-個</td></tr><tr><td colspan="4">備考：果実回収済</td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	-個	備考：果実回収済	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	-個										
備考：果実回収済													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日（月）											
		生育は良好。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>33.0 cm</td><td>葉数：</td><td>8 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>1 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr><tr><td colspan="4">備考：</td></tr></table>	草丈：	33.0 cm	葉数：	8 枚	花数：	1 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	33.0 cm	葉数：	8 枚										
花数：	1 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日（水）											
		生育が遅く、シュートの伸長が遅れている。											
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>8.0cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td colspan="4">備考：</td></tr></table>	草丈：	8.0cm	葉数：	4枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	8.0cm	葉数：	4枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													

表 2-22(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (D-2)

種名：キンラン		No.：D-2			
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)			
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。			
個 体 の 状 況	草丈：	24.0cm	葉数：	0枚	
	花数：	0個	結実：	0個	
備考：					
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)			
		順調に生育し、花をつけ、一部はすでに開花している。			
個 体 の 状 況	草丈：	35.5cm	葉数：	7枚	
	花数：	4個	結実：	0個	
備考：					
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)			
		順調に生育し、果実を形成している。			
個 体 の 状 況	草丈：	41.0cm	葉数：	7枚	
	花数：	0個	結実：	4個	
備考：					
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)			
		枯れ寸前。カビが生える。			
個 体 の 状 況	草丈：	41.0cm	葉数：	7枚	
	花数：	0個	結実：	4個	
備考：					

表 2-22 (2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (D-2)

種名：キンラン		No.：D-2													
補足調査時写真		調査日： 令和 4 年 8 月 31 日 (水)													
		枯れ													
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>cm</td><td>葉数：</td><td>枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>個</td><td>結実：</td><td>個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	cm	葉数：	枚	花数：	個	結実：	個	備考：			
		草丈：	cm	葉数：	枚										
花数：	個	結実：	個												
備考：															
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)													
		枯れ													
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>cm</td><td>葉数：</td><td>枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>個</td><td>結実：</td><td>個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	cm	葉数：	枚	花数：	個	結実：	個	備考：			
		草丈：	cm	葉数：	枚										
花数：	個	結実：	個												
備考：															
移植 1 年後監視時写真		調査日： 令和 5 年 5 月 1 日 (月)													
		他個体と比較して生育がやや遅い。													
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>16.0 cm</td><td>葉数：</td><td>4 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	16.0 cm	葉数：	4 枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：			
		草丈：	16.0 cm	葉数：	4 枚										
花数：	0 個	結実：	0 個												
備考：															
移植 2 年後監視時写真		調査日： 令和 6 年 5 月 1 日 (水)													
		生育は良好。 開花直前。													
		個体の状況	<table><tr><td>草丈：</td><td>29.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>3個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	29.0cm	葉数：	6枚	花数：	3個	結実：	0個	備考：			
		草丈：	29.0cm	葉数：	6枚										
花数：	3個	結実：	0個												
備考：															

表 2-23(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (E-1)

種名：キンラン		No.：E-1											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>19.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	19.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	19.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		順調に生育しているものの、花は確認できず。 (4/25の人工授粉時に4花を確認。)											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>34.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	34.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	34.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>38.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>4個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	38.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	4個	備考：	
草丈：	38.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	4個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>37.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>4個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	37.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	4個	備考：	
草丈：	37.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	4個										
備考：													

表 2-23(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (E-1)

種名：キンラン		No.：E-1											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>37.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>4個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	37.0cm	葉数：	6枚	花数：	0 個	結実：	4個	備考：	
草丈：	37.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0 個	結実：	4個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)											
		他個体と比較して生育がやや遅い。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>11.0 cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	11.0 cm	葉数：	3枚	花数：	0 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	11.0 cm	葉数：	3枚										
花数：	0 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)											
		生育は良好。花は付けていない。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>21.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	21.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	21.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													

表 2-24(1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (F-1)

種名：キンラン		No.：F-1											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)											
		順調に生育し、花芽を伸ばしている。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>20.0cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	20.0cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	20.0cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)											
		順調に生育し、花をつけ、一部は開花目の状況である。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>41.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>8個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	41.5cm	葉数：	6枚	花数：	8個	結実：	0個	備考：	
草丈：	41.5cm	葉数：	6枚										
花数：	8個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)											
		順調に生育し、果実を形成している。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>48.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>8個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	48.5cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	8個	備考：	
草丈：	48.5cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	8個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>47.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>8個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	47.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	8個	備考：	
草丈：	47.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	8個										
備考：													

表 2-24(2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (F-1)



種名：キンラン		No.：F-1											
補足調査時写真		調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好。果実成熟過程。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>47.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>8個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	47.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	8個	備考：	
草丈：	47.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	8個										
備考：													
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)											
		生育は良好。											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>40.5 cm</td><td>葉数：</td><td>7 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>4 個</td><td>結実：</td><td>0 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	40.5 cm	葉数：	7 枚	花数：	4 個	結実：	0 個	備考：	
草丈：	40.5 cm	葉数：	7 枚										
花数：	4 個	結実：	0 個										
備考：													
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)											
		伸長しているが、葉と花部分が食害を受けている。 											
		個体の状況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>23.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	23.0cm	葉数：	7枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	23.0cm	葉数：	7枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-25 (1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (G-1-a)

種名：キンラン		No.：G-1-a											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		生育はやや不良。 良好な生育状況の個体と比較すると、花芽の伸長がやや遅れているものの、地上部は出現している。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>1.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	1.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	1.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		順調に生育しているが、シュートの伸長が遅れていたためか、まだ花をつけていない。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>16.5cm</td><td>葉数：</td><td>0枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	16.5cm	葉数：	0枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	16.5cm	葉数：	0枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		順調に生育し、果実を形成している（自家結実）。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>40.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>1個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">花茎に消失していた袋を付け直し。</td></tr> </table>	草丈：	40.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	1個	備考：	花茎に消失していた袋を付け直し。
草丈：	40.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	1個										
備考：	花茎に消失していた袋を付け直し。												
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日：令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好。果実は消失。											
		個体の状況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>33.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">隣接するヤマノイモ、クサギを除去。</td></tr> </table>	草丈：	33.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	隣接するヤマノイモ、クサギを除去。
草丈：	33.0cm	葉数：	7枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：	隣接するヤマノイモ、クサギを除去。												

表 2-25 (2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (G-1-a)




種名： キンラン		No.： G-1-a	
補 足 調 査 時 写 真	<p style="text-align: center;">写真無し</p>	調査日： 令和 4 年 8 月 31 日 (水)	
		(空欄)	
		個 体 の 状 況	草丈： - cm 葉数： - 枚 花数： - 個 結実： - 個 備考： 目印消失により未確認
移 植 6 ヶ 月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		生育は良好。果実は無し。	
		個 体 の 状 況	草丈： 32.0cm 葉数： 7枚 花数： 0 個 結実： 0 個 備考：
移 植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 5 月 1 日 (月)	
		生育は良好（左の個体）。	
		個 体 の 状 況	草丈： 43.0 cm 葉数： 7 枚 花数： 5 個 結実： 0 個 備考：
移 植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 5 月 1 日 (水)	
		生育は良好（左の個体）。開花している。	
		個 体 の 状 況	草丈： 44.0cm 葉数： 7枚 花数： 6個 結実： 0個 備考：

表 2-26 (1) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (G-1-b)

種名：キンラン		No.：G-1-b											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（水）											
		地上部（花芽）は確認できなかった。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（金）											
		地上部は確認できなかった。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（火）											
		地上部確認。順調に生育している。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>25.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	25.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	25.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（木）											
		生育は良好。果実は無し。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>21.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	21.0cm	葉数：	6枚	花数：	0個	結実：	0個	備考：	
草丈：	21.0cm	葉数：	6枚										
花数：	0個	結実：	0個										
備考：													

表 2-26 (2) キンラン移植個体活着状況調査結果詳細 (G-1-b)




種名：キンラン		No.：G-1-b	
補足調査時写真	写真無し	調査日：令和 4 年 8 月 31 日 (水)	
		(空欄)	
		個体の状況	草丈： - cm 葉数： - 枚 花数： - 個 結実： - 個 備考：目印消失により未確認
移植 6 ヶ月後監視時写真		調査日：令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		生育は良好。果実は無し。	
		個体の状況	草丈： 16.5cm 葉数： 6枚 花数： 0 個 結実： 0 個 備考：
移植 1 年後監視時写真		調査日：令和 5 年 5 月 1 日 (月)	
		生育は良好 (右の個体)。左の個体よりも生育がやや遅い。	
		個体の状況	草丈： 25.0 cm 葉数： 7 枚 花数： 0 個 結実： 0 個 備考：
移植 2 年後監視時写真		調査日：令和 6 年 5 月 1 日 (水)	
		生育は良好 (右の個体)。開花している。	
		個体の状況	草丈： 40.0cm 葉数： 7枚 花数： 4個 結実： 0個 備考：

表 2-27(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (①)



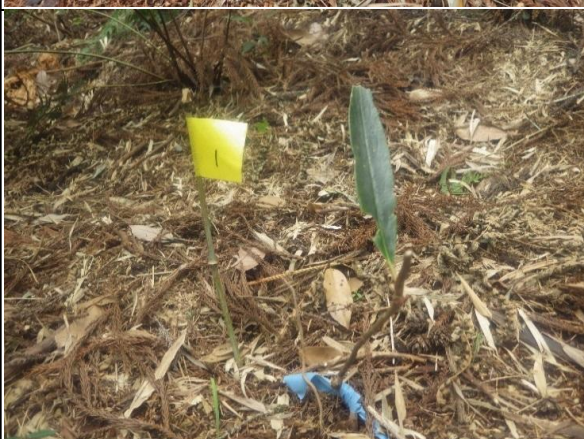

種名： カラタチバナ		No.： ①			
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)			
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。			
個 体 の 状 況		草丈：	20.5cm	葉数：	1枚
		花序数：	0個	果序数：	0個
備 考					
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)			
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。			
個 体 の 状 況		草丈：	20.5cm	葉数：	1枚
		花序数：	0個	果序数：	0個
備 考					
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)			
		草丈・葉数ともに変化はないが、側芽は活性化してい る。			
個 体 の 状 況		草丈：	20.5cm	葉数：	1枚
		花序数：	0個	果序数：	0個
備 考					
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)			
		側芽が伸長。主軸は折れている。			
個 体 の 状 況		草丈：	22.0cm	葉数：	7枚
		花序数：	0個	果序数：	0個
備 考					

表 2-27 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (①)




種名：カラタチバナ		No.：①	
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		順調に生育	
		個 体 の 状 況	草丈： 23.0cm 葉数： 10枚 花序数： - 個 果序数： - 個 備考：
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)	
		生育は良好	
		個 体 の 状 況	草丈： 28.0cm 葉数： 13枚 花数： 7 個 結実： - 個 備考：
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)	
		生育は良好	
		個 体 の 状 況	草丈： 31.0cm 葉数： 21枚 花数： 5 個 結実： - 個 備考：

表 2-28(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (②)





種名：カラタチバナ		No.：②											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)											
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>44.5cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	44.5cm	葉数：	3枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	44.5cm	葉数：	3枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)											
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>44.5cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	44.5cm	葉数：	3枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	44.5cm	葉数：	3枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)											
		ほとんど変化無し。葉の3枚は虫による食害あり。											
		3 枚 の	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>45.0cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	45.0cm	葉数：	3枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	45.0cm	葉数：	3枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)											
		葉10枚のうち3枚は枯れの傾向。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>48.0cm</td><td>葉数：</td><td>10枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	48.0cm	葉数：	10枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	48.0cm	葉数：	10枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													

表 2-28 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (②)




種名：カラタチバナ		No.：②	
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		生育は良好。	
		個 体 の 状 況	草丈： 51.0cm 葉数： 13枚 花数： - 個 果序数： - 個 備考：
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)	
		生育は良好。	
		個 体 の 状 況	草丈： 53.0cm 葉数： 12枚 花数： 1 個 結実： - 個 備考：
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)	
		生育は良好。	
		個 体 の 状 況	草丈： 61.0cm 葉数： 28枚 花数： 0個 結実： - 個 備考：

表 2-29(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (③-a)





種名：カラタチバナ		No.：③-a													
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)													
		順調に生育している。本個体は2株立ちをしている。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>24.0cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	24.0cm	葉数：	4枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
		草丈：	24.0cm	葉数：	4枚										
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)															
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。													
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>24.0cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	24.0cm	葉数：	4枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	24.0cm	葉数：	4枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)															
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		ほとんど変化無し。葉の2枚は虫による食害あり。													
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>24.0cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	24.0cm	葉数：	4枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	24.0cm	葉数：	4枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)															
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		生育は良好。側芽が伸長。													
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>30.0cm</td><td>葉数：</td><td>10枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	30.0cm	葉数：	10枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	30.0cm	葉数：	10枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															

表 2-29 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (③-a)




種名： カラタチバナ		No.： ③-a			
移植 6 ヶ 月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)			
		生育は良好。			
個 体 の 状 況		草丈：	34.0cm	葉数：	11枚
		花序数：	- 個	果序数：	- 個
備考：					
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)			
		生育は良好。 花序は食害を受けた様子。			
個 体 の 状 況		草丈：	31.0cm	葉数：	13枚
		花数：	- 個	結実：	- 個
備考：					
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)			
		生育は良好（右の個体）。葉の一部が食害を受けている。			
個 体 の 状 況		草丈：	45.0cm	葉数：	24枚
		花数：	9個	結実：	- 個
備考：					

表 2-30(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (③-b)





種名： カラタチバナ		No.： ③-b		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育している。本個体は2株立ちをしている。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		ほとんど変化無し。葉の2枚は虫による食害あり。		
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		生育は良好。側芽が伸長。 葉の1枚は黄変している。		
個 体 の 状 況	草丈：	26.5cm	葉数：	6枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	30.5cm	葉数：	12枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			

表 2-30 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (③-b)








種名：カラタチバナ		No.：③-b		
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)		
		生育は良好。		
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)		
		生育は良好。		
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)		
		生育は比較的良好（左の個体）。 葉の一部が食害を受けている。		
個 体 の 状 況	草丈：	34.0cm	葉数：	11枚
		花序数：	- 個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	50.0cm	葉数：	8枚
		花数：	6 個	結実：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	47.0cm	葉数：	19枚
		花数：	11個	結実：
個 体 の 状 況	備考：			

表 2-31 (1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (④)

種名： カラタチバナ		No.： ④	
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（水）	
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。	
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（金）	
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。	
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（火）	
		順調に生育している。新葉が展開中。	
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（木）	
		生育は良好。	

個 体 の 状 況	草丈：	37.0cm	葉数：	0枚
	花序数：	0個	果序数：	0個
	備考：			

個 体 の 状 況	草丈：	37.0cm	葉数：	0枚
	花序数：	0個	果序数：	0個
	備考：			

個 体 の 状 況	草丈：	40.5cm	葉数：	2枚
	花序数：	0個	果序数：	0個
	備考：			

個 体 の 状 況	草丈：	42.0cm	葉数：	5枚
	花序数：	0個	果序数：	0個
	備考：			

表 2-31 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (④)

種名： カラタチバナ		No.： ④				
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)				
		生育は良好。				
		個 体 の 状 況	草丈：	43.5cm	葉数：	9枚
			花序数：	- 個	果序数：	- 個
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)				
		生育は良好。				
		個 体 の 状 況	草丈：	32.0cm	葉数：	18枚
			花数：	7 個	結実：	- 個
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)				
		花序は形成されていない。 葉の一部に食害がある。				
		個 体 の 状 況	草丈：	45.0cm	葉数：	15枚
			花数：	0個	結実：	- 個
		備考：				

表 2-32(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑤)

種名： カラタチバナ		No.： ⑤		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		草丈・葉数ともに変化はないが、側芽は活性化してい る。葉の2枚は虫による食害あり。		
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		生育は良好。側芽が伸長。		
個 体 の 状 況	草丈：	19.0cm	葉数：	2枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	22.0cm	葉数：	10枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			

表 2-32 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑤)




種名：カラタチバナ		No.：⑤											
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>23.5cm</td><td>葉数：</td><td>11枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	23.5cm	葉数：	11枚	花序数：	- 個	果序数：	- 個	備考：	
草丈：	23.5cm	葉数：	11枚										
花序数：	- 個	果序数：	- 個										
備考：													
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)											
		生育は良好。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>32.0cm</td><td>葉数：</td><td>18枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>7 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	32.0cm	葉数：	18枚	花数：	7 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	32.0cm	葉数：	18枚										
花数：	7 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)											
		葉が食害を受け、草丈、葉数は大きく減少。 樹勢弱く、衰弱している。 新芽や花序は見られない。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>20.0cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	20.0cm	葉数：	3枚	花数：	0個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	20.0cm	葉数：	3枚										
花数：	0個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-33(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑥)





種名：カラタチバナ		No.：⑥													
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)													
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。													
		個 体 の 状 況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>31.5cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	31.5cm	葉数：	4枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	31.5cm	葉数：	4枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)													
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。													
		個 体 の 状 況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>31.5cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	31.5cm	葉数：	4枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	31.5cm	葉数：	4枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)													
		順調に生育している。頂芽展開中。													
		個 体 の 状 況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>34.0cm</td><td>葉数：</td><td>8枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	34.0cm	葉数：	8枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	34.0cm	葉数：	8枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)													
		生育は良好。花序が形成されている。													
		個 体 の 状 況	<table> <tr> <td>草丈：</td><td>38.0cm</td><td>葉数：</td><td>15枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>3個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">1個の花序に5～8の花・蕾あり。</td></tr> </table>	草丈：	38.0cm	葉数：	15枚	花序数：	3個	果序数：	0個	備考：	1個の花序に5～8の花・蕾あり。		
草丈：	38.0cm	葉数：	15枚												
花序数：	3個	果序数：	0個												
備考：	1個の花序に5～8の花・蕾あり。														

表 2-33 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑥)

種名：カラタチバナ		No.：⑥													
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)													
		生育は良好。果実が成熟過程。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>38.0cm</td><td>葉数：</td><td>18枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>-個</td><td>果序数：</td><td>3 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">果実数：18個</td></tr> </table>	草丈：	38.0cm	葉数：	18枚	花序数：	-個	果序数：	3 個	備考：	果実数：18個		
草丈：	38.0cm	葉数：	18枚												
花序数：	-個	果序数：	3 個												
備考：	果実数：18個														
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)													
		生育は良好。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>43.0cm</td><td>葉数：</td><td>22枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>10 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	43.0cm	葉数：	22枚	花数：	10 個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	43.0cm	葉数：	22枚												
花数：	10 個	結実：	- 個												
備考：															
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)													
		主幹は枯死。 脇芽が出ているが、食害された葉の柄部のみ残る。 新芽、花序は無くかなり衰弱した状態。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>11.0cm</td><td>葉数：</td><td>2枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	11.0cm	葉数：	2枚	花数：	0個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	11.0cm	葉数：	2枚												
花数：	0個	結実：	- 個												
備考：															

表 2-34(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑦)





種名：カラタチバナ		No.：⑦		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		生育は良好ではあるが、葉の7枚は虫による食害あり。		
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		倒伏している。活性は低く、衰弱している。		
個 体 の 状 況	草丈：	13.5cm	葉数：	9枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	13.5cm	葉数：	9枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	14.5cm	葉数：	9枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	15.0cm	葉数：	8枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			

表 2-34 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑦)



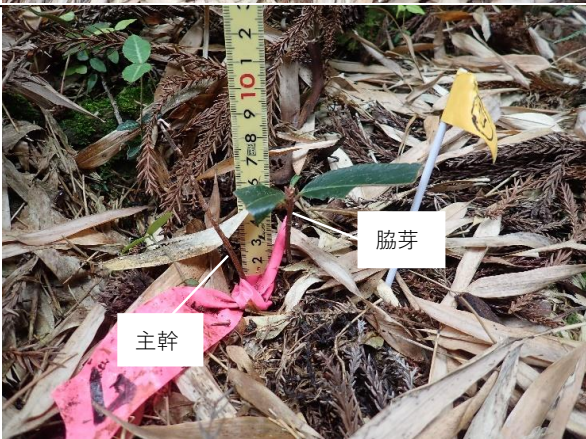
種名：カラタチバナ		No.：⑦	
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		生育良好。	
		個 体 の 状 況	草丈： 14cm 葉数： 9枚 花序数： - 個 果序数： - 個 備考：
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)	
		生育良好。	
		個 体 の 状 況	草丈： 9.5cm 葉数： 7枚 花数： - 個 結実： - 個 備考：
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)	
		主幹は枯死。 脇芽が残るが葉は食害を受ける。 新芽、花序は無く、衰弱した状態。	
		個 体 の 状 況	草丈： 6.0cm 葉数： 4枚 花数： 0個 結実： - 個 備考：

表 2-35 (1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑧)





種名： カラタチバナ		No.： ⑧		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		生育は良好ではあるが、新葉の1枚以外は虫による食害 あり。		
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		生育は良好。果序が形成されている。 果実は成熟過程。		
個 体 の 状 況	草丈：	39.0cm	葉数：	9枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	42.5cm	葉数：	15枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	46.0cm	葉数：	21枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：	1個の果序に5～8の果実あり。		

表 2-35 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑧)

種名：カラタチバナ		No.：⑧	
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)	
		生育は良好。果序が形成されている。 果実は成熟過程。	
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)	
		茎が折れて倒伏している。 茎を起こし、添え木で応急措置済み。	
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)	
		主幹は枯死。 脇芽が残っているが、葉はすべて落ちている。 新芽、花序は無く、かなり衰弱した状態。	
		個 体 の 状 況	草丈： 47.0cm 葉数： 20枚 花序数： - 個 果序数： 6 個 備考： 果実数：33個
		個 体 の 状 況	草丈： 39.5cm 葉数： 13枚 花数： - 個 結実： - 個 備考：
		個 体 の 状 況	草丈： 22.0cm 葉数： 0枚 花数： 0個 結実： - 個 備考：

表 2-36(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑨)





種名：カラタチバナ		No.：⑨													
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)													
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>13.0cm</td><td>葉数：</td><td>2枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	13.0cm	葉数：	2枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	13.0cm	葉数：	2枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)													
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>13.0cm</td><td>葉数：</td><td>2枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	13.0cm	葉数：	2枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	13.0cm	葉数：	2枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)													
		順調に生育している。頂芽が伸長。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>15.0cm</td><td>葉数：</td><td>2枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	15.0cm	葉数：	2枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：			
草丈：	15.0cm	葉数：	2枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：															
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)													
		生育は良好。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>15.0cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">隣接するスズメウリを除去。</td></tr> </table>	草丈：	15.0cm	葉数：	6枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	隣接するスズメウリを除去。		
草丈：	15.0cm	葉数：	6枚												
花序数：	0個	果序数：	0個												
備考：	隣接するスズメウリを除去。														

表 2-36 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑨)




種名：カラタチバナ		No.：⑨													
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)													
		生育は良好。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>16.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	16.0cm	葉数：	7枚	花序数：	- 個	果序数：	- 個	備考：			
草丈：	16.0cm	葉数：	7枚												
花序数：	- 個	果序数：	- 個												
備考：															
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)													
		ほとんど成長が見られない。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>16.5cm</td><td>葉数：</td><td>4枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	16.5cm	葉数：	4枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	16.5cm	葉数：	4枚												
花数：	- 個	結実：	- 個												
備考：															
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)													
		<p>わずかに成長している。</p> <p>新芽、花序は形成されていない。</p> <p>葉の一部に食害がある。</p>													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>19.0cm</td><td>葉数：</td><td>7枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	19.0cm	葉数：	7枚	花数：	0個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	19.0cm	葉数：	7枚												
花数：	0個	結実：	- 個												
備考：															

表 2-37(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑩)





種名： カラタチバナ		No.： ⑩		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		草丈・葉数ともに変化なし。茎の頂部に食害。		
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		生育は良好。		
個 体 の 状 況	草丈：	18.0cm	葉数：	0枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	18.0cm	葉数：	5枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			

表 2-37 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑩)


種名： カラタチバナ		No.： ⑩											
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>19.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	19.5cm	葉数：	6枚	花序数：	- 個	果序数：	- 個	備考：	
草丈：	19.5cm	葉数：	6枚										
花序数：	- 個	果序数：	- 個										
備考：													
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)											
		ほとんど成長が見られない。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>19.0cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	19.0cm	葉数：	5枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	19.0cm	葉数：	5枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)											
		ほとんど成長が見られない。 花序、新芽は無し。一部の葉に食害あり。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>17.0cm</td><td>葉数：</td><td>9枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	17.0cm	葉数：	9枚	花数：	0個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	17.0cm	葉数：	9枚										
花数：	0個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-38(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑪)




種名：カラタチバナ		No.：⑪		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日（水）		
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日（金）		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日（火）		
		生育は良好ではあるが、葉の6枚は食害。側芽伸長。		
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日（木）		
		生育は良好。葉の2枚は食害を受けている。		
		個 体 の 状 況	草丈：40.0cm	葉数：7枚
			花序数：0個	果序数：0個
		備考：		
		個 体 の 状 況	草丈：40.0cm	葉数：7枚
			花序数：0個	果序数：0個
		備考：		
		個 体 の 状 況	草丈：41.0cm	葉数：7枚
			花序数：0個	果序数：0個
		備考：		
		個 体 の 状 況	草丈：42.0cm	葉数：19枚
			花序数：0個	果序数：0個
		備考：		

表 2-38 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑪)

種名：カラタチバナ		No.：⑪													
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)													
		生育は良好。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>43.5cm</td><td>葉数：</td><td>11枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	43.5cm	葉数：	11枚	花序数：	- 個	果序数：	- 個	備考：			
草丈：	43.5cm	葉数：	11枚												
花序数：	- 個	果序数：	- 個												
備考：															
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)													
		生育は良好。 花序は食害を受けた様子。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>46cm</td><td>葉数：</td><td>16枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	46cm	葉数：	16枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	46cm	葉数：	16枚												
花数：	- 個	結実：	- 個												
備考：															
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)													
		生育は良好。 複数の花序と葉が食害を受けている。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>51.0cm</td><td>葉数：</td><td>31枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>8個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	51.0cm	葉数：	31枚	花数：	8個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	51.0cm	葉数：	31枚												
花数：	8個	結実：	- 個												
備考：															

表 2-39 (1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑫)





種名： カラタチバナ		No.： ⑫	
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)	
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。	
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)	
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。	
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)	
		順調に生育している。頂芽伸長。	
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)	
		生育は良好。果序が形成されている。果実は成熟過程。 葉のうち5枚は食害を受けている。	

表 2-39 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑫)




種名： カラタチバナ		No.： ⑫											
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好。果序が形成されている。果実は成熟過程。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>46.0cm</td><td>葉数：</td><td>12枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>4個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3">果実数：35個</td></tr></table>	草丈：	46.0cm	葉数：	12枚	花序数：	- 個	果序数：	4個	備考：	果実数：35個
草丈：	46.0cm	葉数：	12枚										
花序数：	- 個	果序数：	4個										
備考：	果実数：35個												
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)											
		枯死											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>40.5cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	40.5cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	40.5cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)											
		枯死 地上部は無し											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-40(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑬)





種名： カラタチバナ		No.： ⑬											
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)											
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>33.5cm</td><td>葉数：</td><td>2枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	33.5cm	葉数：	2枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	33.5cm	葉数：	2枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)											
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>33.5cm</td><td>葉数：</td><td>2枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	33.5cm	葉数：	2枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	33.5cm	葉数：	2枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)											
		順調に生育している。頂芽伸長。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>36.0cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	36.0cm	葉数：	3枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	36.0cm	葉数：	3枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)											
		生育は良好。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>36.0cm</td><td>葉数：</td><td>15枚</td></tr><tr><td>花序数：</td><td>0個</td><td>果序数：</td><td>0個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	36.0cm	葉数：	15枚	花序数：	0個	果序数：	0個	備考：	
草丈：	36.0cm	葉数：	15枚										
花序数：	0個	果序数：	0個										
備考：													

表 2-40 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑬)



種名：カラタチバナ		No.：⑬											
移植 6 ヶ 月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>38.0cm</td><td>葉数：</td><td>17枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	38.0cm	葉数：	17枚	花序数：	- 個	果序数：	- 個	備考：	
草丈：	38.0cm	葉数：	17枚										
花序数：	- 個	果序数：	- 個										
備考：													
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)											
		ほとんど成長が見られない。 他個体よりも葉の緑色が薄い。 花序が伸長過程。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>37.5cm</td><td>葉数：</td><td>13枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>6個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	37.5cm	葉数：	13枚	花数：	6個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	37.5cm	葉数：	13枚										
花数：	6個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)											
		主幹は枯死。脇芽も出ていない。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-41 (1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑭)

種名： カラタチバナ		No.： ⑭		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		草丈・葉数ともに変化なし。側芽活性化。2枚の葉に食害。		
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		生育は良好。		
個 体 の 状 況	草丈：	14.5cm	葉数：	2枚
	花序数：	0個	果序数：	0個
	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	14.5cm	葉数：	2枚
	花序数：	0個	果序数：	0個
	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	18.0cm	葉数：	10枚
	花序数：	0個	果序数：	0個
	備考：			

表 2-41 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑭)




種名：カラタチバナ		No.：⑭													
移植 6 ヶ 月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)													
		生育は良好。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>19.5cm</td><td>葉数：</td><td>12枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">葉2枚が食害</td></tr> </table>	草丈：	19.5cm	葉数：	12枚	花序数：	- 個	果序数：	- 個	備考：	葉2枚が食害		
草丈：	19.5cm	葉数：	12枚												
花序数：	- 個	果序数：	- 個												
備考：	葉2枚が食害														
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)													
		生育は良好。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>22.0cm</td><td>葉数：</td><td>10枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>8 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	22.0cm	葉数：	10枚	花数：	8 個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	22.0cm	葉数：	10枚												
花数：	8 個	結実：	- 個												
備考：															
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)													
		主幹は枯死。 脇芽が伸び、新葉を付けている。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>14.0cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	14.0cm	葉数：	3枚	花数：	0個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	14.0cm	葉数：	3枚												
花数：	0個	結実：	- 個												
備考：															

表 2-42(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑮)





種名： カラタチバナ		No.： ⑮		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。		
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		草丈・葉数ともに大きな変化なし。頂芽良好。		
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		生育は良好。果序が形成されている。 果実は成熟過程。		
個 体 の 状 況	草丈：	21.0cm	葉数：	3枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	22.0cm	葉数：	3枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：			
個 体 の 状 況	草丈：	22.0cm	葉数：	7枚
		花序数：	0個	果序数：
個 体 の 状 況	備考：	1個の果序に5～8の果実あり。		

表 2-42 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑮)

種名：カラタチバナ		No.：⑮													
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)													
		生育は良好。果序が形成されている。 果実は成熟過程。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>23.0cm</td><td>葉数：</td><td>8枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>- 個</td><td>果序数：</td><td>1個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3">果実数：3個 葉2枚が食害</td></tr> </table>	草丈：	23.0cm	葉数：	8枚	花序数：	- 個	果序数：	1個	備考：	果実数：3個 葉2枚が食害		
草丈：	23.0cm	葉数：	8枚												
花序数：	- 個	果序数：	1個												
備考：	果実数：3個 葉2枚が食害														
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)													
		ほとんど成長が見られない。 花序の形成はない。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>21.5cm</td><td>葉数：</td><td>8枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	21.5cm	葉数：	8枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	21.5cm	葉数：	8枚												
花数：	- 個	結実：	- 個												
備考：															
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)													
		成長は見られない。 新芽、花序は無い。 葉は食害を受ける。衰弱した状態。													
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>8cm</td><td>葉数：</td><td>3枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>0個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	8cm	葉数：	3枚	花数：	0個	結実：	- 個	備考：			
草丈：	8cm	葉数：	3枚												
花数：	0個	結実：	- 個												
備考：															

表 2-43(1) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑬)





種名：カラタチバナ		No.：⑬	
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)	
		順調に生育している。 なお、移植の際に枝葉の剪定を行っている為、過年度の 確認状況よりも葉数等は減少している。	
個 体 の 状 況		草丈：	19.5cm
		葉数：	2枚
個 体 の 状 況		花序数：	0個
		果序数：	0個
個 体 の 状 況		備考：	
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)	
		移植1週間後と比較して、大きな変化は認められず。	
個 体 の 状 況		草丈：	19.5cm
		葉数：	2枚
個 体 の 状 況		花序数：	0個
		果序数：	0個
個 体 の 状 況		備考：	
移植 1 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)	
		草丈に変化はないが、1葉増加。茎頂部衰弱傾向。	
個 体 の 状 況		草丈：	19.5 cm
		葉数：	3枚
個 体 の 状 況		花序数：	0個
		果序数：	0個
個 体 の 状 況		備考：	
移植 3 ヶ 月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)	
		生育は良好。花序が形成されている。	
個 体 の 状 況		草丈：	19.5cm
		葉数：	6枚
個 体 の 状 況		花序数：	1個
		果序数：	0個
個 体 の 状 況		備考：	1個の花序に5～8の花・蕾あり。

表 2-43 (2) カラタチバナ移植個体活着状況調査結果詳細 (⑬)



種名：カラタチバナ		No.：⑬											
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		生育は良好。花序は消失。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>19.5cm</td><td>葉数：</td><td>6枚</td></tr> <tr> <td>花序数：</td><td>-個</td><td>果序数：</td><td>-個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	19.5cm	葉数：	6枚	花序数：	-個	果序数：	-個	備考：	
草丈：	19.5cm	葉数：	6枚										
花序数：	-個	果序数：	-個										
備考：													
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)											
		生育は良好。花序が形成されている。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>22.5cm</td><td>葉数：</td><td>5枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>4個</td><td>結実：</td><td>-個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	22.5cm	葉数：	5枚	花数：	4個	結実：	-個	備考：	
草丈：	22.5cm	葉数：	5枚										
花数：	4個	結実：	-個										
備考：													
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)											
		枯死。 地上部は無し。											
		個 体 の 状 況	<table border="1"> <tr> <td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr> <tr> <td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr> <tr> <td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													

表 2-44(1) タシロラン移植個体活着状況調査結果詳細 (①)






種名： タシロラン		No.： ①		
移植 1 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 13 日 (水)		
		地上部は認められなかった。 なお、本種の花序の確認は6～7月の事例も多く、年によって地上部が出現しないこともあることから、継続的な調査が必要。		
移植 2 週間 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 4 月 22 日 (金)		
		地上部は認められなかった。		
移植 1 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 5 月 17 日 (火)		
		地上部は認められなかった。		
移植 3 ヶ月 後 調 査 時 写 真		調査日： 令和 4 年 7 月 14 日 (木)		
		地上部は認められなかった。		
個 体 の 状 況	草丈：	- cm	葉数：	- 枚
	花数：	- 個	結実：	- 個
	備考：			

表 2-44 (2) タシロラン移植個体活着状況調査結果詳細 (①)

種名： タシロラン		No.： ①											
移植 6 ヶ月 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 4 年 10 月 3 日 (月)											
		地上部は認められなかった。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>- cm</td><td>葉数：</td><td>- 枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	- cm	葉数：	- 枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	- cm	葉数：	- 枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 1 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 5 年 6 月 26 日 (月)											
		地上部は認められなかった。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>cm</td><td>葉数：</td><td>枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	cm	葉数：	枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	cm	葉数：	枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													
移植 2 年 後 監 視 時 写 真		調査日： 令和 6 年 6 月 11 日 (火)											
		地上部は認められなかった。											
		個 体 の 状 況	<table><tr><td>草丈：</td><td>cm</td><td>葉数：</td><td>枚</td></tr><tr><td>花数：</td><td>- 個</td><td>結実：</td><td>- 個</td></tr><tr><td>備考：</td><td colspan="3"></td></tr></table>	草丈：	cm	葉数：	枚	花数：	- 個	結実：	- 個	備考：	
草丈：	cm	葉数：	枚										
花数：	- 個	結実：	- 個										
備考：													